∀ GUNDAM

Vol.1

ターンエー ガンダム

NEWTYPE
100
COLLECTION

ガンダム最新作

∀ガンダムVol.1

"∀"のストーリー・設定を凝縮

∀ GUNDAM

Vol.1

ターンエー ガンダム

NEWTYPE 100 COLLECTION

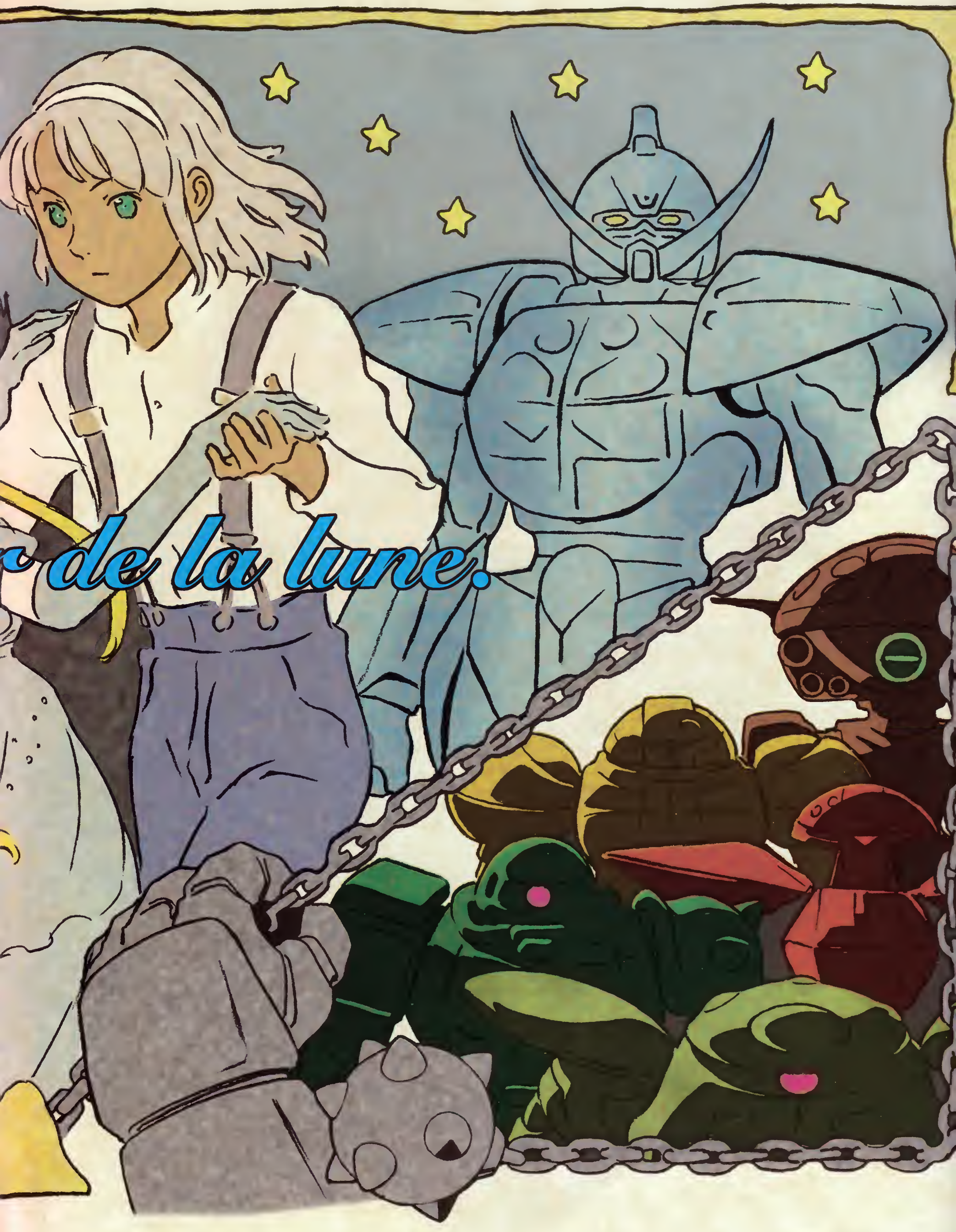
∀ GUNDAM

NEWTYPE 100 COLLECTION

Vol.1

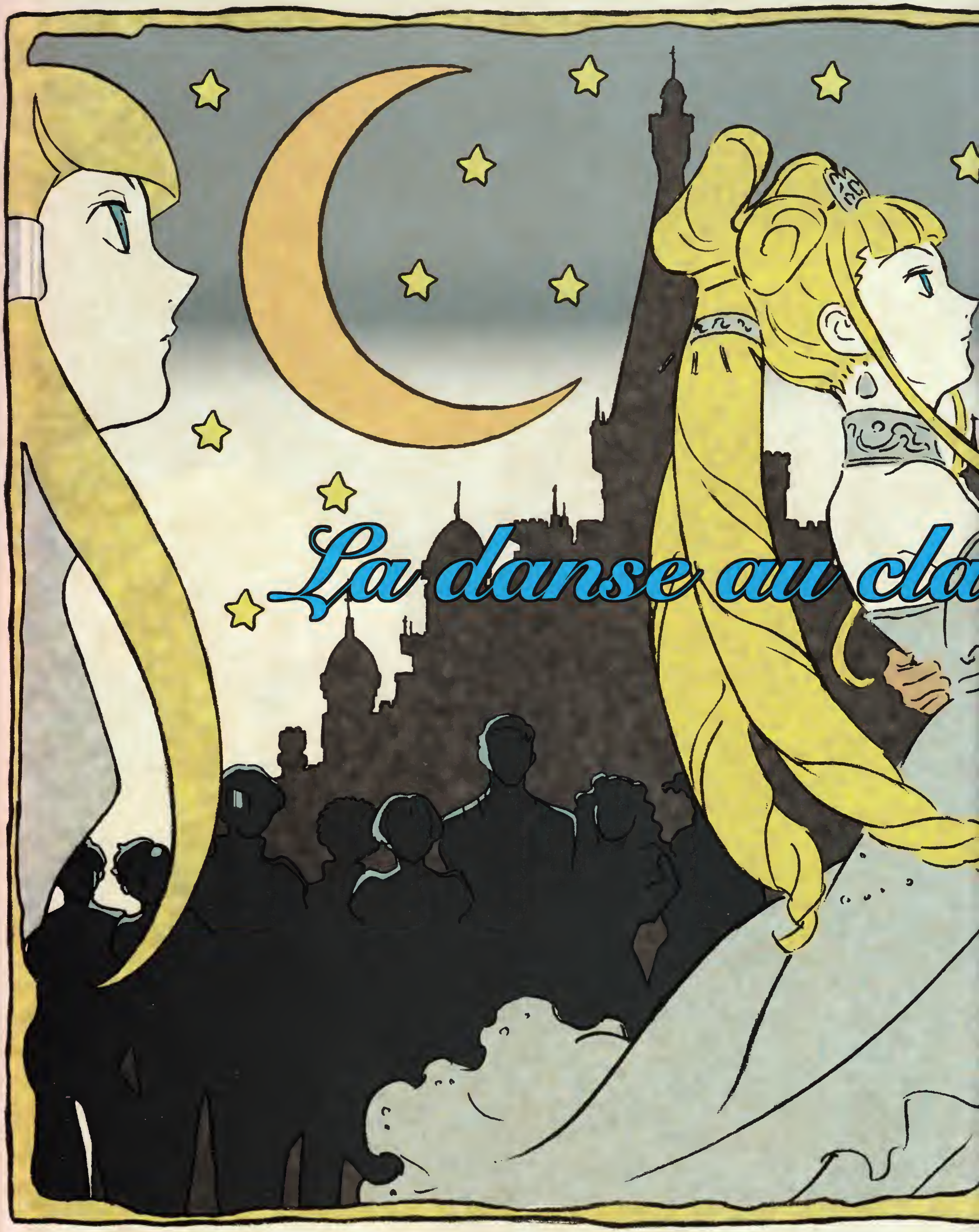
ターンエー ガンダム

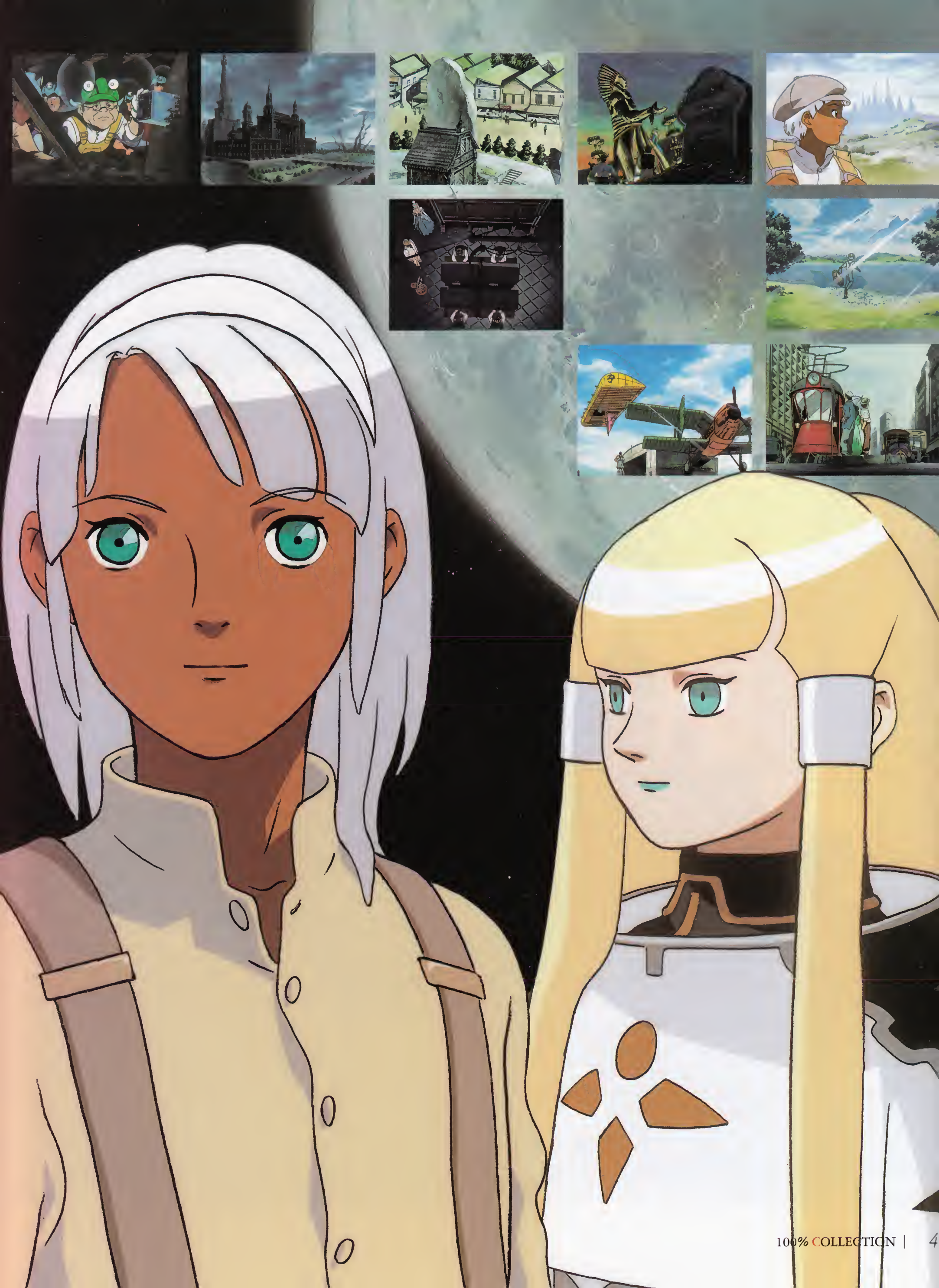
∀ GUNDAM



r de la lune.

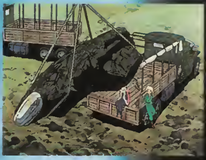
La danse au cla

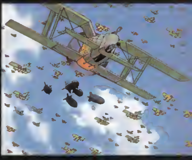


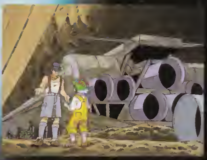


WORLD OF "∀"

∀がいる世界――、それはある意味、いままでの常識を覆している世界だ。





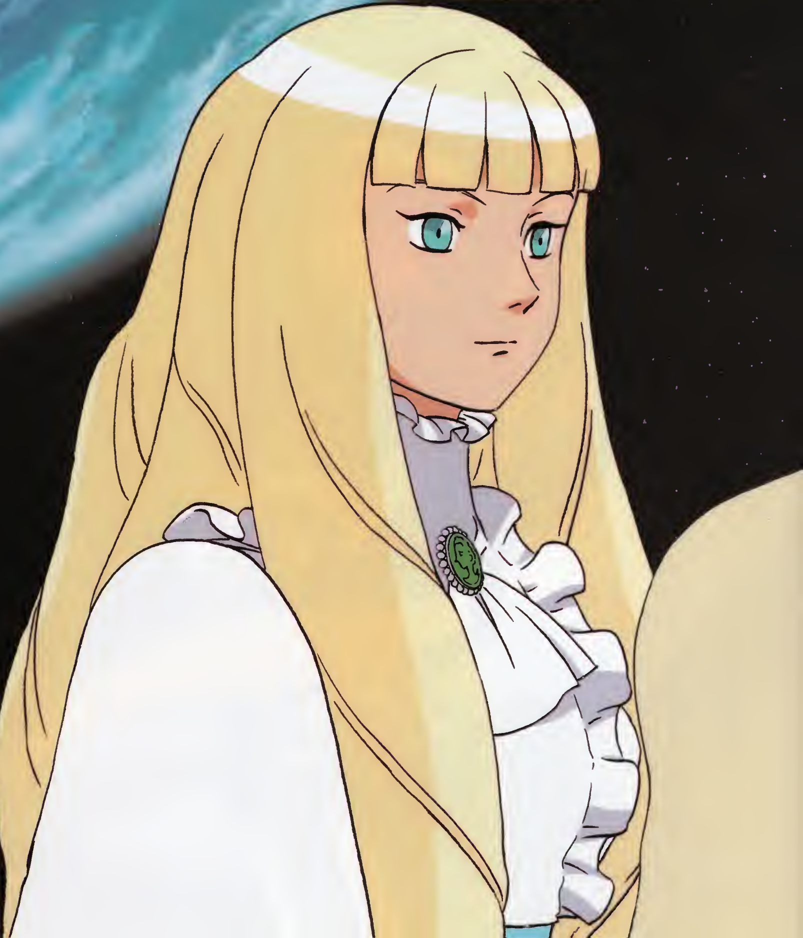


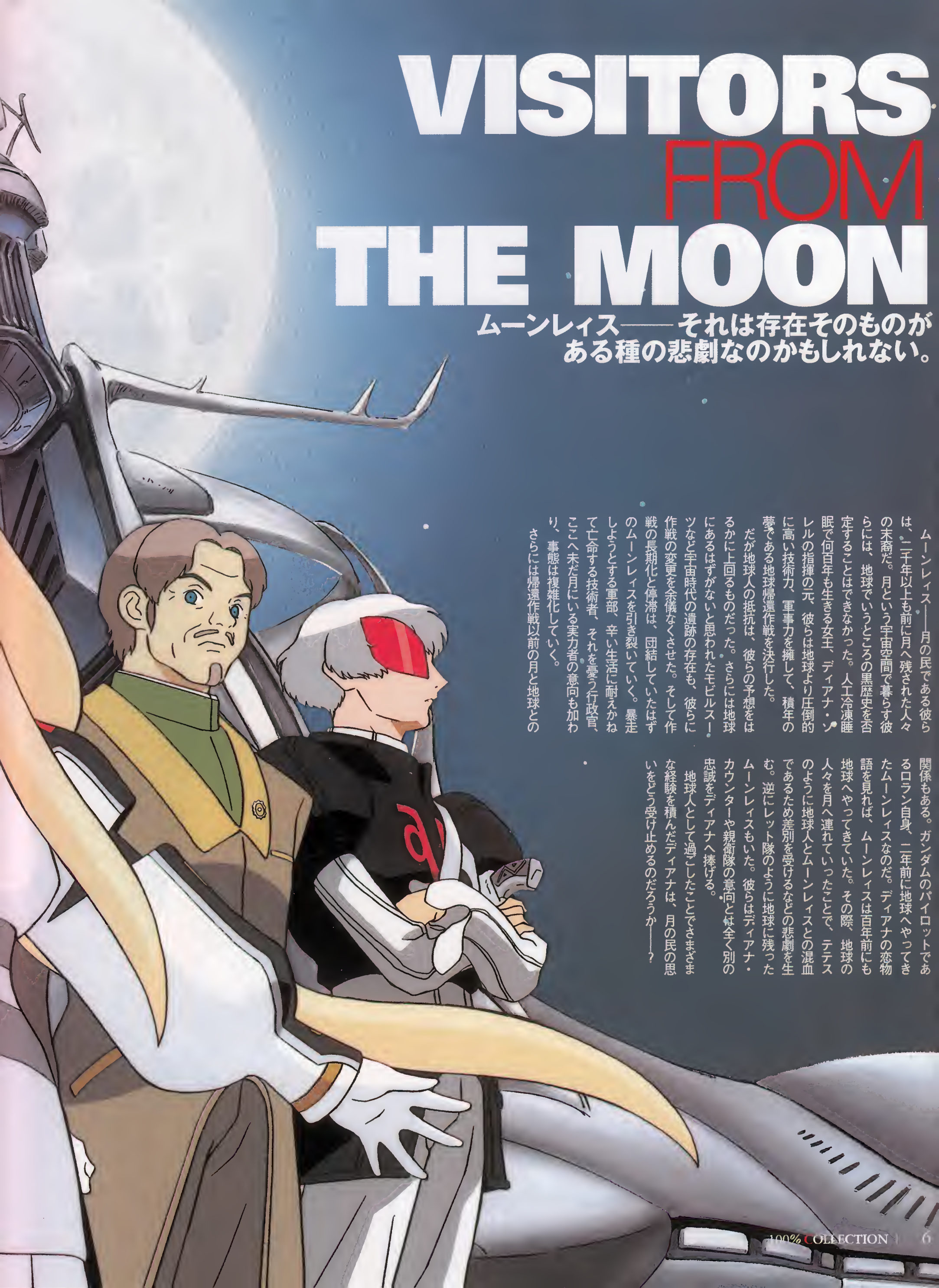
最初に「∀」を目にした時、戸惑いを全く感じなかった人はいないのではなかろうか。ガンダムというタイトルが付けられているにもかかわらず、[illegible]はどう見ても十八～九世紀の[illegible]、青い空や緑の土地などの豊かな自然しかり、人々の服装しかり、建物のデザインしかり、成人式や収穫祭などの儀式しかり。一方で自動車や飛行船、飛行機[illegible]で登場する。これはどういう世界なのか[illegible]

さらにはマウンテン・サイクルなどと呼ばれる山からは、何とモビルスーツやその装備品、宇宙船、さらには核弾頭まで発掘された。それは長い間地中に埋められていたとはとても思えず、適切に整備さえすれば使用可能なものだった。

ここで語られるのが黒歴史だ。この時代から二千年前には宇宙時代があり、モビルスーツや宇宙船はその時代の遺跡である。だが戦争で地球の環境が崩壊したため、過ちを繰り返さないよう意図的に封印されたという。今では豊かな恵みを与えてくれる土地も、千五百年前にはどうしようもない荒れ地だったという話も語られる。人々は黒歴史を知る山師から魔法の黒い粉を買い、それで土地を改良し続けてきたというのだ。

そして、宇宙時代が存在していたことを証明するかのように、月の民がやってきた。ここから物語が始まる――。





VISITORS FROM THE MOON

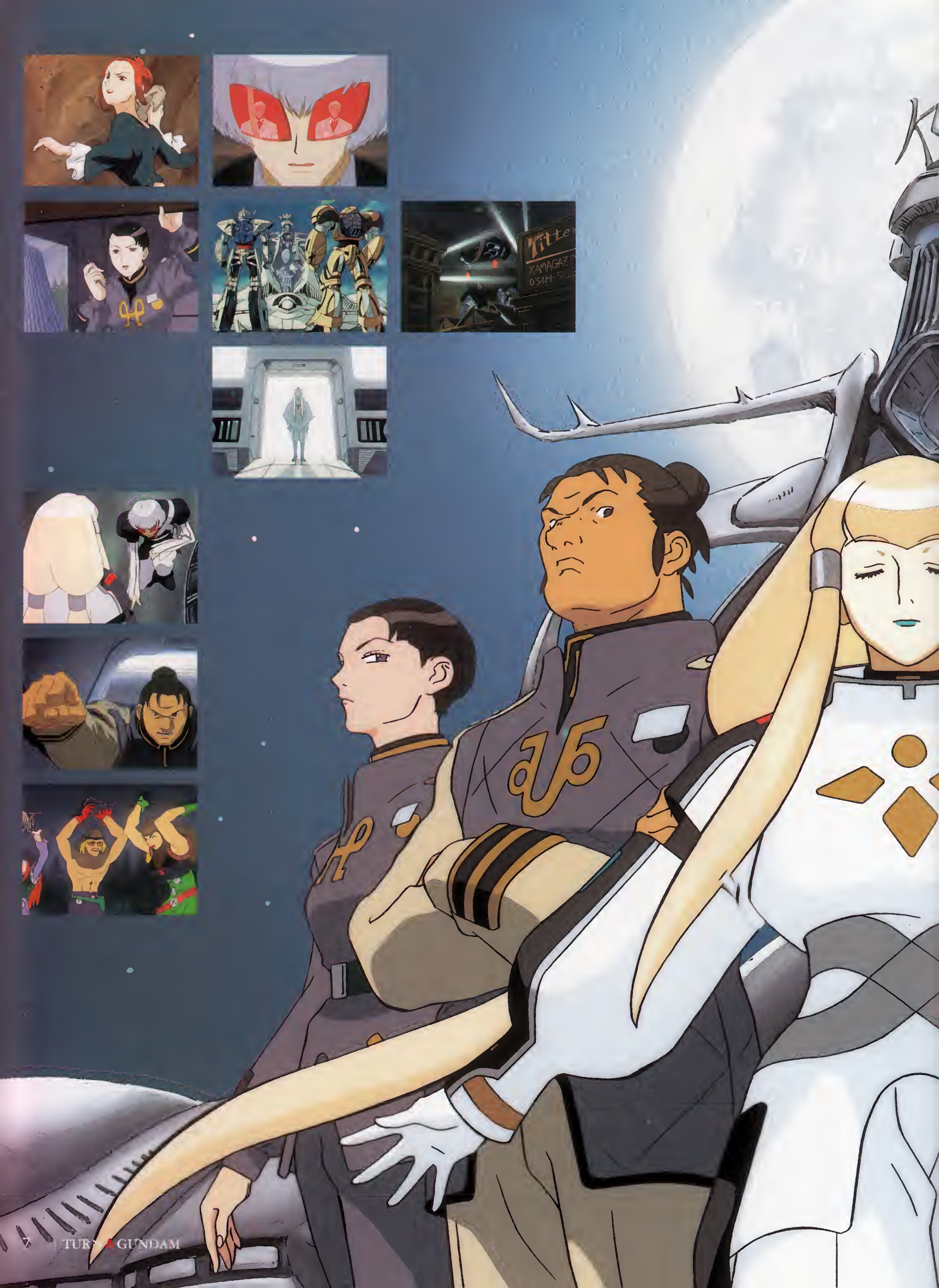
ムーンレィス――それは存在そのものが ある種の悲劇なのかもしれない。

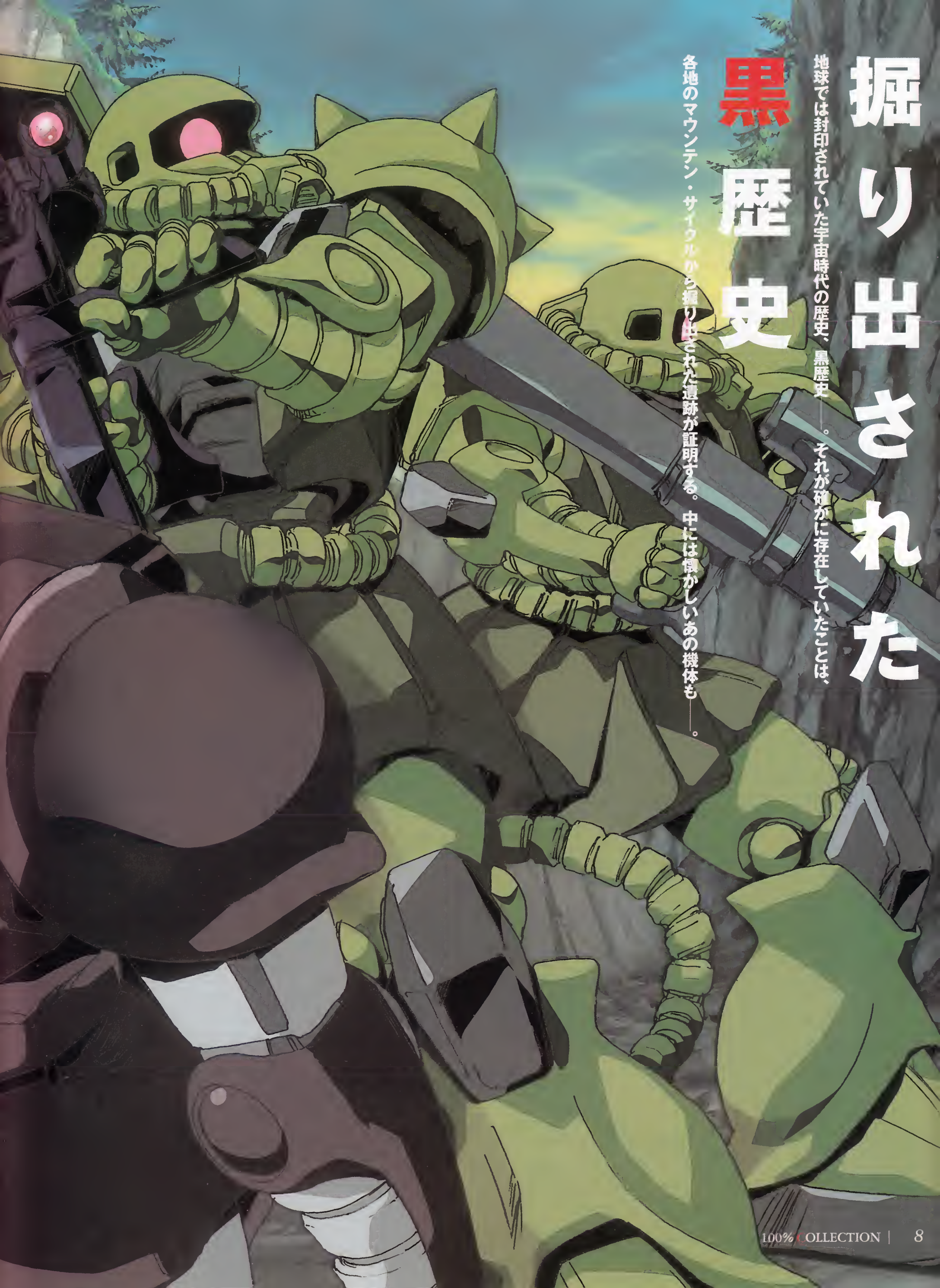
ムーンレィス――月の民である彼らは、二千年以上も前に月へ残された人々の末裔だ。月という宇宙空間で暮らす彼らには、地球でいうところの黒歴史を否定することはできなかった。人工冷凍睡眠で何百年も生きる女王、ディアナ・ソレルの指揮の元、彼らは地球より圧倒的に高い技術力、軍事力を擁して、積年の夢である地球帰還作戦を決行した。

だが地球人の抵抗は、彼らの予想をはるかに上回るものだった。さらには地球にあるはずがないと思われたモビルスーツなど宇宙時代の遺跡の存在も、彼らに作戦の変更を余儀なくさせた。そして作戦の長期化と停滞は、団結していたはずのムーンレィスを引き裂いていく。暴走しようとする軍部、辛い生活に耐えかねて亡命する技術者、それを憂う行政官、ここへ未だ月にいる実力者の意向も加わり、事態は複雑化していく。

さらには帰還作戦以前の月と地球との関係もある。ガンダムのパイロットであるロラン自身、二年前に地球へやってきたムーンレィスなのだ。ディアナの恋物語を見れば、ムーンレィスは百年前にも地球へやってきていた。その際、地球の人々を月へ連れていったことで、テテスのように地球人とムーンレィスとの混血であるため差別を受けるなどの悲劇を生む。逆にレット隊のように地球に残ったムーンレィスもいた。彼らはディアナ・カウンターや親衛隊の意向とは全く別の忠誠をディアナへ捧げる。

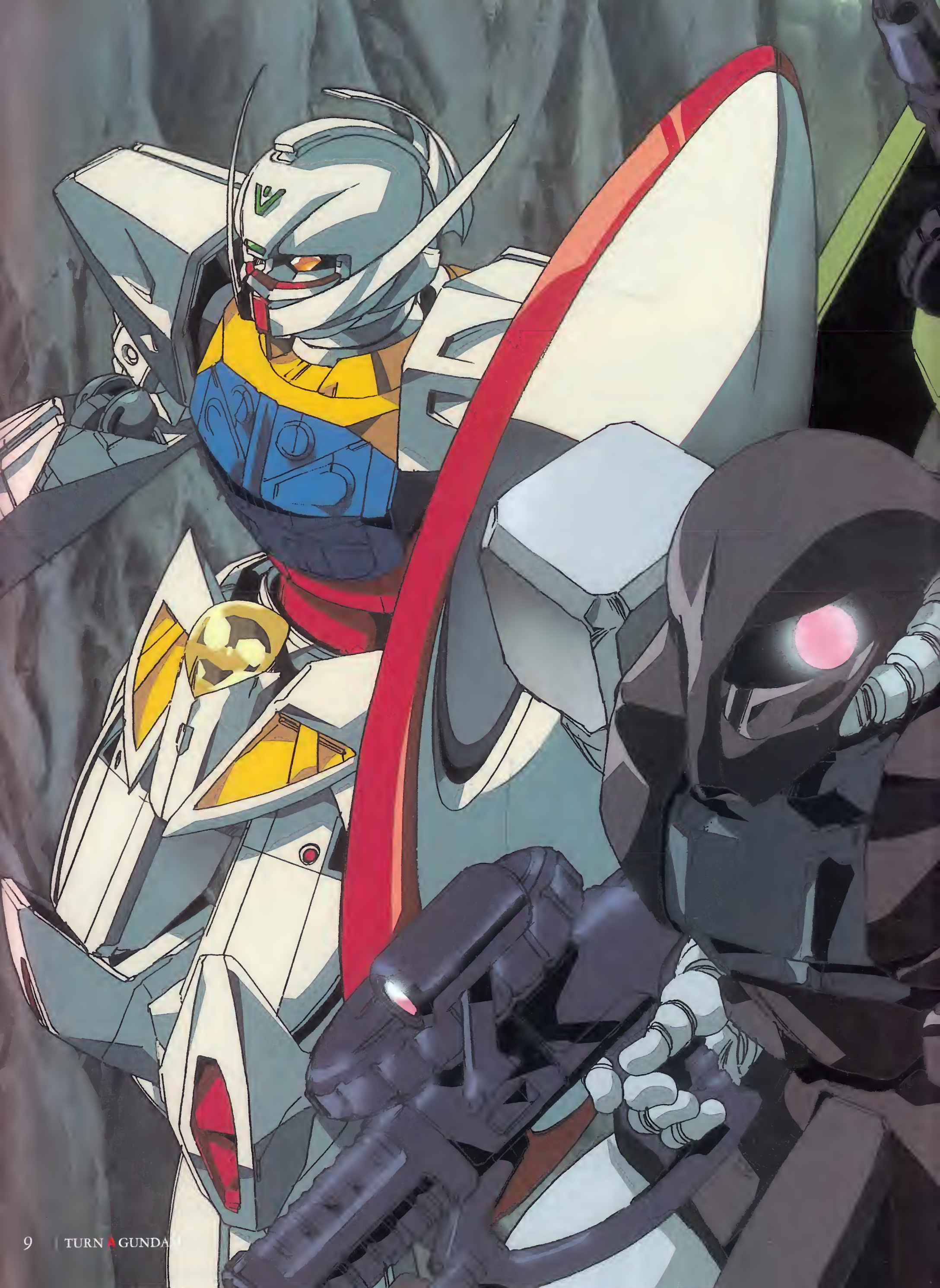
地球人として過ごしたことでさまざまな経験を積んだディアナは、月の民の思いをどう受け止めるのだろうか――？

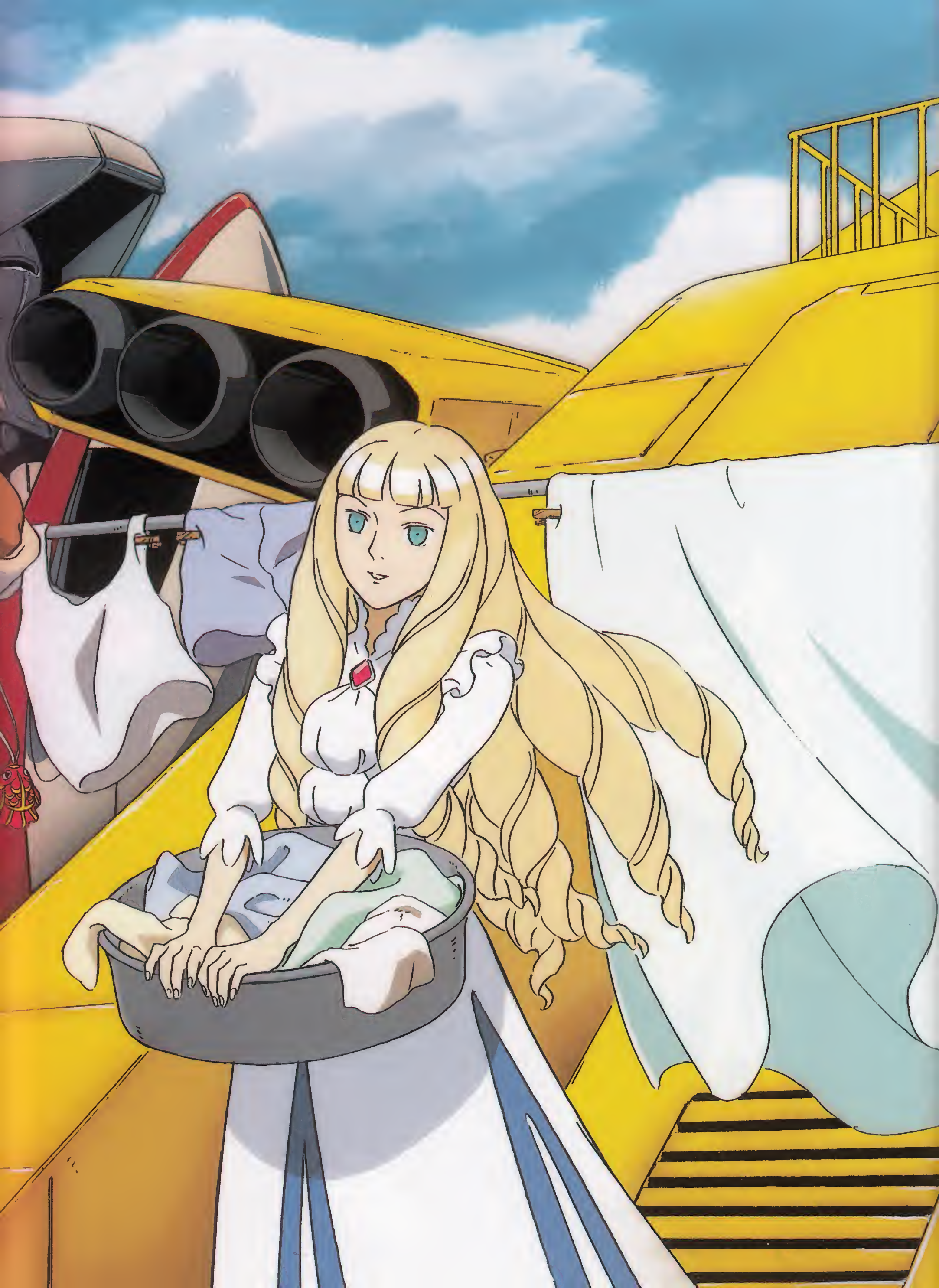

Titte
XAMAGAZIN
034H-5



掘り出された黒歴史

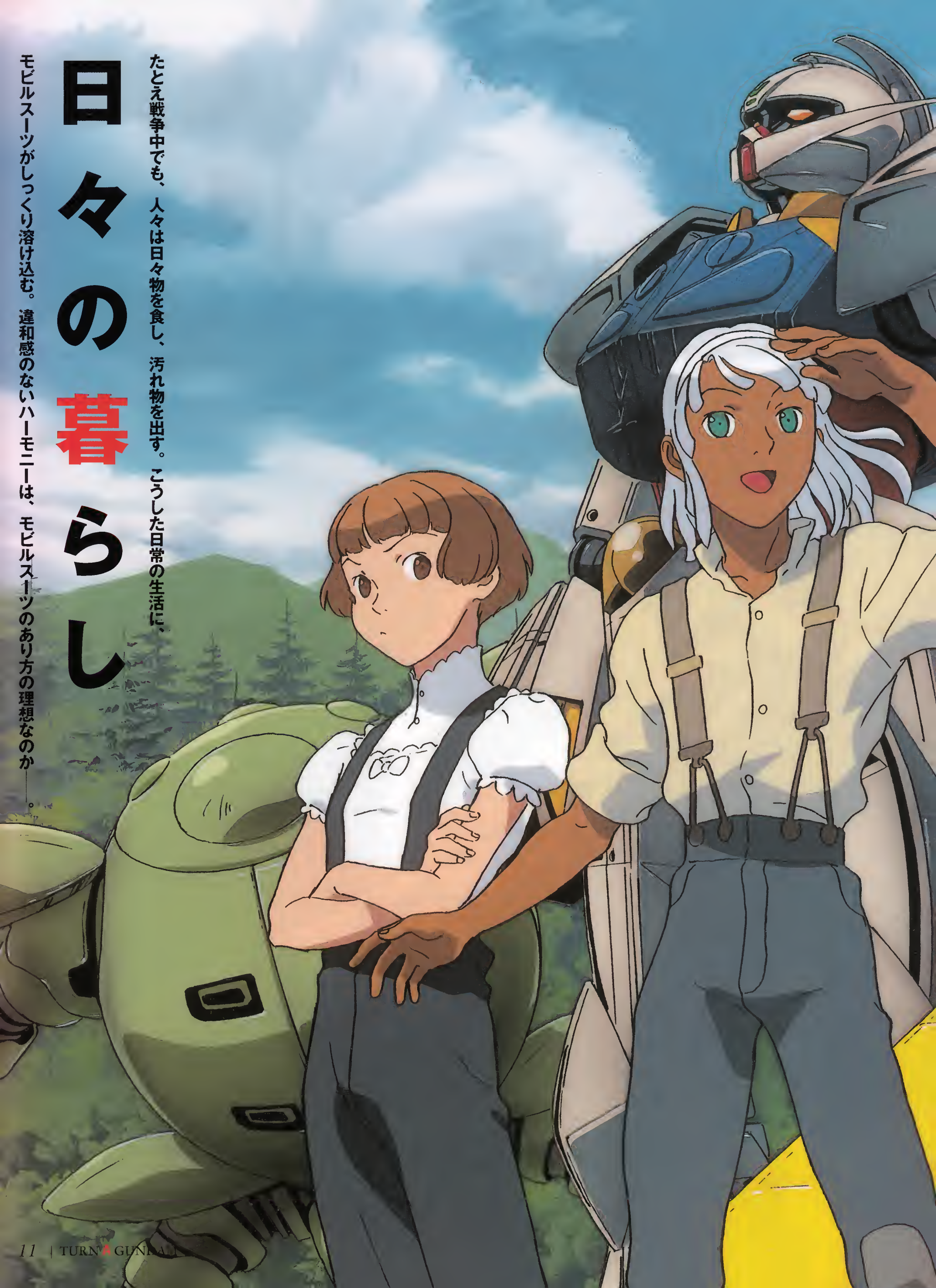
地球では封印されていた宇宙時代の歴史、黒歴史――。それが確かに存在していたことは、各地のマウンテン・サイクルから掘り出された遺跡が証明する。中には懐かしいあの機体も――。

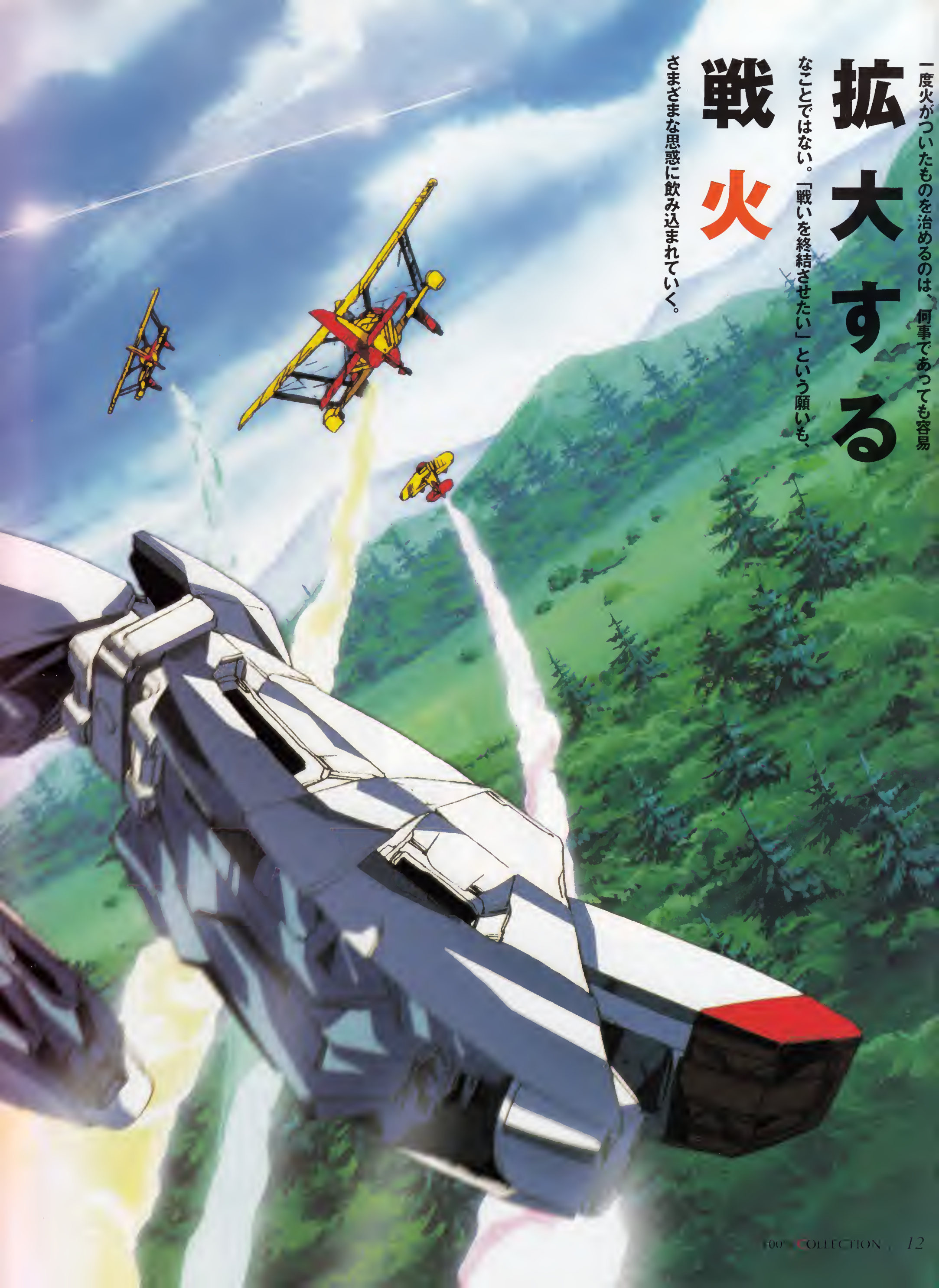




日々の暮らし

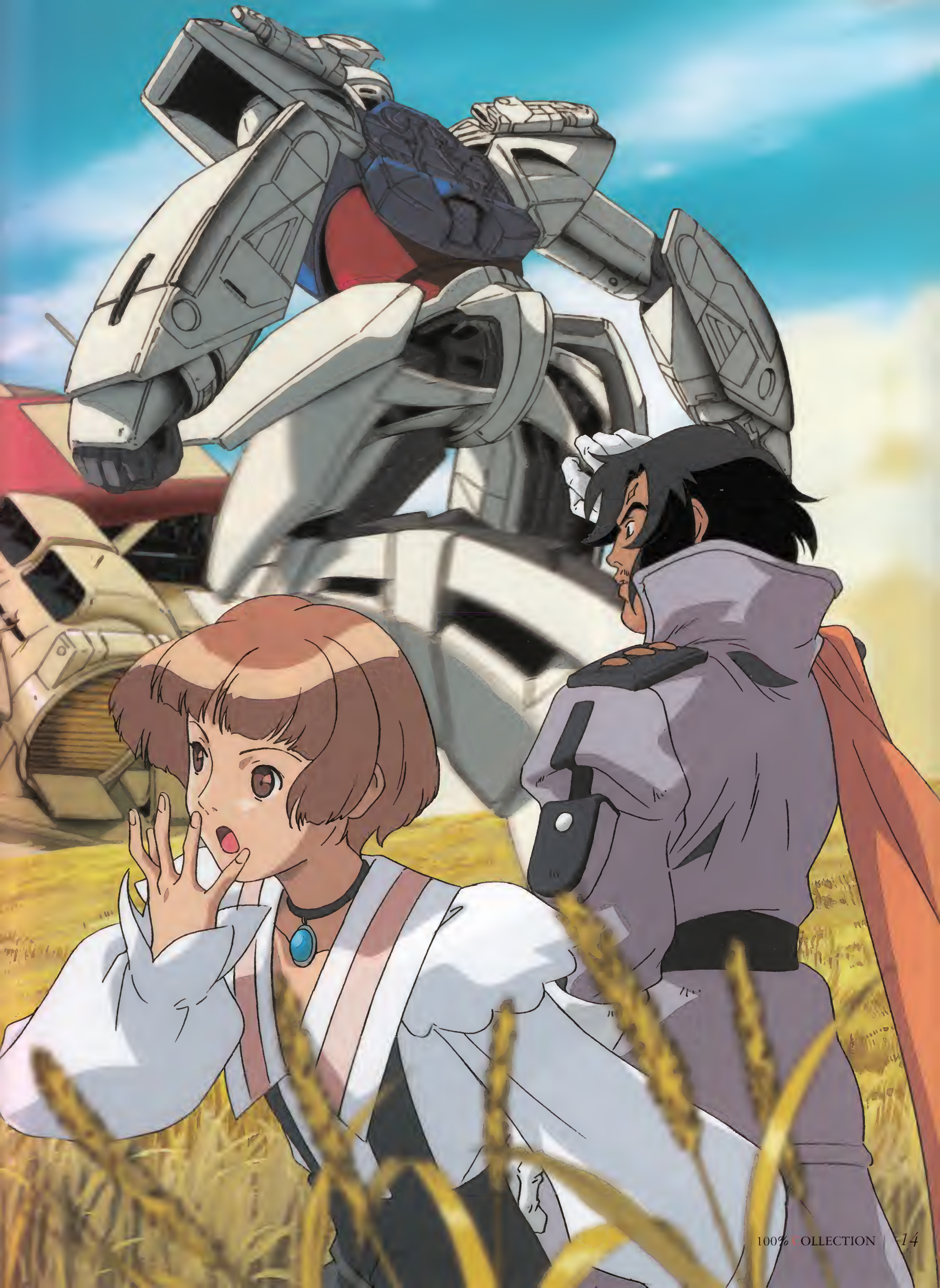
たとえ戦争中でも、人々は日々物を食し、汚れ物を出す。こうした日常の生活に、モビルスーツがしっくり溶け込む。違和感のないハーモニーは、モビルスーツのあり方の理想なのか——。





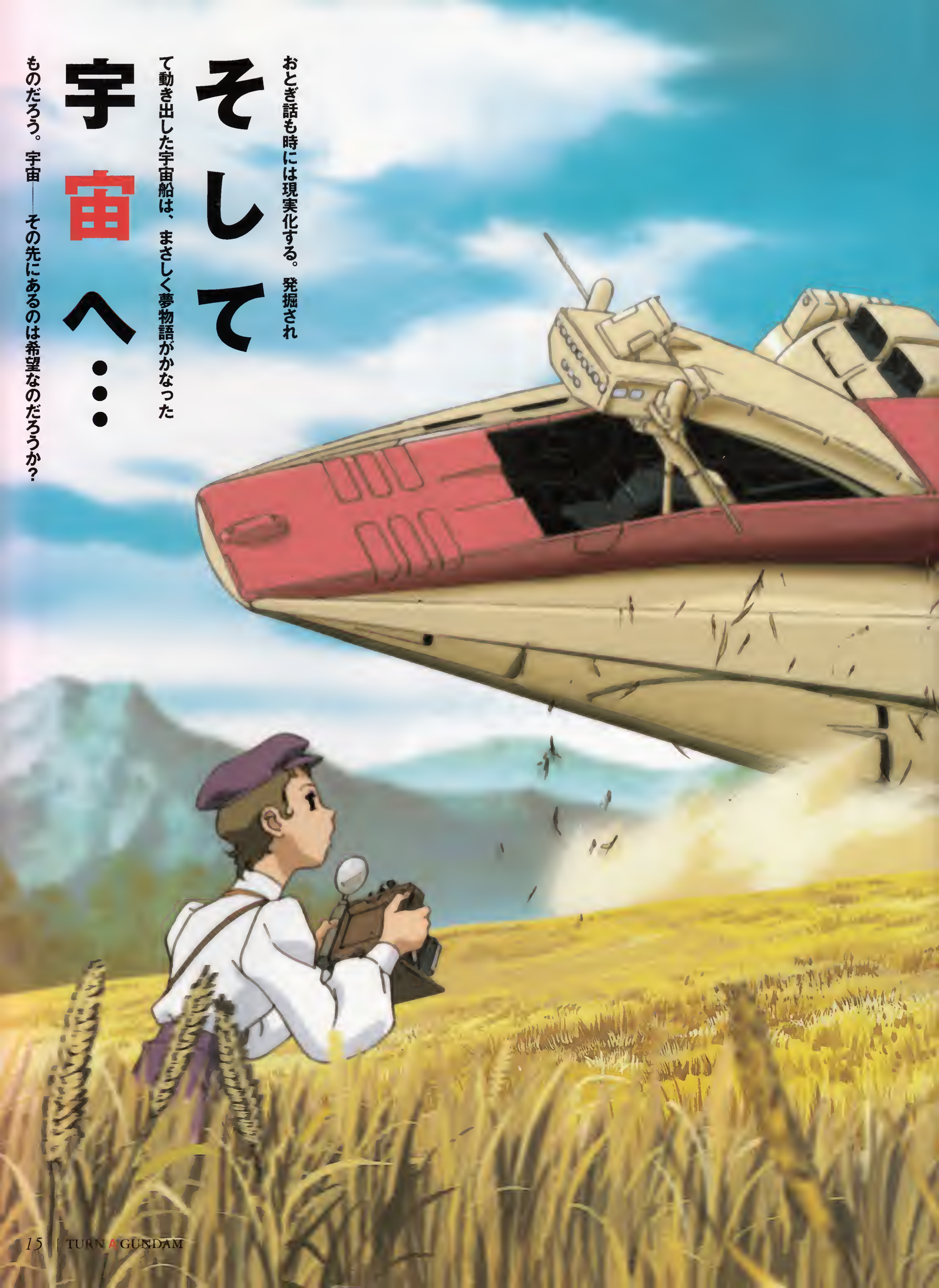
拡大する戦火

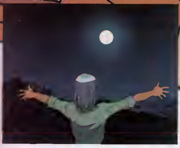
一度火がついたものを治めるのは、何事であっても容易なことではない。「戦いを終結させたい」という願いも、さまざまな思惑に飲み込まれていく。



そして宇宙へ…

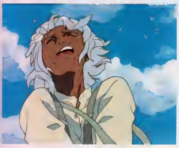
おとぎ話も時には現実化する。発掘されて動き出した宇宙船は、まさしく夢物語がかなったものだろう。宇宙——その先にあるのは希望なのだろうか？





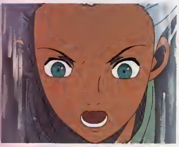
「地球はとてもいい処だ! みんな早く帰ってこーい!」

1話の最後。地球降下に利用したフラットが埋められた場所で月に向かってと叫ぶ。この様子をソシエがこっそり見ていたことにロランは気付かない。



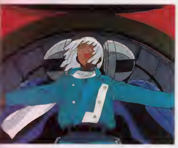
「お、男に生まれてみて下さいよ」

5話。ディアナ・カウンター攻撃に出るソシエたちを止めるため、ロランは飛行船からヒップヘビーへ飛び移るが……。ロランが少年であることを強調。



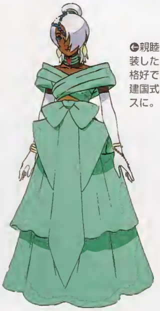
「地球は戦争をする処じゃないでしょお!」

6話。カプルを攻撃するウォドムに、ロランはこう叫びながらハンマーを叩きつけた。1話の台詞と合わせて考えると、ある意味非常に興味深い。



「ぼくはムーンレィスなんです!」

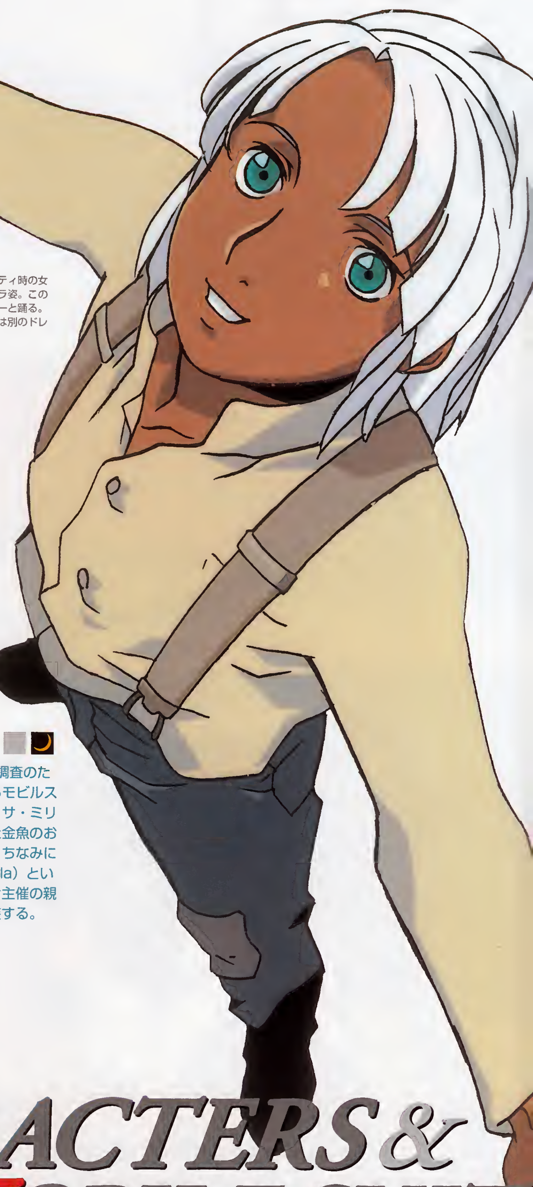
8話。ムーンレィス帰還民を罵る地球人にロランが爆発。∀のコクピットの中でこう叫んだ。これはローラの言葉として、フランの手で新聞記事に。



◐親睦パーティ時の女装したローラ姿。この格好でハリーと踊る。建国式典時は別のドレスに。

■STORY#01-27

#01	15歳で月より降下し、ハイム鉱山で働く。二年後、ハイム家の運転手に。
#02	成人式の最中に、攻撃を察知して石像の下から現れた∀に乗り込む。
#03	グエンに命じられ、∀のパイロットとしてミリシャの一員となることに。
#04	ムーンレィスのアジ大佐たちに会いその後月と地球の交渉決裂を見る。
#05	DCに捕らえられたメシェーを無事救出。その後∀でディアナを迎える。
#06	∀が反応し、おみこしの小屋の地下からハンマーを得、ウォドムと交戦。
#07	女装し、∀のパイロットのローラとして親睦パーティーに出席。
#08	地球人のムーンレィスへの心ない態度に怒り、自分の正体を告白する。
#09	DCに連行監禁されたが、コレンの暴走を抑えるため出動を要請される。
#10	ビシニティから連絡があり、ソシエ、キエル、ディアナと飛行船で帰る。
#11	マウンテン・サイクルにて∀でシドの発掘を手伝い、攻撃にあう。
#12	地下を通って逃げる途中でコレンたちと出会い、∀でイーゲルを撃退。
#13	キングスレーの谷でウァッド隊、ポゥの乗るウォドムを無事に退ける。
#14	シド、ウィルとウィルゲムの発掘に成功する。だがウィルはDCへ。
#15	ウィルの屋敷へ忘れ物をしたディアナ(キエル)に運転手として付き添う。
#17	亡命するムーンレィスの技術者の護衛をする。偶然ディアナ暗殺を阻止。
#18	キエルとディアナの入れ替わりを知りショック。式典での演説に感動。
#19	ギャロップの艦長になる。カプルでウォドムと戦うソシエを救助する。
#20	アニスの農場を手伝った後、∀でレット隊のフラットを撤退させる。
#21	野戦病院で働くディアナを手伝うために、∀を洗濯出動させる。
#22	ポゥのウォドムの攻撃からディアナを守るために∀のバリアーを使う。
#23	∀とディアナをテテスに奪われたが、キースの助言により無事取り戻す。
#24	ひげ付きのレット隊フラットと応戦。ディアナの苦労を伝えようとする。
#25	キースの批判に落ち込むが、自分はローラでも道具でもないと自覚。
#26	ギャロップでディアナを探しに行き、収穫祭の町で偶然に見つける。
#27	核が爆発することを知り、スエサイド隊やギャロップを撤退させる。



月と地球の和平を願う
Rolan Cehack

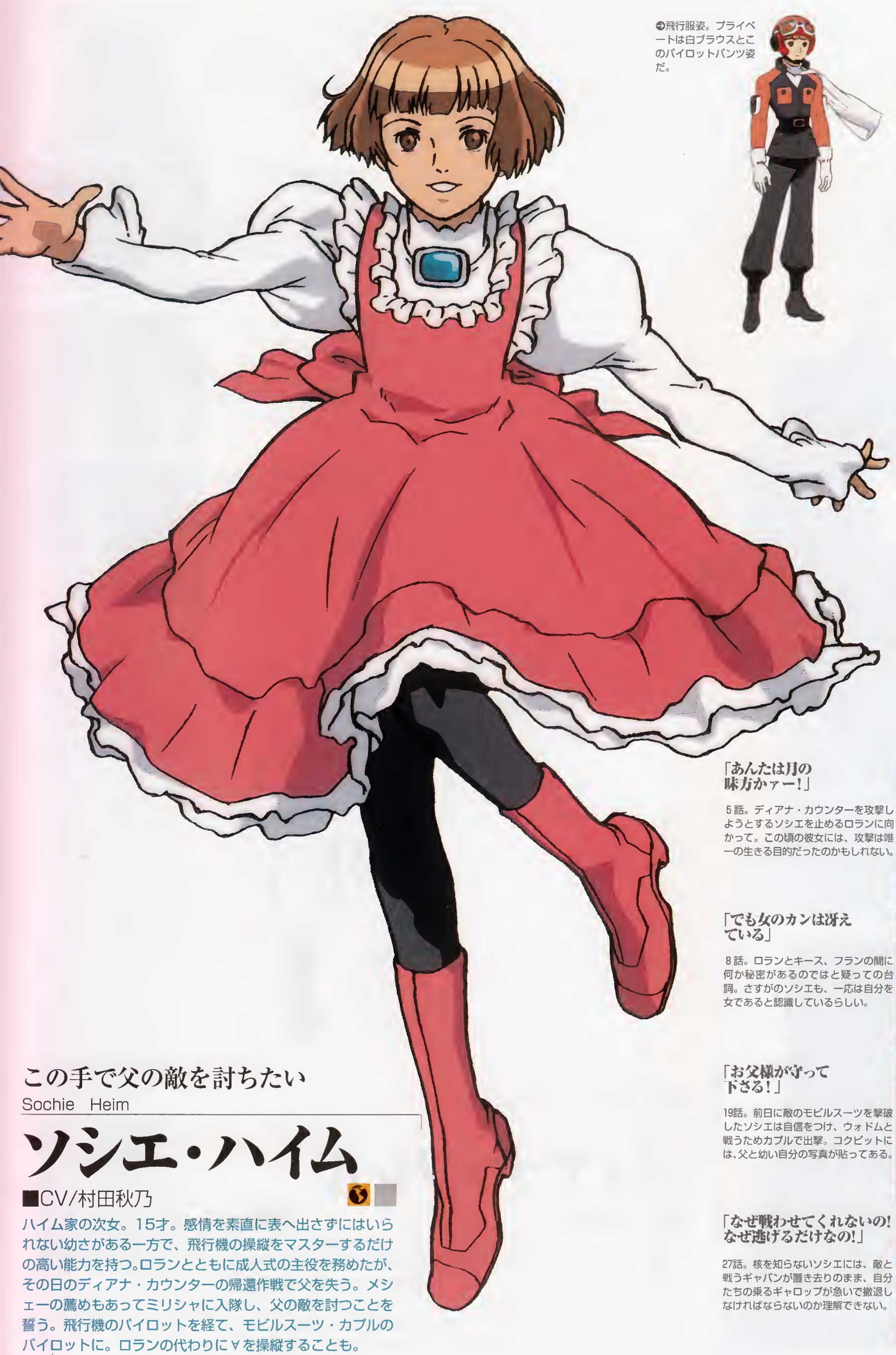
ロラン・セアック

■CV/朴璐美 ▨ 🌙

主人公。月の民であるムーンレィス。17才。二年前、調査のためにフラットで地球へ降下した。成人式の日、石像からモビルスーツ∀が現れてそれに乗り込んだことから、イングレッサ・ミリシャのパイロットとなった。月からこっそり持ってきた金魚のおもちゃは、月のフリーマーケットで買ったものらしい。ちなみに巷では∀のパイロットは、ローラ・ローラ（Laura Rolla）という女性であるとされている。そのためロランはディアナ主催の親睦パーティーやディアナ・カウンターの建国式には女装する。

CHARACTERS & MOBILE SUIT

🌍…地球人　🌙…ムーンレィス



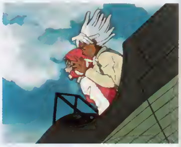
➲飛行服姿。プライベートは白ブラウスとこのパイロットパンツ姿だ。

■STORY#01-27

#01	姉キエルと川でおぼれたロランを救助。以後、反発しながらつきまとう。
#02	成人式の女王となりロランをパートナーにするが、儀式途中で∀の中へ。
#03	成人式の翌朝自宅へ戻り、前夜の攻撃で父が死んだことを知りショック。
#04	落ち込んでいたが、メシェーと会って仇を討つためミリシャ入隊を決意。
#05	ヒップヘビーで出撃するが失敗。カプルに乗りディアナ奪取作戦に出撃。
#06	マウンテン・サイクルにウォドムが接近したため、カプルで陽動に出る。
#07	ジョゼフたちが壊れたカプルを修理しているため、アーク山にいる。
#08	心ならずもムーンレィスの一般人を助ける。ロランの正体にショック。
#09	ロランの代わりに∀に乗ってコレンたちと戦うが、全く歯が立たない。
#10	ロランを少し許す。自宅へ帰る際にディアナと同行することも我慢。
#11	ミリシャのソレイユ奪取もしくは破壊作戦に、カプルに乗って参加する。
#12	ミリシャ駐屯中に、ミハエルからアメリア大陸ミリシャ連合の話を聞く
#14	カプルに乗りギャバンのボルジャーノンとともに出動し、スモーと戦う。
#15	∀に乗りボルジャーノン、カプルとともにウァッド隊、キャノンと戦う。
#18	リリのドレスを借りて式典に参加。ミリシャの作戦は知らなかった。
#19	ギャロップを自分のカプルの基地に。戦死者が出たことに呆然とする。
#20	ギャバンやメシェーとレット隊のフラットと戦うが、全く歯が立たない。
#21	ギャロップで、ロランが来て姉が骨抜きになっていると感情を爆発。
#22	ウォドムが攻撃をしかけてきたため、姉をウィルゲムに逃がし、カプルに。
#23	ギャバンに飛行帽を縫ってもらったことで彼の真意を知り、当惑気味。
#24	ギャバンとともに出動するのを止めるロランをからかうが姉にぶたれる。
#25	ギャバンからウェディングドレスをプレゼントされる。
#26	姉もロランも勝手だと癇癪を爆発させる。ギャバンに花嫁と扱われる。
#27	ギャバン救助のため出動しようとするが止められ、ギャロップの艦長に。

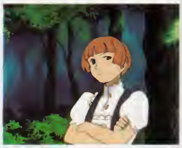
「あんたは月の味方かァー!」

5話。ディアナ・カウンターを攻撃しようとするソシエを止めるロランに向かって。この頃の彼女には、攻撃は唯一の生きる目的だったのかもしれない。



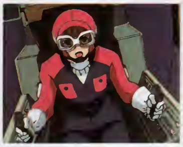
「でも女のカンは冴えている」

8話。ロランとキース、フランの間に何か秘密があるのではと疑っての台詞。さすがのソシエも、一応は自分を女であると認識しているらしい。



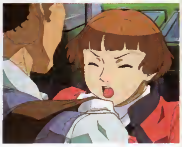
「お父様が守って下さる!」

19話。前日に敵のモビルスーツを撃破したソシエは自信をつけ、ウォドムと戦うためカプルで出撃。コクピットには、父と幼い自分の写真が貼ってある。



「なぜ戦わせてくれないの! なぜ逃げるだけなの!」

27話。核を知らないソシエには、敵と戦うギャバンが置き去りのまま、自分たちの乗るギャロップが急いで撤退しなければならないのか理解できない。



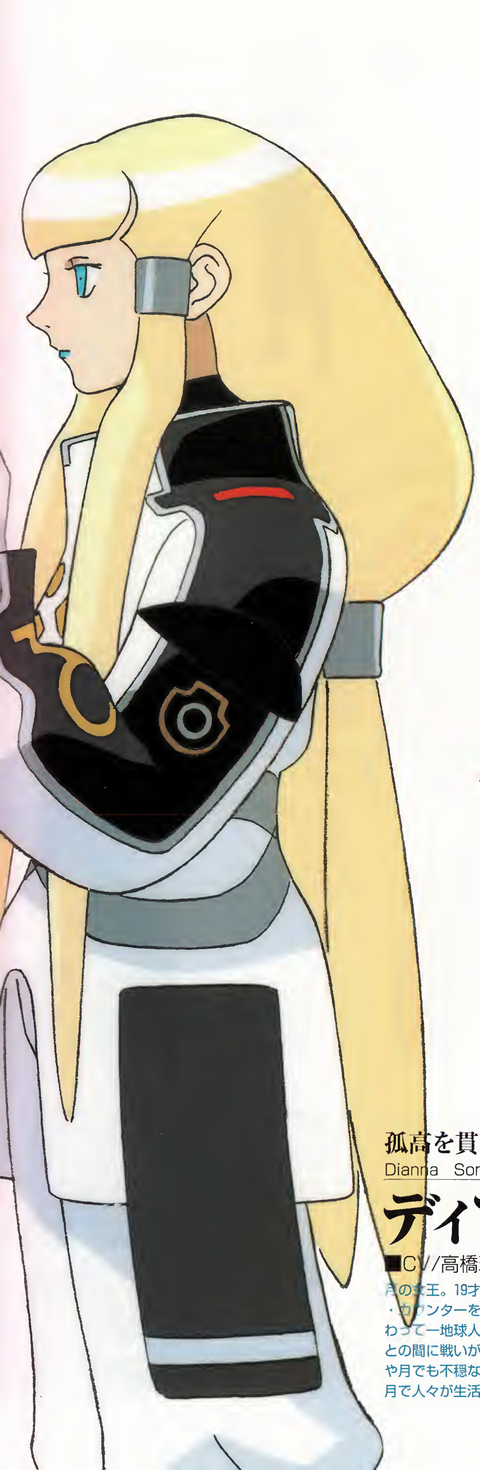
この手で父の敵を討ちたい

Sochie Heim

ソシエ・ハイム

■CV/村田秋乃

ハイム家の次女。15才。感情を素直に表へ出さずにはいられない幼さがある一方で、飛行機の操縦をマスターするだけの高い能力を持つ。ロランとともに成人式の主役を務めたが、その日のディアナ・カウンターの帰還作戦で父を失う。メシェーの薦めもあってミリシャに入隊し、父の敵を討つことを誓う。飛行機のパイロットを経て、モビルスーツ・カプルのパイロットに。ロランの代わりに∀を操縦することも。



「よしなに」

5話。ソレイユから降りた彼女を迎えたグエンに、ディアナは自己紹介してからこう言う。その後、ディアナの尊大さを表す台詞としてしばしば登場。

「まずは挨拶が先ではありませんか？」

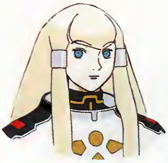
7話。親睦パーティの席上で突然「なぜ戦いが終わらないのか？」と尋ねるロランにこう応える。言葉は厳しいが、ロランの真意はディアナに伝わる。

「戦場にならなくても、砲弾が飛んできたら死ぬんですよ！」

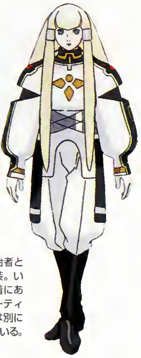
20話。ここから逃げるようにアニスを説得した際の台詞。キエルとして過ごすうちに、現実の戦争がどういうものか体験したからこそ出た台詞だろう。

「こんな私にもそんなことがあるんでしょうか？」

21話。∀で洗濯した時に出たシャボン玉にうっとりしつつも自分を責めていたディアナを、ロランが「神様のご褒美ですよ」と慰めたのに応えた台詞。



⬆ディアナの瞳にはキエルと違い、白いハイライト部分がない。唇が青いのは、月特有の化粧法のようだ。



➡月の統治者としての正装。いわば仕事着にあたる。パーティ用ドレスは別に用意されている。

孤高を貫く月の女王

Dianna Soriel

ディアナ・ソレル

■CV/高橋理恵子

月の女王。19才。ムーンレィスを治める一族ソレル家の末裔。ディアナ・カウンターを組織し、地球への帰還作戦を指揮する。キエルと入れ替わって一地球人として過ごすうちに、この作戦が早急すぎたために地球との間に戦いが起こってしまったこと、さらにはディアナ・カウンターや月でも不穏な動きが出てきたことを知る。ちなみにソレル家はかつて、月で人々が生活できるように生態系を築くための実験を行っていた。

■STORY#01-27

#01	川でおぼれたロランを助けようとするキエルの姿にディアナが重なる。
#03	ロランを訪れたキースが持っていたロケットの中に、ディアナの写真が。
#05	ディアナ・カウンターの旗艦ソレイユに乗り、地球に降り立つ。
#06	ミリシャに襲撃されつつも無事ボストニア城に入る。地球との交渉再開。
#07	地球とムーンレィスの理解を深めるため、パーティの開催を提案する。
#08	ディアナ・カウンターに、暗殺事件が解明するまでは戦うなと命ずる。
#09	コレンが恩赦になったことで、ムーンレィスが一つでないことを感じる。
#10	キエルと二人で会い、入れ替わり、そのままハイム氏の墓参りをする。
#11	ビシニティのハイム家におり、地球の自然の素晴らしさを感じている。
#12	キエルのままでディアナとして振舞い、コレンを制止しようとする。
#13	100年前の恋人の子孫と出会い、恋人が約束を守っていたことを知る。
#14	ウィル・ゲイムがDCへ行くのを止めようとするが聞き入れられない。
#15	キャノンでミリシャと戦うウィルを止めることも助けることもできない。
#17	ムーンレィスの建国式典を知り、交渉再開を願うグエンとソレイユへ。
#18	ディアナ暗殺未遂を知り、入れ替わりをロランに告白して協力を要請。
#19	地球人になりきり戦争回避の手段を見つけることを決意。
#20	戦場が近付いているのに逃げようとしないアニスを必死に説得する。
#21	リリの意地悪で野戦病院で働くことになるが、新しい経験を心から喜ぶ。
#22	月の技術者に変装したハリーにソレイユへ帰るよう説得されるが拒否。
#23	テテスの死で、自分がすべての罪の源であるという思いにとらわれる。
#24	レット隊を知り、戦争の暴走を止めるため月へ帰ることを考える。
#25	歩いてソレイユへ行こうとしたところ、コレンに会って彼の車へ乗る。
#26	コレンのガンダムにこだわる心を知り、思いを遂げるようロランに頼む。
#27	ハリーとともにソレイユへもどる。核の爆発を見て、和平を誓う。

■STORY#01-27

#01	成人式の前に妹ソシエと川で身体を清めていた際、偶然ロランを助ける。
#02	ボストニア城での舞踏会の途中で、グエンに無線機を見せられる。
#03	母の元を離れてグエンのそばにつき、ムーンレィスとの交渉を見聞きする。
#04	父の死を知るが、速記者として会議に参列し月と地球の交渉決裂を目撃。
#05	母とビシニティの自宅へ帰る。ソシエを連れ戻そうとするが失敗。
#06	グエンの秘書役として初めてディアナに会い、ボストニア城に迎える。
#07	グエンの命でロランにドレスの着方、化粧、ダンスなどの貴婦人修行を。
#08	ボストニア城でソシエやグエンと話しつつ、戦争に対しいろいろ考える。
#09	ソシエがホワイトドールに乗ることを許可したグエンに不信感を抱く。
#10	ディアナと入れ替わる。自分の父の墓参りをした時の彼女の行動に感動。
#11	ディアナとしてソレイユにもどる。ミリシャの攻撃を受けたため離陸。
#13	ソレイユで移動中、「キエル」を見つけ出すようミランに強く頼む。
#14	ミランに建国宣言するようすすめられる。戦いだけは回避しようとする。
#15	対面した際ウィルに気付かなかったことでハリーの注意を引いてしまう。
#17	ダストブローは地球人の呪いだというムーンレィスを鎮めようとする。
#18	テテスの攻撃を避け、建国式典では建国宣言せず交渉再開を呼びかける。
#19	ムーンレィスの女王制度を良しとしない勢力についてハリーに問う。
#21	軍部のウィルゲム破壊計画を知って、ハリーにディアナ救出を依頼する。
#22	ミランがウィルゲム攻撃を許可したので、ディアナ救出をハリーに命令。
#23	フィルらに裏切り者扱いされるハリーを調査に行ってもらったと庇う。
#24	ハリーに対してかなり心を許していることがわかる。
#25	ウィルゲムが離陸しそうなので、やむを得ず攻撃許可を与えてしまう。
#26	ゼノア隊がモビルスーツがあるかもしれない遺跡を発見したことを知る。
#27	ディアナから平和のために、もう少し女王を勤めてくれと頼まれる。

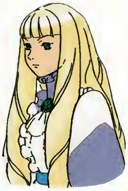
大きく成長した少女の思い

Kihel Heim

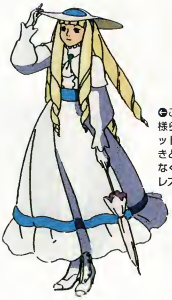
キエル・ハイム

■CV/高橋理恵子

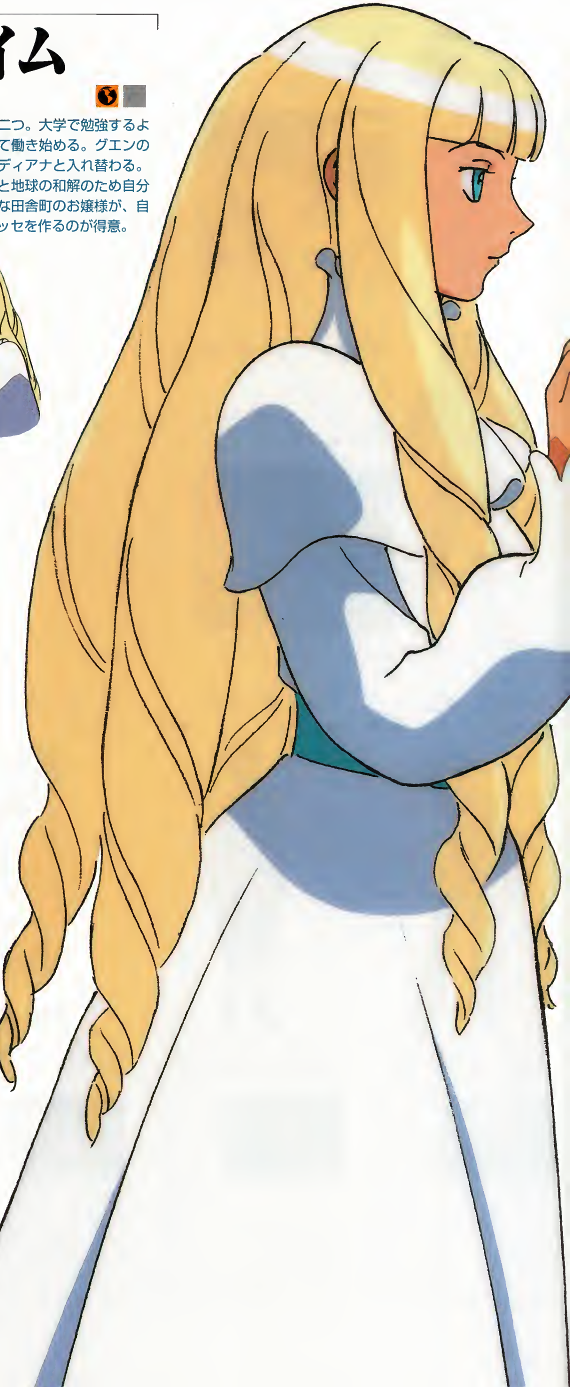
ハイム家の長女。17才。月の女王ディアナと瓜二つ。大学で勉強するより実社会で働く時代と考え、グエンの補佐として働き始める。グエンの考えを全面的に肯定しかねると思い始めた頃、ディアナと入れ替わる。ムーンレィスやその技術に直接触れるうち、月と地球の和解のため自分は何をすべきなのかを考えるようになる。聡明な田舎町のお嬢様が、自分で考えて行動するようになった。マロングラッセを作るのが得意。

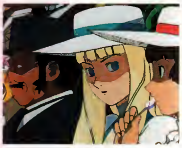


➡瞳に白いハイライト部分がある方がキエル。縦ロールはクセ毛ではなくセットしているよう。



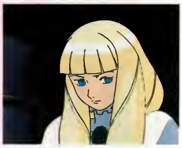
⬅この時代のお嬢様らしく帽子がセットに。フリル好きというわけではなくシンプルなドレスも持っている。





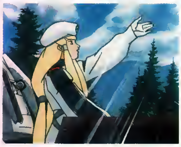
「お行儀悪いでしょ！」

２話。ミリシャのパレードを見学しながらソシエのキャンディを取り上げて言う台詞。ＣＶの高橋理恵子が「姉妹らしさが出ている」とベストシーンに。



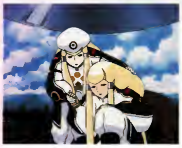
「グエン様の言いなりになりすぎているのじゃあ…？」

９話。ソシエを戦いに駆り立てようとするグエンの態度に、キエルの心に初めてグエンに対する不信感が生まれた。自分で考えて行動する第一歩だ。



「わたしたちは、この目も鼻も唇も同じです」

18話。キエルが自分で考えた言葉での演説となった建国宣言。ディアナに「私以上に私の心を語るキエルにムーンレィスを任せてもいい」と思わせた。



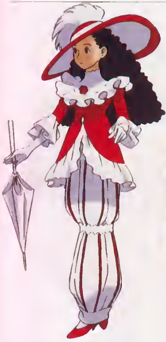
「長寿であることがめでたいものではないと思い至りました」

27話。ソレイユへ帰ってきたディアナへの言葉。ディアナのふりをしている間、キエルが必死にディアナを理解しようとしていたことがうかがわれる。

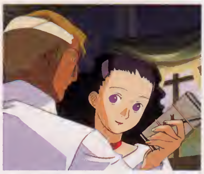
Liry Borjarno

リリ・ボルジャーノ

■CV/小林 愛



「子供の頃の
お返しですわ」



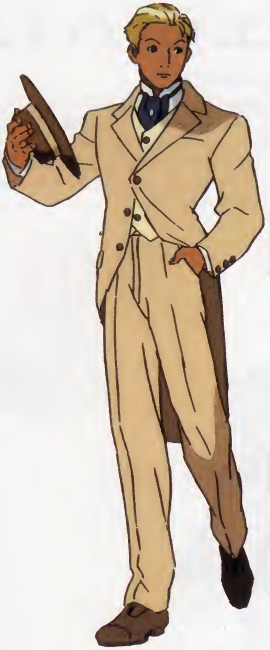
17話。建国記念式典の招待状を受け取ろうとするグエンに。キエルへの嫉妬の表れか。

ルジャーナ領主ボルジャーノ公の末娘。16才。ノックス崩壊後、グエンに頼まれ彼が再び表舞台に出られるよう協力。一見お気楽でわがままなお嬢様だが、人や事態を見抜く力を持つ。1話でグエンの飛行船に乗っていた黒髪の少女も彼女。ちなみにボルジャーノ公は13人の子持ちとか。

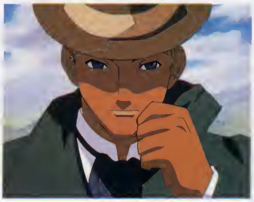
Guin Sard Rhineford

グエン・サード・ラインフォード

■CV/青羽 剛

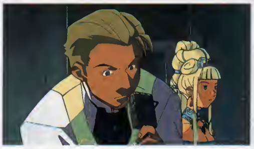


「私は、このまま消えていく男ではありませんよ」



⬆12話。イングレッサ脱出後、迎えに来てくれたリリに言う台詞。これにグエンのすべてが凝縮されている。

ラインフォード家の御曹司。19才。イングレッサ領主メッサー・ラインフォードの孫。産業革命を起こそうとする革命児であり、ムーンレィスに対する自衛策としてミリシャを設立した。ノックス崩壊後はリリを頼る。ロランをローラと呼ぶ。

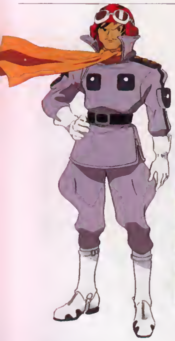


⬆領主の跡継ぎであり、新しい技術を理解し、ミリシャを設立した者として、ムーンレィスとの交渉の中心に。だがその考えは、技術革新に偏りすぎたようだ。

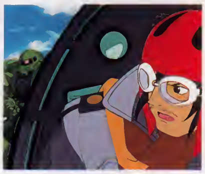
Gavane Goonny

ギャバン・グーニー

■CV/大塚芳忠



「遅いぞ! イングレッサの嬢ちゃんたち!」



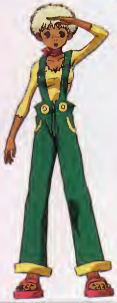
20話。対レット隊戦の援護にきたカプルへ。この頃はまだソシエを嬢ちゃん扱いする。

ルジャーナ・ミリシャの機械人形部隊であるスエサイド隊の隊長。ボルジャーノンに乗る。ソシエにプロポーズしたことで周囲に波紋を投げかけるも、27話で核爆発の犠牲となって死亡。直前にソシエに贈ったウェディングドレスは、ルジャーナ中の仕立て屋に手紙を出して作らせたもの。

Miashei Kune

メシェー・クン

■CV/鬼頭典子



「あたしはあんたが
一番わかんないわ」

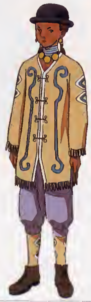
26話。「わからない」と言い合うソシエとロラン。最後にロランにこう言い放つ。いい突っ込みだ。

飛行機屋ラダラム・クンを父に持つ、ソシエの女友だち。18才。イングレッサ・ミリシャの飛行機部隊に入り、やがてカプルのパイロットに。負傷のため一時前線から撤退するも無事復帰。

Joseph Yaht

ジョゼフ・ヨット

■CV/佐藤せつじ



「…!? そりゃ、あるさ。
男の妄想って奴でね」

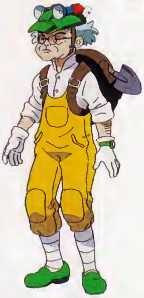
25話。フランに「私との結婚を考えたことがあるか」と聞かれての答え。なかなか味な台詞だ。

シドの弟子。23才。発掘旅行中のシドが現地で雇い、以来弟子となった。ミリシャのジャラピィ隊の隊長となってハイヒール(フラット)を操る。後にアデスカ近辺のマバ族の出身と判明。

Sid Munzer

シド・ムンザ

■CV/野島昭生



「理屈だけで世の中が
動くわけじゃないし」

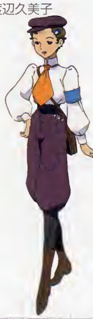
2話。成人式を見て馬鹿にするジョゼフへ。誰よりも技術を知るシドの台詞と思うと感慨深い。

土地改良や山の資源を掘り当てる山師であり、黒歴史研究家。75才。黒歴史にある宇宙時代の遺跡の機械人形や空飛ぶ船などが埋蔵されていると思われるマウンテン・サイクルを発掘。

Fran Doll

フラン・ドール

■CV/渡辺久美子



「…?? 新聞が
出ていない?」

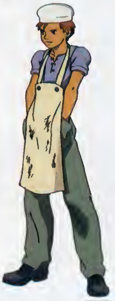
25話。ムーンレィスの略奪を取材中、ボルジャーノ家が新聞発行を止めていると知りショック。

ロラン、キースとともに地球へ降下してきたムーンレィスの少女。17才。印刷工からノックス・クロニクル記者となる。戦争の中、自分は新聞記者としてどうすべきかをいつも考える。

Keith Laijie

キース・レジェ

■CV/福山 潤



「軍事技術って、大人の男
のおもちゃなんですから」

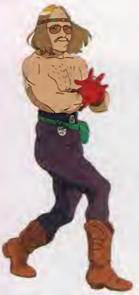
23話。グエンの認識が甘いディアナへ。商売のせいかキースの思考回路はかなり大人びている。

ロランとともに地球へ降下してきたムーンレィス。17才。地球人、ムーンレィスの区別なくパンを売り、パン工場を手にした。その近隣は中立地帯として戦域から除外される扱いを受ける。

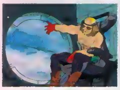
Muron Muron

ムロン・ムロン

■CV/立木文彦



「ディアナ・カウンターに戻る以上は手柄をたてる！」



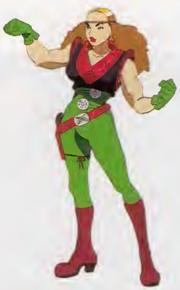
20話。スエサイド隊及びカプルと交戦する際の台詞。レット隊の置かれた立場がよくわかる。

レット隊の副官格。厳つい外見に似合わずオネエ言葉を操る。隊長であるキャンサーのことも、ディアナ同様、大事に思っている。かつて地球へディアナと来たアンキーラ・ムロンの子孫。

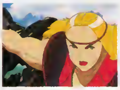
Cancer Kafka

キャンサー・カフカ

■CV/高乃 麗



「証明してやる、あたしたちがムーンレィスだってことをね！」



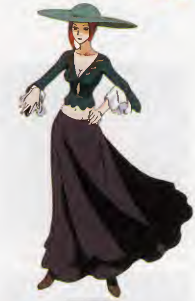
24話。ディアナ・カウンターが独特の文化を持つレット隊を信用していないと知り、こう言う。

地球に降下したムーンレィスの末裔を集めたレット隊の隊長。ムーンレィスであることを誇りに思い、ディアナへの忠誠心が強い。その昔ディアナと地球へ降りたコウジン・カフカの子孫。

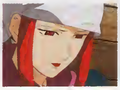
Teteth Halleh

テテス・ハレ

■CV/冬馬由美



「こんなことで作戦がダメになっちまわないよね」



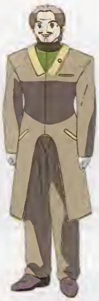
23話。∀がキースのパン工場に現れたことで不安がり、母の分身の人形ワーニャに話し掛ける。

まずウィルの居候となり、後にテイトという名でキースのパン工場で働く。23才。母が地球人のムーンレィス。迫害を受けたため名誉市民となるべく暗殺等を請け負い、23話で死亡。

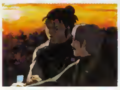
Miran Rex

ミラン・レックス

■CV/曽我部和恭



「人はパンのみにて生きるにあらず」



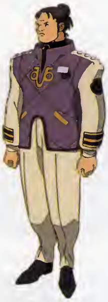
22話。「されど所詮はパンがなくては生きてはいけぬ…」と続く。行政官としての苦悩が表れる。

ムーンレィス。ディアナ・ソレルの第一の側近であり執政官。最初はディアナ同様、地球との交渉に積極的だったが、ムーンレィス帰還民の亡命が増えるに従い、フィルら軍部に近付く。

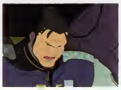
Phil Ackman

フィル・アッカマン

■CV/小山剛志



「いかにも蛮族がやりそうなことを！」



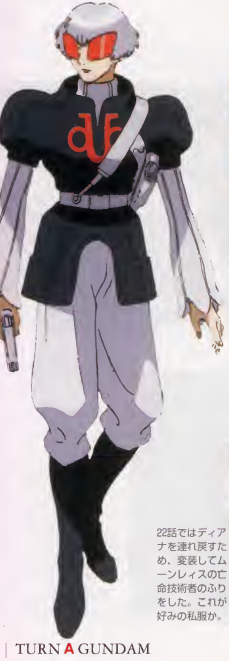
6話。アーク山で∀がハンマーを持ち出したのを見て。彼にとって地球人はすべて蛮族なのだ。

ディアナ・カウンターの大尉。25才。地球制圧の強硬派。あくまでも軍人の立場から物事をとらえる。ポゥへの優しい態度も本心から出たものかは不明。サンベルト移動時に少佐へ昇進。

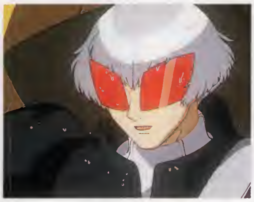
Harry Ord

ハリー・オード

■CV/稲田 徹

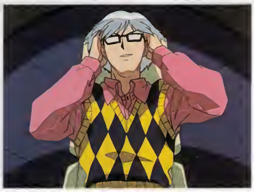


「地球の雨とは暖かいものだな！」



4話。ムーンレィス第二次帰還船団としてスモーで降下しながら。地球の自然に心の底から感動している。

ディアナ・カウンターの中尉。18才。ディアナ親衛隊の隊長であり、スモーのパイロット。ディアナの護衛に命を懸けている。実は月の低層階級の出身。父は簡易冷睡で死亡し、母は冷睡中。27話でキエルを守った功績を認められ大尉に。

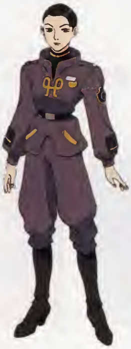


22話ではディアナを連れ戻すため、変装してムーンレィスの亡命技術者のふりをした。これが好みの私服か。

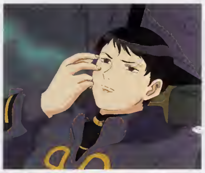
Poe Aijee

ポゥ・エイジ

■CV/中西裕美子



「椅子に坐っているだけで地球に帰れるのか？」



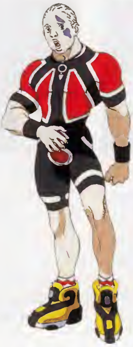
4話。ミリシャと応戦中、アジに撤退命令を出されての台詞。司令部と前線のかい離か。

ディアナ・カウンターの少尉。20才。多くはウォドム、時折はウァッドを操るパイロット。「戦争拡大の原因」「泣き虫」「フィルの言いなり」との印象が強いが、最初の頃はフィルの無茶な命令に従うふりをしながら実は逆らっているなどの態度も見せていた。サンベルト移動時に中尉へ昇進する。

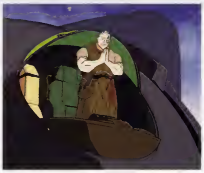
Corin Nander

コレン・ナンダー

■CV/川津泰彦



「お前は白い悪魔だってなァ」



26話。ゴドウィンに乗りヒートホークで∀の張りぼての首を叩き斬った後に言う台詞。

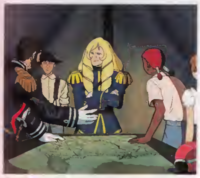
ディアナ・カウンター軍曹。軍刑務所を地球帰還作戦の恩赦で出て地球へ来た。∀をガンダムと呼ぶ。12話で自分のモビルスーツ・イーゲルを失った後は行方不明だったが、23話で記憶を欠落させた放浪僧の風体で再登場。普段は平穏で木彫の像を作っているが、∀を見るなり戦おうとする。

Mallygan

マリガン中佐

■CV/石丸博也

「そんなに不服
なのかね？」



14話。ミハエルにルジャーナ・ミリシャの指揮下へ入れと迫る台詞。かなり高圧的だ。

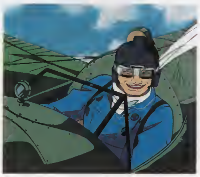
ルジャーナ領のミリシャの指揮官。イングレッサ・ミリシャへ指揮下に入れと迫ったり、精鋭部隊の隊長ギャバンと民間人の娘ソシエの結婚に反対したりと、ルジャーナの人間としての気位が高い。リリを「お姫様」と呼ぶ。髪の毛は実はカツラらしい。

Ladderum　Kune

ラダラム・クン

■CV/沢木郁也

「よおーし、見てろよ！
新型機の性能を！」



1話。ヒップヘビーに乗ってメシェーと会話を交わす、パイロット時代のラダラム。

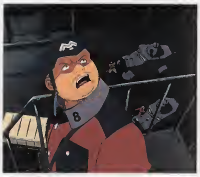
ビシニティの飛行機設計技師兼パイロット。自ら仕込んだ娘のメシェーがカプルのパイロットであるのを自慢に思う。宇宙船発掘現場で働いた後に、ロランが艦長を務めるギャロップで整備などに携わる。技術者同士のせいか、ホレスとも仲がいい。

Yanny　Oviess

ヤーニ・オビュス

■CV/桐本琢也

「カカシごときに
やられるか！」



3話。撤退直前にウォドムへ吐く台詞。威勢はいいが、戦力差はどうしようもない。

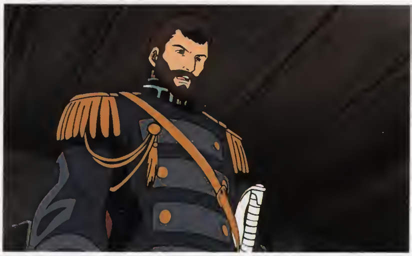
ミリシャの軍曹。28才。血気盛ん。砲車隊の実践指揮官だったが、11話のソレイユ攻撃時にはモビルリブを操る。建国式典の際は酒場の従業員になりすましディアナ・カウンターの兵士を酔っぱらわせる。ミハエル同様、ギャバンとソシエの結婚に反対。

Michael　Gern

ミハエル・ゲルン

■CV/金尾哲夫

「利用、ですか？」



11話。グエンとの会話の際の台詞。グエンがミリシャを交渉のカードとしか思っていないことを知り愕然。

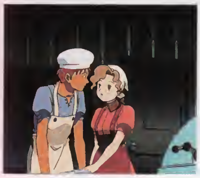
ミリシャの大佐、イングレッサ方面の司令官。35才。軍人としての誇りと信念を持つ。キースからフラットを買い取ったり、ムーンレィス技術者の亡命を助けたりもする。イングレッサ崩壊後はルジャーナ・ミリシャと合流。反発しあうもののディアナ・カウンターの建国式典では共同で騒動を起こす。だがギャバンとソシエの結婚には反対。

Verlaine Bond

ベルレーヌ

■CV/高森奈緒

「今は、このお金、
助かるわ。ありがとう」



7話。敵であるムーンレィスの注文にためらうキースに。商人の娘らしく現実を見て。

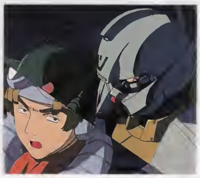
キースが働くパン屋ドンキーの親方の一人娘。キースの許嫁らしい。父の入院後も仕事し、工場を得たキースに感謝する。ムーンレィスとも地球人とも商売するのは彼女の影響？　父の名はジョルジュ・ボンド（George Bond）。アニスは母方の祖母。

John

ジョン

■CV/土屋利秀

「ただの爆弾じゃ
ねえよな」



27話。隊長ギャバンが核爆発に巻きこまれたのか、心配して。

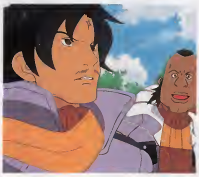
エイムズと同じ、ルジャーナ・ミリシャのスエサイド部隊隊員。ギャバンの部下でボルジャーノンのパイロット。エイムズと共に行動することが多い。27話でもロランに言われるまで、エイムズとロスト・マウンテンのギャバンを助けにいこうとした。

Aims

エイムズ

■CV/松本　大

「それでハイムのお嬢さんを
お嫁さんにしたいんですね」



24話。ギャバンがソシエと結婚するのは、アメリアのミリシャ結集のためかと思って。

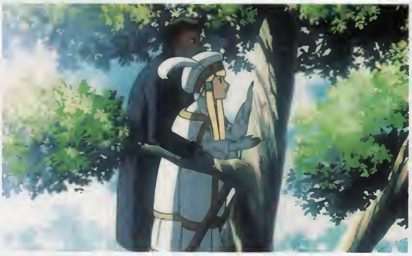
ルジャーナ・ミリシャの機械人形部隊スエサイド部隊の隊員。ギャバンの部下でボルジャーノンのパイロット。ソシエにプロポーズしたギャバンを何だかんだとからかいながらも、実はその幸せを心の底から望む。骨張った厳つい顔をした大男。

Will　Game

ウィル・ゲイム

■CV/坂口賢一

初代「ディアナ様がお力をさずけて下さるからです」



14話。初代ウィルとディアナの、想い想われる者同士らしい仲睦まじい回想シーンからの台詞。

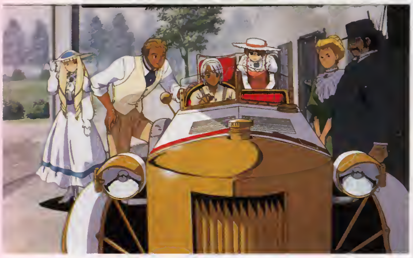
初代ウィルの子孫。26才。先祖の恋の確認のためキングスレーの谷の宇宙船を掘り出し月へ行こうとする。テテスにそそのかされてキャノン・イルフートでディアナ・カウンターへ合流。15話で戦闘により死亡。初代ウィルは、100年前地球に来たディアナが恋した青年。東方の国の宝物である極楽鳥の羽を探しに行き、帰国途中に飛行船で遭難。

Diran Heim／Mrs. Heim

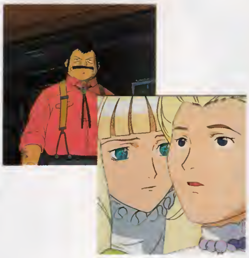
ハイム夫妻

■CV/長　克己　CV/北條文栄

夫「新時代の産業を興そうとなさる俊英でいらっしゃる」



1話。工業化社会を作りたいというグエンを誉めたたえて。工業化社会は鉱山の増産にもつながるのだ。



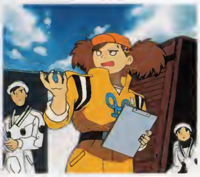
キエルとソシエの父母。イングレッサ郊外にあるビシニティでハイム鉱山を経営している。余所者のロランを鉱山で雇う。イングレッサ領主のラインフォード家と親しく、その工場で使う鉄やアルミニウムの精錬を頼まれて納品しているらしい。だがムーンレィスの攻撃でハイム氏は死亡し、ハイム夫人は現実を認識することができなくなる。

Anan

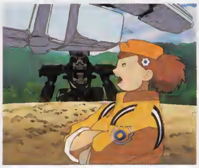
アナン少尉

■CV/椿真由美

「今回送られて来た火薬の総量より危険な奴だ」



9話。コレンが地球にやって来たことを知り、コレンのことをこのように的確に表現。



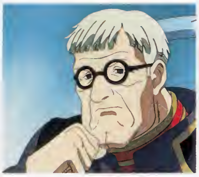
ディアナ・カウンター補給部隊士官。コレン・ナンダー独立部隊が地球へ送られてきたことをいち早く察するなど、補給という地味な職務を真面目にこなしている。だが独特の風習を持つレット隊を、地球に住み続けておかしくなった恥さらしと罵る。

Audi

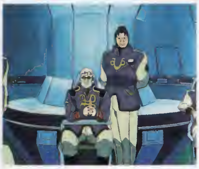
アジ大佐

■CV/仲野　裕

「黒歴史のことは、聞いたことがないのかね？」



4話。ムーンレィスの元へ来たロランに対して。月と地球の黒歴史への関心の差が。



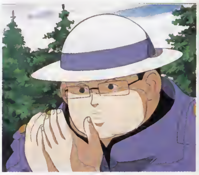
ムーンレィスの第一次帰還作戦を指揮したディアナ・カウンターの司令官。4話で、地球の領主達との交渉時に、グエンの縁戚にあたる長老イルの放った弓矢で殺される。もし生きていれば、フィルたち軍部が暴走するのを阻止できたかもしれない。

Horace

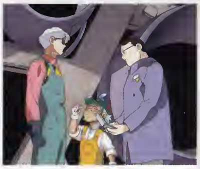
ホレス

■CV/掛川裕彦

「空気に触れると死滅するタイプですね？」



19話。ギャロップを覆っていたナノスキンに触れて言った台詞。技術者らしい。



ムーンレィスから地球側へ亡命した技術者。ナノ工学に詳しく、黒歴史の遺跡に興味を持つ。∀やウィルゲム、ギャロップの整備を行う。戦術を立てることもあるようだ。本人はムーンレィスを裏切ったつもりがないらしい。名字はニーベンという。

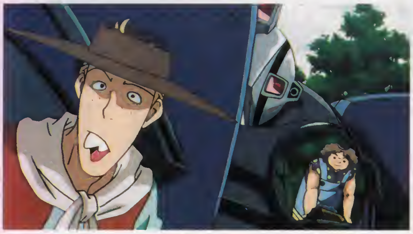
Bruno/Jacop

ブルーノ/ヤコップ

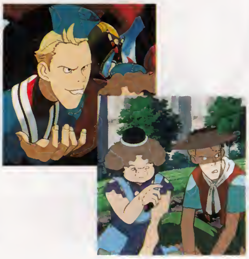
■CV/田中一成　CV/宇垣秀成

B「オレたちも手伝わなくていいのか？」

J「いいんだよ。もちっと優勢になってから行きゃあ!」



22話。ボゥのウォドムがウィルゲムを破壊しようとしてミリシャが防戦するのを隠れて見ながらの会話。



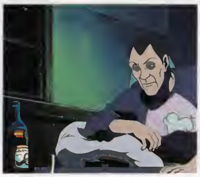
コレンの部下。ゴッゾーに乗る。テテスとも旧知の間柄。ブルーノはやる気はあるが頭は良くないらしい。ヤコップはやる気はないが頭はいいらしい。冷たい態度のディアナ・カウンターからゴッゾーで逃げ出し、アニス宅でロランと知り合う。∀を盗み出すつもりでギャロップに潜り込んだが、なぜかブリッジ要員に。頼りになるクルーだ。

Midgardo

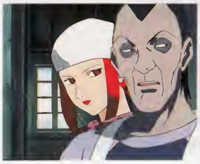
ミーム・ミドガルド

■CV/水野龍司

「成果は起きてからのお楽しみか」



23話。∀が動き出した音を聞いてのモノローグ。ここで寝るつもりが結局起き上がる。



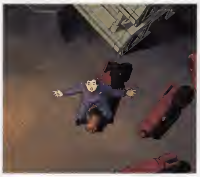
キースのパン工場の工場長。実はアグリッパの命令で地球に紛れ込んだムーンレィス。テイトと名乗るテテスにディアナ暗殺の指示を出した。作戦の失敗を知ると、露見を恐れすぐにテテスを射殺する。ゲンガナム第二大隊の予備役で、階級は大尉。

Zenoa

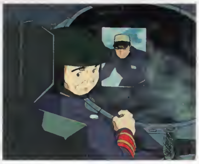
ゼノア大尉

■CV/室園丈裕

「逃げよう! みんなで!一刻も早く!」



27話。核弾頭を発見したスエサイド部隊に。だが核の恐ろしさは、地球人に伝わらない。



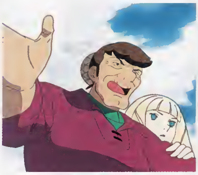
マウンテン・サイクルの調査隊を指揮するムーンレィスの士官。地球の山師たちも近付かないロスト・マウンテンを調査し、モビルスーツと共に核弾頭を搭載したミサイルを発掘してしまい、レット隊やミリシャも避難させようとする。名前はラルファ。

Anise Bell

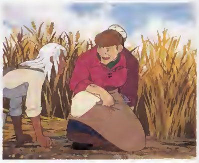
アニス・ベル

■CV/藤　夏子

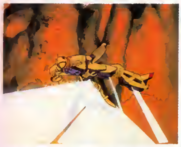
「おまんまを、誰から戴いてると思ってんだ！」



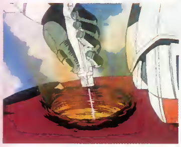
20話。「この土っころがみんな作ってくれてんだぞ！」と続く。土に生きる者の言い分だ。



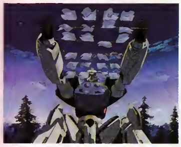
丘の上の一軒家で畑を耕す老婆。先祖は山師から土地をよくする黒い粉を買って、作物ができる畑を育てたらしい。ドンキーというロバを飼う。ディアナにソレルというハーブがあることを教えた。キースのパン屋のおかみさんの母でベルレーヌの祖母。



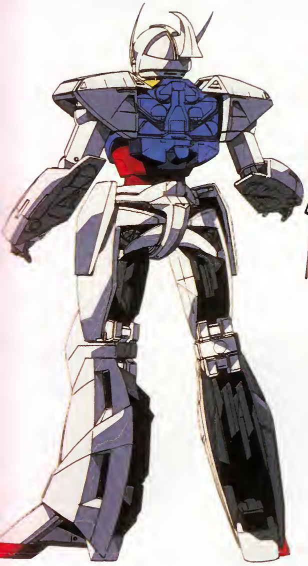
←12話。地下回廊でのコレンが乗るイーゲルとの戦いで、足場が崩れてマグマに落下する直前、両脚の裏につまっていたナノマシンが吹き出し、スラスターが作動して∀は舞い上がる。

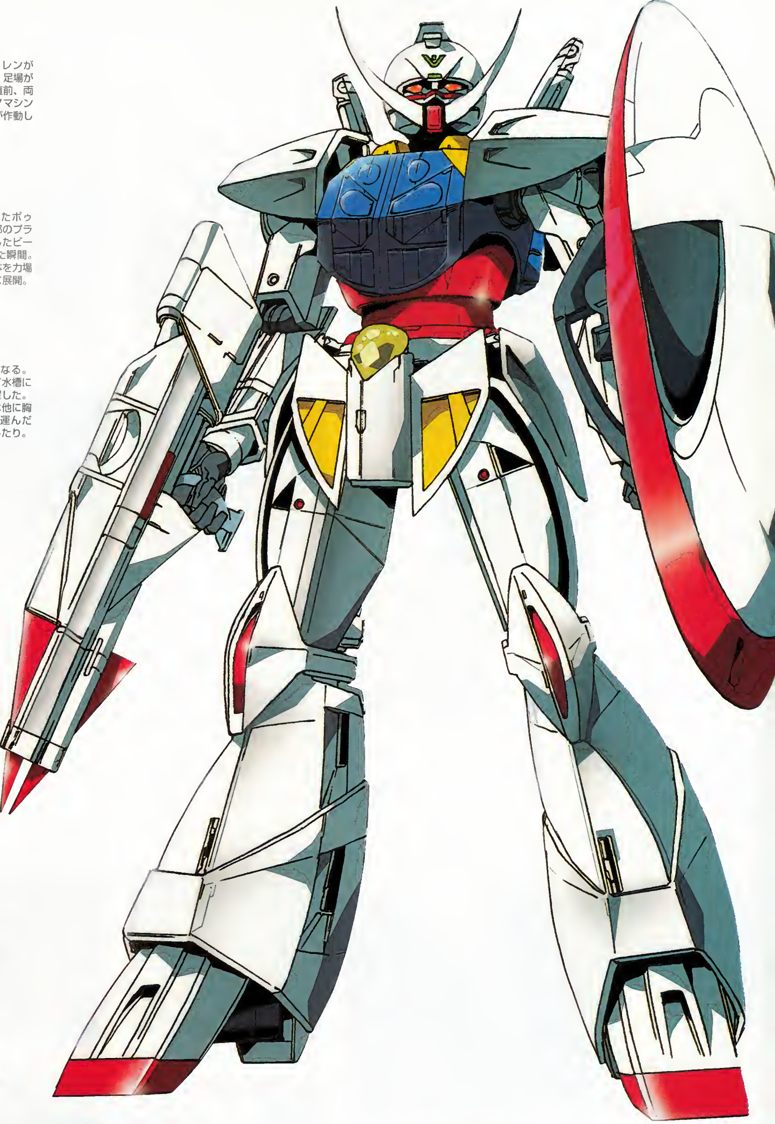


←19話。∀を捕獲しにきたポゥのウォドムの頭部に、背部のプラットフォームから取り出したビームサーベルをめり込ませた瞬間。この刀身は高エネルギー体を力場で封止したもの。使用時に展開。



←21話。∀が物干し場となる。その前には河をせき止めて水槽にし、手首を回転させて洗濯した。非戦闘に∀が使われた例は他に胸部ミサイルポッドで牛を運んだり、橋のかわりに車を通したり。



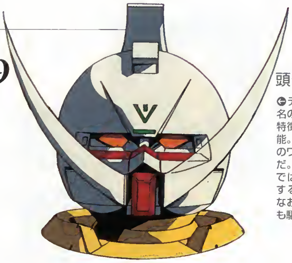


目覚めた白い神。その実体は?

ターンエーガンダムSystem-∀99

●∀GUNDAM/サイズ 20m弱

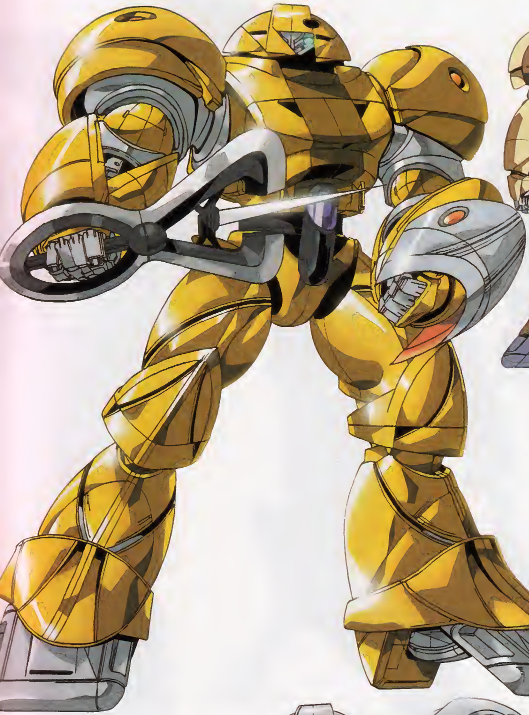
アーク山の麓にあるホワイトドールという石像から現れた。ミリシャは「機械人形」「ホワイトドール」、ディアナ・カウンターは「白ヒゲ」「ヒゲ」と呼ぶ。番号はシステムターンAの99プロダクトという意。ミリシャはWD-M01、つまりホワイトドール-ミリシャ01と分類。主な装備はシールド、ビームサーベル、亜光速の高エネルギー体を射出するビームライフルなど。ナノマシンによる自己修復能力があり、損傷程度なら機体それ自体が修復できる。

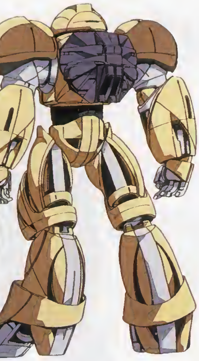


頭部

←デザイン的にはその名の通りの「ヒゲ」が特徴的な頭部は着脱可能。はめ込むのはほんのワンアクションでOKだ。そのせいか、10話では頭部が360度回転するシーンもあった。なお本体は頭部なしでも駆動可能である。

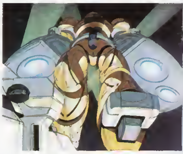
上記イラストはバンダイより発売の1/144スケールモデル・パッケージイラストです



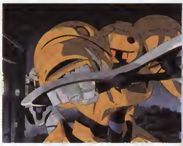


背面

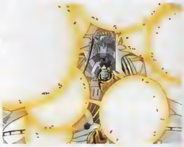
➊スモーはもともと∀を基に開発されたモビルスーツである。そのため背部、とくに下半身は∀とデザイン上の一致点が多い。



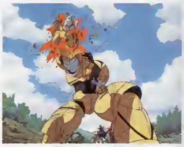
➡6話。空中機動用ユニットのスカートを装備すれば飛行可能。腰部左右に一対のブースターがある。ブースターは1基あたり主機1、補機6の計7発のジェット／ロケット・ハイブリットエンジン。



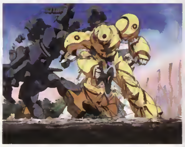
➡6話。ハリーはディアナが行方不明になったと勘違いし、∀に対してヒートホークを構える。このヒートホークはスモー専用の装備の1つ。格闘戦を得意とするスモーらしい武器ともいえる。



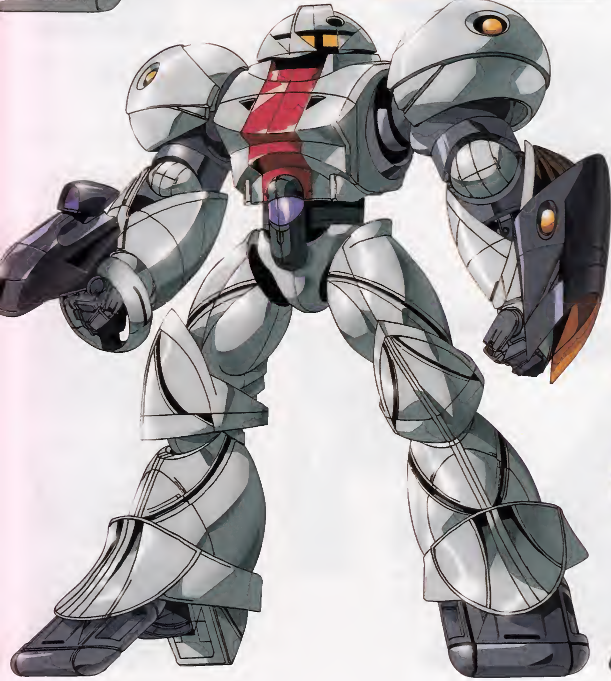
➡11話。ミリシャのソレイユ総攻撃の際は、ヒップヘビーを狙わず、落下する爆弾を1つずつビームライフルで撃破した。人的被害を出さないための措置だが、ハリーの射撃能力の高さを証明。



➡22話。キエルに扮するディアナを守るため、ハリーの乗ったスモーはウィルゲム防御に出た。IFBDによるバリアを張ったものの、ウォドムの強化型ビームキャノンに突破され、腕を失う。



➡26話。∀の危機を見て、コレンが操るゴドウィンをショルダーで突き飛ばすハリー機。一瞬の判断にも機体は素直に反応する。親衛隊専用機であり、さすがは格闘戦が得意なスモーらしい。

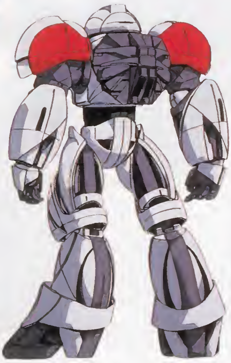


月の女王を守る金と銀の機体

スモー MRC-F20

●SUMO/サイズ 20m

ディアナ・ソレルの親衛隊が使用するモビルスーツ。名前は「Strike Unit for Maneuver Operation(機動戦闘ユニット)」の頭文字。地球の伝統的格闘技プレーヤーの名称の意も含む。番号はムーンレィス・コメモレイション・ファイター20の意味。ハリー専用機は金、一般隊員の機体は銀だ。



シルバータイプ

⬅一般隊員用の機体。ハリー専用機とデザイン的な違いはない。赤いアクセントが美しい。

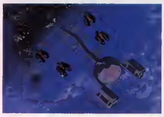
上記イラストはバンダイより発売の1/144スケールモデル・パッケージイラストです

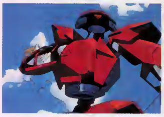
いろいろな部隊で使用される

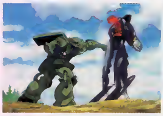
フラット FLAT-L06D

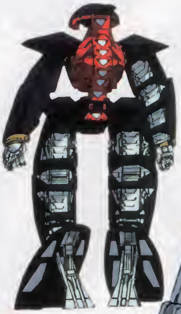
●FLAT/サイズ 20m

名前は平べったい形状に由来するらしい。ミリシャのフラットはハイヒールとも呼ばれ、ジャラビイ部隊隊長ジョゼフが乗る。これはカプル、ウァッド、モビルリブの混成部隊。ジャラビィはガラクタ自動車の意。

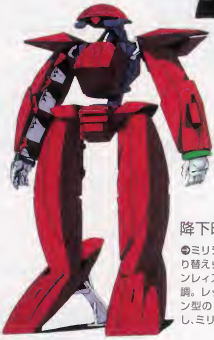

⬅1話。ロランたちの地球降下時。アバラ型の母艦に、変型フラットが6機ぶら下がっている。


⬅11話。キースから買い取ったミリシャのフラットは赤。何と火薬入り木箱を投げて攻撃。

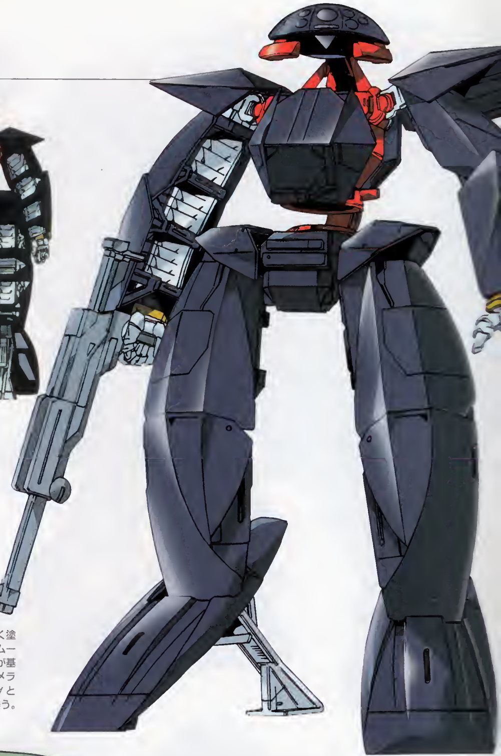

⬅20話。レット隊のフラット。高速震動して地中に潜ったり、遠距離からの実弾攻撃を防御。


背面

➡飛行型へと可変するためか、高速震動するという性能のためか、胴部に比べて異様に長い脚部の裏側は他のモビルスーツには見られないデザインとなっている。


降下時・レット隊機

➡ミリシャのフラットが赤く塗り替えられたのに対して、ムーンレィス用のフラットは黒が基調。レット隊はこれにブーメラン型のヒゲをつけてニセ∀とし、ミリシャの野戦病院を襲う。

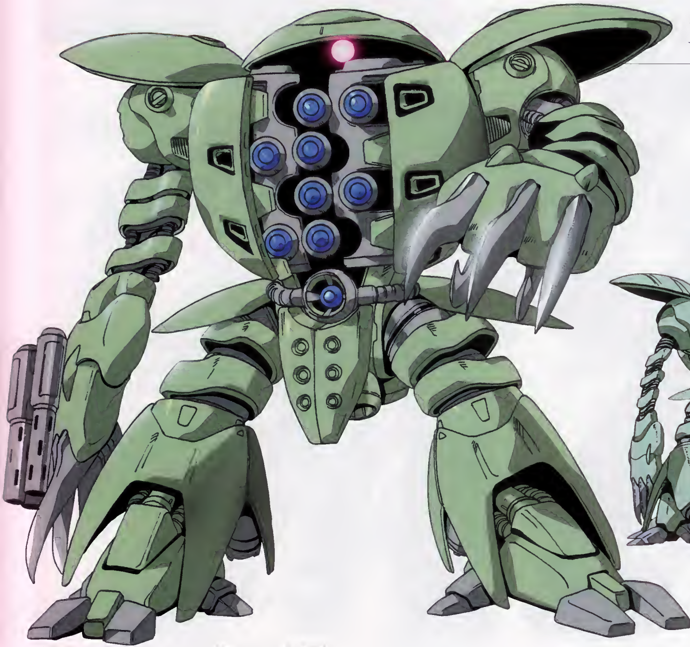


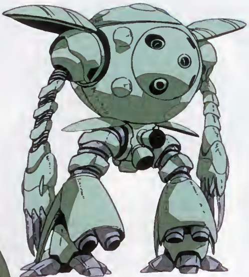
ミリシャが初めて発掘した

モビルカプル AMX-109

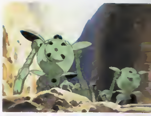
●KAPOOL/サイズ 13

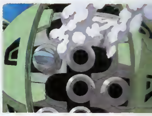
イングレッサ・ミリシャが初めて発掘した黒歴史のモビルスーツ。主なパイロットはソシエ・ハイム、メシェー・クン。飛行機乗りなら簡単に覚えられるほど、操縦は容易らしい。名前や番号はコンピュータのマニュアルに記載されていたものという。

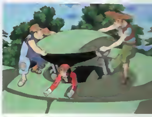



背面

⬆あっさりとした、ごくシンプルなデザイン。


➡5話。ミリシャに発掘された直後のカプル。飛行機乗りだったソシエやメシェーが操縦する。


➡19話。ウォドムを攻撃するソシエ。胸部の装甲が開き、穴部からミサイルが発射される。


➡24話。ソシエを止めるブルーノとヤコップ。頭頂部のハッチがコクピットの出入り口なのだ。

上記イラストはバンダイより発売の1/144スケールモデル・パッケージイラストです

小型だが素早い動きが特徴

ウァッド MRC-U11D

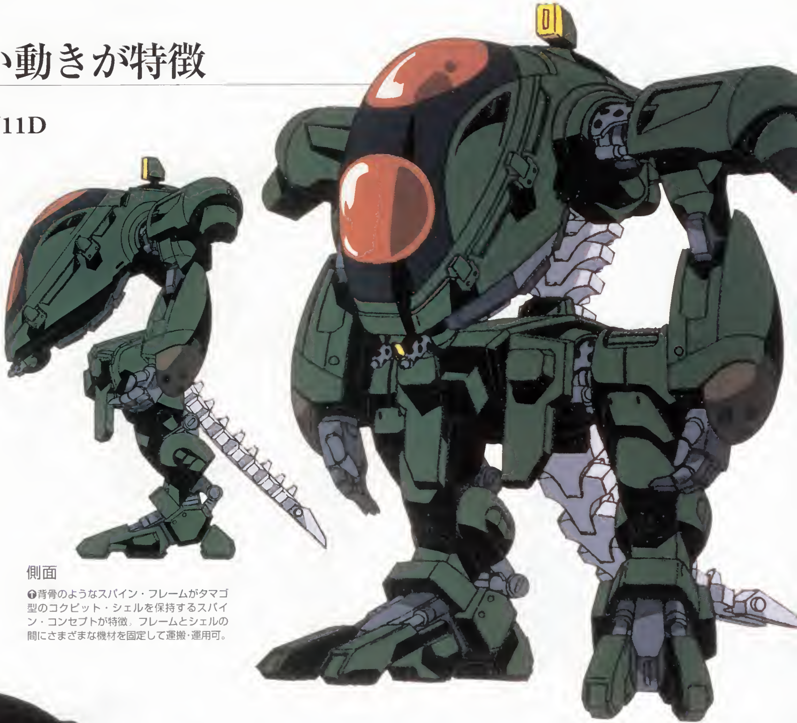
●WAD/サイズ 7m

正確にはモビルスーツではなく「Walking Dumpling」というカテゴライズの機体。名前も頭文字に由来する。番号はムーンレィス・コメモレイション（ムーンレィス暦記念）の汎用機11という意味。

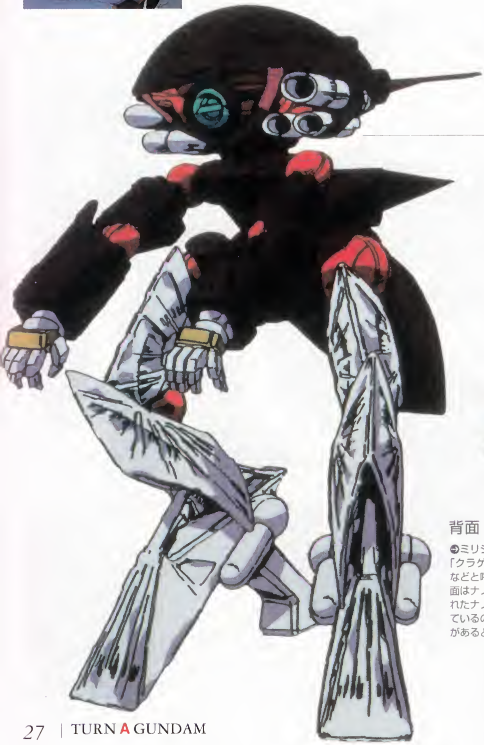
⬅4話。プラズマを発する捕獲器ジョイント・バスターで∀を感電させ、捕獲しようとする。

⬅9話。軍用だけでなく民間でも使用される。ゼノア隊はマウンテン・サイクルの発掘に利用。

⬅27話。ロスト・マウンテン付近での∀との戦い。スパイン・コンセプトはこのようにも変型。


側面

⬆背骨のようなスパイン・フレームがタマゴ型のコクピット・シェルを保持するスパイン・コンセプトが特徴。フレームとシェルの間にさまざまな機材を固定して運搬・運用可。

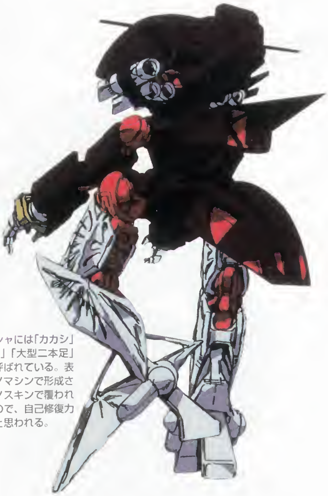


対艦戦用大型モビルスーツ

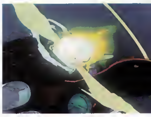
ウォドム JMA 0530（Model U）

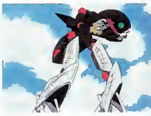
●WADOM/サイズ 40m

名前はウォーキング・ドームの略称に由来する。頭部にはミサイル、ビーム等多様な武器を装備している。主なパイロットはポゥ・エイジ。


背面

➡ミリシャには「カカシ」「クラゲ」「大型二本足」などと呼ばれている。表面はナノマシンで形成されたナノスキンで覆われているので、自己修復力があると思われる。


➡3話。混乱したポゥが、イングレッサで対艦用長距離ビームライフルを撃った。


➡19話。ビームなど多彩な武器を装備する頭部は、胴体から離れ単独飛行可能。

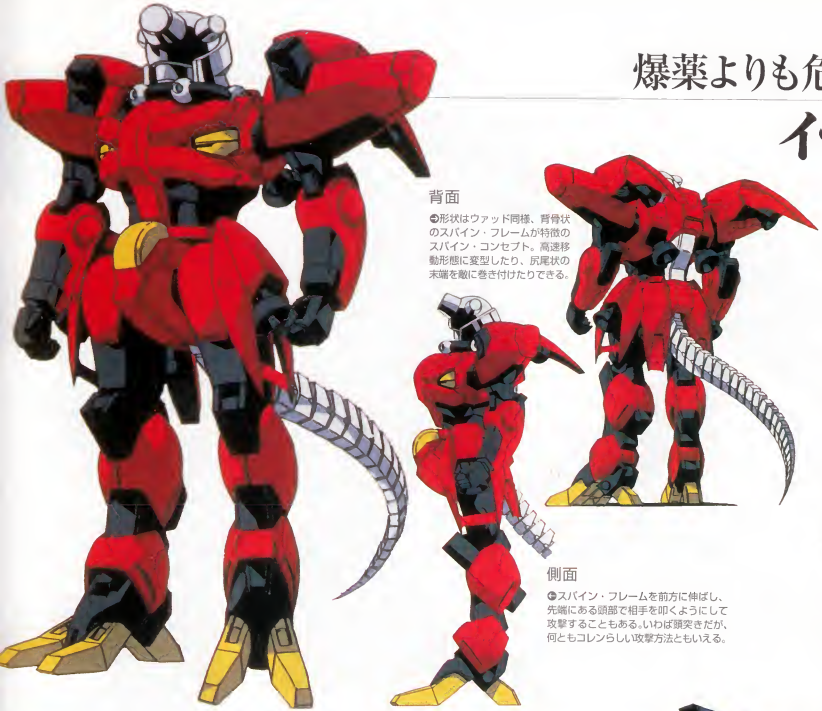
➡22話。試作品として頭部ジェネレーターを増設し、粒子砲の威力を増した。

爆薬よりも危険な男が搭乗

イーゲル TAF-M9

●EAGAIL/サイズ 21m

コレン・ナンダーが搭乗する可変型モビルスーツ。掘削用重機のシールドマシンをチューンナップし打突、切断、穿孔に使えるようにしたミンチドリルが主な装備。ただしこれはイーゲル標準ではなくコレン機のみ。

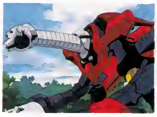


背面

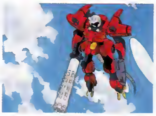
➡形状はウァッド同様、背骨状のスパイン・フレームが特徴のスパイン・コンセプト。高速移動形態に変型したり、尻尾状の末端を敵に巻き付けたりできる。

側面

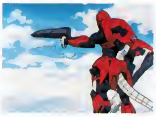
⬅スパイン・フレームを前方に伸ばし、先端にある頭部で相手を叩くようにして攻撃することもある。いわば頭突きだが、何ともコレンらしい攻撃方法ともいえる。



➡9話。イーゲルは高速突撃走行モードに移行できる変型機構を搭載しているのが最大の特徴。



➡11話。ノックスに向かう途中。ディアナ・カウンターが本気になれば、街一つ壊すのは簡単だ。



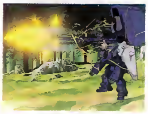
➡11話。ノックス攻撃の際にはミンチ・ドリルではなくビームライフルを使用していた。

DC→ミリシャで名前も変化

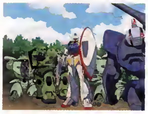
ゴッゾー/ゴドウィン NRS-P701/P701R

●GOZZO/GODWIN/サイズ 15m弱

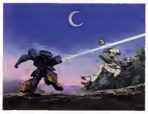
ゴッゾーはコレンの部下、ブルーノとヤコップが乗るモビルスーツ。下肢が細いので宇宙戦用と思われる。ゴドウィンはブルーノとヤコップがミリシャに加わったとき、破損したゴッゾーを修理、改装した機体。腕と脚はボルジャーノンのものと交換。



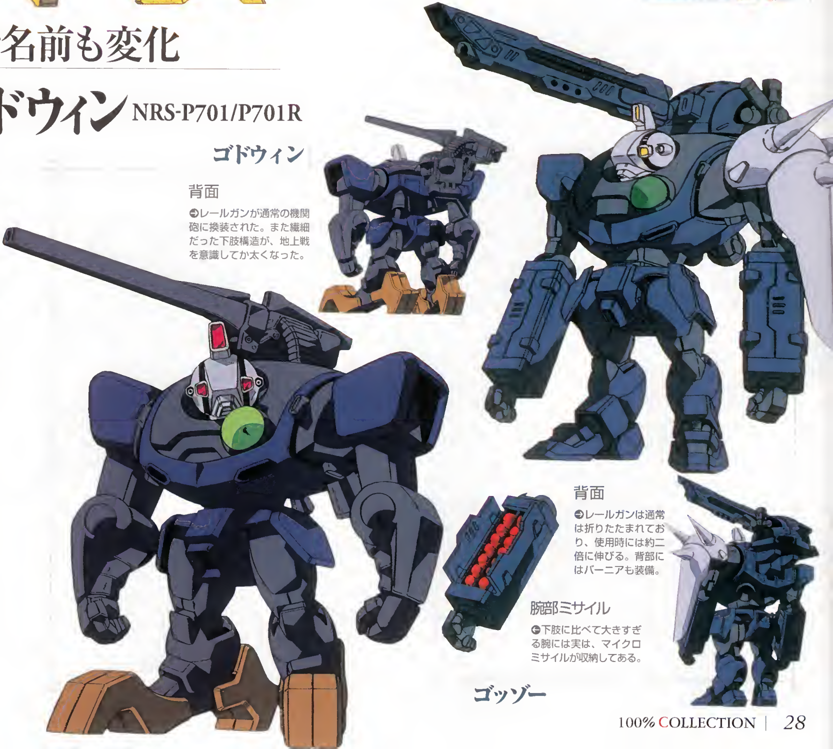
⬅12話。ゴッゾーの主要装備は、背部にある大射程のレールガン。イーゲルとともに∀と戦った。



⬅22話。ゴッゾーが改造されゴドウィンとなった。パイロットと共にミリシャの機械人形に。



⬅26話。コレンはゴドウィンを奪い、ヒートホークで∀を斬り本懐を遂げた。



ゴドウィン

背面

➡レールガンが通常の機関砲に換装された。また繊細だった下肢構造が、地上戦を意識してか太くなった。

背面

➡レールガンは通常は折りたたまれており、使用時には約二倍に伸びる。背部にはバーニアも装備。

腕部ミサイル

⬅下肢に比べて大きすぎる腕には実は、マイクロミサイルが収納してある。

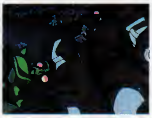
ゴッゾー

ルジャーナ・ミリシャの機体

ボルジャーノン MS-05/MS-06

●BORJARNON/サイズ 17.5m

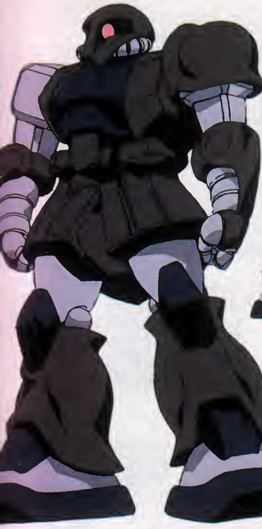
ルジャーナ領主ボルジャーノ配下のルジャーナ・ミリシャが初めて発掘したモビルスーツ。領主の名にちなんでこのように呼ばれる。クラッカー、バスーガ、マシンガンなどの専用武器も多数発掘されている。

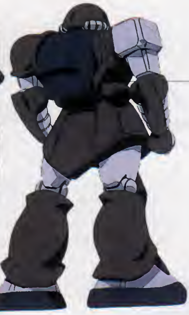


➔14話。機械人形部隊を持つ自軍の優位を疑わないイングレッサ・ミリシャの前に登場した。

➔17話。∀と力比べ。反発力がないという∀の弱点が明らかに。リリの登場で両者痛み分け。

➔24話。野戦病院を襲うレットン隊のニセ∀をマシンガンで攻撃。だがフラットとの火力の差は大。

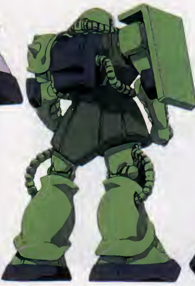


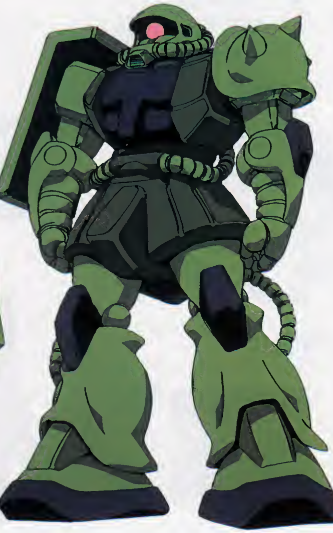


背面

➊一機のみ発掘された。外見上違うため隊長のギャバン機となる。いわゆる旧ザクだ。

ギャバン・グーニー機





ルジャーナ・ミリシャ機

ルジャーナ領からかなり多数発掘されたので、スエサイド部隊一般兵用に使用される。性能的には隊長機と大きく違わないので、後にギャバンもこれに搭乗する。いわゆるザク。

王子様になれなかった悲劇の機体

キャノン・イルフート SPA-51

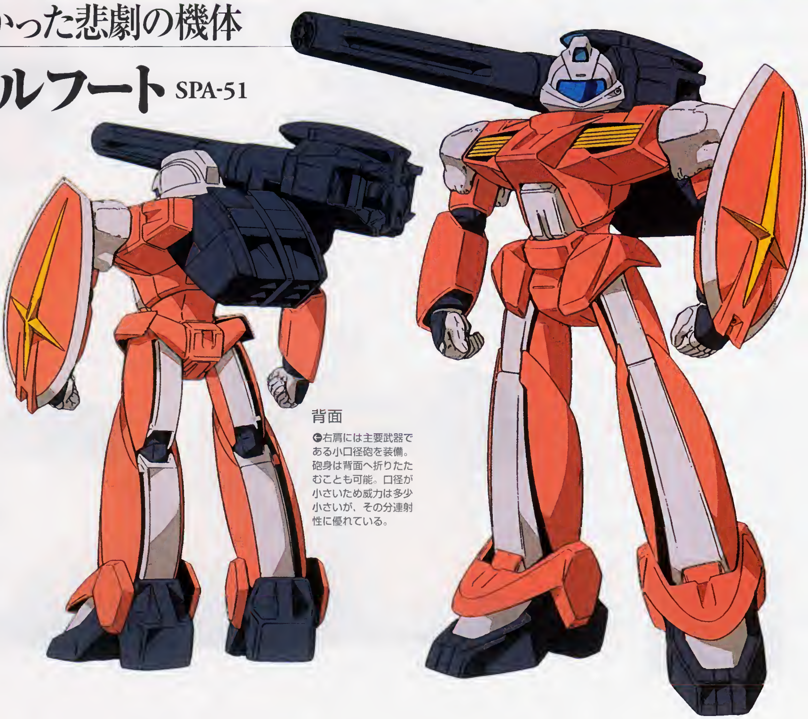
●CANNON ILLEFUTO/サイズ 15m弱

キングスレーの谷付近から発掘されたモビルスーツ。テテスにそそのかされたウィル・ゲイムは、これに搭乗してディアナ・カウンターと合流。スエサイド部隊の攻撃を一身に浴びて両腕、頭部、キャノン砲を失い沈黙。ウィル自身も命を落とした。

⊖15話。ディアナ・カウンターで整備されたことできれいになり、操縦性もアップしたらしい。

⊖15話。主な装備は背部にある小口経砲。単独でスエサイド部隊と戦うにはあまりにも非力だ。

⊖15話。大破して最期を迎える。ミリシャが引き取らなかったのは、破壊がひどかったからか。



背面

⊖右肩には主要武器である小口径砲を装備。砲身は背面へ折りたたむことも可能。口径が小さいため威力は多少小さいが、その分連射性に優れている。

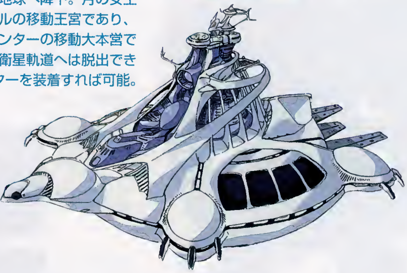
移動可能な月の王宮

ソレイユ

●Soleil

ディアナ・カウンターの旗艦。第三次帰還船団と共に地球へ降下。月の女王ディアナ・ソレルの移動王宮であり、ディアナ・カウンターの移動大本営でもある。単独で衛星軌道へは脱出できないが、ブースターを装着すれば可能。

⬅11話。ミリシャの原始的な攻撃を受けても傷一つ負わず、悠々と飛び立つ。ディアナ・カウンターのサンベルトへ移動したい勢力にとっては、いい口実だった。



正面

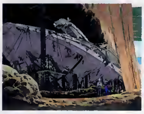
➡独特のフォルムを持った優美な艦体は、地球帰還作戦の開始と同時にナノマシンが数百年の歳月をかけて作り上げたものだ。同等艦を作り出すのは極めて困難。

黒歴史の空飛ぶ船が現実化

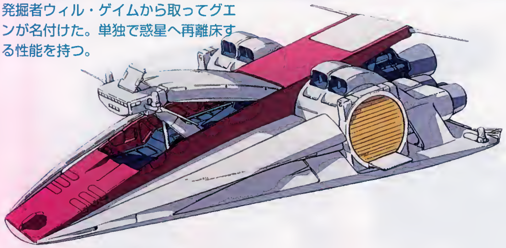
ウィルゲム

●Willghem

キングスレーの谷から発掘された宇宙戦闘船。ウィル・ゲイムの祖先が発見し、代々発掘し続けてきた。その名は発掘者ウィル・ゲイムから取ってグエンが名付けた。単独で惑星へ再離床する性能を持つ。



⬅23話。まだナノスキンが装着している。ディアナ・カウンターの艦船とは異なる時代のものと思われるが、なぜこの艦体がここに埋没していたのかは不明。



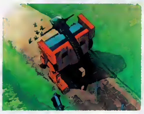
民間用重機の一種

モビルリブ MR-Spi 05Ω "JET STREAM"

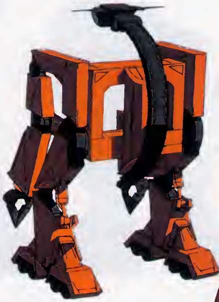
●Mobile Rib/サイズ 20m

建設現場など、主に民間で使用される汎用重機で、ウァッド同様モビルスーツではない。26話では∀の実物大張りぼて人形の搬送に使用されていた。重機メーカーが付けた商品名は「ジェットストリーム」。ミリシャ側に捕獲された機体もあるようで、ソレイユ攻撃時にはヤーニが操っていた。

⬅8話。ムーンレィスとミリシャの衝突を避けるために、∀に抑え込まれた。そもそも民間機であるモビルリブが、∀にかなうはずもない。

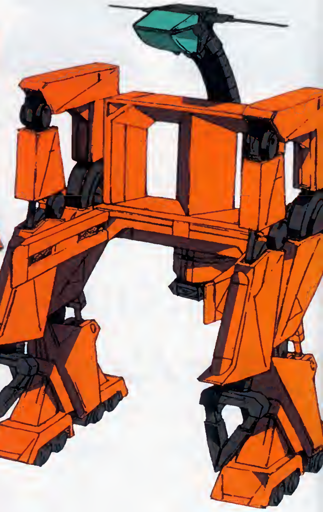


⬅8話。ムーンレィス帰還民の居住地をはっきりさせるため、フェンスを作っていた。これが結果的には地球の人々の怒りを誘うことになる。



背面

⬆複数の機体を接続して、四脚または六脚の巨大汎用機として使用することも可能だ。



正面

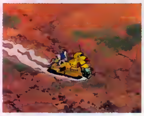
➡フレームの間隙には、いろいろな種類の輸送コンテナを固定して、運搬したり運用したりすることができる。

∀とロランの移動基地

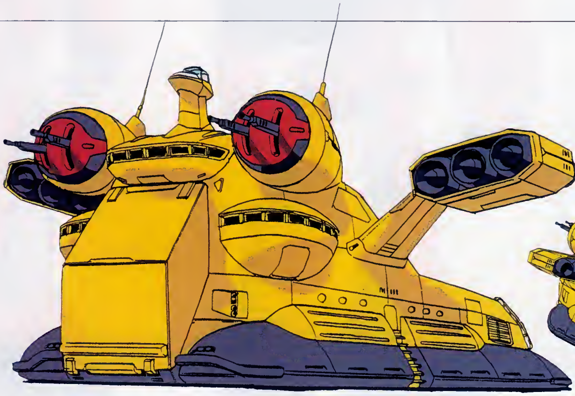
ギャロップ

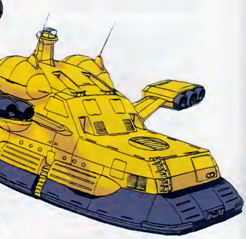
●Gallop

キングスレーの谷の、ウィルゲムと別の場所から発掘された大型ホバー走行車。馬が速く走る様のギャロップからディアナが名付けた。艦長はグエンに任じられたロラン。ブリッジ要員はブルーノとヤコップ。∀のベースとなる。連絡には伝書鳩のブルービショップを使う。戻る際の目印は赤い砲塔らしい。



⬅19話。モビルスーツを乗せて陸上を走行。地上用の船だが、ホバー走行車なので水上移動も可能。





背面

⬇巨大な車体にしては貧弱な火力、モビルスーツを輸送するにはたりない容量、能力不足の索敵・通信能力から考えると、戦術上の大きな妥協で建造されたようだ。

∀ GUNDAM GOODS LIST

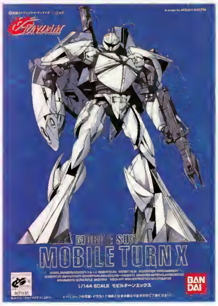
アニメグッズの楽しみとは、本来は二次元でしか存在しないキャラクターに触れたり、集めたりすることができる点だ。ここでは映像をはじめとして様々な「∀ガンダム」の関連商品を集めてみた。

見て触れて楽しめる「∀」の3Dワールド！

「∀ガンダム」のプラモデルはガンプラのスタンダードスケールである1／144、そして1／100の2スケールで展開された。中でも主役メカの「∀ガンダム」は1／100、1／144ともに従来のガンプラにはない発想で肩アーマーの可動を実現、好評を得た。ウォドム、バンデットなど個性的なコンセプトのモビルスーツの商品化が望まれる。

　また、プラモデル以外の商品で特筆すべきはアニメ版ではなくシド・ミード版のデザインから立体化された「NEW マテリアルモデル ∀ガンダム」だ。玩具という位置づけではあるが関節可動、完全彩色はもちろん、各部にスミ入れまで施された豪華な仕様で、胸部ハッチや脚部ベーンなどには独特の鋭いエッジを正確に再現するためチタン合金を使用(玩具初！)。プラモデルにはない重量感とギミックをもった異色の商品となっている。なお、商品はすべてバンダイより発売。

プラモデル



モビルターンX
定価600円(税別)

←専用のライフルとバズーカが付属。関節部のポリパーツもサイズアップで強度が向上。

∀ガンダム
定価500円(税別)

↑専用ライフル、シールド、ビームサーベルが付属。胸部オープンギミックもパーツ差し替えで再現した。接着剤不要、組み立てるだけで設定に近い仕上がりになるのも魅力。

モビルスモー（ゴールドタイプ） 定価600円（税別）

↓ハリー専用機。アイフィールドジェネレーター、軍配型ヒートソード、専用ライフルが付属。

モビルスモー（シルバータイプ） 定価600円（税別）

↑付属品はゴールドタイプと同じだが、頭部の形状がハリー機と異なる量産機仕様だ。

モビルカプル
定価500円（税別）

↑ガンプラとしては初の商品化となる。胸部ハッチの開閉を再現、専用武器も付属。

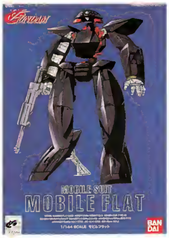
1/100シリーズ

モビルスモー ゴールドバージョン
定価2500円（税別）

↑金メッキ処理の豪華モデル。ライフル、ヒートソードなどが付属し、胸の内部メカも再現。

∀ガンダム
定価2000円（税別）

↑ライフルなどの武器が付属。胸部ハッチの開閉ギミックも再現した大型モデル。



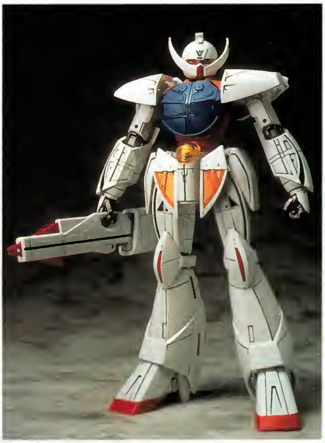
モビルフラット
定価500円（税別）

↑500円クラスながら、かかとのパーツを差し替えるのみで飛行形態にも変形が可能。専用ライフルも付属している。デザインの良さもあって、関節の可動範囲も広い。

トイ

NEW マテリアルモデル ∀ガンダム 定価7800円(税別)

MOBILE SUIT IN ACTION ∀ガンダム 定価1000円(税別)



ガシャポン

MSセレクション11 ●∀ガンダム編

SDガンダム フルカラーステージ11
定価各200円(税込)

↑カプセル自販機で販売されているSDタイプのフル彩色モデルで、写真の計6種がある。
←↖リアルタイプのフル彩色モデル。キャラ3種、モビルスーツが3種の計6種があり、カプセル自販機で販売。

CD

「∀ガンダム オリジナルサウンドトラック」
定価3059円（税込）

∀ GUNDAM
ORIGINAL SOUNDTRACK

CENTURY COLOR
RAY-GUNS c/w again...
∀GUNDAM

CDシングル「CENTURY COLOR」
定価1020円(税込)

DIANNA & KIHEL

「∀ガンダム オリジナルサウンドトラック2」
定価3059円(税込)

the concert

「∀ガンダム with菅野よう子 コンサートライブ」
定価2840円(税込)

CDシングル「月の繭」
定価1020円(税込)

CDシングル「AURA」
定価800円(税込)

∀GUNDAM
ターンAターン
西城秀樹

CDシングル「ターンAターン」
定価1020円(税込)

VIDEO・LD・DVD

ビデオ第3巻
定価7800円(税込)

ビデオ第2巻
定価7800円(税込)

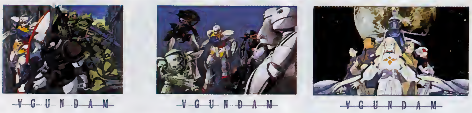
ビデオ第1巻
定価7800円(税込)

映像、音、カード…多種多様なグッズ展開！

ビデオ、LD、DVDは各巻とも4話ずつ収録でバンダイビジュアルから、CDはキングレコードから発売。ただしCDシングル「AURA」のみポニーキャニオンからの発売だ。「ジャンボカードダス E-グラフィックス」は名シーンが特大サイズで楽しめる豪華版。「カードダスマスターズ ガンダム イラストコレクション」はガンダムイラストの集大成的なシリーズで、現在ではなかなか見られない貴重なイラスト類も多数収録。「シールダスEX SDガンダムワールド ビッグバン編」は「EXアルバム」（写真・税別定価600円）という専用アルバムもあり、「カードダスマスターズ ガンダムウォー 新しき翼」は対戦が楽しめるカードゲームだ。これらカードダス、シールダスはバンダイより発売。掲載グッズ以外にもアミューズメント用景品として数種のアイテムがバンプレストから登場した。

その他

ジャンボカードダス E-グラフィックス
定価100円(税込)


V-G-U-N-D-A-M
V-G-U-N-D-A-M
V-G-U-N-D-A-M

V-G-U-N-D-A-M
V-G-U-N-D-A-M
V-G-U-N-D-A-M

314円
ガンダムイラストコレクション
CARDDASS MASTERS
BANDAI

カードダスマスターズ ガンダム イラストコレクション
1パック定価314円(税別)

歴代「ガンダム」の名イラストを集めたカードで、カード裏面にはイラスト初出などの貴重なデータを掲載。6枚で1枚絵になるスペシャルカードもあり！

SDガンダムワールド
EX ZONE
150円
BANDAI

シールダスEX SDガンダムワールド～ビッグバン編～
1パック定価150円(税別)

GUNDAM WAR
GUNDAM WAR
GUNDAM WAR
CHARACTER(UNIT)
OPERATION
GUNDAM WAR

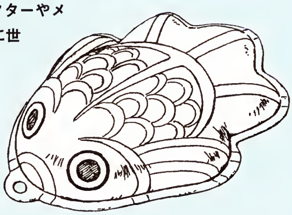
カードダスマスターズ ガンダムウォー「新しき翼」
1パック 定価314円(税別)

ゲームルールを簡略化し、初心者でもスムーズに進行ができるカードゲーム。イラストは描きおろしも多数収録、名場面や名セリフもふんだんに使用されているため、コレクションアイテムとしての価値も高いカードだ。

∀ GUNDAM EPISODE GUIDE

∀ガンダム エピソードガイド

『∀ガンダム』前半26話のストーリーに、独自の視点で解説を加えたエピソードガイドには、スタッフやキャストからのコメントも収録。また、各話ごとの紹介ではその話数で特に活躍したキャラクターやメカ、小道具などを紹介するとともに、数話ごとに世界観をまとめて解説。そこでは放映当時の世相を『∀クロニクル』として紹介した。

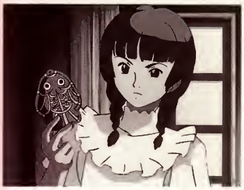


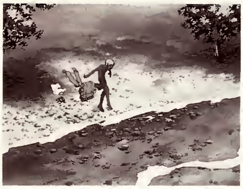
∀クロニクル CHRONICLE

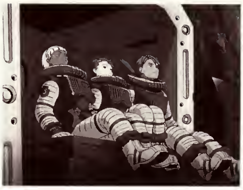
1998年８月１日。横浜パシィフィコでの『ガンダムビッグバン宣言』で初めて『ガンダム　プロジェクトA』として発表された『∀ガンダム』。その後、『PGガンダムRX-78-2』やＴＶ版『ファーストガンダム』LD-BOXの発売と20周年を迎えて『ガンダム』を廻る状況は加熱。それがピークに達したのが、1999年４月だった。２日に故池田貴族による『サイケガンダム』がリリースされ、４日にはガンダム生誕20周年記念バースデーイベントを謳った「GUNDAM CONVENTION」が開催。一方、世相としてはこの４月『だんご三兄弟』がヒット。だが、一般には医療ミスの多発やコソボ紛争など暗い話題が多かった。

話数	タイトル	ポイント	掲載ページ
#01	月に吠える	グエンの飛行船の中には、すでにリリさまが！　ビシニティを廻る風景が∀世界を象徴してる	P34-35
#02	成人式	１話に続き、全裸になる主人公たち。ミリシャのパレードでの装備やビルの電光掲示板なども	P36-37
#03	祭の後	夜、ウォドムの足元を逃げ惑う人々の描写や、ヒップヘビーの銃撃に波打つナノスキン装甲も	P40-41
#04	ふるさとの軍人	ロランが「正暦」生まれと語る。また、この回のラストでカプルが発見される	P42-43
#05	ディアナ降臨	モビルリブの中にピンクの象の引っ越し屋さんが。ラストで、グエンの脇に車いすの祖父も	P44
#06	忘れられた過去	一瞬、胸のサイロが開く∀。ガンダムハンマーと今回のみの∀の基地（？）も登場	P45
#07	貴婦人修行	自分で焼いたパンを売りに出るキース。掘り出された∀のビームサーベルは８話まで登場せず	P46
#08	ローラの牛	グエンはロランがひとつの嘘をついているからこそほかのことでは正直だと語る	P47
#09	コレン、ガンダムと叫ぶ	∀がビームサーベルを装備。アナン少尉、ゼノア少尉も初登場。キースがフラットを売る	P48-49
#10	墓参り	ディアナとキエルが入れ替わる。ボストニア城の半分がディアナに提供されていると判明	P50-51
#11	ノックス崩壊	コレン、フィルとの会話でアグリッパの名を口にする。イングレッサのお金が紙切れに……	P52-53
#12	地下回廊	ディアナ、コレンにガンダムのヒゲにまつわる指摘。グエン、飛行機でリリと落ち合う	P56-57
#13	年上のひと	ウィル・ゲイム、テテス登場。ロランとの入浴も。ディアナ、ラストで極楽鳥の羽をもらう	P58-59
#14	別離、再び	キャノン・イルフート、ルジャーナ・ミリシャのマリガンとギャバン、ボルジャーノン初登場	P60-61
#15	思い出は消えて	キース、熱で倒れていたグエンを助ける。リリ、∀を「大きいのにぶさいく」と評する	P62-63
#17	建国のダストブロー	キース、亡命ムーンレィス技術者をつれて、ロランは∀を橋にして彼らを通す	P64-65
#18	キエルとディアナ	ディアナ、ロランに入れ替わりを告白。ロラン、再びローラに扮する。キエルの演説	P66-67
#19	ソシエの戦争	ギャロップ登場。∀、14話でへこんだ頭部を自己修復。首を戦闘中に取りつけてみせる	P70
#20	アニス・パワー	レット隊、初登場でフラットを逆変形させる。ヤコップとブルーノ再登場。メシェー、負傷	P71
#21	ディアナ奮戦	ブルーノとヤコップ、口先三寸でギャロップに乗り込む。キエル、警備の兵隊を女性にと要請	P72
#22	ハリーの災難	∀の装備が一式が揃い、宇宙船の始動手伝う。宇宙船、グエンによりウィルゲムと命名される	P73
#23	テテスの遺言	テテスに司令をだしていた人物、ミドガルド初登場。別人のように穏やかになったコレン登場	P74
#24	ローラの遠吠え	レット隊の歌『月の魂』初登場。ニセ∀登場。ギャバンとソシエ、フランとジョゼフ急接近	P75
#25	ウィルゲム離陸	ギャバン、ソシエにウェディングドレスをプレゼントする。リリ、ロランを若い豹と形容	P76-77
#26	悟りの戦い	ゼノア、ディアナらに有望なマウンテン・サイクルを報告。コレンとガンダムの因縁の対決	P78-79
#27	夜中の夜明け	冒頭、ディアナを迎えに来たハリーとの小麦の刈り入れ。ディアナとキエル、やっと再会	P80-81

♯16「∀のすべて」は特番として放送。本書では省かせていただきました







Episode #01

ロランたちが地球に降りたって二年の月日が流れた

ムーンレィスの調査員ロランは、キース、フランと地球に来る。ハイム家の姉妹と出会い、ロランは鉱山で働くことに。

第1話 月に吠える

■ストーリー解説

第一話だというのにガンダムは出てこない。モビルスーツすら冒頭の、ロランたちが地球に降下するシーンに出てくるのみだ。オープニングテーマも流れない。その代わりに事細かに語られるのが、物語の舞台となるだろう地球の様子だ。見渡す限りの青い空、肌をじりじりと焼き付ける強い陽射し、頬を打つ風、透明度の高い川の流れ……。野生の獣が人を襲うことすらある。そんな中で人々は、自動車や飛行機、飛行船を操り、鉱山から金属らしきものを掘り出している。

そうした説明を続けられると、そういう時代なのだと納得させられるから不思議だ。こうした設定の細かさは、物語の中では語られない部分にも表れる。例えばこの世界では、太陽電池と水素を利用したエネルギーで全ての電力がまかなわれている。太陽電池はナノマシンが、芝生のように成長したものだ。これを家の屋根や飛行船の風船部分に張り付けて、太陽光で発電しているのだ。家の屋根が片側のみ大きいのは、実はこの太陽電池が張り付けられているためなのだ。

■朴璐美（ロラン役）

一話の冒頭の、三人で歌を歌って降りてくるシーンが一番印象に残ってます。最初は何で歌うのかわからなかったけど、監督に「恐怖、期待……、いろいろな思いがあって、その思いをまだ大人になっていない子供たちが堪えながら歌っている」と言われたんです。歌の収録は三人別々にやったのですが、最初に私が歌って、後で二人が歌っているのを聞いたときにゾワーッとしてきて。月から降りてくるのがどれだけ凄いことか、そのとき体感できたように思います。だからオンエアにもすごく期待していました。

この作品は『今の時代があまりにもデジタル過ぎるから、もう少しアナログ感覚を持とうよ』ということを言っているのではないかと思います。近い未来、現実に人類が月に住む時代がやってくると思います。そういう時代になってこの作品を見ても、共感してもらえる部分があるのではないでしょうか。私も単なるフィクションではなく、現実に起こりうる話として共感できる部分がいっぱいありましたから。

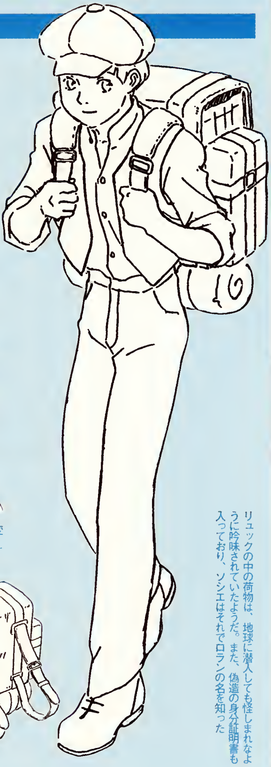
■スタッフの視点から

物語の発端で、川からロランが流れてくるというがありますよね。それで、第一話からヒーローとヒロインの裸が登場したわけですけど、これは富野総監督が今回は身体性ということを強調していたせいですね。何でも肌色が見えると人は安心するんだということなんです。また、富野理論的に裸というのは視覚効果とか、お話の中での効果があるんだとも富野総監督は言われているわけです。まあ、裸は人知を越えた富野理論というか、富野定説ですね(笑)。

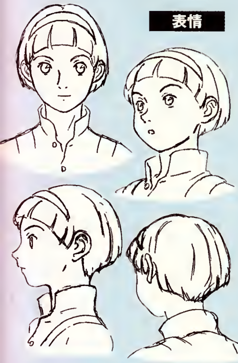
あと全体的な話になりますけど、最初に音楽を聴いたとき、スタッフみんなして「菅野さん普通だなあ。もっと変なことやってくるかと思っていたのに」という印象がありまして。普通にオーソドックスに、オーケストラをやっているもので「随分まっとうだなあ」と。前にやっていた『ブレンパワード』ではバグパイプ使ったり色々やってましたからね。

ロラン・セアック（15歳）

地上に降下したばかりのロラン。フラットで二人の仲間とともに降下した彼は、大都市ノックスを目指した二人と別れてビシニティへむかう。そこで偶然（？）グエンに助けられ、そして偶然ディアナとそっくりなキエルとソシエの姉妹と出会う。

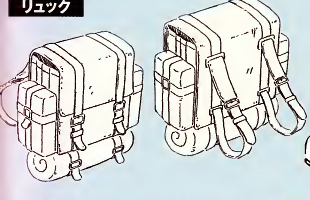


表情



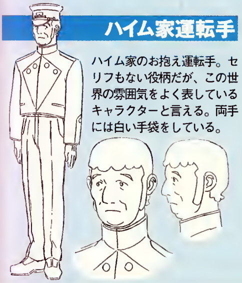
15歳当時のロランの表情。基本的に、17歳当時と変わりないのだが、髪が短く、特に前髪が切りそろえられているだけで随分と幼く見える

リュック



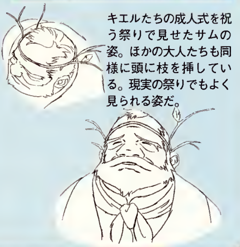
リュックの中の荷物は、地球に潜入しても怪しまれないように吟味されていたようだ。また、偽造の身分証明書も入っており、ソシエはそれでロランの名を知った

ハイム家運転手

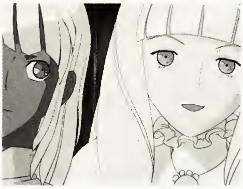


ハイム家のお抱え運転手。セリフもない役柄だが、この世界の雰囲気をよく表しているキャラクターと言える。両手には白い手袋をしている。

サムの祭り姿

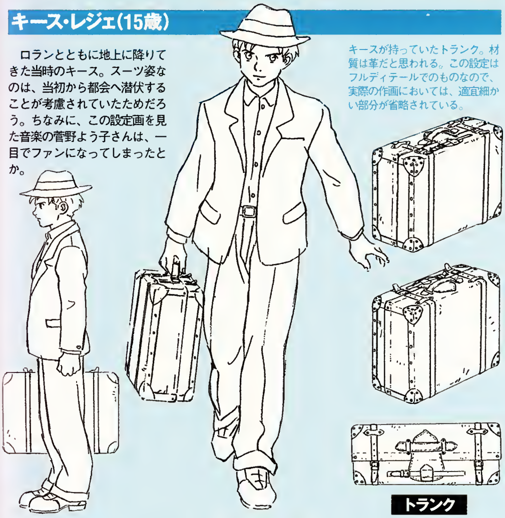


キエルたちの成人式を祝う祭りで見せたサムの姿。ほかの大人たちも同様に頭に枝を挿している。現実の祭りでもよく見られる姿だ。



キース・レジェ(15歳)

ロランとともに地上に降りてきた当時のキース。スーツ姿なのは、当初から都会へ潜伏することが考慮されていたためだろう。ちなみに、この設定画を見た音楽の菅野よう子さんは、一目でファンになってしまったとか。

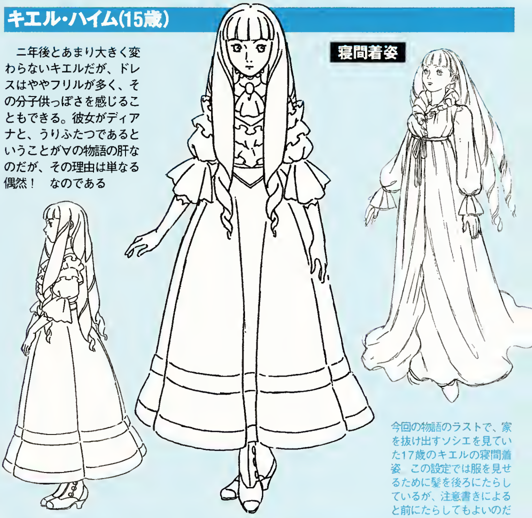


キースが持っていたトランク。材質は革だと思われる。この設定はフルディテールでのものなので、実際の作画においては、適宜細かい部分が省略されている。

トランク

キエル・ハイム(15歳)

二年後とあまり大きく変わらないキエルだが、ドレスはややフリルが多く、その分子供っぽさを感じることもできる。彼女がディアナと、うりふたつであるということが∀の物語の肝なのだが、その理由は単なる偶然！　なのである

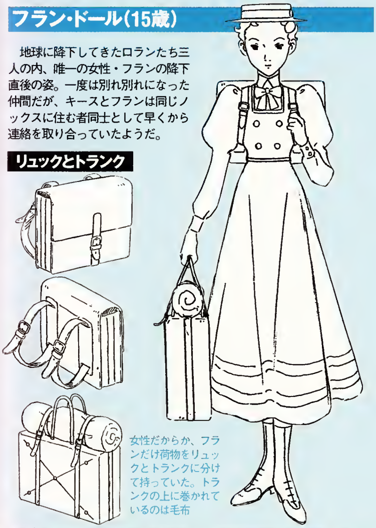


寝間着姿

今回の物語のラストで、家を抜け出すソシエを見ていた17歳のキエルの寝間着姿　この設定では服を見せるために髪を後ろにたらしているが、注意書きによると前にたらしてもよいのだとか

フラン・ドール(15歳)

地球に降下してきたロランたち三人の内、唯一の女性・フランの降下直後の姿。一度は別れ別れになった仲間だが、キースとフランは同じノックスに住む者同士として早くから連絡を取り合っていたようだ。

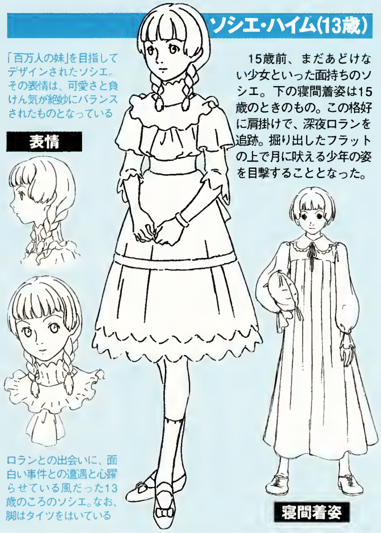


リュックとトランク

女性だからか、フランだけ荷物をリュックとトランクに分けて持っていた。トランクの上に巻かれているのは毛布

ソシエ・ハイム(13歳)

15歳前、まだあどけない少女といった面持ちのソシエ。下の寝間着姿は15歳のときのもの。この格好に肩掛けで、深夜ロランを追跡。掘り出したフラットの上で月に吠える少年の姿を目撃することとなった。



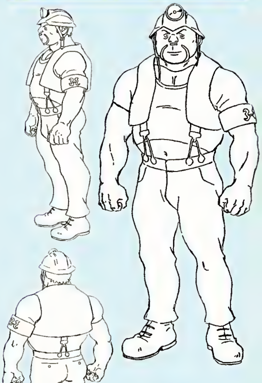
「百万人の妹」を目指してデザインされたソシエ。その表情は、可愛さと負けん気が絶妙にバランスされたものとなっている

表情

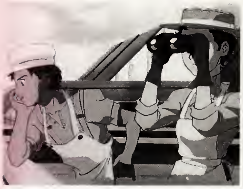
ロランとの出会いに、面白い事件との遭遇と心躍らせている風だった13歳のころのソシエ。なお、脚はタイツをはいている

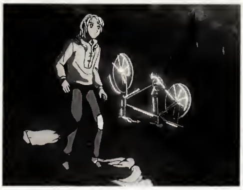
寝間着姿

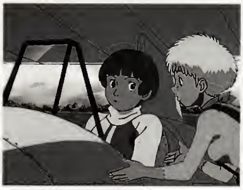
ハイム鉱山の親方



ロランが働かせてもらっていたハイム鉱山の親方　左手の腕章に描かれているのはハイム家のマーク　なお、鼻は少し赤く塗り分けられている　残念ながら、これ以降登場しない







Episode #02

ムーンレイスの攻撃で∀が覚醒する

地球と二年間交渉してきたムーンレイスの第一次帰還船団が地球に降り立ったのは、ビシニティの成人式の日だった。

第2話
成人式

■ストーリー解説

「理屈だけでは世界は動かない」ビシニティの成人式の儀式を小馬鹿にしたジョゼフに対するシドのこの台詞に、この回のすべてが集約しているようだ。

まず、地球とムーンレイスは二年前から交渉を続けてきたのだという。交渉に使用していたのは、ムーンレィスから届けられたという無線通信機だ。これだけを見ても相手が自分たちより圧倒的に高い技術力を持つことは明らかなはずなのに、ミリシャという軍隊を組織する。地球には2000年もの間戦争がなかったので、その武力はかなり発展途上であるにもかかわらず、だ。

この危惧は現実のものとなる。巨大なモビルスーツで地球に降り立ったムーンレィスに対して、何とミリシャは複葉機で攻撃をしかけるのだ。モビルスーツとプロペラ機の戦いなど、一体誰が想像しただろう？　ムーンレィスのパイロットが冷静さをなくしてしまうのもわかるような気がする。そして対艦用ビームを発射してしまうことで戦争が避けられなくなり、∀をも覚醒させてしまう。

なお、ロランたちが地球に降りてきたのもまさに二年前だ。ということは、交渉が開始されたのはほぼ同時期と考えられる。

またグエンは、交渉相手が本当に月の民であるかどうかに関しては半信半疑だったようだ。その一方で技術だけは利用しているあたりに、グエンのグエンたる所以が既に表れているようだ。またキエルも無線通信機を見せられ、驚きはするものの終スの話を聞いても、ムーンレィスの話を聞いても、驚きはするものの終始落ち着いている。このお嬢様がただ者ではないことがよくわかる。

■スタッフの視点から

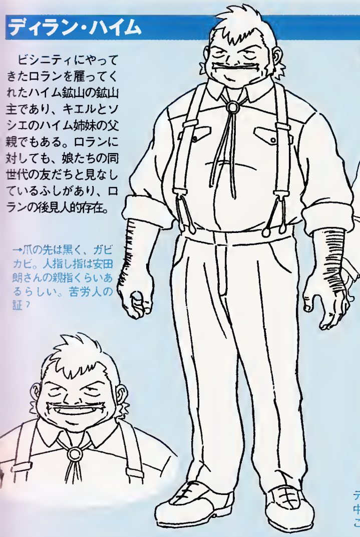
ガンダムが石像から出てくるというのは、ほかに手がなかったというのが本音なんです。『ライディーン』とか『イデオン』を連想されると分かってたので、ほかの方法も考えたんです。宵越しの祭りの神輿の中に入っているとか、普段町の人は気付かないんだけど実はそこにあった、というのがほかにできないかと。でも思いつかなくて一番つまらない石像の中にあるという案をとらざるを得なくなったんです。祭りもそこから連動して作っていったというところがあるんですよね。

あと、初めてのメカ戦ですが、とっても悔やんでいて。敵側に早々に人が乗っているというのが分かっちゃうでしょ？　それを描かなければ、火星人襲来みたいな雰囲気を出せたのかもしれない。それは、富野監督も「ガンダム長くやり続けると、もうすぐこうなっちゃうから」「くやしい」と言ってました。どうしてもみんな、カメラが味方のメカを映して、次に敵のメカを映すとすぐコクピットにカメラが入るという絵を作っちゃうんですよね。今回の話なら、味方側の話に限っちゃって「あの化け物は何なんだ？」と通して、人が乗っていない可能性も提示できたはずなのに、惜しいなあと。

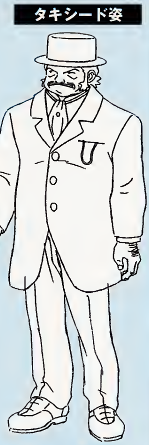
ただ、ここまでの∀世界の展開が大変で、ここまできてようやく、みんなが知っているメカ戦だというので安心したので絵コンテもそのまま『ガンダム』世界に突っ走っちゃったんですよね。

ディラン・ハイム

ビシニティにやってきたロランを雇ってくれたハイム鉱山の鉱山主であり、キエルとソシエのハイム姉妹の父親でもある。ロランに対しても、娘たちの同世代の友だちと見なしているふしがあり、ロランの後見人的存在。



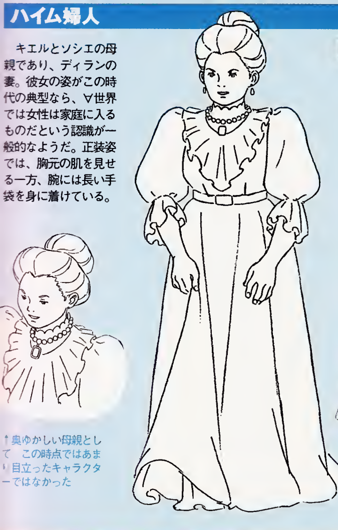
→爪の先は黒く、ガビガビ。人指し指は安田朗さんの親指くらいあるらしい。苦労人の証？



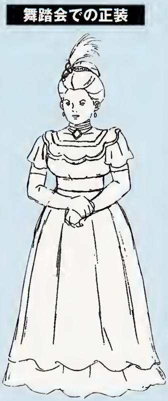
ディランの正装。胸には懐中時計をしのばせている。これが彼の最後の姿となる

ハイム婦人

キエルとソシエの母親であり、ディランの妻。彼女の姿がこの時代の典型なら、∀世界では女性は家庭に入るものだという認識が一般的なようだ。正装姿では、胸元の肌を見せる一方、腕には長い手袋を身に着けている。



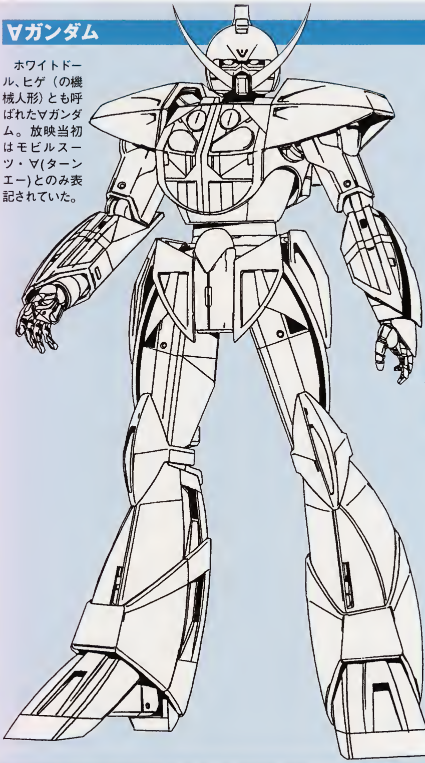
↑奥ゆかしい母親として　この時点ではあまり目立ったキャラクターではなかった

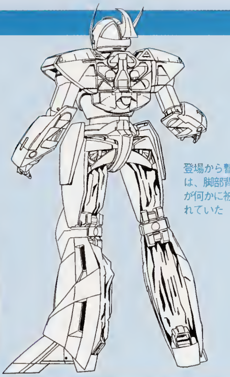


ボストニア城で見せた、ドレス姿。これが最後の晴れ姿になってしまう

∀ガンダム

ホワイトドール、ヒゲ（の機械人形）とも呼ばれた∀ガンダム。放映当初はモビルスーツ・∀(ターンエー)とのみ表記されていた。

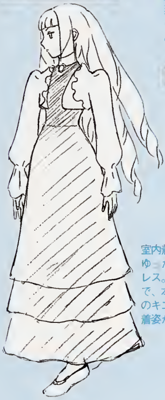




登場から暫くは、脚部背面が何かに被われていた

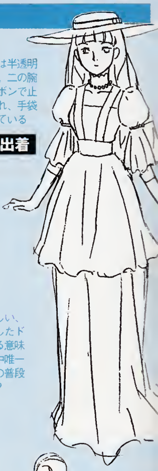
キエル・ハイム

アパートでの姿



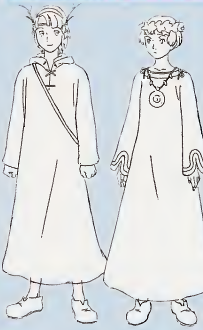
室内着らしい、ゆったりしたドレス。ある意味で、本編中唯一のキエルの普段着姿かも？

外出着



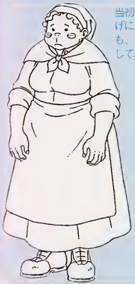
胸元は半透明素材。二の腕はリボンで止められ、手袋もしている

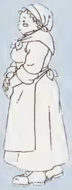
祭り装束のロランとソシエ



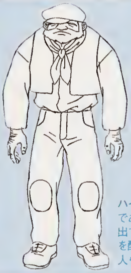
宵越しの祭りの姿に身を包んだロランとソシエ

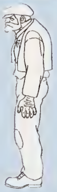
ハイム家の使用人(ジェシカとサム)





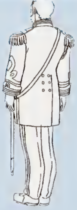
当初、ロランを胡散臭げに見ていたジェシカも、今は使用人仲間として認めている

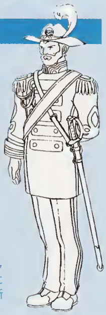




ハイム家の使用人頭であるサム。ヒザが出ているなど、肉体を酷使してきた苦労人らしいとわかる

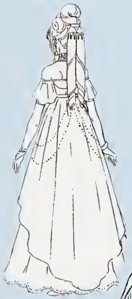
ミハエル大佐

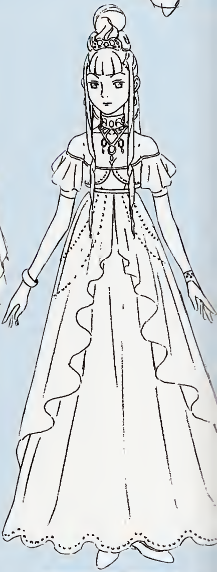


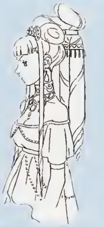


イングレッサ・ミリシャの現場指揮官。グエンに従いながらも、以後独断専行で戦線を拡げる

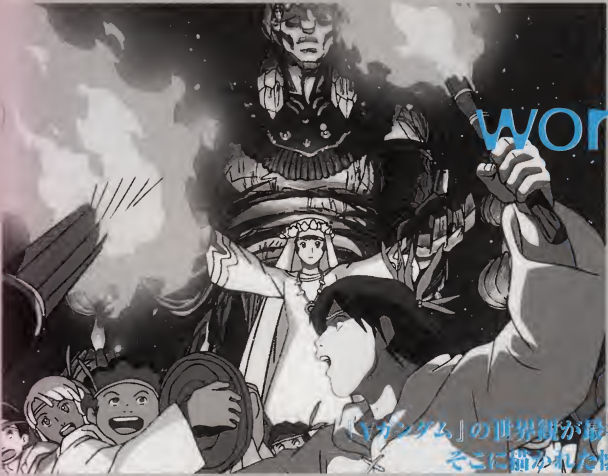
パーティードレス







舞踏会で見せた正装。やはり手袋をしている。また、腰のヒーズは縫いつけられている

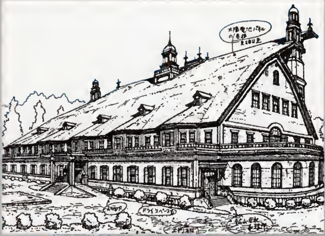


turnA
world for Episo
#01-0
∀の世

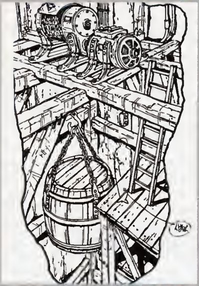
『∀ガンダム』の世界観が最も如実に現れているのがこの初期2話といえる。
そこに描かれた懐かしい世界は、20世紀初頭を思わせながらも、
宗教や技術などの異なる世界。その代表的な姿を紹介していこう。

ハイム家とハイム鉱山

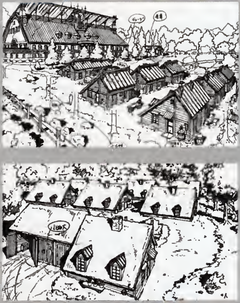
鉱山と、その鉱山主という前世紀的な舞台立てながら、そこには電動モーターや太陽電池芝などのテクノロジーを見ることができる。また、使用人と気さくに話す主の姿にこの世界の一面が見える。


太陽電池パネルの屋根
ドライスペース

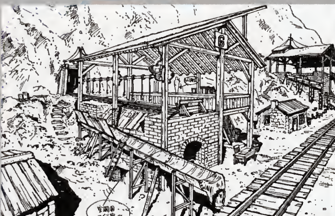
ハイム家の館。南側の屋根の一面に、太陽電池芝が植えられている



ハイム鉱山の内部。動力が電動機とわかる



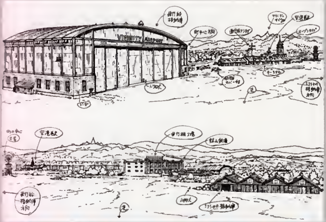
ハイム家の敷地内にある使用人の家。本館との間には木々があるなど、プライバシーが守れる作りになっている。やはり南側の屋根に太陽電池芝が敷き詰められている



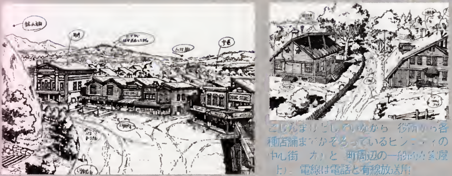
ハイム鉱山と連絡している鉄道の入り口。積み込みのシーンは描かれなかったが、単純だが人力に頼らない仕組みが読み取れる

ビシニティの空港と町並

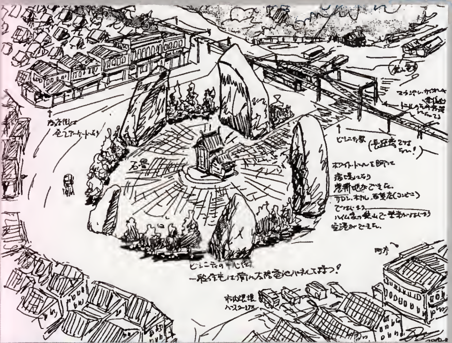
イングレッサの首都・ノックスの郊外都市として1話後半で丁寧に描かれ、その後も度々登場した街並み。懐かしいが、封建的な後進性がない、いわばありえない町であり、それこそ∀的であろう。


VICINITY AIRPORT

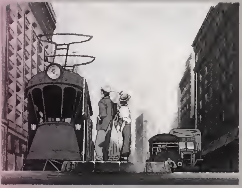
それぞれの方向のビシニティーの[illegible]、それぞれの方向[illegible]ことから、この世界の社会の基本である[illegible]物語[illegible]

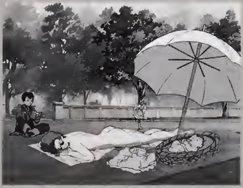


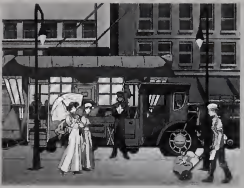
こじんまりとしていながら、役所から各種店舗までがそろっているビシニティの中心街（左）と、町周辺の一般的な家屋（上）。電線は電話と有線放送用

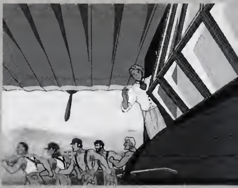

ビシニティ駅（長距離ではない!）
ホワイトドールを囲んで広場になり
商業地ができた。
サロン、ホテル、雑貨店（コンビニ）
ではないよう
ハイム家の鉱山で栄えたようで
空港ができた。
町方
一般住宅は屋根に太陽電池パネルで持つ!
市内環境ハースター

ビシニティは、[illegible]それを囲む巨石を中心に発展していることがわかる
富野監督のラフ画



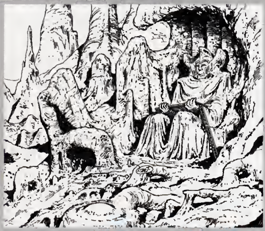




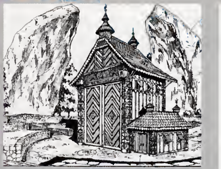


宵越しの祭り

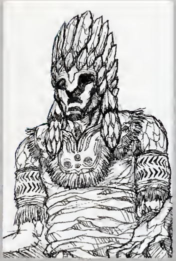
通過儀礼としての成人式が、地域共同体の中でがんぜんとして存在する世界。それを象徴するものは近代が失った、人が主体の社会ということだろう。これもまた、∀という世界を如実に表す設定だ。



マウンテン・サイクルの麓のホワイトドールの祭壇。その下にモビルスーツ・∀が隠れていたが　忘れ去られていた



ビシニティ中心部の御輿小屋。その地下に、∀の基地らしきものが広がっていた



御輿のデザインはネイティブアメリカン風で、アメリカ人がそれを崇めるわけがないという「うそ」の証　また土着文化の雰囲気も出す

∀ CHRONICLE ∀クロニクル

関東地方では2日に放映された特番に続いて9日に第1話が放映された。

この前後には、統一地方選挙がおこなわれ、横山ノック大阪知事の再選、石原慎太郎東京都知事の誕生などが話題を振りまいた。

一方、ユーゴ空爆が続けられる中、難民への誤爆などの報道、インドとパキスタンが競い合うように中距離弾道弾の実験をおこなうなど、国際社会の不穏さを示す事件が続いた。

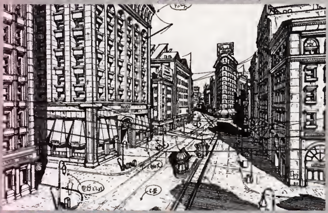
そんな中、4月21日にはアメリカ合衆国コロラド州の高校で、トレンチコート・マフィアを名乗る若者が銃を乱射。20名余りの生徒が死傷する事件もあった。

なお、4月19日には落語家の桂枝雀さんが59歳で他界している。

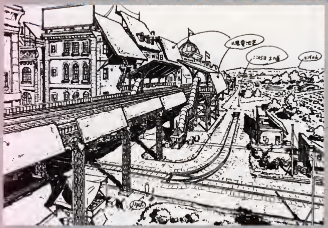
イングレッサ領首都ノックス

工業化社会の黎明期にも似た世界と位置づけられた∀世界をもっとも象徴するのがこのノックスであろう。区画整理された街並みに並ぶビル。そこにはデパートのような高級商店から、キースのパン屋のような町暮らしの庶民を相手の商売まで、さまざまな商売が成立している。また、広く整備された道路を自動車と路面電車が走り、長距離列車のターミナルがあるなど交通も充実している。

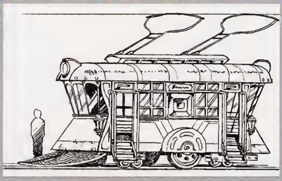
せかせかはしておらず、人々がバイタリティにあふれている世界。必要にして十分な社会資本が整備されている町。これもまた、なつかしくあり得なかった理想の世界の具現と言える。



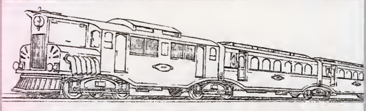
ビルの屋上にも太陽電池芝パネルが備えつけられ、街灯として電灯が使われ、舗装ではなく石畳が引かれている世界



町外れにある長距離列車のステーション。ここから各領土に交通が延びていることが伺える。郊外はすぐに田園地帯が広がっている



懐かしさを覚えるものの、過去の何物にも似ていない独特のデザインの路面電車

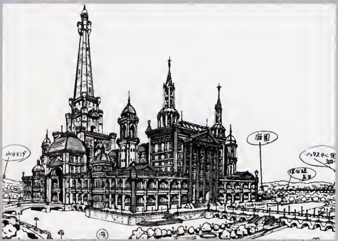


車輌の連結部が車台を兼ねているなど、技術的には高度なものが使われている長距離列車

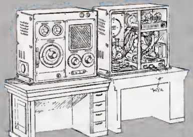
ボストニア城

「領主」が支配する封建社会でありながら、あくまで行政府でしかない。そんな作品世界の政治社会を象徴する建物と言える。というのも、城でありながら戦争が考慮されていない建物であるからだ。

舞踏会の会場であり、またディアナ・カウンターとの交渉の表舞台としてノックスの崩壊まで物語の中心的な役割を果たす。ディアナの登場以降は、その半分がディアナ・カウンターに提供された。

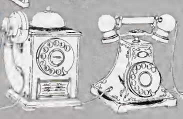


どこの様式とも知れず、城塞としての機能が感じられないところが∀的

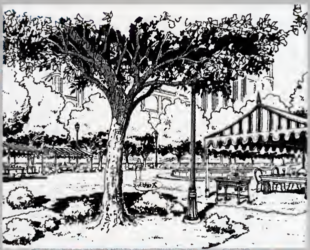


ムーンレィスから贈られ、ホストニア城内に備えつけられていた真空管無線機

電話機



地球人同士の連絡は、もっぱら有線のダイヤル電話による。左の電話の方がベルが内蔵されているなど旧式

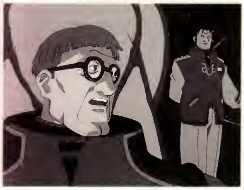


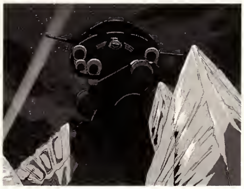
ボストニア城公園内の園遊会場。この城の性格をよく表している

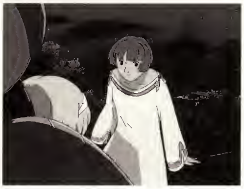
Episode #03

ロラン自分の意志で∀を動かす

ノックスの町はやられ、ハイム氏は亡くなった。ディアナ・カウンターは、ミリシャの切り札・∀の捕獲作戦に出た。







第3話 祭の後

■ストーリー解説

一夜明けて、戦争というものに対する考えが様々な立場で語られていく。

グエンはディアナ・カウンターに対し「侵略ではないか?」と抗議する。だがシドから∀が発掘されたことを聞き、これで対等の交渉ができると喜ぶ。あくまでも軍事力を切り札として考えるグエンの態度は、実はこの頃から一貫していたのだ。そしてキエルはといえば、まだまだ事態を把握するのに精一杯だ。

そしてディアナ・カウンター側は、長距離ビームを発射したポゥがしおらしく禁固刑を覚悟すれば、逆に人手不足を理由にして∀捕獲の任務を与える。ディアナ・カウンターにとって地球にモビルスーツがあったのは最大の誤算だったのだ。

そしてロランは、キースと話したことで図らずも∀を動かしてしまった自分の立場と、ノックスの様子から戦争になっているという事態を改めて認識する。だがディアナが地球に来さえすれば戦争は終わると、まだ無条件で信じている。

立場が違えば、現状の捉え方が異なるのも当然だろう。だがその違いが、新たな事態を紡ぎ出していく。

■村田秋乃(ソシエ役)

お父さんが亡くなって泣き崩れるシーンが、やはり一番印象に残っています。家に入る前にジェシカとサムの態度を見て「お父様に何があったの?」って、薄々気が付くんですけどすごく不安なんですね。それで家に入るとお父さんが亡くなっていて……。すごくショックでした。で、そういう感情はあるのですが、これがきちんと表現できたかというと……、台詞はほとんど泣き叫んでいるだけでしたから。絵と合わせないといけないという問題もあったので、技術的な意味でも難しくて苦労しました。実際、NGも多かったですしね。

難しいといえば、ソシエには「撃つぞー」とか「やられたー」とかいう戦闘中の短い台詞が多いんですが、これも難しかったです。ある時、カプルに乗って撃たれる場面で監督に「すごく怖いよ」と言われたのですが、それ以来、ああ死んじゃうかもしれないんだと思いながらやらなきゃと実感しました。でもソシエってカッとなると我を忘れて突っ走るキャラだから、本人は危機感はあるけどやめられないのかな、とも思いましたが。

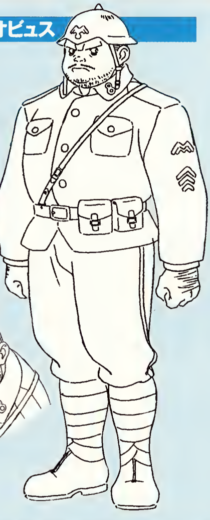
■スタッフの視点から

まだビシニティからノックスまでひとっ走りとはいかないので、キャラの出し入れを気を使っていましたね。キースがビシニティに来れたのは、飛行船に乗ったからとか、考えているんです。

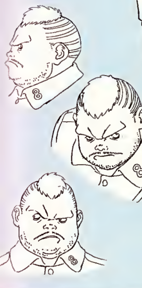
そこでのキースとロランのやりとりは脚本上では二人の友情の物語みたいな所だったんですが、最初に上がった絵コンテではホワイトドールの説明とかばかりになってしまって。富野監督にもう一度脚本を読んでもらって直してもらいました。富野監督はシナリオをひととおり読んで頭に入れて絵コンテ描くらしいんで、一字一句シナリオと照らし合わせたりしないんです。「シナリオって極端な話、テーマとお話が一致しているものであれば、ペラ一枚でいいよ。それがぴたっと一致しているものであれば、俺はそれでコンテ切れる」と言って(笑)。でも、ライターの方に何度も直しをお願いして、面白いのを上げてもらってるんですからちゃんと使ってもらわなきゃ。

ミリシャ軍曹 ヤーニ・オビュス

ミリシャの現場指揮をとる下士官。当初、ディアナ・カウンターが月から来たと信じられず、そのためウォドムも弾を当てれば簡単に落とせるカカシだと主張していた。

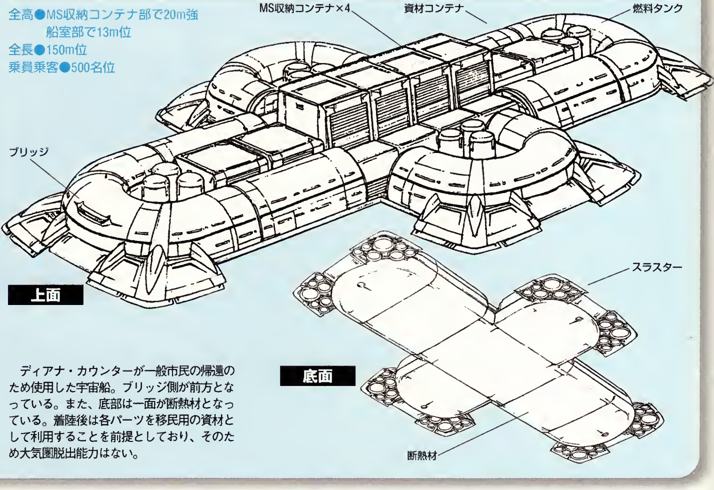


表情



ディアナ・カウンターの帰還船

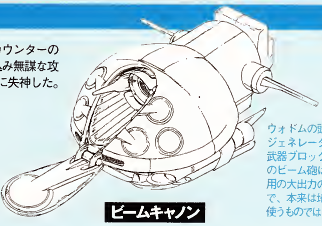
全高●MS収納コンテナ部で20m強
　　　船室部で13m位
全長●150m位
乗員乗客●500名位



ディアナ・カウンターが一般市民の帰還のため使用した宇宙船。ブリッジ側が前方となっている。また、底部は一面が断熱材となっている。着陸後は各パーツを移民用の資材として利用することを前提としており、そのため大気圏脱出能力はない。

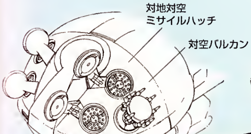
モビルスーツウォドム

初めて地球人の前に姿を現したディアナ・カウンターのモビルスーツ。ある者はそれをカカシと思い込み無謀な攻撃を仕掛け、またある者はその地を駆けるさまに失神した。地球人から見れば異形の存在といえる。



ビームキャノン

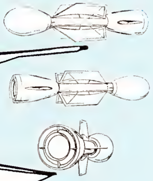
ウォドムの頭部はジェネレーターと武器ブロック。このビーム砲は対艦用の大出力のもので、本来は地上で使うものではない

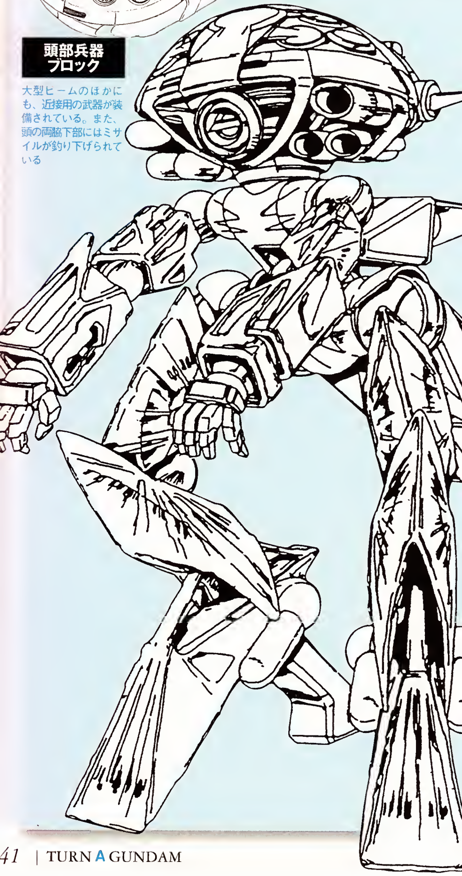

対地対空
ミサイルハッチ
対空バルカン

頭部兵器ブロック

大型ビームのほかにも、近接用の武器が装備されている。また、頭の両脇下部にはミサイルが釣り下げられている

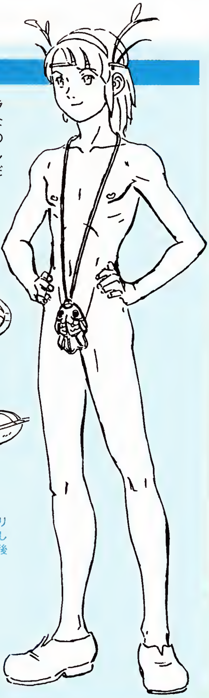
ミサイル



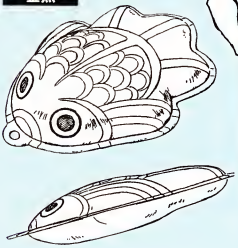


ロラン・セアック

月の6倍の重力で鍛えられてか、ロランは二年間で見違えるほどたくましくなった？　かどうかはさておき、この話の前半では、ロランはほとんど裸で過ごした。初めての主役メカ操縦時に終始裸だった主人公も珍しい。



金魚

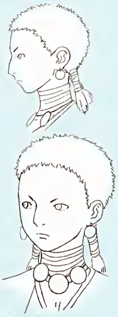


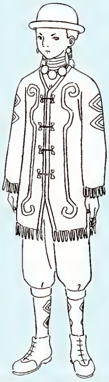
ロランが月からわざわざ持ってきた宝物のブリキオモチャの金魚。だが、股間が濃い影で隠しきれないとき活躍。役目を果たすため、前に後ろに、目まぐるしく場所を変えたという

ジョゼフ・ヨット

シドの助手である青年。良く言えば常に冷静、悪く言えばシニカルな物の見方をする。それは研究者としては貴重な資質なのだろう。黒歴史に詳しいと自負しているせいもあって、ムーンレィスであり∀を操るロランに敵愾心を燃やすようになる。

表情

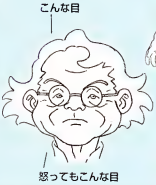


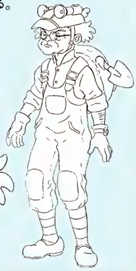


シド・ムンザ

山師とは、この世界の鉱山、あるいは土壌技術者。その一人であるシドは、個人的な目的である黒歴史の研究のためグエンから援助を受け、多くの黒歴史の遺産を掘り出す。グエンへの報告で∀に「ヒゲがある」と伝える。

表情

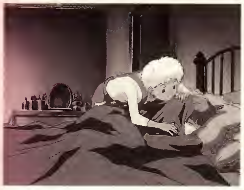

ふだんはいつも
こんな目
怒ってもこんな目

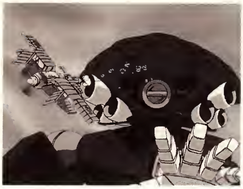


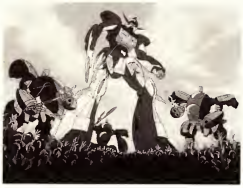
Episode #04

ムーンレィスの∀捕獲作戦は不成功に終わる

ムーンレィスは∀を捕獲することで、地球側はモビルスーツを掘り出すことで、互いに交渉を有利に運ぼうとする。







第4話
ふるさとの軍人

■ストーリー解説

感情を爆発させるのは、切り札の少ない方であるらしい。

地球側とムーンレィス側が初めて顔を合わせての交渉が始まる。だがその席上で地球側の出席者イルの長老がディアナ・カウンターの司令官アジ大佐を弩で殺害してしまう。「妻と甥が殺されたから」という彼の叫びは納得できないことではない。だがやり方がまずすぎる。結果長老も命を落とし、交渉は物別れに終わる。

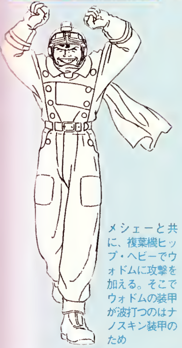
そしてソシエだ。父の葬式以来ベッドに潜りっぱなしだった彼女は、友人であるメシェーの言葉で自らの手で父の敵を討つことを考える。これもまた致し方ない思考回路とはいえ、復讐にこだわるという点では長老のやり方と根本的には同じものと言えるだろう。

そんな中、ロランはある意味不可思議な行動にでる。ディアナ・カウンターと直接会ったのだ。さすがに自分が∀のパイロットである点は伏せてはいたが。これは未だに自分の立つ場所が揺れ動いているせいなのだろうか？　それとも無条件でディアナを信頼するが故の行為なのだろうか？

■稲田徹（ハリー役）

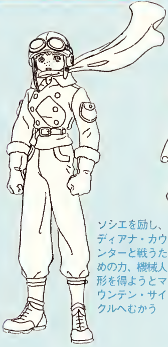
収録の日に富野監督から「このハリーという人物は、地球の雨の暖かさに本気で感動している人です。喜んだり怒った

ラダラム・クン（飛行服）



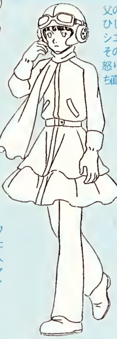
メシェーと共に、複葉機ヒップ・ヘビーでウォドムに攻撃を加える。そこでウォドムの装甲が波打つのはナノスキン装甲のため

メシェー・クン（飛行服）



ソシエを励し、ディアナ・カウンターと戦うための力、機械人形を得ようとマウンテン・サイクルへむかう

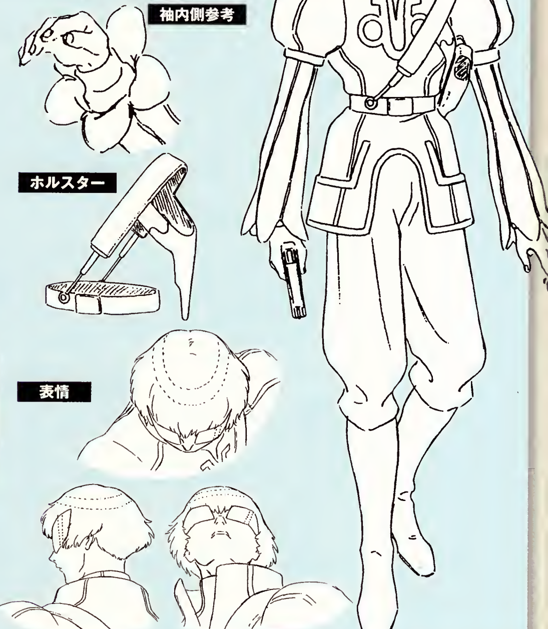
ソシエ・ハイム（飛行服）



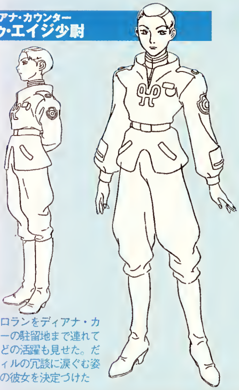
父の死に打ちひしがれたソシエ。彼女はその悲しみを怒りに変え立ち直るが……

ディアナ親衛隊ハリー・オード大尉

『ガンダム』を作るに当たっての最大の課題、シャア的なキャラクターとして設定されたのがハリー大尉。ちなみに、赤いサングラスのアイデアはキャラクターデザインの安田朗によるもの。今回、ディアナ様とキスの挨拶を交わしたと語るロランに不快感を示す描写は注目点。

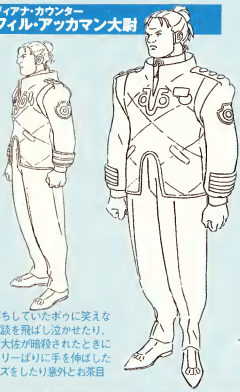

袖内側参考
ホルスター
表情

ディアナ・カウンター
ポゥ・エイジ少尉

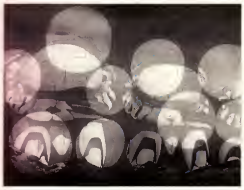


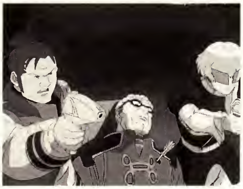
今回はロランをディアナ・カウンターの駐留地まで連れてくるなどの活躍も見せた。だが、フィルの冗談に涙ぐむ姿が今後の彼女を決定づけた

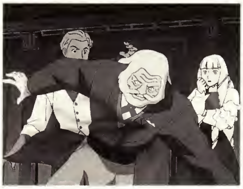
ディアナ・カウンター
フィル・アッカマン大尉

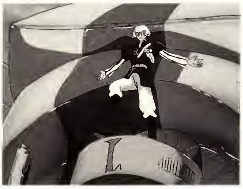


気落ちしていたポゥに笑えない冗談を飛ばし泣かせたり、アジ大佐が暗殺されたときにはハリーばりに手を伸ばしたポーズをしたり意外とお茶目









り、感情を素直に表現してしまう人です。一言で言うとおバカさんです。でも僕はハリーみたいな人が大好きなんですよ」といわれました。それ以来、これが僕自身のハリー観の基本になっています。でもハリーは職務には忠実なんですよね。アジ大佐が暗殺された時も冷静沈着に行動していたし。その一方で「ディアナ様の尻」と言われて大激怒する……このギャップに何ともいえない人間味があって、それがハリーの魅力の一つになっているのではないでしょうか?

シーンで一番印象に残っているのは27話「夜中の夜明け」の冒頭の、ディアナと一緒に私服姿で風が吹く麦畑に立つ場面ですね。あの光景にはハリーが望んでいたこと全てが込められているような気がします。OAで観たとき、思わず泣いてしまったくらいですから。毎回ストーリーを把握するのに精一杯で独自の解釈をする余裕はありませんでしたが、ハリーはローラに惚れていたような気もします。

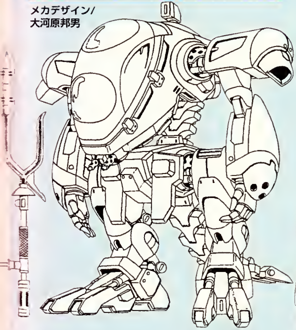
スタッフの視点から

ロランが「せいれき」と言っているのは、最初の設定では「西暦」の予定だったからなんです。西暦二千何年だかに宇宙世紀が始まるけど、その後の歴史をなかったことにしてリセットしたとき、西暦を数え直していたという設定で。だから、最初は黒歴史から二百年ほどしか経っていないつもりだったんです。ところが富野監督が「二百年じゃ少し足りないな」と。二千年経っていることにして、「正暦」という嘘の年号をつけたわけです。

ラストのアジ大佐の死。当初はグエンが手を下して、その場を収めるためにイルの長老を自分で殺してお互い様にする予定だったんです。ただ、それだと富野監督が『イデオン』方向に突っ走りそうだったので(笑)、みんなで止めてフィルムのようになったんです。ただ、そうした方が、グエンも行動力が出て、後半の悪役になってから辛くならなくてすんだかもしれませんね。

小型モビルスーツウァッド

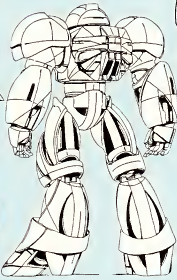
メカデザイン/
大河原邦男

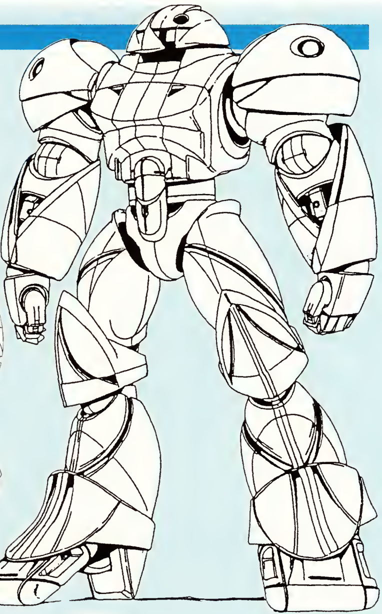


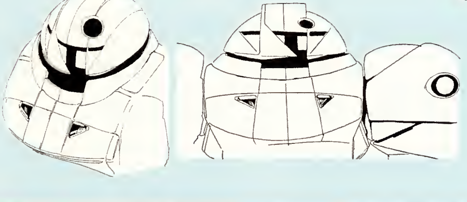
ポゥのウォドムに従い、∀に対して攻撃を仕掛けた。だが、∀に捕まえられたり、ミリシャに落とし穴に落とされたり、さんざんな目にあう。

モビルスーツスモー

ディアナ親衛隊専用のモビルスーツ。近接戦闘用として月で開発されたものらしい。隊長機は金色、一般機は銀色に塗装されている。地球への降下中、ハリーがコクピットから身を乗り出していたのが印象的。あの時は自動操縦だった?

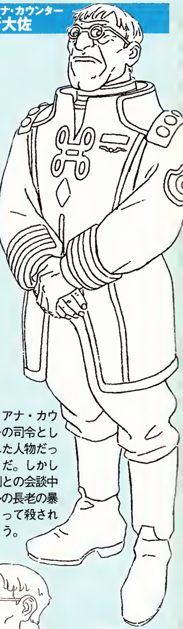






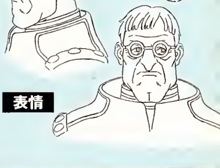
スモーの顔面がどうなっているかは長らく謎で、当面はファンの間でもこれがスモーの顔として認識されていた

ディアナ・カウンター
アジ大佐

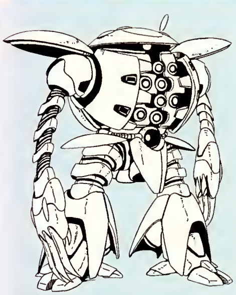


ディアナ・カウンターの司令として優れた人物だったようだ。しかし地球側との会談中にイルの長老の暴走によって殺されてしまう。

表情



発掘された機械人形カプル



この話のラスト、マウンテン・サイクルからボール状の姿で発見され、発掘される。

Episode #05

交渉が進まない中月と地球の軍隊はぶつかり合う

ソシエは飛行機とモビルスーツのパイロットとしてミリシャへ。キエルにできるのは妹と母を心配することだった。

第5話 ディアナ降臨

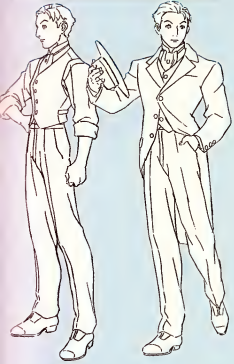
■ストーリー解説

新しいモビルスーツを発掘したミリシャの行動は、どんどんグエンの意志から離れていく。まずは装甲車部隊と飛行機部隊とで、ムーンレィスの民間人居留地を襲撃し、モビルスーツを奪い取ろうとする。もちろんこれが成功するはずもなく、一時メシェーはディアナ・カウンターに捕らえられてしまう。さらにはディアナが地上に降りる際、示威行為として∀を見せつけようとするグエンの命令を曲解し、全軍あげてディアナ捕獲作戦を展開しようとする。

■スタッフの視点から

カプルが掘り出されたわけですが、じつは最初はバンダイさんと相談して再販したいプラモのリストとかもらって検討していたんです。けど、みんなで相談していたらなぜかそのリストにないカプルに決まってしまった（笑）。これはシルエットがほかのモビルスーツと全く異なっていて、デザインのとらえ方にミードさんと共通するものが感じられたからです。だから、プラモが出ていないというのは、逆に意識していなかったんですよ。

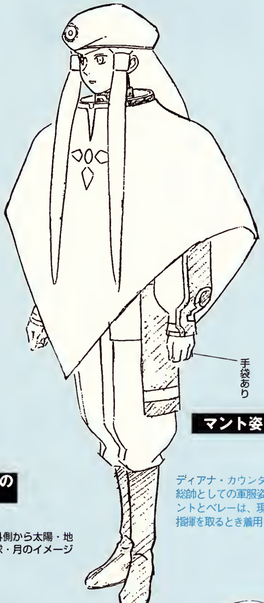
グエン・サード・ラインフォード



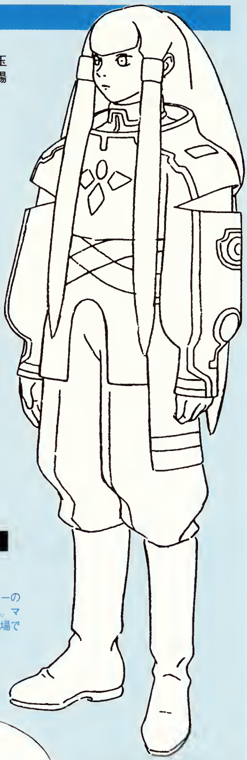
ディアナを出迎えた、いわば正装のグエン。その脇にも車いすの祖父が控えていた……

女王ディアナ・ソレル

第一話のロランの記憶で登場していたディアナが、いよいよ登場した。この時点でのディアナは敵の親玉という役どころと思われていたため、その早々の登場は視聴者からも驚きを持って迎えられた。

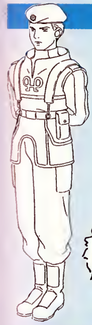


マント姿



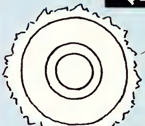
ディアナ・カウンターの総帥としての軍服姿。マントとベレーは、現場で指揮を取るとき着用

ディアナ親衛隊



腰の右には銃を下げ、左耳にのみワイヤレス・ヘッドフォンをしている。また、ヒジにはパッドが入れられていて、手袋は指先が出るタイプ。そして、帽子にはディアナのマークがあり、上着は防弾服を兼ねている

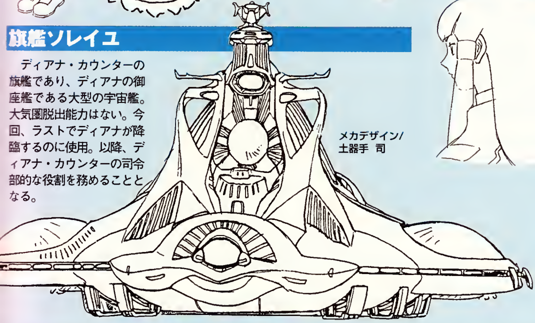
ディアナのマーク



外側から太陽・地球・月のイメージ

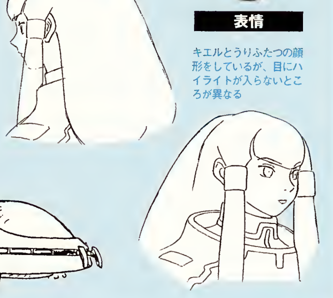
旗艦ソレイユ

ディアナ・カウンターの旗艦であり、ディアナの御座艦である大型の宇宙艦。大気圏脱出能力はない。今回、ラストでディアナが降臨するのに使用。以降、ディアナ・カウンターの司令部的な役割を務めることとなる。

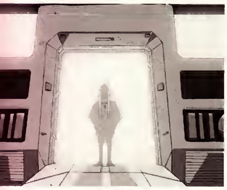


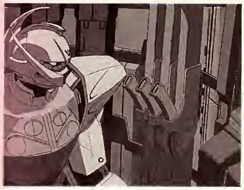
メカデザイン/土器手 司

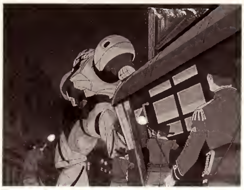
表情

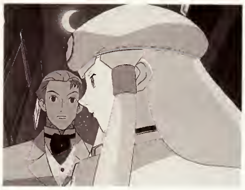


キエルとうりふたつの顔形をしているが、目にハイライトが入らないところが異なる









Episode #06

ミリシャはディアナを捕らえようとするが失敗に終わる

ミリシャはノックスから撤退させられる。ディアナを迎え入れたものの、交渉は依然として平行線のままだった。

第6話 忘れられた過去

■ストーリー解説

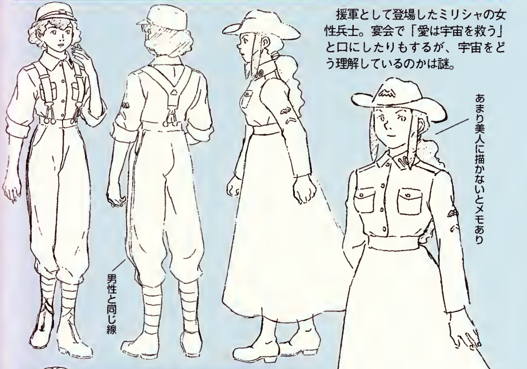
まだ∀の専用兵器は発見されていない。ところがロランが∀に乗ってマウンテン・サイクルへ向かおうとすると、突然モニターが反応し、ストーンサークル、つまり「おみこしの小屋」の地下にある武器庫へ辿り着いた。武器の大半はナノマシンの機能が破綻していたため使い物にならなかったが、唯一ハンマーのみ使用可能だった。ハンマーは振り回せばシールドになり、打ち付けて回転させればドリル様になる。ハンマーはマウンテン・サイクルにいたウォドムを撃退した後に崩壊した。まさにフィルのいう「蛮族」的な武器といえよう。

■スタッフの視点から

最初、∀が胸のサイロの武器を使うと基地からワープか何かで補給されるというアイデアもありました。でも、それだと直接相手に送り込めるんじゃないかということで、その話はうやむやに。

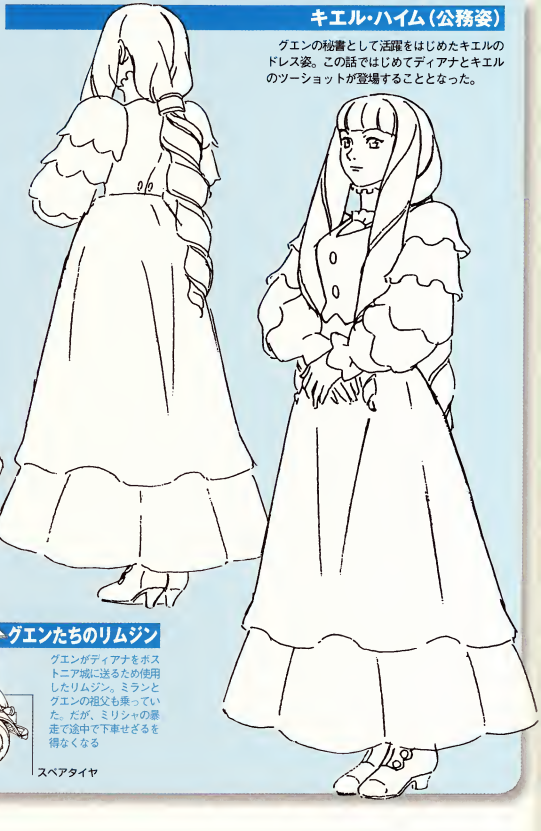
ミリシャの増援が来ての宴会は、絵コンテ段階で追加されたものです。富野さんが誰かにイタリア人は戦争に慣れていて、だからこそ家族と食事を大切にするというのを聞いて、増援が来たときにはみんなで飯を食ったらいいんじゃないかと宴会シーンになったわけです。時代の雰囲気とか緊張感のない雰囲気とかも出せていいシーンになったと思いますよ。

ミリシャの女性兵士


男性と同じ線
あまり美人に描かないとメモあり

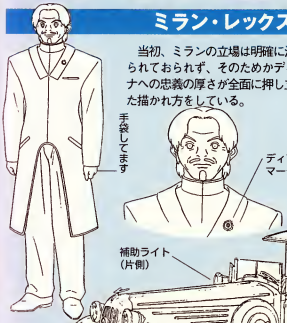
援軍として登場したミリシャの女性兵士。宴会で「愛は宇宙を救う」と口にしたりもするが、宇宙をどう理解しているのかは謎。

キエル・ハイム（公務姿）



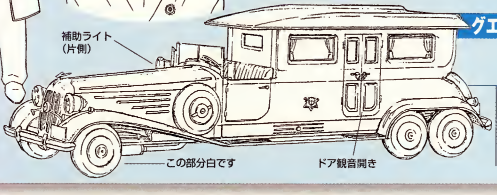
グエンの秘書として活躍をはじめたキエルのドレス姿。この話ではじめてディアナとキエルのツーショットが登場することとなった。

ミラン・レックス


手袋してます
ディアナのマーク

当初、ミランの立場は明確に決められておらず、そのためかディアナへの忠義の厚さが全面に押し立てた描かれ方をしている。

グエンたちのリムジン

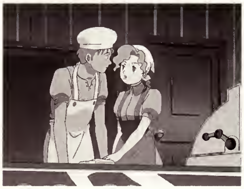


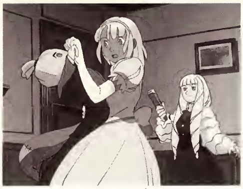
グエンがディアナをボストニア城に送るため使用したリムジン。ミランとグエンの祖父も乗っていた。だが、ミリシャの暴走で途中で下車せざるを得なくなる

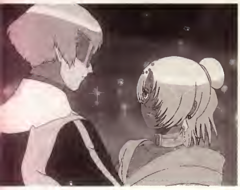
Episode #07

町で商売がしにくくなったキースはムーンレィスの注文を受ける

ディアナの提案で、月と地球との親睦パーティーが開催された。ロランは∀のパイロットのローラとして出席する。







第7話 貴婦人修行

■ストーリー解説

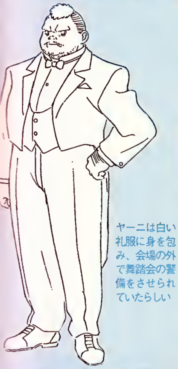
ロランの女装姿だけでなく、細かい部分もチェックしておきたい。まず領主たちが、伝書鳩で伝令を下して密かに軍隊を動かそうしている。伝書鳩はギャロップでも使用されているところを見ると、この時代の地球では一般的な通信方法らしい。また地球側が一枚岩でないことは、後のルジャーナ・ミリシャの行動の伏線ともいえる。また、ディアナ暗殺未遂者が酸素呼吸器を落としていったのをハリーとロランは見る。酸素呼吸器は後にアナンが使っているようにムーンレィスのものだ。だがミランは暗殺者はミリシャと決めつけ、グエンもそれを受け入れる。

■スタッフの視点から

最初、富野さんの構成案だと今回の舞踏会の話と次の牛の話（第8話）で1本の予定だったんですよ。それでロランだけじゃなく、ハリーも女装をして、そのまま戦うという話で。それは変更されましたが、替わりにハリーはあのタテじまの服。これで変な奴というキャラクターがたっちゃいましたね。

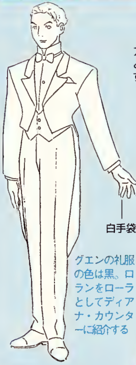
ケーキのデザインのため結婚式の本とか、ゼクシィ（リクルート社発行の結婚総合誌）とかを参考にしたりしました。それと、ケーキの台座から出てきた暗殺者の正体は明確には語られてませんが、ムーンレィスだという設定でした。

ヤーニ（タキシード姿）



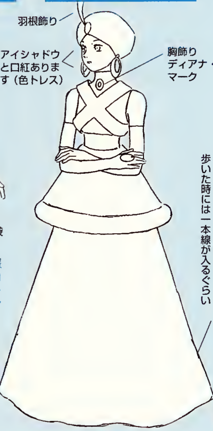
ヤーニは白い礼服に身を包み、会場の外で舞踏会の警備をさせられていたらしい

グエン（タキシード姿）



グエンの礼服の色は黒。ロランをローラとしてディアナ・カウンターに紹介する

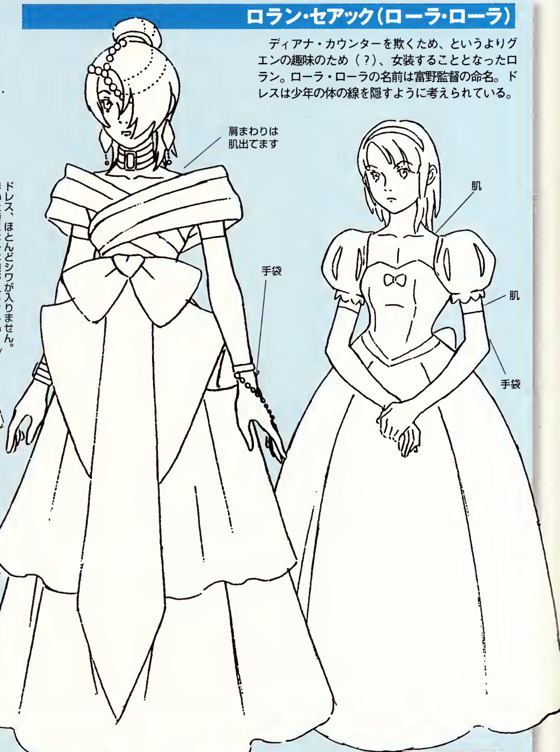
ディアナ・ソレル（パーティードレス）


羽根飾り
アイシャドウと口紅あります（色トレス）
胸飾り ディアナ・マーク

胸のペンダントはディアナマークで、右手の中指には指輪もしている

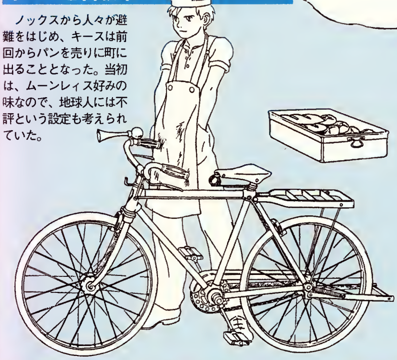
ロラン・セアック（ローラ・ローラ）

ディアナ・カウンターを欺くため、というよりグエンの趣味のため（？）、女装することとなったロラン。ローラ・ローラの名前は富野監督の命名。ドレスは少年の体の線を隠すように考えられている。

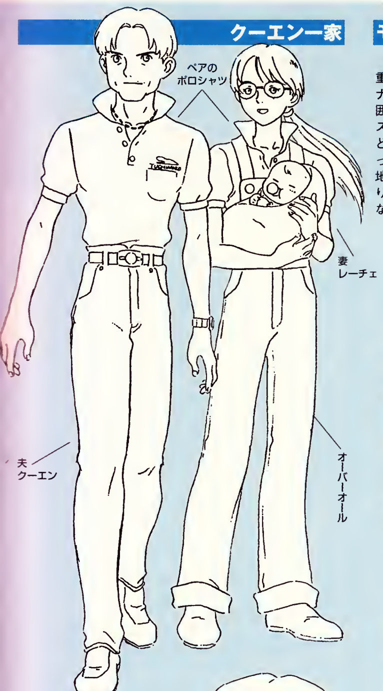

肩まわりは肌出てます
ドレス、ほとんどシワが入りません。歩いた時には一本線が入るぐらい
肌
手袋
肌
手袋
練習用ドレス

キースと自転車

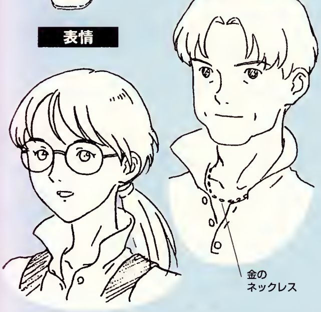
ノックスから人々が避難をはじめ、キースは前回からパンを売りに町に出ることとなった。当初は、ムーンレィス好みの味なので、地球人には不評という設定も考えられていた。



クーエン一家



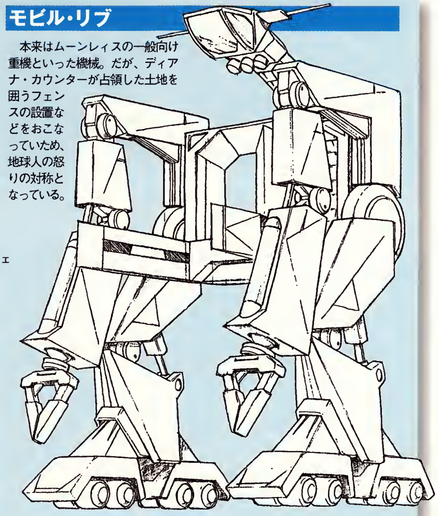
表情

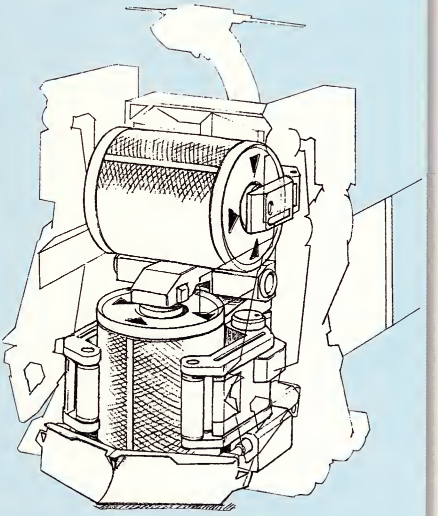


ムーンレィスの一般入植者の夫妻。妻レーチェは心労でお乳が出なくなり、それを嘆いた夫クーエンがロランたちに助けられることとなった。

モビル・リブ

本来はムーンレィスの一般向け重機といった機械。だが、ディアナ・カウンターが占領した土地を囲うフェンスの設置などをおこなっていたため、地球人の怒りの対称となっている。





Episode #08

ロランが月の民だと知ったソシエはロランを叩く

赤ん坊がいるムーンレィス帰還民一家のため、ロランはの胸部のミサイルポッドに牛を入れて運んだ。

第8話

ローラの牛

■ストーリー解説

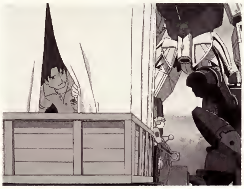
ロランがムーンレィスの帰還民を助けたというサイドストーリーかと思いきや、最後にはロランが自分がムーンレィスであると告白するという、ある意味で非常に重要な回だ。一方のディアナ・カウンターは帰還民の苦労に気付こうともせず、それどころか∀が動けば軍事行動と思い込んで攻撃を仕掛けてくるなど、過剰反応を示している。

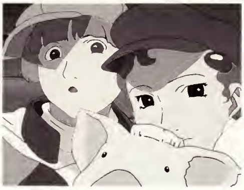
また細かい部分だが、フランがソシエに「好きな人ができた」と告白している点も見逃せないだろう。

■スタッフからの視点

ディアナ・カウンターのお金というのは、たぶん軍票みたいなものなんでしょうね。偽札を刷っているという可能性もありますけど、それはたぶんグエンさんが許さないでしょうから。地球人からみればどっちも紙くずでしょうが……。

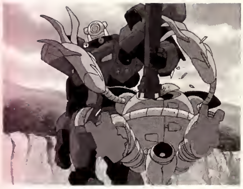
もっとも、月から持ってきた雑貨や携帯食糧を売れば、いいお金になる気もします。だから、今回だけ出てきたハリーの自動車なんかはそうして手に入れたのかもしれませんね。

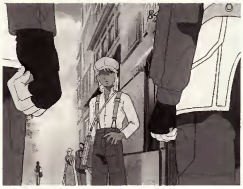


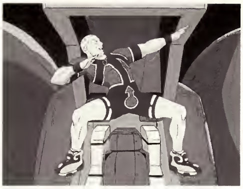


Episode #09

ムーンレイスのロランを認めないソシエは∀を操縦







月から爆弾の山よりも危険な男、コレンがやってきた。彼は「ガンダム」と戦うためにミリシャへ攻撃を仕掛ける。

第9話
コレン、ガンダムと叫ぶ

■ストーリー解説

キースがミリシャのミハエルにフラットを売ったのには観ている方も驚いたが、キースにとっても一生をかけた大博打だったのだろう。事前にロランにもフランにも何も相談していないのも博打っぽい。ちなみにシナリオ段階では、ミハエルをフラットへ案内する途中でコレン機と会った際に「早く来てこいつらをどかしてくれ！　ぼくの一生がかかってんだ！」と。なおキースがミハエルに「ミリシャのために一度に沢山のパンを焼ける工場を欲しいんです！」というのは、すでにムーンレイスにもパンを売っている（この回でもハリーに捕らえられたロランがキースのパンを食べるシーンがある）ことと合わせて考えると、この先キースのパン工場が両軍の中立地帯となり、さらにはミドガルドの潜伏場所となる伏線とも思われ興味深い。

まもなく博打を打つかもしれないと予想させるのがキエルだ。ソシエを∀で出撃させるグエンに不信感を抱く。キエルがグエンから離れて第一歩を踏み出す、その始まりと言えそうだ。

■川津泰彦（コレン役）

何といっても、作品中一番最初に「ガンダム」と呼ばせて頂けた事に感動しました。でも「ガンダム！」と叫ぶところではテンションが上がり過ぎて「ぎゃんだむぅ！」となってしまい、録り直ししましたけれど。それと、それまでどこか長閑だった∀の世界に、いきなり股間に矢印を付けた男が登場したのですから、皆様の中から浮かないよう、そりゃもう注意しました。とはいえ正直な話、初登場の時にコレンの顔を見て「これ、何だ？」と思ってしまいましたが。

でも、コレンが抱えていたトラウマの原因でもありキーワードでもある「ガンダム」が、あぁいった形で以前の作品と繋がっていたのには驚きました。富野監督には十年二十年たっても一つの作品として成り立つ、流行や受け狙いではないしっかりした世界観を作り上げる意識を持つようにといわれましたが、納得できた気がしました。監督と仕事をしたのは初めてですが、ストーリーや台詞、作品へのこだわりの深さには驚かされました。その情熱が演技の原動力になりました。

■スタッフの視点から

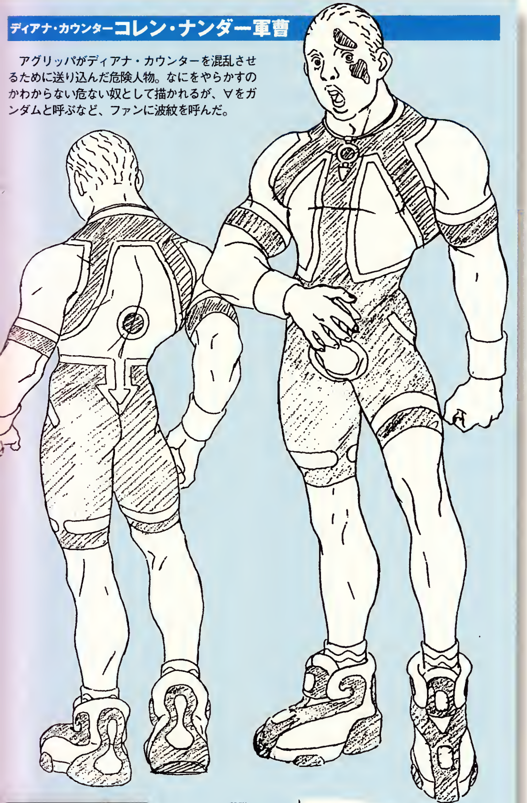
シナリオではアグリッパの名前が初めて出た話です。じつは、アグリッパの姿は制作発表の時のカラーパネルにも描かれていたんですけど、その時点では見た人にもわからないですよね（笑）。まあ、この紛争の黒幕にしようというのが決まったのもこの頃でしたし。ただ、あの官僚的な性格というのはまだ考えられていませんでした。気が小さいから隠れて色々嫌がらせをするんだろうな、という話は出ていましたけど。

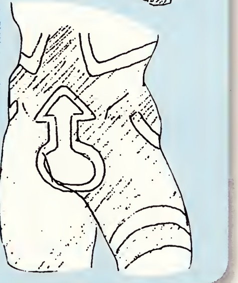
ハリーがローラの正体がロランだと気付いているかどうかについては、富野監督は「うん。ハリーはローラがロランだと気付いているよ」と言うんですけど、その後なにか曖昧な表現が続いていまひとつわからない。ま、ハリーは気付いてないふりをして、利用しようとしたんでしょう。このころは、まだハリーも賢いキャラの可能性もあったですから（笑）。

ハリーもそうですけど、ディアナさまがローラとロランの関係に気づくシーンが作れなかったのは心残りですね。

ディアナ・カウンター コレン・ナンダー軍曹

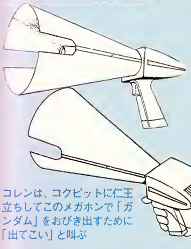
アグリッパがディアナ・カウンターを混乱させるために送り込んだ危険人物。なにをやらかすのかわからない危ない奴として描かれるが、∀をガンダムと呼ぶなど、ファンに波紋を呼んだ。



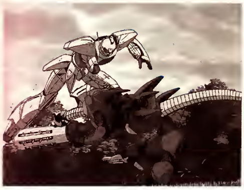


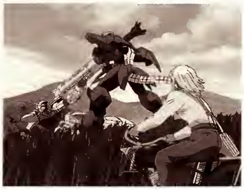
この段階でのコレンは、終始この独特のタイツ状の服を身に着けていた。他に同じような服を着ている人もおらず、私品なのかもしれない

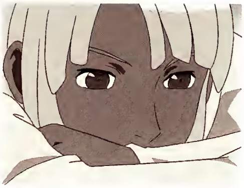
コレンのメガホン

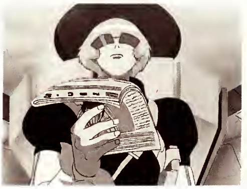


コレンは、コクピットに仁王立ちしてこのメガホンで「ガンダム」をおびき出すために「出てこい」と叫ぶ



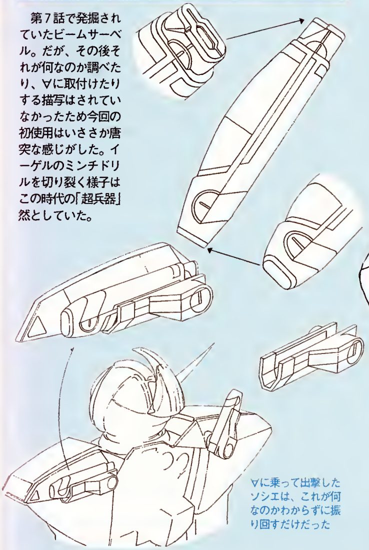






∀ガンダムのビームサーベル

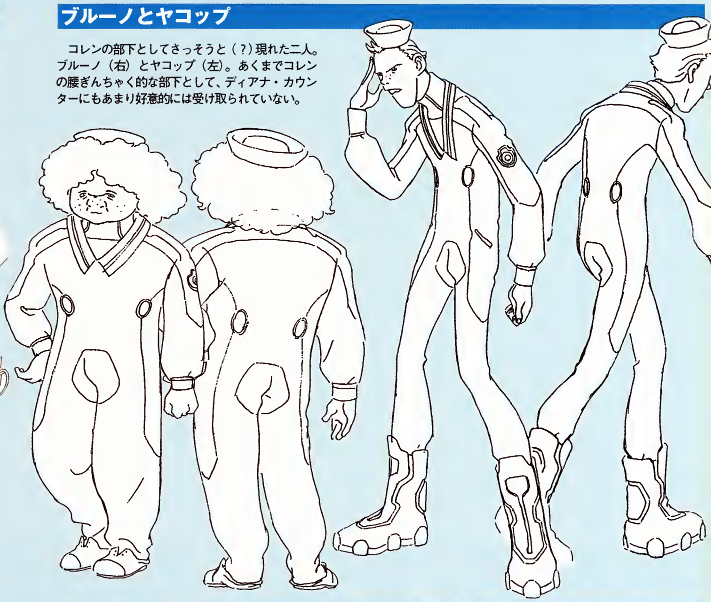
第7話で発掘されていたビームサーベル。だが、その後それが何なのか調べたり、∀に取付けたりする描写はされていなかったため今回の初使用はいささか唐突な感じがした。イーゲルのミンチドリルを切り裂く様子はこの時代の「超兵器」然としていた。



∀に乗って出撃したソシエは、これが何なのかわからずに振り回すだけだった

ブルーノとヤコップ

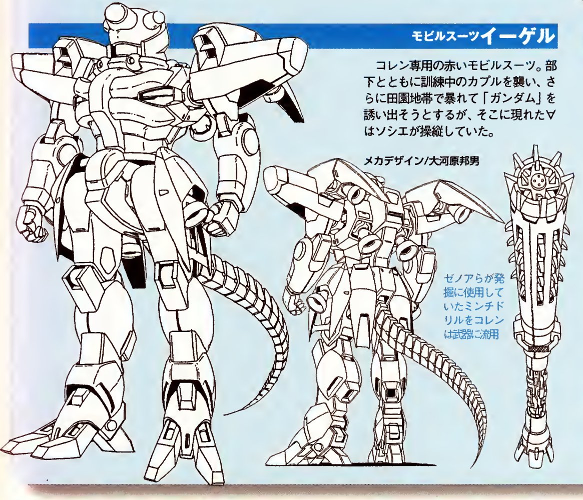
コレンの部下としてさっそうと（？）現れた二人。ブルーノ（右）とヤコップ（左）。あくまでコレンの腰ぎんちゃく的な部下として、ディアナ・カウンターにもあまり好意的には受け取られていない。



モビルスーツ**イーゲル**

コレン専用の赤いモビルスーツ。部下とともに訓練中のカプルを襲い、さらに田園地帯で暴れて「ガンダム」を誘い出そうとするが、そこに現れた∀はソシエが操縦していた。

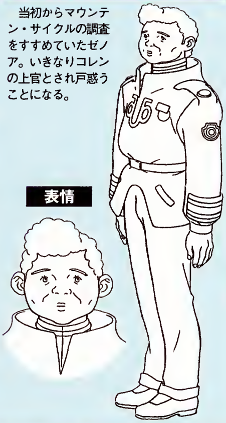
メカデザイン/大河原邦男



ゼノアらが発掘に使用していたミンチドリルをコレンは武器に流用

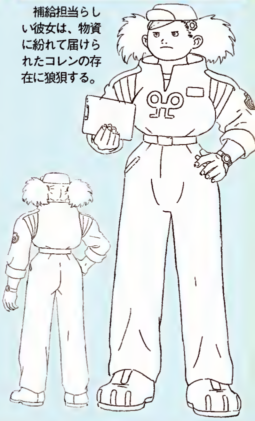
ディアナ・カウンター**ゼノア少尉**

当初からマウンテン・サイクルの調査をすすめていたゼノア。いきなりコレンの上官とされ戸惑うことになる。



ディアナ・カウンター**アナン少尉**

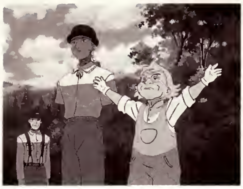
補給担当らしい彼女は、物資に紛れて届けられたコレンの存在に狼狽する。

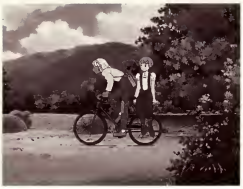


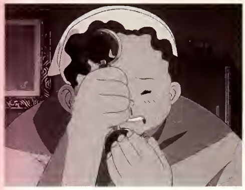
Episode #10

ディアナとキエル ちょっとした悪戯で 入れ替わることに

キエルとなったディアナは戦場だった場所や戦争の被害者を目撃する。その結果ハイム氏の墓で泣きながら謝罪する。







第10話
墓参り

■ストーリー解説

前話でカプルの操作手引き書があり、それがパイロットたちに配布されていることが明らかになった。ジョゼフの言葉「こいつの文章を写真にとって焼き増してますけどね」より、このマニュアルはこのようにして作られたということがわかった。ジョゼフはこの言葉を∀の電気手帳を見ながらいっているが、カプルの手引き書が∀の電子手帳を複写して作られているとは考えにくい。この回でキースがフラットの発掘に立ち会いながら「マニュアルみたいなの、あるはずですし」といっていることからして、カプルの電気手帳も発掘されたのだと考えられる。∀と同じく、コクピットのシートの下にあったのだろうか？　ミリシャのパイロットが電気手帳をそのまま使わないのは、カプルの台数より電気手帳の数が少ないからだろうか？　それとも電気手帳の操作自体が、ミリシャの者にとっては難しいからだろうか？　それとも我々が日頃よく感じる、モニタでばかり文字を読むのは疲れるからだろうか。

シドによればこの電気手帳は、黒歴史の技術史では「こんぴうたのうと」とよばれるらしい。ちなみにこの電気手帳、一見樹脂製のページを持つハードカバーのノートのようだが、実は超高解像度高分子体薄膜ディスプレイとなっている。またVの電気手帳には、ユーザーの操作状況からその習熟度を自動的に判断して表示内容のレベルを調節するオートチュートリアル機能が搭載してあるらしい。であればジョゼフがいうように「こんぴうたの情報を全部写し出す」のはかなり困難だと思われる。ロランがムーンレィスと知って態度を変えたジョゼフ、こんなところでもロランに意地悪か？

■スタッフの視点から

1番最初は、キエルとディアナが入れ替わるという話はなかったんですよね。そっくりだということは決まっていたのに。そもそも、ロランも地球人で、月に行って初めてキエルとそっくりのディアナと出会うという展開だったと思います。

それが、ロランをムーンレィスにしようということになったんですよね。でも、そのときはまだキエルとディアナの入れ替わりは『影武者』みたいに陰謀によるものにしようという話でした。

今回のようになったのはさらに後の話で、『ブレンパワード』と同じように、シリーズ構成なしの、行き当たりばったりで作ることになった（笑）。

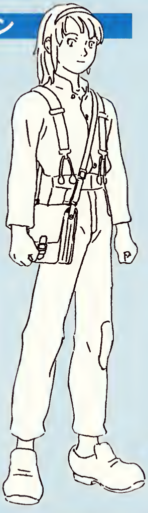
でも、キエルとディアナの入れ替わりは本当に大変で（スタジオではD（ディアナ）・キエルやK（キエル）・ディアナなどと呼び区別していた）、みんなもっと早く止めようと思っていたんだけど……随分と長いこと入れ替わっていることになってしまいました（笑）。

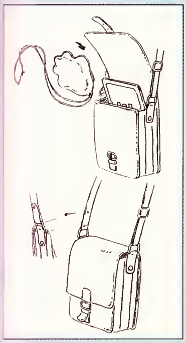
11話の始まるまで随分と時間があったんだろうから「ディアナさまも、とことこと歩いて帰ればいいのに」なんて言ってたんですけどね。

あと、シナリオではお母さんだけが自分の手を取ったキエルが実は別人だと気付いているという描写があったんですよね。そういう人の方が、じつは本当のことが見えているという。おとぎ話によくある話で、後になってコレンで使っているモチーフなんですけどね。

ロラン・セアックとカバン

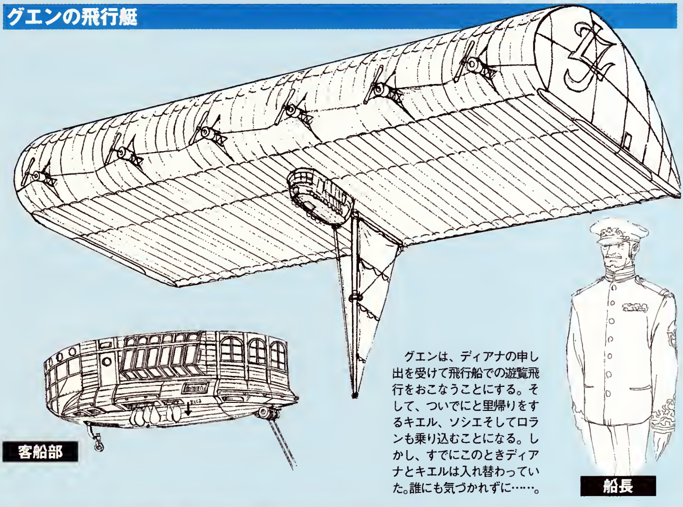
飛行船に乗り合わせることになったロランは、ディアナとキエルと同道することとなり舞い上がってしまう。



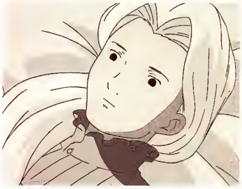


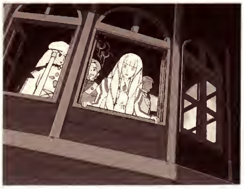
カバンにはいつもブリキの金魚と∀の電気手帳を忍ばせている

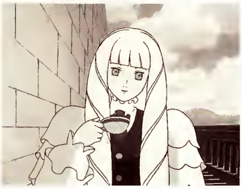
グエンの飛行艇

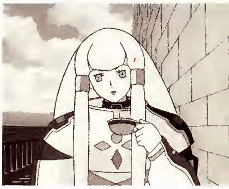


グエンは、ディアナの申し出を受けて飛行船での遊覧飛行をおこなうことにする。そして、ついでにと里帰りをするキエル、ソシエそしてロランも乗り込むことになる。しかし、すでにこのときディアナとキエルは入れ替わっていた。誰にも気づかれずに……。



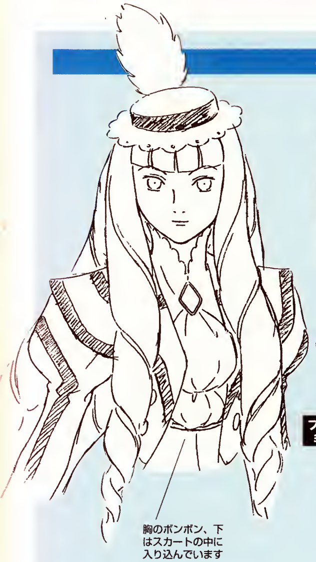




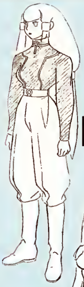


キエルに扮した女王ディアナ・ソレル

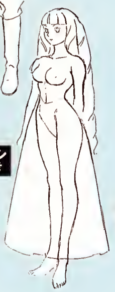
飛行船に乗る前の一時の休息の中で、ディアナはキエルと衣装を取り換える。こうして∀なる物語が本格的に転がり始める。なおスカートのひだは五つ。



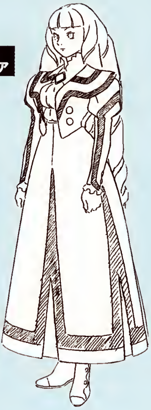
胸のボンボン、下はスカートの中に入り込んでいます



ディアナのアンダーウェア

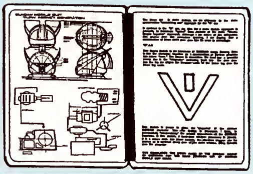


プロポーション参考

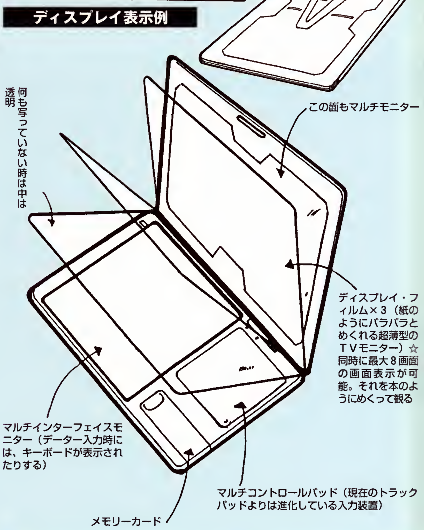


電気手帳

∀のコクピットにあったマニュアル兼遠隔操縦装置。ロランはそこに表示された情報をシドたちに伝えるが、ムーンレィスということでジョゼフやソシエからは冷たくあしらわれる。

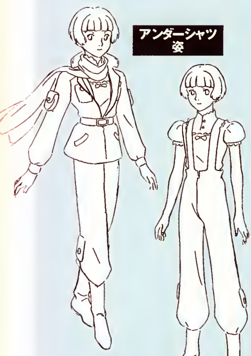


ディスプレイ表示例


何も写っていない時は中は透明
この面もマルチモニター
ディスプレイ・フィルム×３（紙のようにパラパラとめくれる超薄型のＴＶモニター）☆同時に最大８画面の画面表示が可能。それを本のようにめくって観る
マルチインターフェイスモニター（データー入力時には、キーボードが表示されたりする）
マルチコントロールパッド（現在のトラックパッドよりは進化している入力装置）
メモリーカード

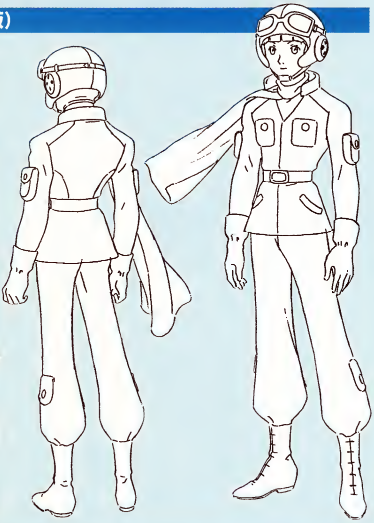
ソシエの飛行服（改訂版）

ムーンレィスのロランに助けられたことが気まずく、姉キエル（じつはディアナ）がディアナと親しげなのが面白くなく、今回のソシエは終始不機嫌。



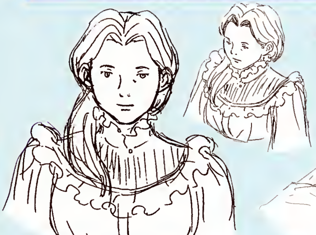
アンダーシャツ姿

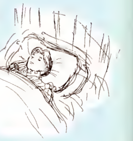
アンダーシャツ姿はこれ以降ソシエの普段着化。下は白いブラウス

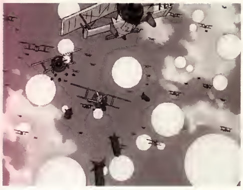


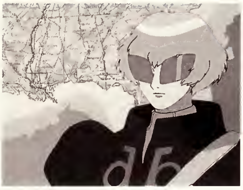
病床のハイム夫人

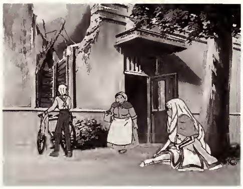
ディアナカウンターの襲撃と夫の死により気落ちし、精神に混乱をきたしたハイム夫人。彼女の元を訪れる展開が、今回の話の肝といえる。











Episode #11

ミリシャがついにソレイユへ総攻撃を コレンはノックスへ

ソレイユは攻撃を避け、サンベルトへ向かって飛び立つ。フィルはソレイユを離れマウンテン・サイクル攻撃を決意する。

第11話 ノックス崩壊

■ストーリー解説

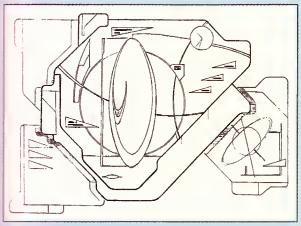
フィルとコレンとの会話で「アグリッパ・メンテナー」という名前が初めて出てきた。この時点で明らかにされるのは「穏健派の代表だが、地球帰還作戦の強行策を考えている。コレンを地球へ送り出した」ということだけだ。なお絵コンテ段階では最後にコレンはフィルへ「あんたの進退だって考えておいた方がいぃっ！」という。ミリシャのソレイユ攻撃とコレンのノックス襲撃を聞いたフィルがマウンテン・サイクル攻撃を決意したのは、この一言が原因なのかもしれない。さらには後にクーデターを起こす遠因も、この言葉だったのかもしれない。

ロランがムーンレィスであることは、シドがいうにはグエンがおおっぴらにするなとお達しを出しているようだ。だがジョゼフの言葉によれば、マウンテン・サイクルにいる人間は気付いているらしい。絵コンテ段階では、ミリシャの兵士は∀のパイロットのローラという女がムーンレィスであることは知っているものの、∀にのるロランがローラであることまでは気付いてないというシーンもあった。

■青羽剛（グエン役）

この「ノックス崩壊」の回はグエンの人生の転機になった回なのでとても印象に残ってます。その後一人でルジャーナ

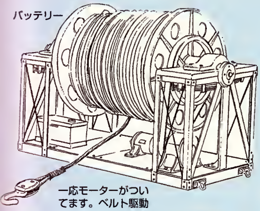
ディスプレイ表示例



掘り出したシールドに対応して、コックピットのキャノピーに映し出された映像

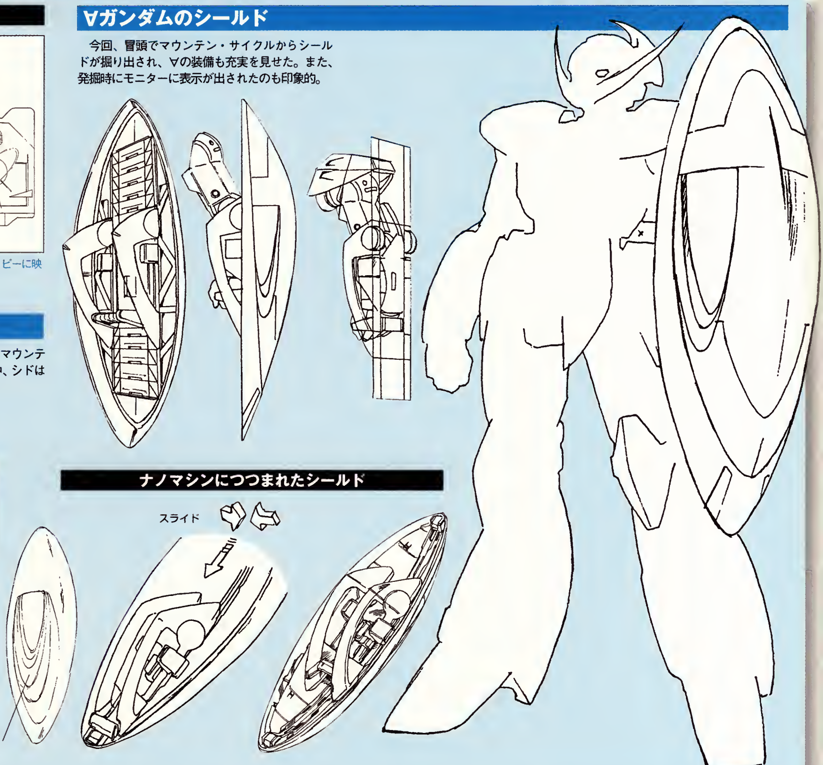
カプルを引き上げるワイヤー

ロランは∀でこのワイヤーを手繰ってカプルをマウンテン・サイクルの底から引っ張り上げた。そんな中、シドはロランにも優しく接する。

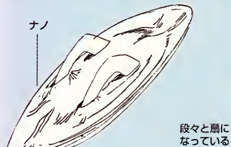


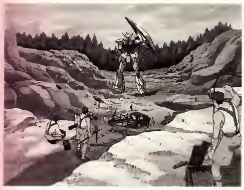
∀ガンダムのシールド

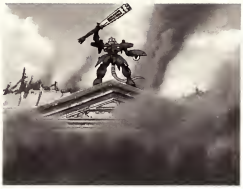
今回、冒頭でマウンテン・サイクルからシールドが掘り出され、∀の装備も充実を見せた。また、発掘時にモニターに表示が出されたのも印象的。

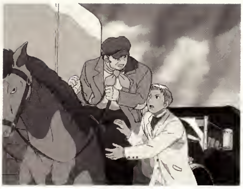


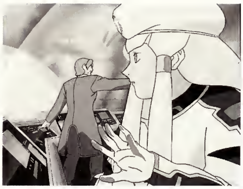
ナノマシンにつつまれたシールド











へ行ってリリにいう台詞「私はこのまま消えていく男ではありませんよ」は、強い意志が秘められていて気に入ってます。

領主として実権を握り、19才で産業革命を起こし、大勢の人間を動かす手腕を持つグエンという人間を理解して演じるのはとても難しかったですが、同時にやりがいもありました。一般人よりも一歩先を読んで行動するところは、意識してました。監督からは、とにかくグエンはスケールの大きな人でいてくれといわれました。また上流階級の人らしく、げすっぽくならないように注意しました。

地球の文明が退化しているという設定はおもしろいと思いました。高層ビルがなく、自然にあふれた地球はとても心地良くてすばらしい。でもグエンは工業化、産業革命に生き甲斐を感じていて、ムーンレィスの近代的な船やモビルスーツに魅力を感じて、野心がぐんぐん沸いてくるんですね。近い将来、本当にありそうな話っぽくて大好きです。

スタッフの視点から

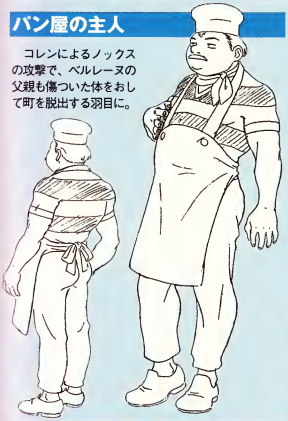
今回で千葉克彦さんの脚本が最後だったのですが「おれは、ノックスをめちゃくちゃにして去る」と言っていたんです（笑）。それだけすごい力の入った脚本になっていました。説明しなきゃいけない要素はいっぱいあるのに、テンポもあって。読んでいてもすごい面白くて、一稿目（通常、シナリオは第一稿をスタッフで検討され、その意見を取り入れて改訂版が書かれることが多い）でほとんど完成していましたね。

この前後の辺りからジョゼフがロランに突っかかり出したのは、将来の敵役にという遠望があったからなんですね。グエンは当面の敵ではないし、ハリーもディアナさまの回りでうろうろしているばかりだし、フィルやミランもライバルと言うには弱い。それでジョゼフあたりを育てたいな、といっていたんですけど。最後は丸くなっちゃいましたね。

まあ、本当は怖かったジョゼフ・ヨットということで（笑）。

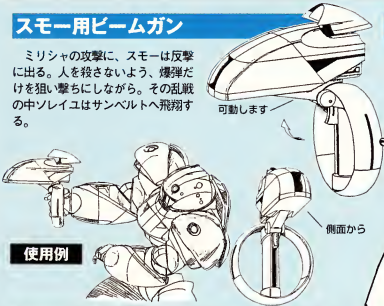
パン屋の主人

コレンによるノックスの攻撃で、ベルレーヌの父親も傷ついた体をおして町を脱出する羽目に。

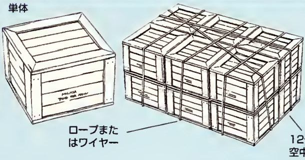


スモー用ビームガン

ミリシャの攻撃に、スモーは反撃に出る。人を殺さないよう、爆弾だけを狙い撃ちにしながら。その乱戦の中ソレイユはサンベルトへ飛翔する。

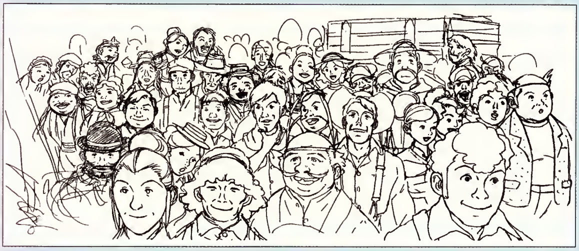

可動します
側面から
使用例

モビルスーツ用手投げ弾


単体
ロープまたはワイヤー
12個で1セット
空中でロープがほどけてバラバラになる

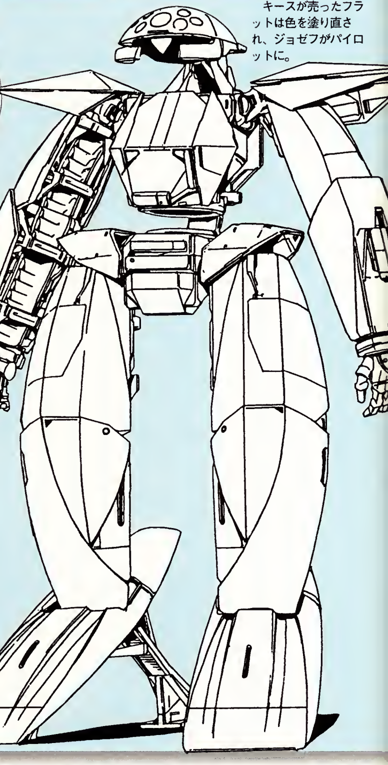
イングレッサの一般庶民

比較的貧しい、イングレッサ領の住民たち。活き活きとした表情を浮かべているが、コレンの攻撃でノックスが壊滅。イングレッサ経済が崩壊したことで、彼らはこれから難民となるしかないのだろうか？

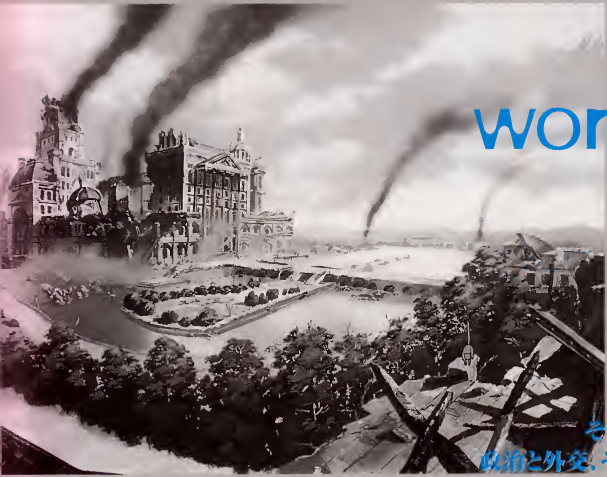


ミリシャの機械人形ハイヒール

キースが売ったフラットは色を塗り直され、ジョゼフがパイロットに。

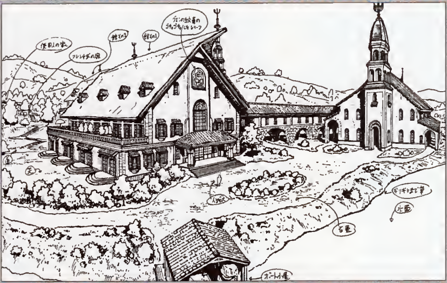


turnA
world for Episod
#03-1
∀の世界



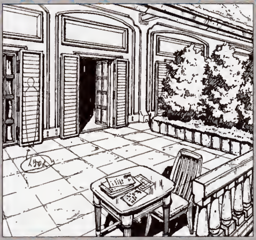
**それまで描かれていた庶民一般の生活から一転、
政治と外交、そして安全保障、戦いが物語をむしばんでいく。
緊張をはらんでいく∀世界を振り返る。**

グエンの別邸と迎賓館

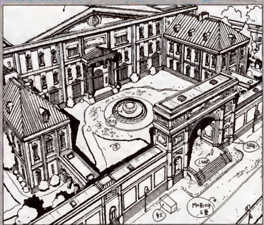


眼前の湖から水上機で移動もできるグエンの別邸。森に囲まれており、何かを隠蔽するのにも適す

グエンはディアナ・カウンターにボストニア城の一部を開放した。その結果、ミリシャの整備など、隠密裏にすすめる行動はこの別邸を中心におこなわれることとなった。また、ボストニア城とは別に迎賓館があるなど、この世界の豊かさ、そして領主の権能の大きさが暗に示されているとも取れる。

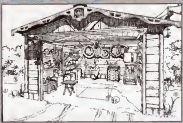


グエン別邸のベランダでのキエルとの会話は必見



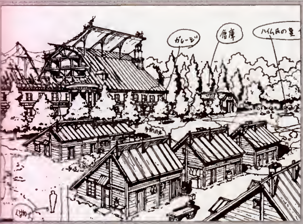
ディアナの申し出による舞踏会の舞台となった迎賓館。この南門が正門となっており、客たちもここから入場した

グエン別邸裏のガレージ。ここで、グエンは自ら愛車の整備に励みつつ考えをまとめたりもしているらしい

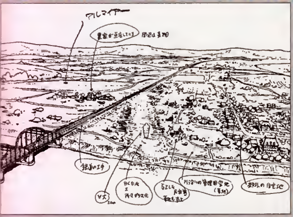


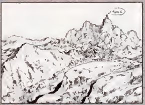
戦いの傷痕

自分たちがあまりに非力なことを知らないミリシャ。圧倒的でありながら、戦い方を知らないディアナ・カウンター。それは小競り合いに過ぎない戦いだが、ひとつの領土に深刻な被害を与えるほどの深い傷痕を残すこととなる。


ガレージ
倉庫
ハイム氏の家
人物

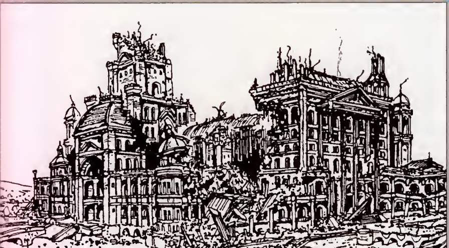
至の夜、降下してきたディアナ・カウンターの流れ弾で半壊した
イム邸。これによってディラン・ハイムは死亡した



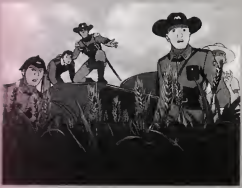


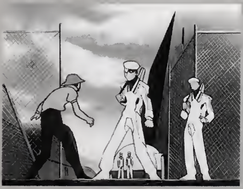
ウォトム隊の斉射で変わり果てた姿となったビシニティ郊外のマウンテン・サイクル

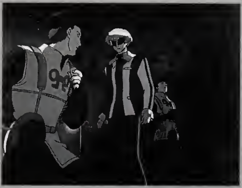
ノックス郊外のディアナ・カウンター降下ポイント。ウォドムのビームでガラス化した土地や、民家や草原の焼け跡が広がる

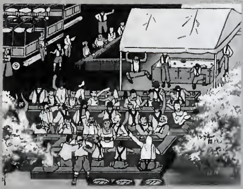


ミリシャの暴発をきっかけに、ディアナ・カウンターはコレン軍曹の暴走を容認。これによってイ
クレッサ領首都、ノックスは崩壊した。象徴ともいうべきボストニア城は無残な姿を曝す



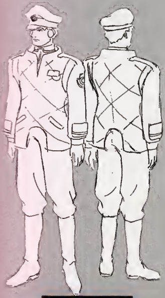




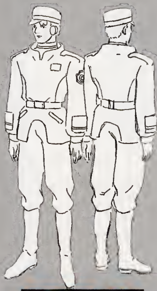


ディアナ・カウンターの居る風景

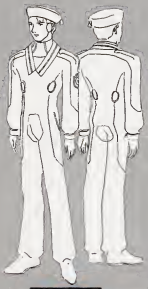
地球に降下してきたディアナ・カウンターは、着陸ポイントの周辺をフェンスで仕切り、そこを勝手に自分たちの領土とする。その一方で、地球人側には死者を出さないように命令が出るなど、彼らもまた「戦争を知らない」存在であることがわかる。だが、それ以上に戦争を知らないミリシャは、民間人と軍人の区別なく襲撃をおこなう。互いの知識の、常識のずれが悲劇を拡大していく。



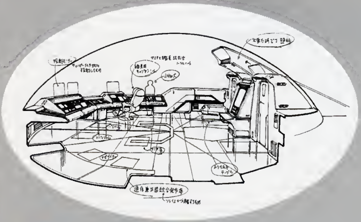
指揮官クラス



各部署のリーダー

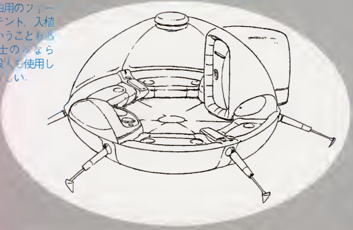


一般兵

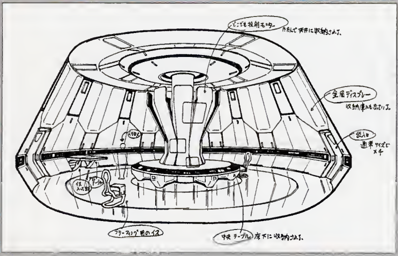


上は旗艦ソレイユのブリッジ。一種のオープンスペースとして、ティアナと一般兵士やミランやハリーとのやりとりを見せることも多かった

一般宿泊用のフィールド・テント。入植者用ということもあり、兵士のみならず一般人も使用しているらしい。

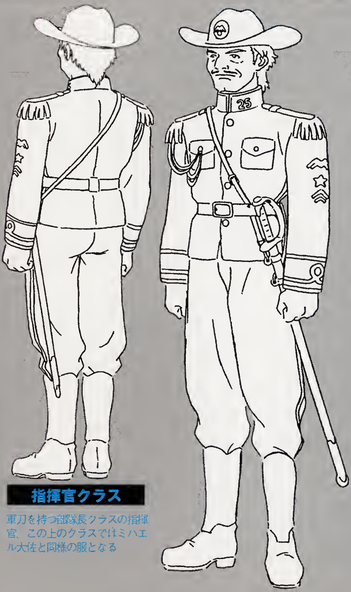


右側はアルマイヤーの装甲多目的ルーム。ソレイユにも同様の設備があり、ブリーフィングルームとして 複数のモニターを表示して使われることが多い



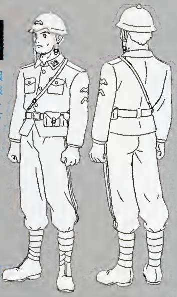
イングレッサ・ミリシャ

ミリシャ、すなわち市民軍である彼らは自分たちが政治に従うものだという認識がない。また、単純な復讐の論理で動いてしまう、前近代軍であるといえる。そんな彼らが戦火を拡大していることに、ロランやグエン、そして視聴者以外は気付かない。その庶民レベルで引き起こされる戦争こそが∀の悲劇といえる。



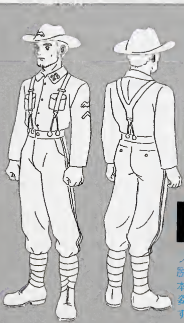
指揮官クラス

軍刀を持つ部隊長クラスの指揮官、この上のクラスではミハエル大佐と同様の服となる



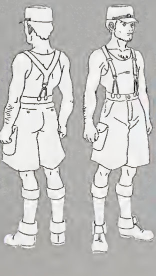
一般兵（戦闘服）

戦闘時の服装。鉄兜を被り、ジャケットに銃剣を下げている



一般兵（軽装）

ジャケットを脱いだ姿。基本的に、この姿では戦闘をすることはない



一般兵（超軽装）

補給や整備部隊に多く見られる。ブーツは折り返し帽子は被る

∀クロニクル
CHRONICLE

4月29日にはパレスチナは予定されていた独立宣言の延期を決定した。

5月7日には、ユーゴ空爆で中国大使館への誤爆が発生。国際問題化する。また8日には日本画家として名高い東山魁夷が他界。12日にはソニーが犬型ペットロボットAIBOの発売を発表。

一方、5月21日は全米で『スター・ウォーズ』が公開され興行収入の史上最高記録を塗り替えた。また、日本初のトキの人工ふ化にも成功、とめでたい話題が続くが、タレントの由利徹が他界している。27日にはインドとパキスタンの間でカシミール紛争が勃発。

6月10日、コソボ紛争がようやく和平へと進む。一方、14日には漫画家の谷岡ヤスジが他界。と続いた。

Episode #12

グエンがノックスを放棄したためミリシャは統合を考える

フィルのマウンテン・サイクルへの攻撃から逃れたロランとディアナは地下回廊を進んだ。そこへコレンがやって来た。

第12話 地下回廊

■ストーリー解説

コレンの冷凍刑については9話でディアナが「コレンは情の厚い男。それから出た禁固刑」といっているが、実はディアナを亡き者にしようとした反乱分子の兵士85名を、裁判にもかけず惨殺したというものらしい。とするとコレンのディアナへの忠誠心がレット隊並み、もしかしたらそれ以上に高いことは確かだといえるだろう。

そのディアナはコレンとガンダムの関係についてかなり詳しく知っているらしいということが「コレン・ナンダーの任務は終了しております」「ガンダムにはおヒゲがありますか！ ありません。時代は違ったのですから、お前の任務は完了しております」などの台詞から読みとれる。もっともこれがコレンとガンダムが対峙している時代にディアナもいたのか、それとも後から情報としてのみ知ったことなのかは定かではないが。

なお、後にレット隊のキャンサーとムロンの先祖の名をフルネームでいっていることから考えても、ディアナの記憶力はかなり高いものであると推測される。となると「ロランがたくましく育ってくれて……」という台詞は、ロランが地球に降下する前に謁見したことを、ディアナが覚えているのだとも解釈できる。記憶力がいいのは肉体年齢19才のためか？ ちなみにコレンのあの髪と顔のあざの原因は冷凍刑らしい。イーゲルに乗ったまま冷凍されたために長髪だった髪が抜け落ち、さらに解凍時のミスから顔の皮膚の一部が変質したというのだ。

この回のラスト、ロランがディアナの膝枕で寝るシーンには挿入歌として「月下美人」が流れることも要チェックだ。

■スタッフの視点から

この時は、コレンもずいぶんちゃんとメカを使って戦っていましたね。ぜひ、あの首が全部抜かれてやられてほしかったんだけど、むりでしたね（笑）。

コレンは最初、ここで死ぬはずだったんですよ。それこそ、格闘ゲームでコレンクリアー!! っていう感じで。

ところが、富野監督の前で冗談を言ったら、生きていたら面白いな、とそっちの方に傾いちゃって。それで、絵コンテではっきりと生きている絵をつくっちゃった（笑）。

ちなみに、そのときした冗談というのは、この話の次で調べに来たポゥがコレンは落ちたらしいと聞いて現場でげらげら笑う。ところが、その下の岩にコレンが張りついて聞いていたら後が怖くておかしい、というものだったんですけどね。

まあ、おかげさまで、再登場することになったんですが、何時何処で使うかはこの時点では未定でした。

まあ、富野監督の前で下手な冗談は禁句ですね。突拍子もないものをやりたがるから、採用されちゃうので。

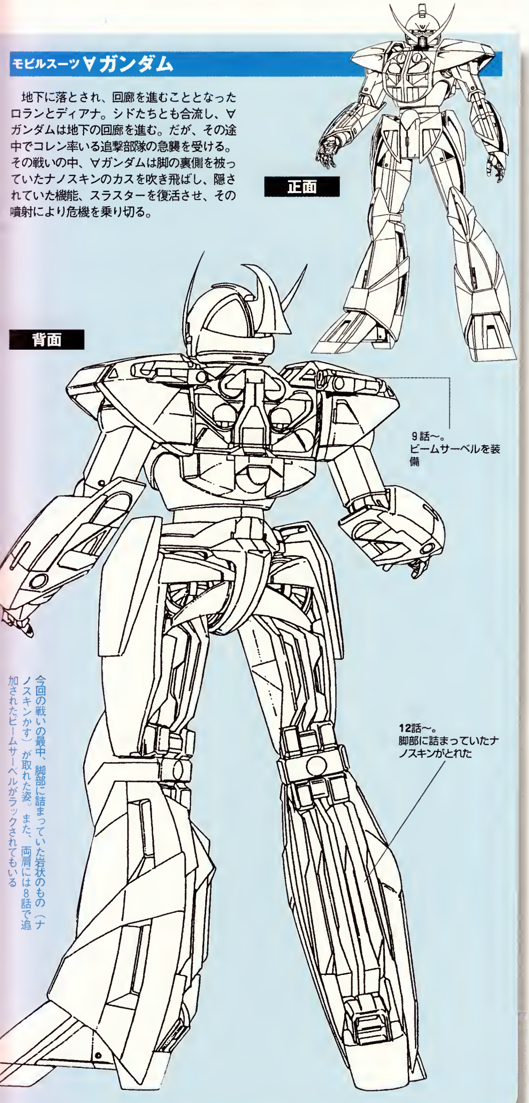
シドの言うマウンテン・サイクルタイプの地層。これは、まあ砂に見えるのがナノマシンの死骸でしょうから、そういう特徴はあるのかもですね。さらさらした砂があるとか……あんまりやるとナウシカみたいになっちゃいそうですけど。

実は、誰も指摘しないですけど世界の構築は少し似たものがあるんですよね。世界が1回滅んでまた、というところが。

ただ、あの辺りの話とはメカの扱いもキャラのシフトも違うので、みんな似ないだろうなとは思っていたみたいです。

モビルスーツ∀ガンダム

地下に落とされ、回廊を進むこととなったロランとディアナ。シドたちとも合流し、∀ガンダムは地下の回廊を進む。だが、その途中でコレン率いる追撃部隊の急襲を受ける。その戦いの中、∀ガンダムは脚の裏側を被っていたナノスキンのカスを吹き飛ばし、隠されていた機能、スラスターを復活させ、その噴射により危機を乗り切る。

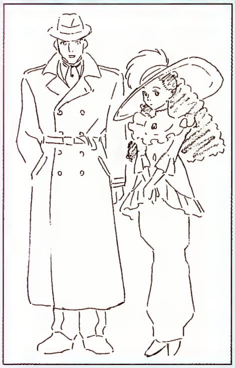

正面
背面
9話～。ビームサーベルを装備
12話～。脚部に詰まっていたナノスキンがとれた

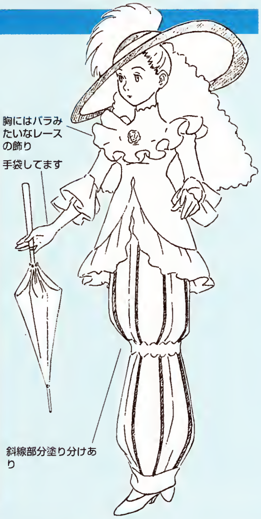
今回の戦いの最中、脚部に詰まっていた岩状のもの（ナノスキンかす）が取れた姿。また、両肩には8話で追加されたビームサーベルがラックされてもいる

リリ・ボルジャーノ

落日のグエンを出迎えたのはボルジャーノ公の末娘、リリであった。何事も面白がる彼女は、グエンの依頼を「スパイ」だととらえて喜々として引き受ける。

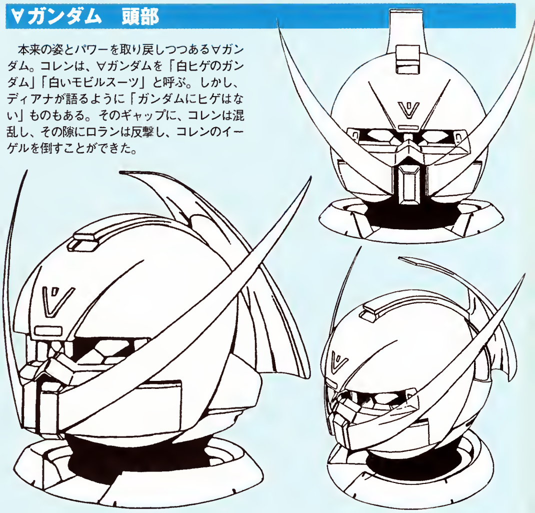
グエンとの対比




胸にはバラみたいなレースの飾り
手袋してます
斜線部分塗り分けあり

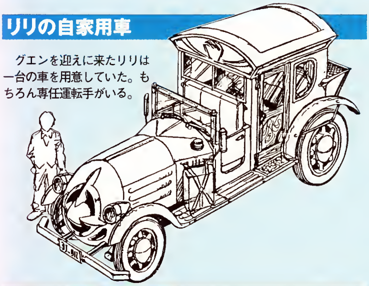
∀ガンダム　頭部

本来の姿とパワーを取り戻しつつある∀ガンダム。コレンは、∀ガンダムを「白ヒゲのガンダム」「白いモビルスーツ」と呼ぶ。しかし、ディアナが語るように「ガンダムにヒゲはない」ものもある。そのギャップに、コレンは混乱し、その隙にロランは反撃し、コレンのイーゲルを倒すことができた。



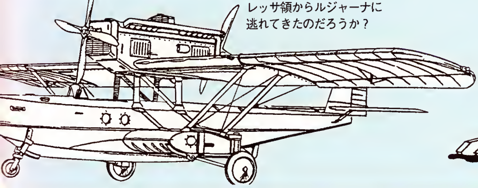
リリの自家用車

グエンを迎えに来たリリは一台の車を用意していた。もちろん専任運転手がいる。



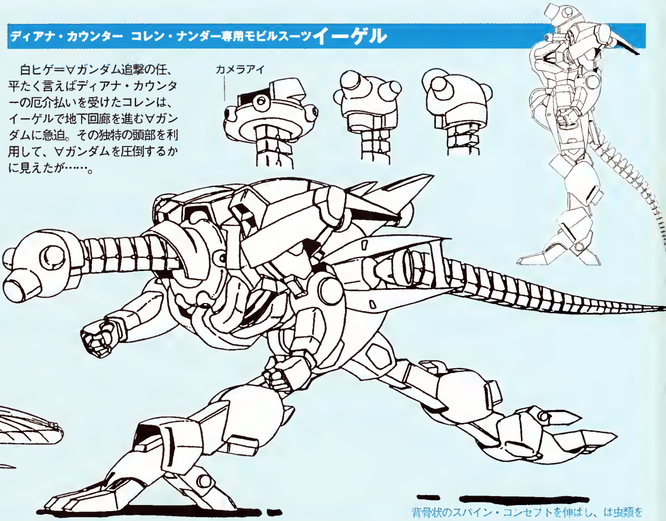
グエンの水上飛行機

グエンは、これでイングレッサ領からルジャーナに逃れてきたのだろうか？

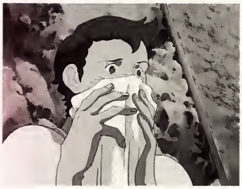


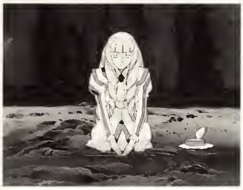
ディアナ・カウンター　コレン・ナンダー専用モビルスーツイーゲル

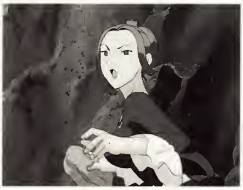
白ヒゲ＝∀ガンダム追撃の任、平たく言えばディアナ・カウンターの厄介払いを受けたコレンは、イーゲルで地下回廊を進む∀ガンダムに急迫。その独特の頭部を利用して、∀ガンダムを圧倒するかに見えたが……。



背骨状のスパイン・コンセプトを伸はし、は虫類を思わす姿で地下回廊に潜む∀を追い詰める







Episode #13

ディアナ・カウンターはコレンたちが戦死したものと思っている

地下回廊を通ってキングスレーの谷に出たディアナが見たのは、初恋の人と同じ顔、同じ名前をした人物ウィルだった。

第13話

年上のひと

■ストーリー解説

間違えやすいが、マウンテン・サイクルは実は固有名詞ではない。過去の宇宙時代の遺跡が埋蔵されていると考えられる場所の総称なのだ。だから∀があったイングレッッサ、ビシニティの近くにあるマウンテン・サイクルは、きちんとアーク山という固有名詞がついている。

ではマウンテン・サイクルの特徴とは何なのだろうか？　それに関しては山師シドが12話でこう説明している。「火山性地層の上に鍾乳洞もあり、各種の地層の間には、妙に砂っぽい層がウェハースのようにある」

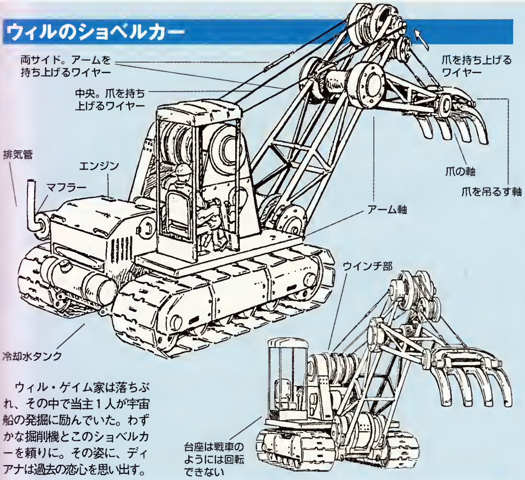
次の14話ではイングレッサだけでなくルジャーナにもマウンテン・サイクルがあることが判明する。ちなみに設定では、同じアメリア大陸にあるエリゾナ領やカルパニヤ領にもマウンテン・サイクルがあることになっている。

ウィルの宇宙船発掘現場をよく見てみると、カナリアを持ち込んでいるのがわかる。この時代でも発掘現場でのガス漏れなどの危険を察知するのは、カナリアの役目なのだろうか？　また、発掘中のシドたちの携帯食は、ミリシャの保存食と同じもので、そのメニューはとうもろこしとベーコンだ。

■冬馬由美（テテス役）

ガンダムシリーズに何度も関わらせて

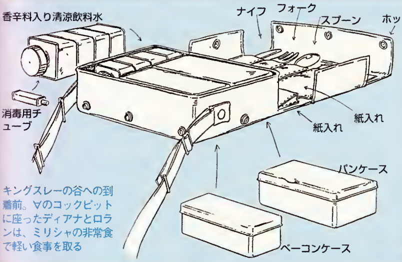
ウィルのショベルカー


両サイド。アームを持ち上げるワイヤー
中央。爪を持ち上げるワイヤー
爪を持ち上げるワイヤー
排気管
エンジン
マフラー
爪の軸
爪を吊るす軸
アーム軸
ウインチ部
冷却水タンク

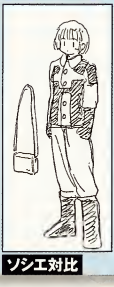
台座は戦車のようには回転できない

ウィル・ゲイム家は落ちぶれ、その中で当主１人が宇宙船の発掘に励んでいた。わずかな掘削機とこのショベルカーを頼りに。その姿に、ディアナは過去の恋心を思い出す。

ミリシャの食糧バック


香辛料入り清涼飲料水
ナイフ
フォーク
スプーン
ホック
消毒用チューブ
紙入れ
紙入れ
パンケース
ベーコンケース

キングスレーの谷への到着前。∀のコックピットに座ったディアナとロランは、ミリシャの非常食で軽い食事を取る

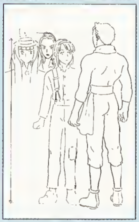


ソシエ対比

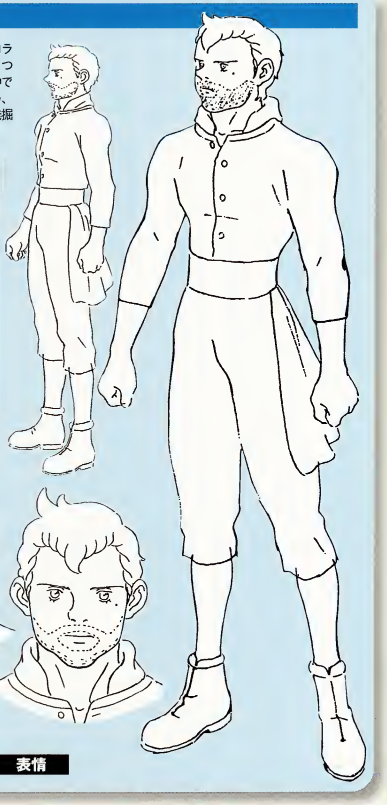
ウィル・ゲイム

地下回廊を抜けた先でロランたちが出会った男。かつて、祖先がディアナと恋仲であったことを確かめるため、月まで行こうと宇宙船の発掘に燃えている。

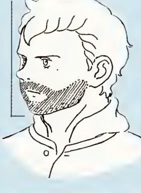
ディアナ、テテス、ロランとの対比

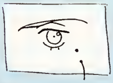


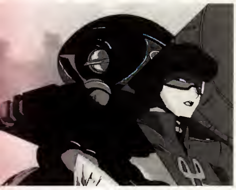
女たちは秘密を隠し、男たちは素直に意気投合するが……

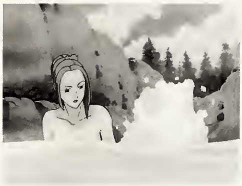


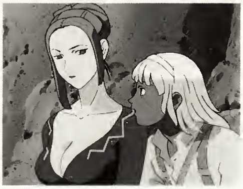
斜線部分（ヒゲ）は塗り分け

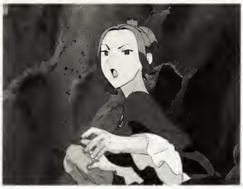












いただいて、とても嬉しいです。印象に残っているのは、やはりテテスが死ぬシーンです。すごくあっけなかったのですが、あのあっけなさが逆になんだかすごくいいなあ、テテスらしいなあと思いました。回想シーンではテテスとお母さんのリンダ・ハレの二役をいただいて一人で演技したのですが、とてもやりがいがありました。新しいガンダムの世界を、また楽しみにしています。

スタッフの視点から

ウィルはヒゲがなければ、ブラッド・ピットみたいないい男なんですが、ただヒゲが濃くていい男に見えない（笑）。初代ウィル・ゲイムはそれなりにいい男に見えるんですけどね。

今回はテテスとウィル、初登場のキャラが2人もいるというので苦労しましたね。富野監督は、昔から少年と年上の女性というが好きなもので、温泉とか、ロランとテテスに集中していましたから。そのおかげで、シナリオも昔のガンダムみたいないい感じだったんですけど、他とのバランスとらなければならなかったですから大変でした。

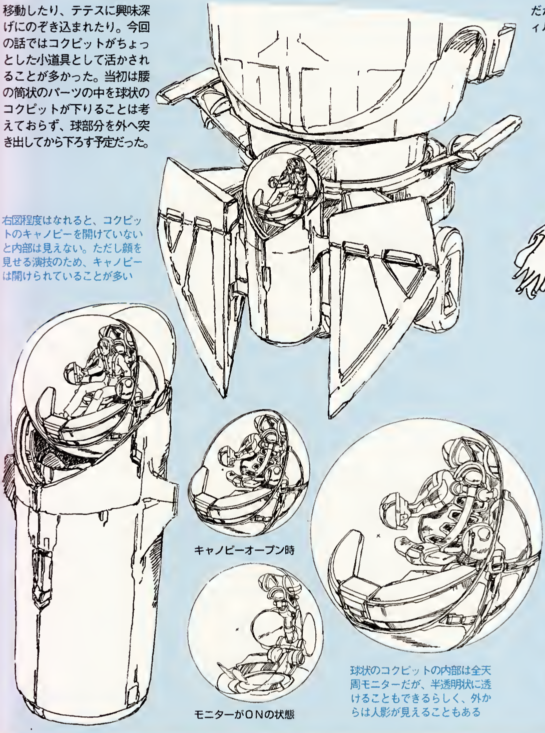
そのわりに、テテスって何者？というのをこの話の中ではやらず、むしろウィルとディアナの方が説明されていますよね。シナリオだとはっきりと台詞でテテスは三日前にきた云々とあったんですけど。ただウィルはおバカなので、三日前に来た女と夫婦同前の雰囲気を醸し出してしまう変な人なんですよ。ぼやっとしているとっぽい人なんです。

でも、ロボット戦もあるし、ロマンスもあるし色々伏線も張られているし、けっこう要素はいっぱいある話なんです。

今回の温泉は、『Vガンダム』のルペ・シノとウッソのを思い出しますが、ストーリーの基本的な設定も似通っているんですよね。『Vガンダム』は公園のように保存されている地球に住んでいる人たちが、宇宙に戻ってくる人たちと戦うという話でしたから。

∀ガンダムのコクピット

ディアナをシートに座らせ移動したり、テテスに興味深げにのぞき込まれたり。今回の話ではコクピットがちょっとした小道具として活かされることが多かった。当初は腰の筒状のパーツの中を球状のコクピットが下りることは考えておらず、球部分を外へ突き出してから下ろす予定だった。

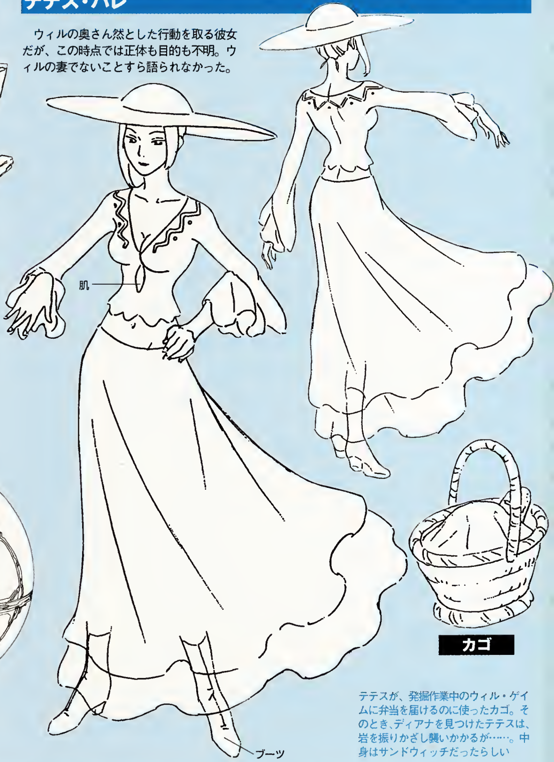

キャノピーオープン時
モニターがONの状態

右図程度はなれると、コクピットのキャノピーを開けていないと内部は見えない。ただし顔を見せる演技のため、キャノピーは開けられていることが多い

球状のコクピットの内部は全天周モニターだが、半透明状に透けることもできるらしく、外からは人影が見えることもある

テテス・ハレ

ウィルの奥さん然とした行動を取る彼女だが、この時点では正体も目的も不明。ウィルの妻でないことすら語られなかった。



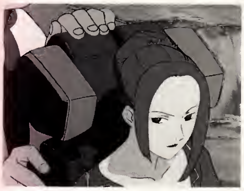
カゴ

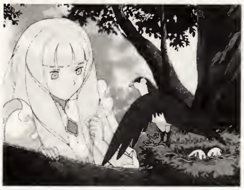
テテスが、発掘作業中のウィル・ゲイムに弁当を届けるのに使ったカゴ。そのとき、ディアナを見つけたテテスは、岩を振りかざし襲いかかるが……。中身はサンドウィッチだったらしい

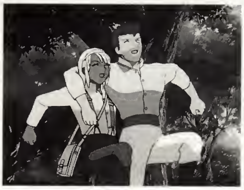
Episode #14

イングレッサのミリシャはルジャーナと合流そこにも機械人形が

ウィルはロランたちの助けを借りて宇宙船の発掘に成功する。だがテテスの入れ知恵で、ムーンレイスに渡そうと考えた。







第14話 別離、再び

■ストーリー解説

ポゥとフィルといえば、25話で突然接近したかのように思える。だが実はこの回の絵コンテ段階まであったシーンに、次のような会話があった。

フィル「（ポゥを抱いて）お前はもっと有機的に部隊を指揮する事を覚えろ」

ポゥ「フィル少佐！（フィルに口づけられ）うっ!?」

フィル「（口づけながら）建国宣言をしたければ、させるさ。が、な、その時はその王座に誰が座っているか、思い知らせてやるさ」

ポゥ「少佐……!?」

フィルのクーデターの意志が、既にこのときから始まっていたのもわかる。またフィルが少佐に、ポゥが中尉に昇進したのもこの回から。フィル曰くその理由は、昇進を餌にすればおとなしくなると、ミランたちが思っているからだそうだ。

同じように絵コンテ段階にはあったシーンに、ディアナとウィルの会話がある。

ディアナ「ねぇ？ もし私がすぐにあなたを月に連れていってあげるって言ったらどうします？」

ウィル「そりゃもちろん抱きしめてキスの一つもしてやるさ。手段は選ばないって言ったろ？」

ディアナがウィルに失望を抱いた理由が、よりはっきりとわかるだろう。

13話でキエルが、ムーンレイスと地球がわかり合うためには「ロミオとジュリエットのような悲劇が必要なのでしょうか？」と語る台詞がある。13話からのストーリーは一見するとほとんどかぐや姫伝説だが、この後の展開を考えるとロミオとジュリエットという言葉はある意味で非常に暗示的といえるだろう。

■スタッフの視点から

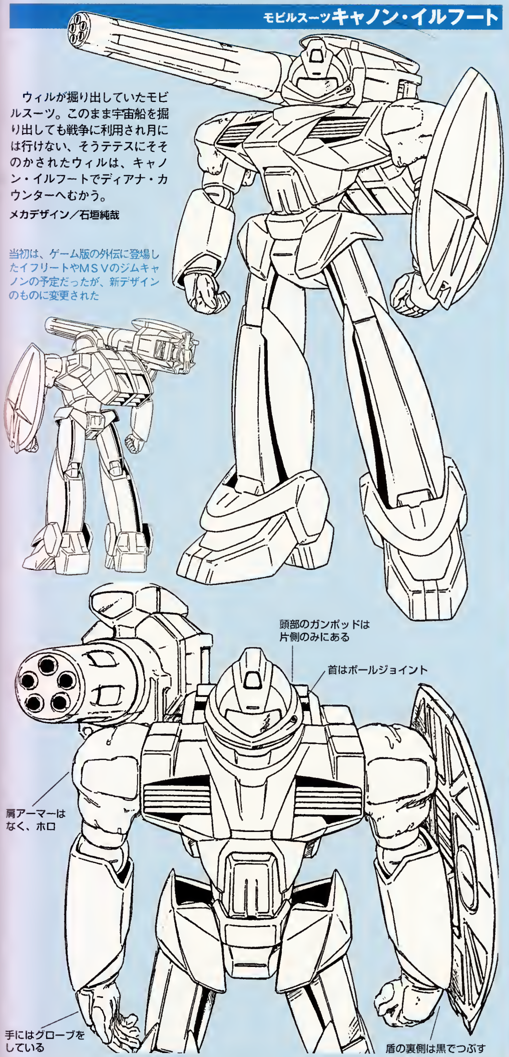
初代ウィルとディアナの写真は、初めディアナ様が昔使っていた部屋に行くと、引き出しの中にただのガラス板みたいなのがあって、それを月の光に照らすと、立体映像が出てくる。それを見たらさすがにウィルも納得するという発想だったんです。でも、その後ウィルと和解もないまま終わっちゃうことになって雰囲気重視で乾板写真になったんです。

ディアナ様が地上に下りたのは、肉体年齢で中学生ぐらいの時ですか。このくらいの年齢のディアナ様を地上に下ろして何を考えていたんだろうかとも思いますが、昭和天皇が即位前に欧州旅行をしてきたように、ディアナ様も即位前に地球で修学旅行をした、とも思います。

今回登場したルジャーナ・ミリシャですけど、これはイングレッサのを真似して作ったんです。だから、少し遅れているところがあって、安田さんによるとマリガンのカツラなんかもそのためだそうです。イングレッサほど近代的じゃない、という記号なんですね。

それでマリガンの声が兜甲児でおなじみの石丸博也さんでなんですが、ミラン役の曾我部さんにしろ、大物の役者さんなのに何のドラマもないんですよ。曾我部さんと石丸さんには申しわけなくて。でも、すごいのはあの年代のプロの声優さんというのは声を作るんですよね。自然な発声ではなく、この絵を見て出すんでしょうね。「ボルジャーノンである」とか（笑）。

モビルスーツキャノン・イルフート

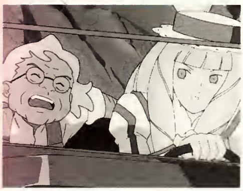


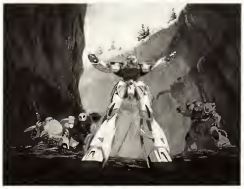
頭部のガンポッドは片側のみにある
首はボールジョイント
肩アーマーはなく、ホロ
手にはグローブをしている
盾の裏側は黒でつぶす

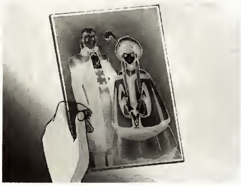
ウィルが掘り出していたモビルスーツ。このまま宇宙船を掘り出しても戦争に利用され月には行けない、そうテテスにそそのかされたウィルは、キャノン・イルフートでディアナ・カウンターへむかう。

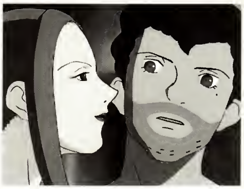
メカデザイン／石垣純哉

当初は、ゲーム版の外伝に登場したイフリートやMSVのジムキャノンの予定だったが、新デザインのものに変更された





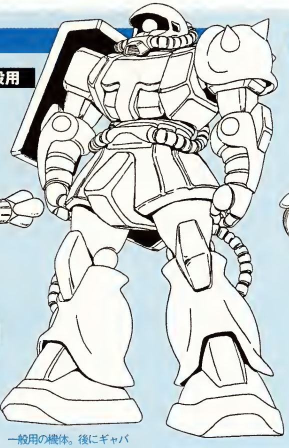




モビルスーツボルジャーノン

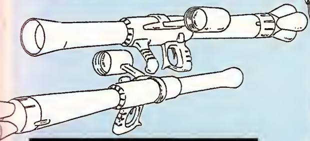
ルジャーナ・ミリシャが自領で発掘した機械人形。スエサイド（決死）部隊という精鋭を組織し、集団戦を訓練していたらしく、初陣で見事な働きを見せる。

一般用

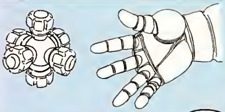


一般用の機体。後にギャバンもこの型の機体に搭乗

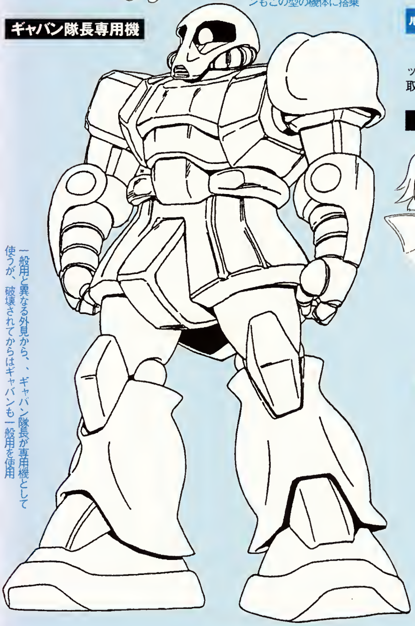
ボルジャーノン・バズーカ



クラッカーとボルジャーノンの手



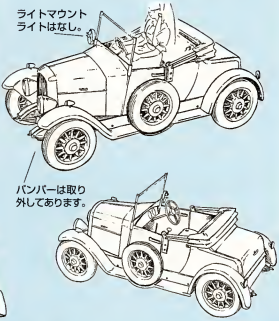
ギャバン隊長専用機



一般用と異なる外見から、、ギャバン隊長が専用機として使うが、破壊されてからはギャバンも一般用を使用

ディアナの車

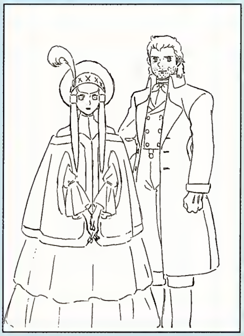
ウィルはディアナ・カウンターと取引をしようとしていた。ディアナは車を走らせ彼を追い、その前に立ちはだかるが、戦闘に巻き込まれる。



ライトマウント
ライトはなし。

バンパーは取り
外してあります。

初代ウィル・ゲイムとディアナの写真

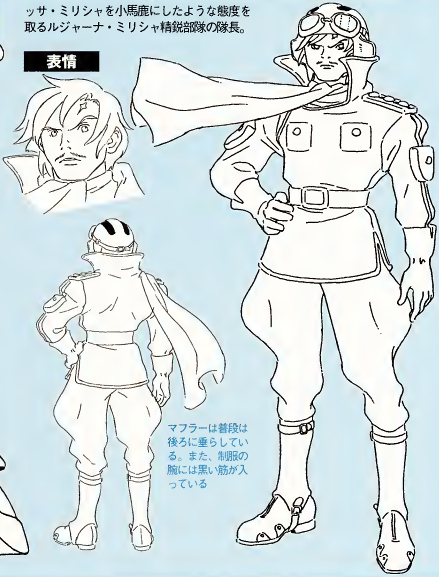


ゲイム家に残されていたモノクロの乾板写真を見つけたディアナは遠すぎる思い出に涙する。

ルジャーナ・ミリシャ スエサイド部隊隊長ギャバン・グーニー

ソシエたち、女子供が戦っているイングレッサ・ミリシャを小馬鹿にしたような態度を取るルジャーナ・ミリシャ精鋭部隊の隊長。

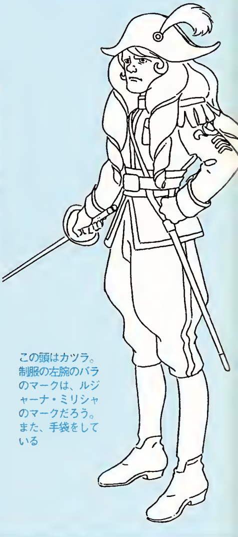
表情



マフラーは普段は後ろに垂らしている。また、制服の腕には黒い筋が入っている

ルジャーナ・ミリシャマリガン中佐

ルジャーナ・ミリシャの指揮官として、合流してきたイングレッサ・ミリシャにボルジャーノンの存在を知らしめる。

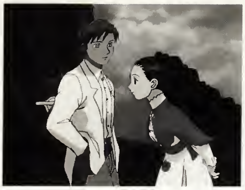


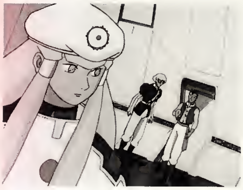
この頭はカツラ。制服の左腕のバラのマークは、ルジャーナ・ミリシャのマークだろう。また、手袋をしている

Episode #15

キースはグエンに協力し、月の技術者を招く計画をたてる

ウィルがキャノン・イルフートに搭乗し、ポゥたちを宇宙船まで案内しようとすると、ミリシャの機械人形部隊が現れた。





第15話 思い出は消えて

■ストーリー解説

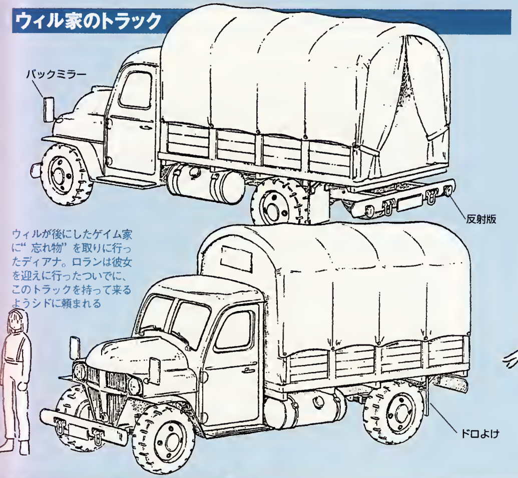
シナリオ段階では、ウィル機を大破させるのはボルジャーノンではなくてロランの乗る∀。しかも「このくらい私にもできる」とはしゃぐソシエをディアナがいさめ、悲しげにウィル機を見つめるというのがラストシーンになっていた。これに比べるとアニメのラストは、かなりソシエとディアナの心理状態を描き尽くしているといえそうだ。コクピットから出たがる腕だけが見えるというのも、戦場での死をかなり生々しく伝えている。しかもその死者といえば、生前ポゥに「モビルスーツはおもちゃじゃない」「素人」とまでいわれていたのだから。

ところでウィルは「月には百年眠れる魔法がある」ことを知っていた。これは冷凍睡眠のことをさしているのだろうが、テテスから聞いたのだろうか？ それとも初代ウィルの残した記録にでも記載されていたのだろうか？ それならおとぎ話の中にもそのことが語られているものがあるのだろうか？ ならば地球人が月の冷凍睡眠を知っていてもおかしくなさそうだが、実際はそうではない。おとぎ話だと思って本気にしていないのか？

■小林愛（リリ役）

一番印象に残っているのは、初めて∀を見たリリが「ブサイク！」と言い放つ

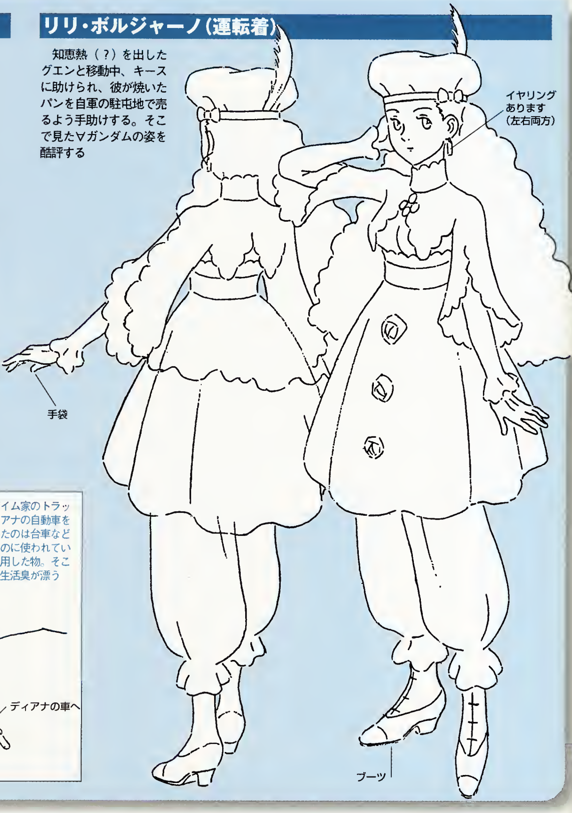
ウィル家のトラック


バックミラー
反射版
ドロよけ

ウィルが後にしたゲイム家に“忘れ物”を取りに行ったディアナ。ロランは彼女を迎えに行ったついでに、このトラックを持って来るようシドに頼まれる

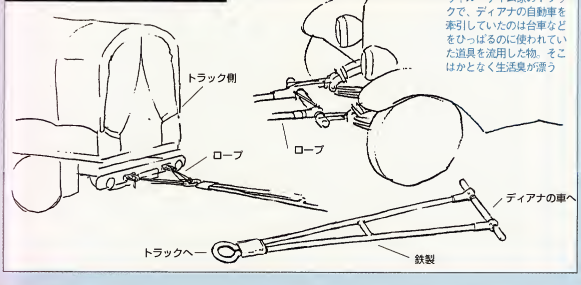
リリ・ボルジャーノ（運転着）

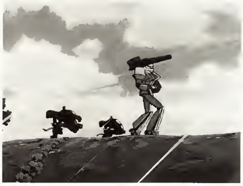
知恵熱（？）を出したグエンと移動中、キースに助けられ、彼が焼いたパンを自軍の駐屯地で売るよう手助けする。そこで見た∀ガンダムの姿を酷評する



ディアナの車を引っ張る仕組

ウィル・ゲイム家のトラックで、ディアナの自動車を牽引していたのは台車などをひっぱるのに使われていた道具を流用した物。そこはかとなく生活臭が漂う





シーンです。登場していきなりの暴言ですから、すごくビックリしました。でも監督に「リリは一見嫌な女に見えるけど、育ちが良すぎるために何の悪気もなく何でも口にしてしまうんだよ」と言われて、納得できましたが。リリはきっと、グエンのことをずっと愛していたのだと思っていますね。だからこそグエンの裏切りに対しては冷静に対処していますけど、実際にははらわたが煮えくり返っているはずでしょうね。

自分としては、お嬢様らしいリリの価値観ができるだけ伝わるように演じたつもりです。みんな「技術者」という言葉が言いにくくて、ハリー役の稲田さんはしょっちゅう「ぎじゅちゅしゃ」と言ってました。グエン役の青羽さんも同じで、つっかえると思った場所で必ずつっかえてくれるので楽しかったです。でも誰かが失敗しても、現場は和かなんですよ。不慣れなアニメの現場でしたが、いいスタッフ、キャストにめぐまれて、楽しく演じることができました。

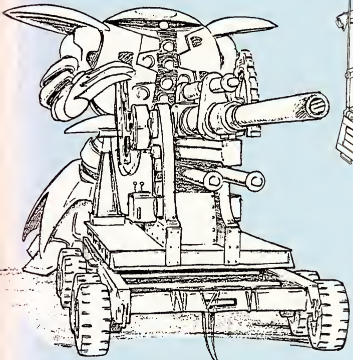
スタッフの視点から

この話の戦闘シーンでは、ウァッドが背骨伸ばして狙撃姿勢をとったり、なかなかいい動きもしてましたね。もっとも、キャノン・イルフートの戦闘は格好いいというより、ヤクザの出入りという感じでしたけど。訓練もろくにしていない連中が不用意に近づいてやられたり、近づき過ぎて火器を有効に使えなくなったり。それで、ポゥたちは素人同士に戦わせて後ろで見ているだけという（笑）。

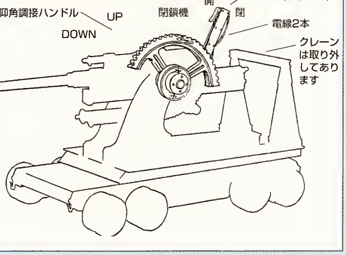
最後は見せないけど、すごくいやな気持ちにさせる表現で。シナリオではこんな風にやられるとは書いてなかったんですが、コンテがあがった段階で、設定制作の安川が「また監督、きついことやっていますよ」「最後の所こんな感じできついんですよ」と教えてくれて。それで見てみたら残酷で（笑）。見せていないからよけい残酷で。

機械人形カプルが使う高射砲

キングスレーの宇宙船発掘現場の防衛に当たっていたイングレッサ・ミリシャが使った。照準はテレビジョン写真でおこなうらしい。威力は今ひとつだった。

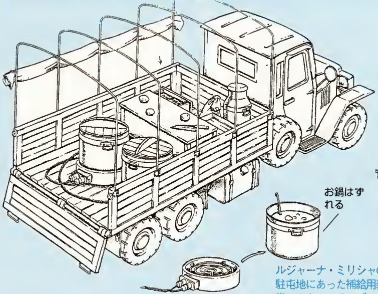

カプルが引っ張る時に使うワイヤー

対比



カプルが操作できるように取のイメージ画。宮尾佳和によるもので、ほかにも多くのアイデアが出されている

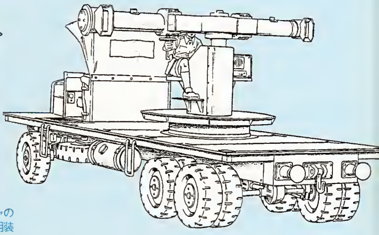
ミリシャの野戦炊飯車


お鍋はずれる
コンセント。トラックのエンジンで発電
電気コンロ

ルジャーナ・ミリシャの駐屯地にあった補給用装備。ちなみにテーブルは全面まな板だとか

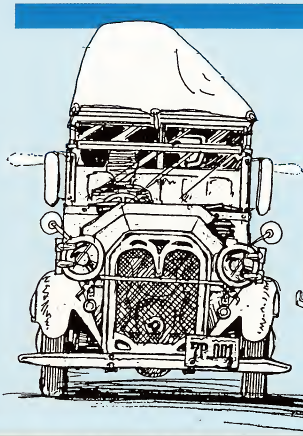
ミリシャの測距儀

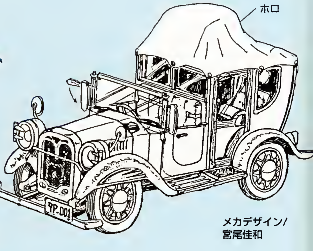
ミリシャの輸送用トラックの荷台に高射砲用測距儀を取りつけたもの。ディアナ・カウンターを先導して来たウィル・ゲイムのキャノン・イルフートをとらえた。



キースの車

難民状態でルジャーナに逃れてきたキースたちが使っていた車。このとき、キースは熱で倒れたグエンとリリに出会い、それによって大きく運命が変わることとなった。





メカデザイン/宮尾佳和

Episode #17

テテスはブルーノとヤコップを仲間にしてディアナ暗殺を計画

キースがムーンレィスの技術者たちを連れてきた。一方グエンはムーンレィスの建国式典を知り、直訴しようとする。

第17話 建国のダストブロー

■ストーリー解説

∀のもっとも∀らしい部分――それはモビルスーツが非戦闘用に使用されている点だろう。8話ではムーンレィス帰還民一家を助けるため、∀胸部のミサイルポットに牛を入れて運ぶという離れ業を見せてくれた。この回ではディアナ・カウンターの攻撃で破壊された橋の代わりになり、両手を崖の先端にかけて頭を降ろし、腕から肩にトラックを通すというテクを披露してくれている。さらに21話には、かの有名な洗濯出動のシーンがある。川をせき止めて手首を回転させて、大量の洗濯物を洗うのだ。ムーンレィスは地球の嵐などの自然現象を怖がるという設定にニヤリとしている古くからのファンも、こんなモビルスーツの使い方には目を丸くしているに違いない。そういえばこの回ではウォドムやスモーも嵐の中、ディアナ・カウンターの基地を支えていた。さらに付け加えれば、ゴッゾーを追いかけて森に入ったロランが、∀にのったまま森の小鳥たちに「ごめんよ。ちょっと通してほしいんだ」というシーンもある。人類とも自然とも敵対せずに共存するモビルスーツという、∀のテーマが垣間見られたようだ。

さてブルーノとヤコップだが、最初の設定では12話で死亡する予定だったらしい。それが「そういえばそんなキャラがいたな」とここで復活することになったという。実際12話では∀はゴッゾーを木の棒で殴る以上の攻撃はしていないし、ブルーノとヤコップはゴッゾーから落ちて気絶するだけだった。後の活躍はご存じの通り。ちなみにこの二人、なぜか∀出演の女性声優陣の間で絶大な人気を誇っていることを追記しておきたい。

■スタッフの視点から

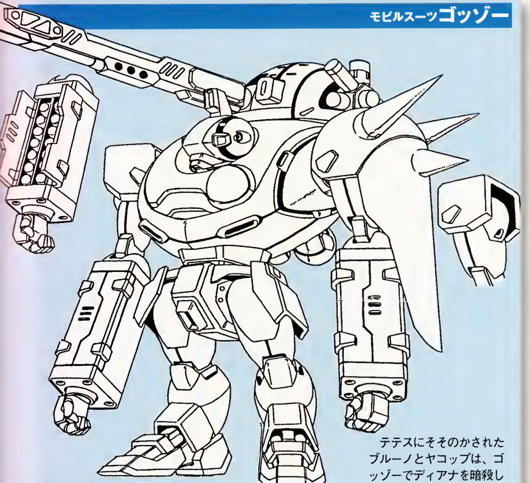
このときシナリオ会議で問題になったのが、建国宣言をやるのはいいけどグエンは落ちぶれちゃっているから、書状を出すにしても一体何処の住所に出したんだ？　という点で。それで、グエン宛の手紙を思いつくところあちこちに出したら、全部グエンの元に届いた（笑）。まあ、グエンがまだ力を失っていないという描写でもあるんですよね。本当は、こう言う政治的な所をもっと描かないといけないんでしょうが、それだと会議シーンばかりでつまらないですしね。

今回、ヤコップとブルーノが復活するわけですが、本当はコレンの消滅と共にいなくなる予定だったんです。けど、何か使えるキャラいないかと捜していたらこの2人がいて。星山博之さんに「死んだんですか？」と聞いたら「死んでないよ」というで、こんなにいいキャラがいるんだから使わなければと登場することになりました。これがなければ、その後の登場もなかったかもしれませんね。

この時、ディアナ暗殺が成功していたらミランなんかも巻き添えくって死んでいるはずですし。ミランも怪しく見えるけど、そう考えると、後先考えずに暗殺を命じたようにも見えますよね。じつはアグリッパとしては嫌がらせができればいいや、このぐらいで死ぬとは思っていないわけなんですよ。よくあるじゃないですか。クルーゾー警部をいじめる署長みたいな。死ぬと思っていないから、どんどん過激な方法で殺そうとする。

まあ、このころはまだ、先の話はどうするか決めていなかったので、というのが大きいんですが（笑）。

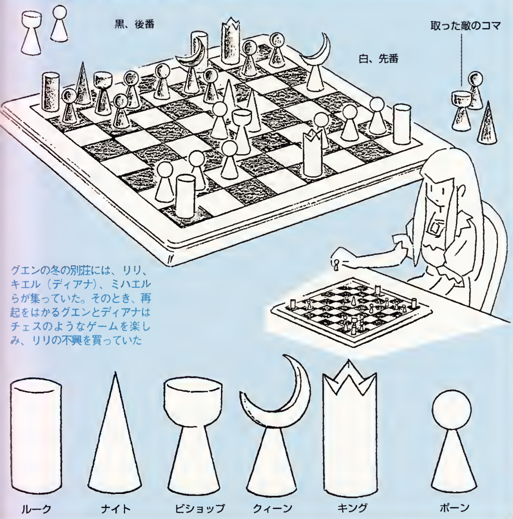
モビルスーツゴッゾー



メカデザイン／石垣純哉

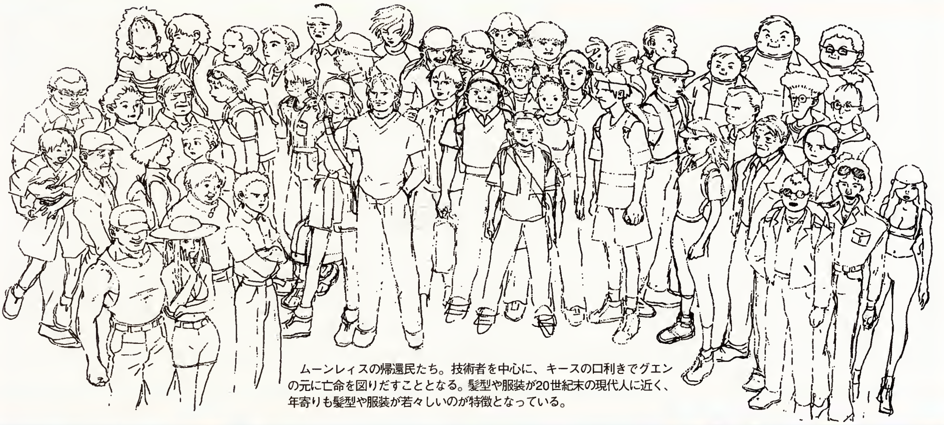
テテスにそそのかされたブルーノとヤコップは、ゴッゾーでディアナを暗殺しようとするが失敗。逃亡する。

チェスのボードと駒



グエンの冬の別荘には、リリ、キエル（ディアナ）、ミハエルらが集っていた。そのとき、再起をはかるグエンとディアナはチェスのようなゲームを楽しみ、リリの不興を買っていた

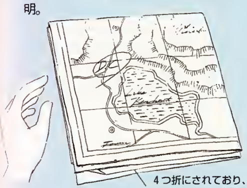
ムーンレィスの帰還民の人々



ムーンレィスの帰還民たち。技術者を中心に、キースの口利きでグエンの元に亡命を図りだすこととなる。髪型や服装が20世紀末の現代人に近く、年寄りも髪型や服装が若々しいのが特徴となっている。

ディアナが見る地図

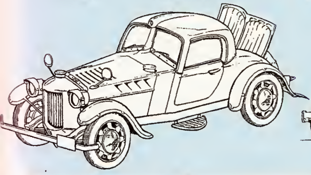
ディアナがソレイユに向かうグエンの車の中で確認していた地図。中央の湖の上に、手書きで目的地が記されている。上が北かは不明。



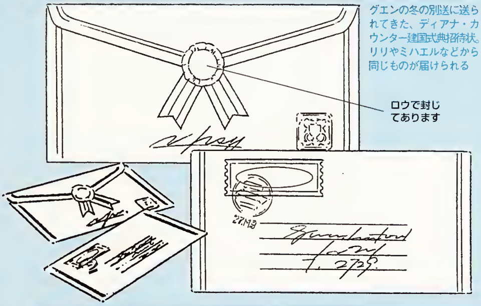
4つ折にされており、DCのマークは手書き。

グエンのスポーツカー

建国式典を知ったグエンはDC側と直談判をしようと車を飛ばす。そして、ディアナ暗殺未遂現場に居合わせ、戦闘の回避に成功。

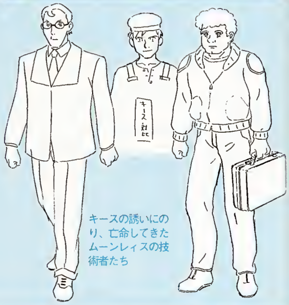


建国式典の招待状入り封筒


ロウで封じ
てあります

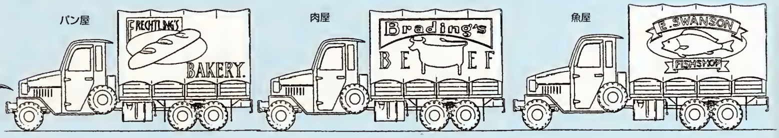
グエンの冬の別送に送られてきた、ディアナ・カウンター建国式典招待状。リリやミハエルなどから同じものが届けられる

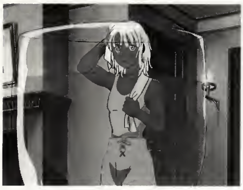
帰還民・キース対比

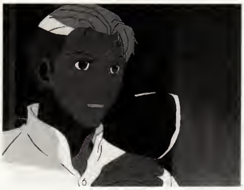


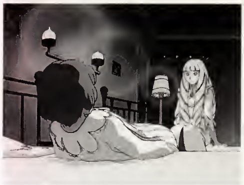
キースの誘いにのり、亡命してきたムーンレィスの技術者たち

亡命するムーンレィスを運ぶ各種トラック


パン屋
FRECHTLING'S
BAKERY
肉屋
Brading's
BEEF
魚屋
E.SWANSON
FISHSHOP







Episode #18

ディアナはロランに入れ替わりを話しキエルを守れという

ミリシャの騒動や、テテスのディアナ暗殺未遂が起こりつつも、ムーンレィスの建国式典は進行する。そして宣言は……。

第18話 キエルとディアナ

ストーリー解説

ロランがディアナとキエルの入れ替わりを知ったシーンの絵コンテの欄外に「これはロランの人生の敗北の証なので、以後、彼は変わる」というメモ書きがある。ではこの回以後、ロランは変わったのだろうか？　一ついえるとすれば、以前のロランはその時々に誠実に対応はしているものの、あくまでも巻き込まれた立場だった。ここで彼が変わったとすれば、行動理念が受動的なものから能動的なものに変わったということではないだろうか？　25話で「ぼくはローラでもなければ道具でもない」と言い切り、リリに「ローラは天使ではなく若い豹」といわれた発端は、ここに始まっているのかもしれない。だとすればこの回でローラの姿を見せているというのも興味深い。

細かい部分もチェックしておきたい。建国式典が行われた場所はサンベルトではない。そこへ辿り着く以前にソレイユが不時着した場所なのだ。建国する場所以外で行う宣言とは、一体どのようなものになるのだろうか？　もし機会があるならば、ミランの建国宣言草案を一度読んでみたいものだ。

高橋理恵子（キエル&ディアナ役）

建国宣言は、まず台詞が長かったし、そのときの記憶がとんでいるぐらい物凄く緊張していて、演技も必死でした。だから「ああ、キエルも必死なんだろうな」って思いました。建国宣言の台詞そのものは一番好きなんです。収録のときに監督が「『わたしたちはこの目も鼻も唇も同じです』とあるけど、いつの時代も戦争は絶対になくならない。原因が宗教や国家、人種差別と変わるだけで、現代でもそういう戦いや諍いはなくなっていない。でもこういう大きな問題も、本当は一人一人の気持ちの持ち方で変わるはず、そういうメッセージを伝えたい」とおっしゃったんです。私には月の女王様や地元のお嬢様という立場は判りませんが、自分の問題として身近にある差別や諍いを思いながら演技しました。きっと私は今まで、そういうつもりはないのに先入観や偏見でいろいろなものを見てきたんだろうなあとも考えさせられました。

一人二役は、声を作り変える必要はないと監督に言われました。物語の後半、周囲が入れ替わりを知っているか知らないのかで演技が変わるのに苦労しました。

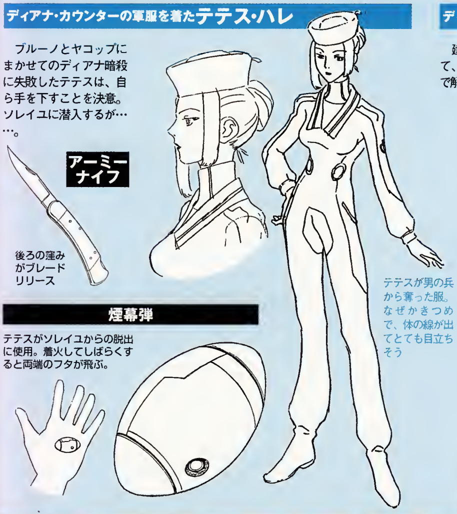
スタッフの視点から

ディアナが、ロランに入れ替わりを告白するシーンですが、これはこうやってバラすしかないということで。建国宣言をするときに、そこに行かなきゃいけないんですけど、ディアナ1人で行ってもつまらないので、ロランを付けてやろう。だけど、その時まだロランを騙してつれてくのかという問題があって。だったら、告白した方がいい。本当はもっと前から伏線をひいていかなければならないのですが、前の構成はもうできているのでさらっとやるしかない。この話の直前まではどう動くかというのが決まっていなかったから。それで、泥縄展開で……。

シナリオではローラの登場はなく、全部ロランの予定だったんです。じつは7話のフィルムがあまりに面白かったもので、もう一回出すところ捜さなきゃと言っていたんです。そうしたら富野さんが「もうコンテで入れちゃった」と（笑）。残念なことにローラ登場はこの2回と、あとコクピットから女声で話す簡易ローラがいたくらいなんですよね。

ディアナ・カウンターの軍服を着たテテス・ハレ

ブルーノとヤコップにまかせてのディアナ暗殺に失敗したテテスは、自ら手を下すことを決意。ソレイユに潜入するが……。



アーミーナイフ

後ろの窪みがブレードリリース

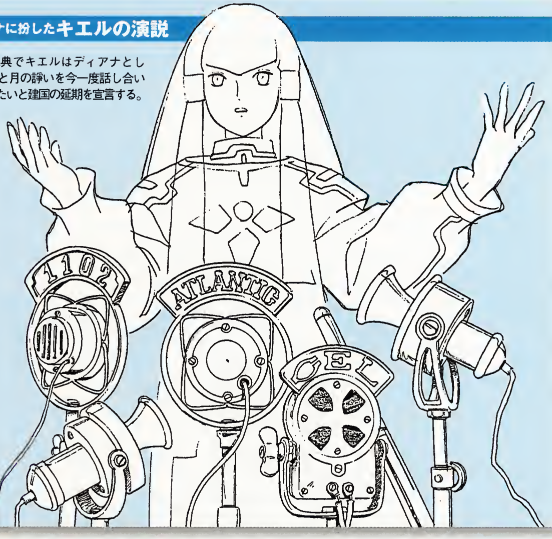
煙幕弾

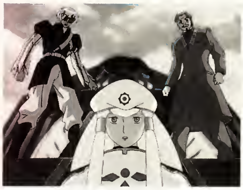
テテスがソレイユからの脱出に使用。着火してしばらくすると両端のフタが飛ぶ。

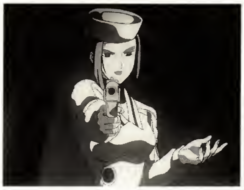
テテスが男の兵から奪った服。なぜかきつめで、体の線が出てとても目立ちそう

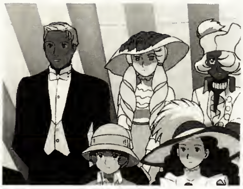
ディアナに扮したキエルの演説

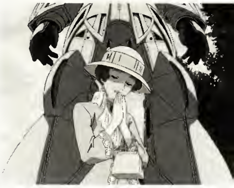
建国式典でキエルはディアナとして、地球と月の諍いを今一度話し合いで解決したいと建国の延期を宣言する。







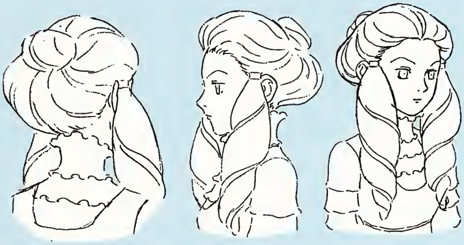


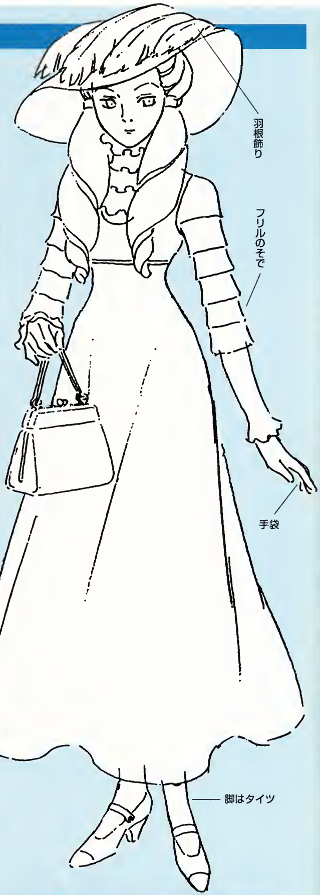


キエルに扮したディアナのドレス姿

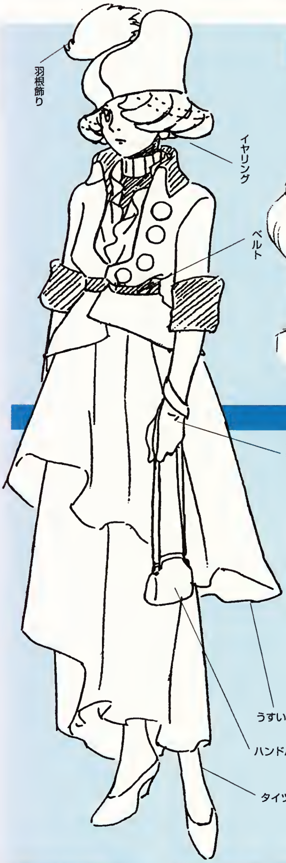
建国式典に参加するため、リリに借りたらしい。ちなみに、ソレイユ内でキエルとの別れ際の「よしなに」のセリフでハリーは入れ替わりに気づいたらしい。

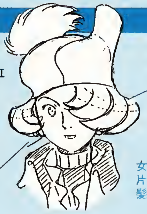
表情




羽根飾り
フリルのそで
手袋
脚はタイツ

女装が似合うロラン


羽根飾り
イヤリング
ベルト
手袋
うすい布
ハンドバッグ
タイツ

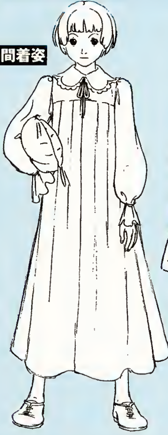

つけ毛と口紅
（色トレス）
あり
イヤリング
は左右
髪のハイライ
トこんな感じ

ディアナ扮するキエルのお供として、女装の上、親衛隊の名前までかたったロラン。しかし、ハリーにはしっかりとばれていたらしい。

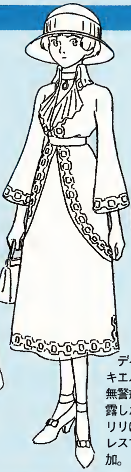
女装したロランは、片目を隠し、複雑な髪型が定石？

ソシエ・ハイム

寝間着姿



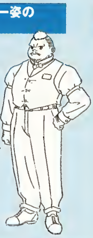
ドレス姿



ディアナを姉、キエルと信じて無警戒な姿を披露したソシエ。リリに借りたドレスで式典に参加。

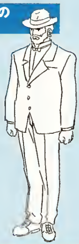
バーテンダー姿のヤーニ

ディアナ・カウンターが酒を仕入れた酒屋のバーテンに化けて式典会場に潜入。破壊工作する。

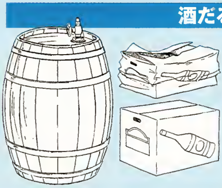

チョッキが少
しきつめ。

酒売り商人風のミハエル

式典会場に潜り込み、工作をするために酒売り商人に化けたミハエル。陰謀を企んでいる風のテテスをわざと見逃す。



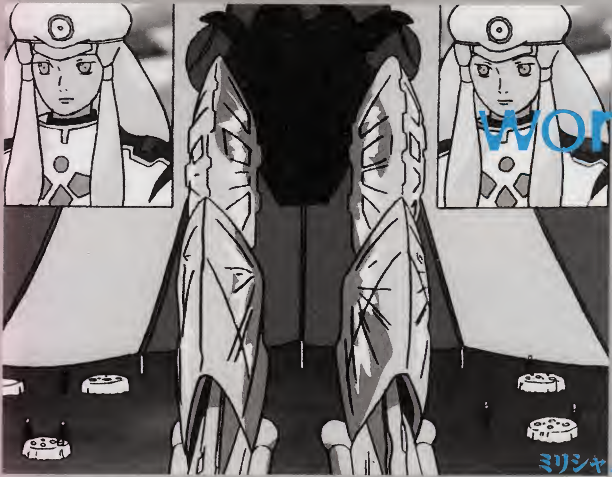
酒だると酒箱



ヤーニたちがディアナ・カウンターに納品した酒だると酒の箱。箱はダンボール？ 99%のアルコールも用意していた。

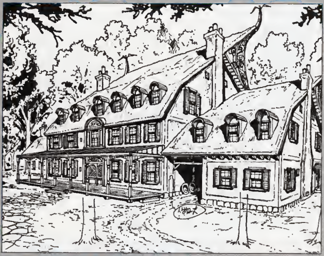
turnA
World for Episo
#12-1
∀の世

イングレッサ領からルジャーナ領に舞台を移し、ミリシャ、ディアナ・カウンターの活動もより活発化を見せ、さらに広がっていく∀世界。そののどかさの裏で悲劇は進む。

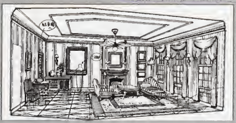


グエンの冬の別荘

ノックスの崩壊により凋落したグエン。再起をはかる彼は、ルジャーナ侯の末娘であるリリの力を借り、ルジャーナ領にあるこの別荘を当面の足場とする。それは未だ衰えぬ彼の力の証でもあった。



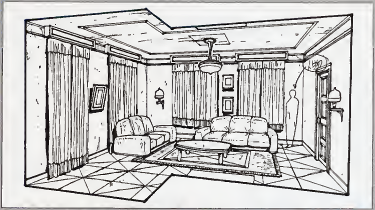
ルジャーナ領内にある、グエンの新たなる拠点とも言う[illegible]別荘。[illegible]サは寒[illegible]冬までここで過ごしていたのだろう



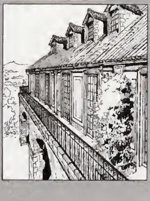
冬の別荘の内部。この部屋の中でグエン[illegible]キエルが、そしてディアナがチ[illegible]スのよ[illegible]なゲーム[illegible]していく

ホテル・ルジャーナ

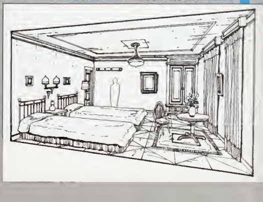
建国式典の前日、この小さなホテルでさまざまなドラマが展開された。ロランたちの物語だけではなく……。



[illegible]される



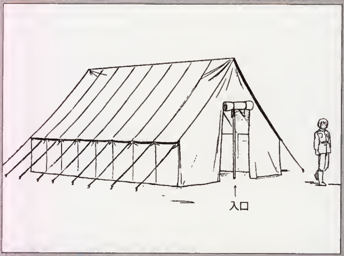
[illegible]ディアナ[illegible]キエルの入[illegible]を知[illegible]される



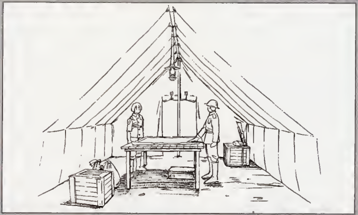
ディアナと[illegible]エル[illegible]ト[illegible]ディアナ[illegible]する

ミリシャの野営地

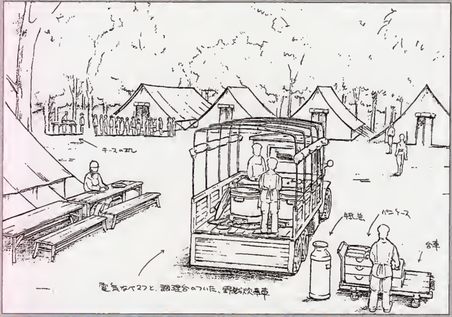
軍隊は、必要に応じて駐留地を移す。それはミリシャにしても同じで、これ以降このような野営地が度々現れる。それは戦いが広がっており、戦いが人によりなされている逆接的な証明でもある。



ミリシャの使用するテントの外観。その姿は20世紀の半ばまで使われていたものと大差ないように見えるが、その材質は？

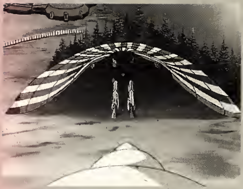


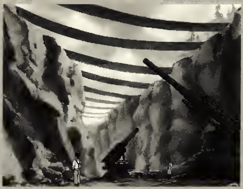
ミリシャが使っているテントの内部。イングレッサ・ミリシャも使用。また[illegible]と広く野[illegible]に利用も

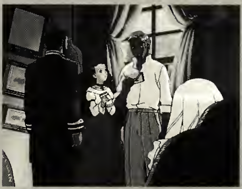


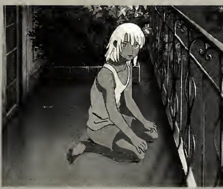
キースの机
牛乳缶
パンケース
台車
電気なべ2つと、調理台のついた、野戦炊事車

[illegible]ルジャーナ[illegible]の野営地



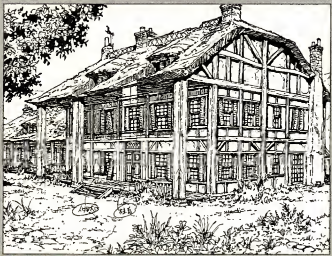




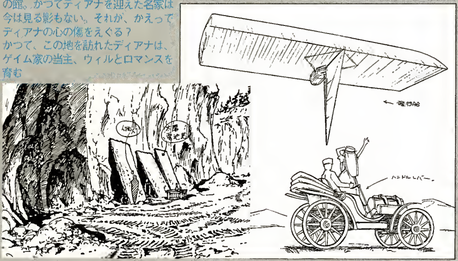


ウィル・ゲイム家

かつて地上に下りたディアナが、育んだロマンス。だが、150年という歳月を経て再訪したその舞台は、時の流れに隔てられ、埋もれようとしていた。これもまたひとつの黒歴史として。



キングスレー・オーバニーのゲイム家の館。かつてディアナを迎えた名家は今は見る影もない。それが、かえってディアナの心の傷をえぐる？
かつて、この地を訪れたディアナは、ゲイム家の当主、ウィルとロマンスを育む

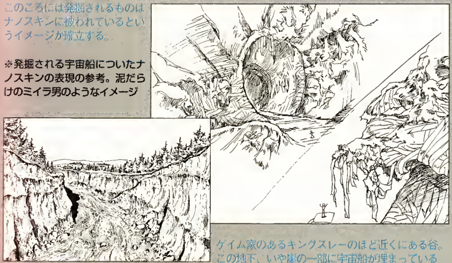


宇宙船発掘現場

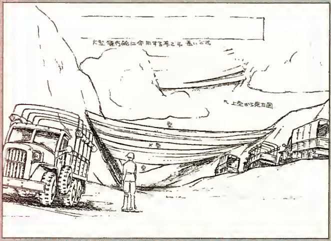
初代ウィル・ゲイムがディアナを追うため、そしてその子孫たちが月へ向かうことを夢見て発掘を続けてきた宇宙船。だがウィルの手を離れ、いまそれは戦いの道具として掘り出されようとしていた。

このころには発掘されるものはナノスキンに被われているというイメージが確立する。

※発掘される宇宙船についたナノスキンの表現の参考。泥だらけのミイラ男のようなイメージ



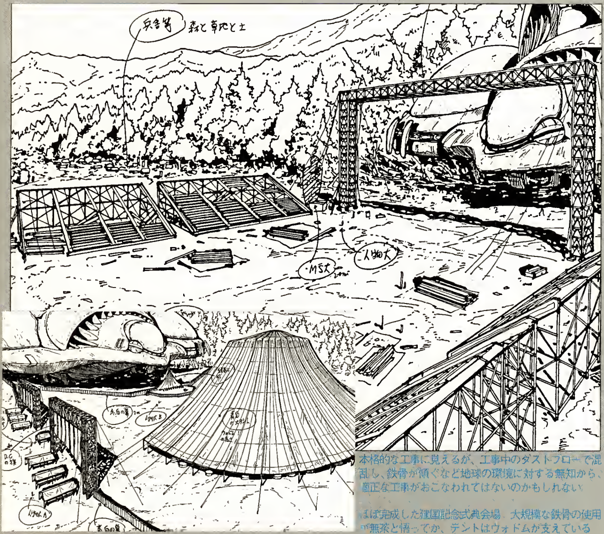
ゲイム家のあるキングスレーのほど近くにある谷。この地下、いや崖の一部に宇宙船が埋まっている



擬装のため、ミリシャが谷に布をかけた状態の宇宙船発掘現場の様子

建国式典会場

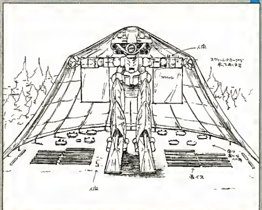
ディアナ・カウンターの旗艦ソレイユと戦艦アルマイヤーは、ノックスを逃れサンベルトへ向かう途中で不時着。そのまま、そこでサンベルトに国家を樹立する宣言をおこなおうとする。その会場の設営のためだけにこれだけの規模の工事をしてしまう。それがミリシャを上回るディアナ・カウンターの力なのだが、同時に地球環境への不慣れさも描かれる。



本格的な工事に見えるが、工事中のダストブローで混乱し、鉄骨が傾ぐなど地球の環境に対する無知から、適正な工事がおこなわれてはいないのかもしれない

ほぼ完成した建国記念式典会場。大規模な鉄骨の使用が無茶と悟ってか、テントはウォドムが支えている

左の図の青白のテントを裏側から見ると、このようにウォドムがテントの支えとスクリーンの保持をおこなっている



∀クロニクル CHRONICLE

6月20日に横山ノックへのセクハラ訴訟がおきたが、その寸前18日には、沖縄ににて「G-SAIVOUR」日米チャリティ試写がおこなわれた。ちなみに、このとき富野監督は早めの夏休みを取っていたらしい。

一方、27日には山陽新幹線がトンネル壁落下でパンタグラフが大破する事故を引き起こす。この事件を契機に、日本の安全神話の崩壊が囁かれるようになった。

7月頭にはカシミール紛争が収束したが、インドネシアでは東チモール問題が噴出。また、インターネットの力を見せつけた東芝ビデオ問題がおこる一方、23日には「実際に操縦したかった」という犯人によるハイジャックが発生。

Episode #19

ムーンレィス技術者の亡命に反発したフィルは後方を叩こうとする

キングスレーの谷近くでホバー走行車が発掘され、ロランが艦長に任命される。パトロールに出るとウォドムを発見する。

第19話 ソシエの戦争

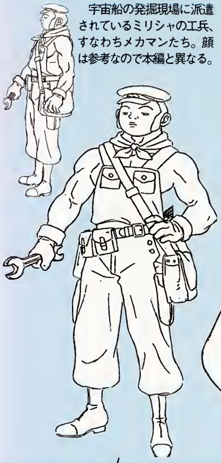
■ストーリー解説

∀頭部のかさぶたは、機体の自己修復作業を終え老廃物を取り込んだ分子アセンブリング・ナノマシンの死骸だ。損傷が完全終了するまで外部の刺激を遮断する皮膜の役割も担っており、修復完了後は分解剥離するらしい。「ナノマシンの一つ一つは細胞より小さいのに、それが形作る全体がわかっているように一部の形を再成します」「ナノマシンの技術は月の都市建設に不可欠なものだったんですが、ここまで生物的に正確なものは開発されていません」等ホレスの台詞もチェック。

■スタッフの視点から

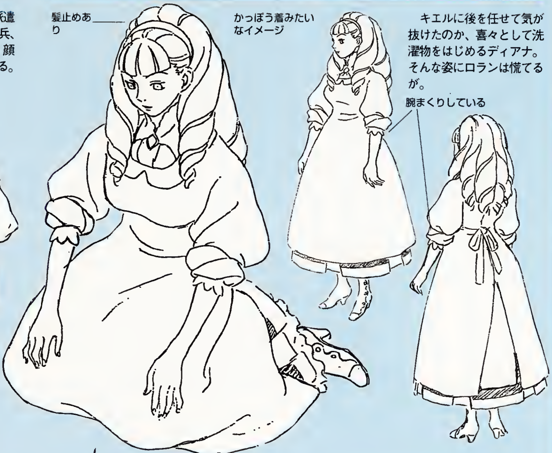
このころは、ソシエがロランのことを分かってないと評判が悪かったもので"ソシエを可愛くする作戦"第一弾です。話としては戦いの結末をわかっているロランとわかっていなかったソシエを対比して二人の距離が縮まるようにと。『ファースト・ガンダム』でもあった暴走しても、その結果は自分で受け入れなければいけないという話でもあります。

ミリシャの工兵



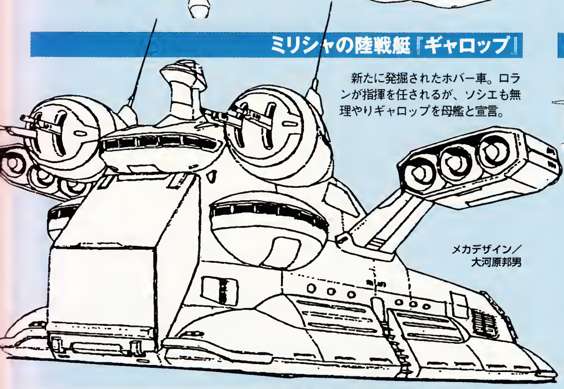
宇宙船の発掘現場に派遣されているミリシャの工兵、すなわちメカマンたち。顔は参考なので本編と異なる。

ディアナのエプロン姿


髪止めあり
かっぽう着みたいなイメージ
腕まくりしている

キエルに後を任せて気が抜けたのか、喜々として洗濯物をはじめるディアナ。そんな姿にロランは慌てるが。

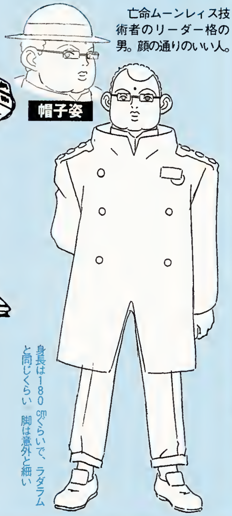
ミリシャの陸戦艇『ギャロップ』



新たに発掘されたホバー車。ロランが指揮を任されるが、ソシエも無理やりギャロップを母艦と宣言。

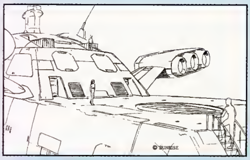
メカデザイン／大河原邦男

ホレス

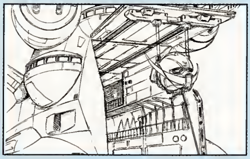


亡命ムーンレィス技術者のリーダー格の男。顔の通りのいい人。

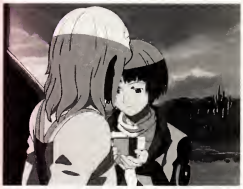
身長は180㎝ぐらいで、ラダラムと同じくらい　脚は意外と細い

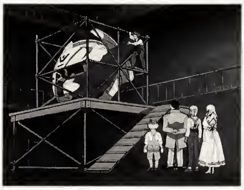


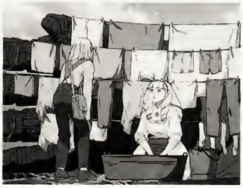
ギャロップの後部デッキ。ディアナはここで洗濯物をはじめ、慌てたロランが止めに入ることになった



ギャロップのフロントハッチ。その中では、14話で陥没させられた∀の頭部が自己修復を終えつつあった







Episode #20

ボルジャーノンとカプルは、レット隊のフラット相手に苦戦

丘に一人住むアニスを避難させようと、ロランとディアナは説得に出掛ける。そこには何とブルーノとヤコップもいた。

第20話 アニス・パワー

■ストーリー解説

ソレルという名のハーブは別名ソレルフレンチ、和名はすいば、すかんぽともいう。酸味が強いのが特徴だが、アニスがいう通り若い葉をつんでサラダでも食する。肉料理や魚料理のアクセントにもいい。フランス人の好物なので、アニスの「ガリアじゃ……」という台詞はここからきているのかもしれない。解熱剤として使用されることもある。ちなみに表記は「sorrl」。アニスは甘い香りがするが、ケーキなどに使われるのはもっぱら種。ハーブよりむしろスパイスといったほうが正確だろう。よくアニスシードといわれるのものだ。

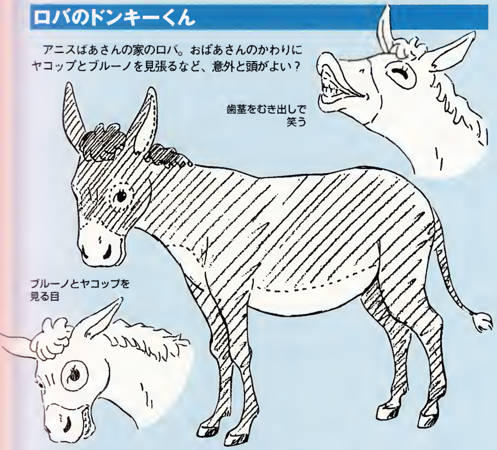
■スタッフの視点から

この18～20話は夏場の放送になるんで、富野監督が「どう転んだって視聴率はよくならないんだよ」と言って。そこで、1本きりのゆるい話をやって人物像を深めることになったんですよ。ちょっといい話シリーズということで。シリーズとして1年続けるためには1話からずっと繋がっているという作り方では無理というのもありましたから。

あと、この辺りでプラモデルの売れ行きが伝わってきたので、〝フラットをもっとカッコ良く作戦〟をはじめたわけです。

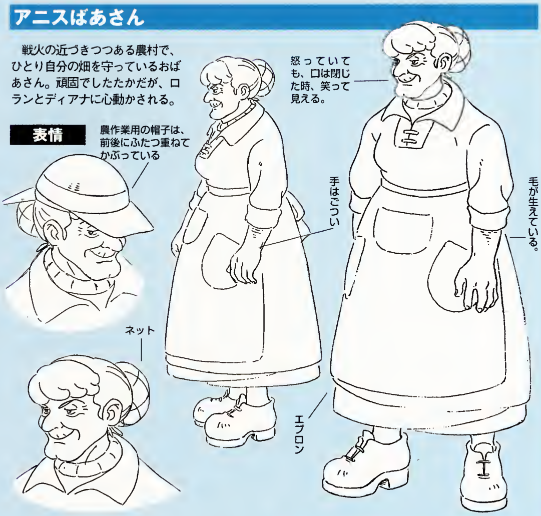
ロバのドンキーくん

アニスばあさんの家のロバ。おばあさんのかわりにヤコップとブルーノを見張るなど、意外と頭がよい？


歯茎をむき出しで笑う
ブルーノとヤコップを見る目

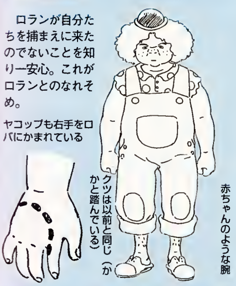
アニスばあさん

戦火の近づきつつある農村で、ひとり自分の畑を守っているおばあさん。頑固でしたたかだが、ロランとディアナに心動かされる。


表情
農作業用の帽子は、前後にふたつ重ねてかぶっている
ネット
怒っていても、口は閉じた時、笑って見える。
手はごつい
エプロン
毛が生えている。

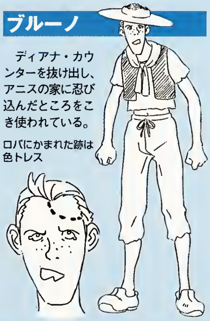
ヤコップ

ロランが自分たちを捕まえに来たのでないことを知り一安心。これがロランとのなれそめ。

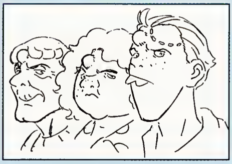

ヤコップも右手をロバにかまれている
クツは以前と同じ（かかと踏んでいる）
赤ちゃんのような腕

ブルーノ

ディアナ・カウンターを抜け出し、アニスの家に忍び込んだところをこき使われている。

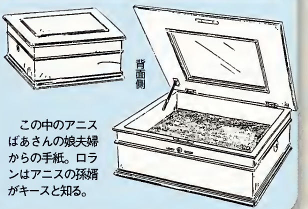

ロバにかまれた跡は色トレス

3人のコブ参照



偶然から同じ場所にコブができてしまった3人。おかげでロランも彼らと打ち解ける。

アニスばあさんのオルゴール

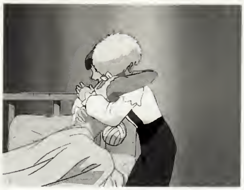


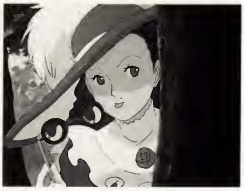
この中のアニスばあさんの娘夫婦からの手紙。ロランはアニスの孫婿がキースと知る。

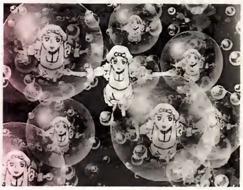
Episode #21

リリを宇宙船に案内するグエン。ディアナはグエンの考えに反発

嫉妬したリリは、ディアナを自分の家が援助する野戦病院で働かせる。いじめのつもりでしたのに、ディアナは感謝する。







第21話 ディアナ奮戦

■ストーリー解説

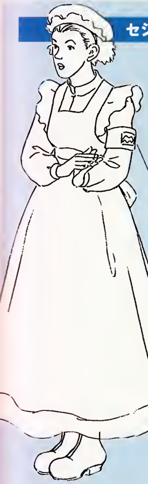
ホレスのナノマシン講座その2。∀のーフィールドについて。「ナノスキンに守られてきたといっても、千年の刻を乗り越えてきた機体なんだ。機体内にも自己修復力が働いていて、ある日作動するかもしれないな」ビームライフルやスラスターが突然作動したのもそのためなのだろうか？　ナノマシンといえば前話でアニスが「この土地だって1500年前ぐらい前まではなんにも採れない酷い土地だったんだよ。ご先祖さんたちは山師から黒い粉を買ったりして、そりゃあ苦労してこの土地を育てたんだよ」と語る黒い粉の正体もナノマシンだ。

■スタッフの視点から

今回の話も19話同様、星山さんからこんなのをやりたいという提案があったんですよね。野戦病院のアイデア自体は富野監督のメモにあったと思いましたが。

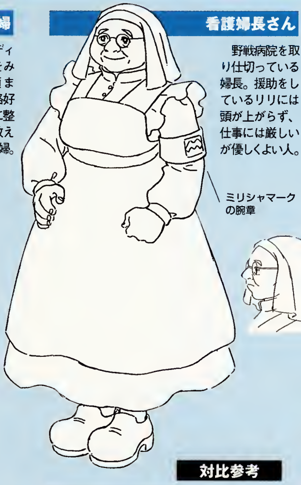
今回の話、コンテを見たときは、あの脚を切るところとか怖かったですね。本当に怖くて、こんなに怖くていいのかと思っていたんですけど、フィルムになったら大分落ち着いて。やはり、セルで描いてあるからかもしれないなあ。それに、フィルムで見るとケガした人、そんなに大きな傷に見えなくて。これで切っちゃうのは可哀想だなあと思いましたね。

セシリィ看護婦



婦長からディアナの面倒をみるように頼まれ、彼女の格好を看護婦姿に整え、仕事を教えてくれた看護婦。

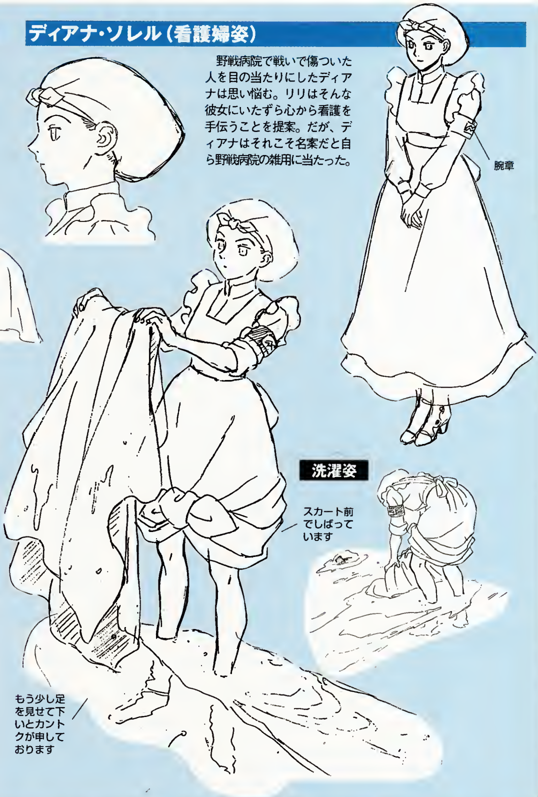
看護婦長さん


ミリシャマークの腕章

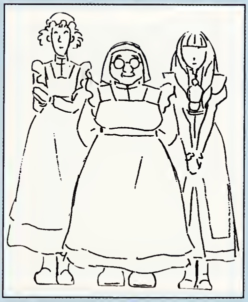
野戦病院を取り仕切っている婦長。援助をしているリリには頭が上がらず、仕事には厳しいが優しくよい人。

ディアナ・ソレル（看護婦姿）

野戦病院で戦いで傷ついた人を目の当たりにしたディアナは思い悩む。リリはそんな彼女にいたずら心から看護を手伝うことを提案。だが、ディアナはそれこそ名案だと自ら野戦病院の雑用に当たった。

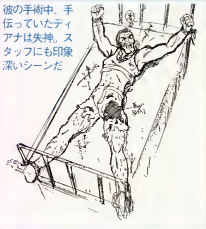

腕章
洗濯姿
スカート前でしばっています
もう少し足を見せて下いとカントクが申しております

対比参考



片足を切断される負傷兵

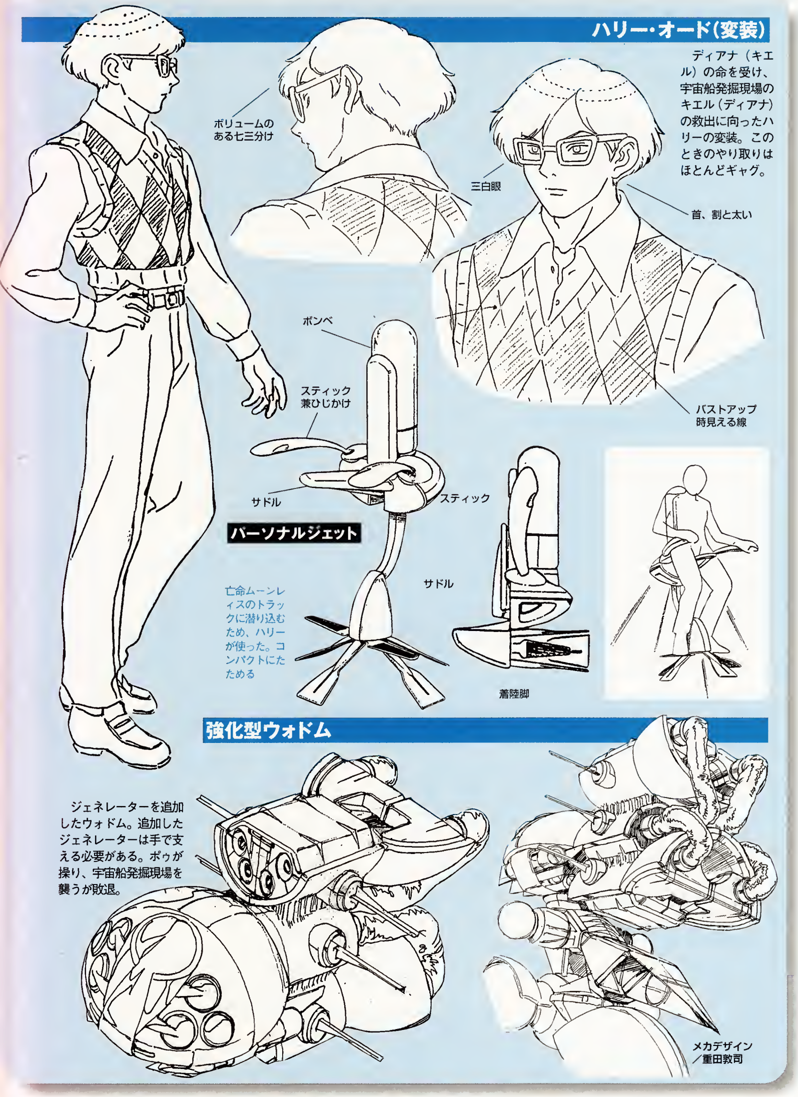
彼の手術中、手伝っていたディアナは失神。スタッフにも印象深いシーンだ



Episode #22

フィルの宇宙船攻撃を知ったキエルはハリーにディアナ救出を命ず

パワーアップしたウォドムは宇宙船を攻撃する。だがディアナを守ろうとするハリーのスモーと∀によって宇宙船は無事。



ハリー・オード（変装）

ディアナ（キエル）の命を受け、宇宙船発掘現場のキエル（ディアナ）の救出に向ったハリーの変装。このときのやり取りはほとんどギャグ。

ボリュームのある七三分け
三白眼
首、割と太い
バストアップ時見える線
ボンベ
スティック兼ひじかけ
サドル
スティック
サドル
着陸脚

パーソナルジェット

亡命ムーンレィスのトラックに潜り込むため、ハリーが使った。コンパクトにたためる

強化型ウォドム

ジェネレーターを追加したウォドム。追加したジェネレーターは手で支える必要がある。ポゥが操り、宇宙船発掘現場を襲うが敗退。

メカデザイン／重田敦司

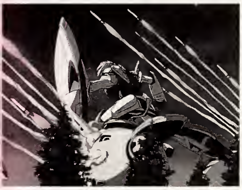
第22話 ハリーの災難

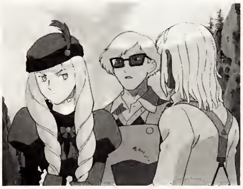
■ストーリー解説

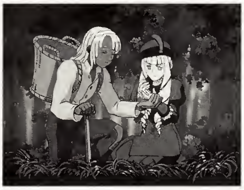
野戦病院の赤十字マークは、ギャバンによれば「古いまじないさ。こいつをつけとくと大砲の弾が飛んでこないんだとさ」らしい。前回のディアナの奮闘ぶりが、国際赤十字社の元となったナイチンゲールのように見える。だが野戦病院も火事になり、ソシエに「赤い十字マークのおまじないなんかきかなかったじゃないか！」と突っ込まれる。ディアナがマロングラッセを作りながら歌ってたのは「ロンドン橋」。地球降下時にフランも歌ってたが、月の少女に人気なのか？

■スタッフの視点から

今回は、ハリーの素顔を明かそうかと言う話です。素顔はただの大学生というか、無駄な筋肉のついたインテリみたいな感じになりましたが（笑）。このへんから〝キエルとハリーをくっつけよう作戦〟が発動しました。それまでもキエルさんを可愛く作戦のつもりが、ディアナさま可愛く作戦にすり変わってしまっていたのでその反省に立って。まあ、ディアナ・カウンターの中にはほかにいい男もいませんしね（笑）。







Episode

#23

ギャバンがソシエにプロポーズ。ジョゼフもフランに急接近

テテスは名を変え地球側と月側の中立地帯・キースのパン工場にいた。そして∀奪取とディアナ誘拐を計画する。

第23話

テテスの遺言

■ストーリー解説

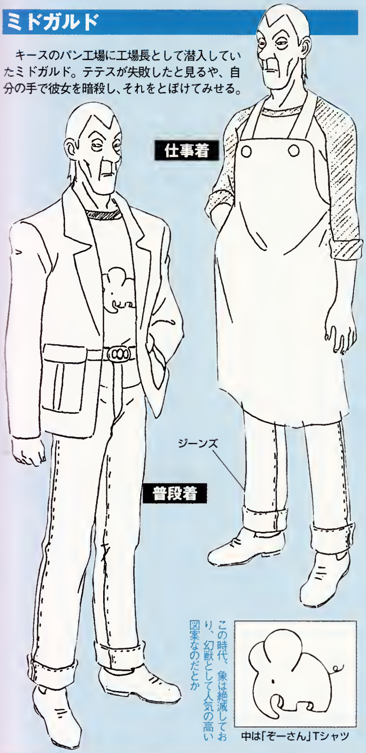
パン工場で働くときはテイトと名乗っていたテテスの母はリンダ・ハレという。彼女たちの先祖は、かつて地球に降下したディアナの家臣とともに月へ行った女性だ。リンダやテテスが月で迫害を受けたのはそのためらしい。またテテスはワーニャという、幼い頃に母からもらった人形を大切に持っている。∀をガンダムと呼んだのはコレンが初めてだが、ターンエーという名を口にしたのはこの回のテテスが最初。額の刻印をロランはバグかエラー表示だと思っていたらしい。

■スタッフの視点から

ミドガルドは、シナリオだと何本か前から登場しているんです。テテスを動かす上司が誰かいるだろうというのがあって。ただ富野監督が「よくある『007』の親玉みたいなのは何か嫌だなあ」といってコンテで外してたんです。それが今回テテスが利用されるだけされて死ぬという悲劇的なラストということで必要になって、また「キースの工場でしれっといるのは面白いんじゃないですか?」という説がうけて登場となったんです。

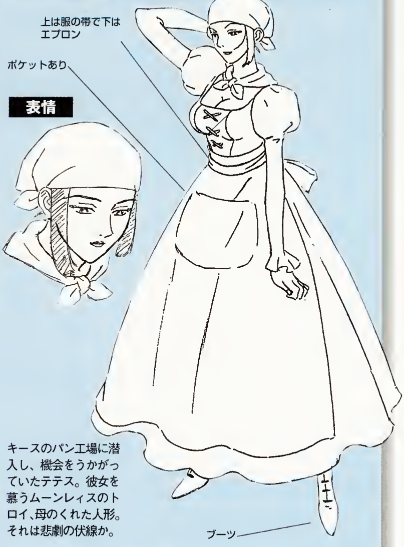
ミドガルド

キースのパン工場に工場長として潜入していたミドガルド。テテスが失敗したと見るや、自分の手で彼女を暗殺し、それをとぼけてみせる。


仕事着
普段着
ジーンズ
中は「ぞーさん」Tシャツ

この時代、象は絶滅しており、幻獣として人気の高い図案なのだとか

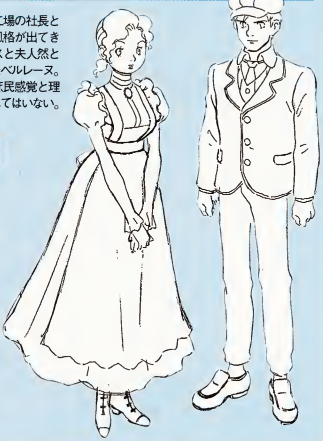
テテス・ハレ


上は服の帯で下はエプロン
ポケットあり
表情
ブーツ

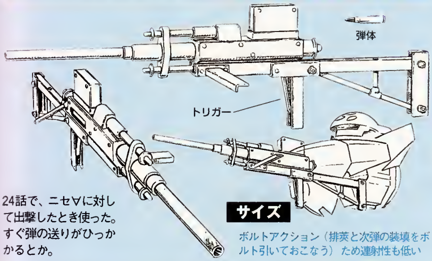
キースのパン工場に潜入し、機会をうかがっていたテテス。彼女を慕うムーンレィスのトロイ、母のくれた人形。それは悲劇の伏線か。

キースとベルレーヌ

パン工場の社長としての風格が出てきたキースと夫人然としてきたベルレーヌ。だが、庶民感覚と理想を忘れてはいない。

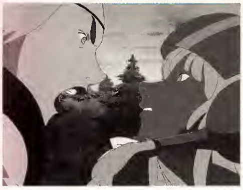


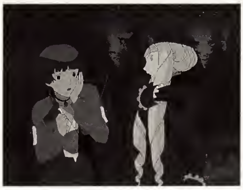
ミリシャのフラット用手持ち高射砲

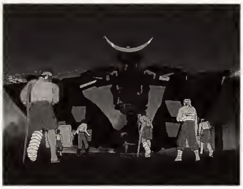


24話で、ニセ∀に対して出撃したとき使った。すぐ弾の送りがひっかかるとか。

ボルトアクション（排莢と次弾の装填をボルト引いておこなう）ため連射性も低い







Episode #24

ディアナは一度月へ帰ることを決意する

補給を得られないレット隊はフラットにひげをつけ∀のふりをして野戦病院を襲い、ディアナに捧げると宣言。

第24話

ローラの遠吠え

■ストーリー解説

レット隊とは、昔ディアナとともに地球へ降下した際に月へ帰還せずそのまま地球へ住み着いたムーンレィスの子孫だ。ファッションは60~70年代フラワーチルドレン&ヒッピー風。男がオネエ言葉を使うのを容認しているのも、このヒッピー文化の影響かもしれない。ただしその主義主張は「ラヴ&ピース」ではなく、ディアナ至上主義。また月見の際に歌う「月の魂」という歌も、ロックではなく民謡だ。月に団子とすすきを供えるに至っては純和風だろう。ディアナ・カウンターの正規軍とは、お互い嫌い合っている。ガンダムも憎んでいる。

■スタッフの視点から

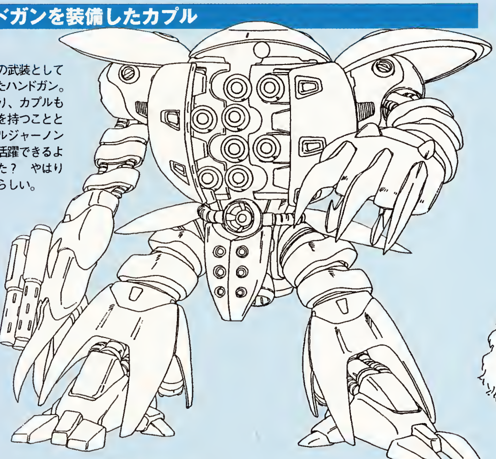
今回は、レット隊もいい人なんだよ作戦ですね。あの人たちもイジメられていて、それなりの事情があるというのを描こうとした。やっていることがニセ∀を使っての嫌がらせなんですが（笑）。

ちなみに、シナリオ段階だとニセ∀は白い布を被っているという設定だったんですが、フィルムではヒゲをつけただけのフラット(笑)。まあ、現在でも自動車の区別つかない人がいますから、わからない人にはあれで十分なんでしょう。

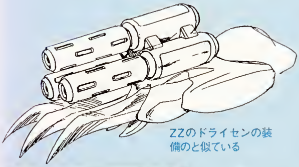
ラストのロランとディアナのダンスもシナリオだと「踊りましょう」と言ってたんですが、少し唐突かな?

ハンドガンを装備したカプル

カプルの武装として追加されたハンドガン。これにより、カプルも飛び道具を持つこととなり、ボルジャーノンと同様に活躍できるようになった？　やはり発掘武器らしい。

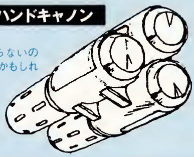


ハンドガンとカプルの対比。なお、画面では両手に装備していた



ZZのドライセンの装備のと似ている

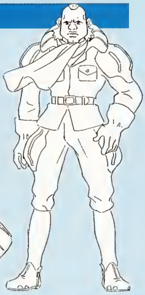
カプルのハンドキャノン



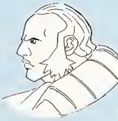
弾倉は見当たらないので、ビーム兵器かもしれない

エイムズ

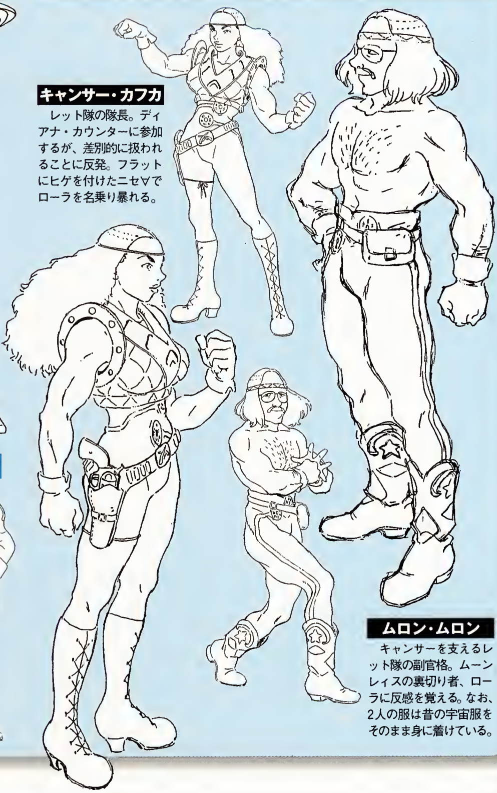
スエサイド隊の一員でギャバンの副官格。ギャバンがソシエに粉をかけるのを戦略の一環と勘違いする堅物。



表情



レット隊



キャンサー・カフカ

レット隊の隊長。ディアナ・カウンターに参加するが、差別的に扱われることに反発。フラットにヒゲを付けたニセ∀でローラを名乗り暴れる。

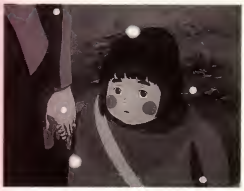
ムロン・ムロン

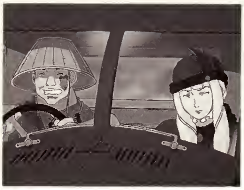
キャンサーを支えるレット隊の副官格。ムーンレィスの裏切り者、ローラに反感を覚える。なお、2人の服は昔の宇宙服をそのまま身に着けている。

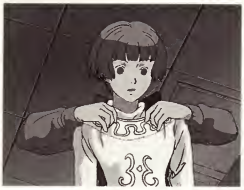
Episode #25

新聞が発行されてないことを知ったフランはキースをなじる

ウィルゲムが離陸準備を始めたことで、キエルは仕方なくフィルへ攻撃許可を出す。







第25話 ウィルゲム離陸

■ストーリー解説

レット隊にはなかったラヴ&ピースだが、この回はミリシャもディアナ・カウンターも何やらラブラブカップルばかり目立つ。やはり季節が秋から冬へ変わって雪が降ったことで、人恋しくなるのだろうか？　フィルとポゥは肩を寄せ合って雪を眺めている。ギャバンはソシエにウェディング・ドレスを贈る。仕込みをするキースを気遣うベルレーヌは、既に夫婦という感じだ。そしてフラン。ジョゼフに「私と結婚するってこと、考えたことある？」と聞く。ジョゼフの応えもまんざらではない。脚本段階ではフランがルドバの町で自分で落として壊したカメラをジョゼフがこっそり修理するなんてエピソードもあった。

周囲はこんなだが、主人公ロランは悩む回だったようだ。∀のコクピットで丸くなって夜明かしする姿は、まるで胎児のよう。この回でキースに言われたことだけでなく、ディアナやソシエのことなど、いろいろ悩んだのだろう。その結果が「ぼくはローラでもなければ道具でもありませんよ！」という台詞なのでは？

■渡辺久美子（フラン役）

印象に残るシーンといえば、西城秀樹さんが歌うオープニングとか、演じる側もめちゃくちゃ緊張していてリアリティがあった1話冒頭の三人が歌う場面とかいろいろありますが、やはりフランとジョゼフが仲がいい回はとても印象に残っています。フランって基本的にはすごくクールというか、気性が激しくない性格だと思うんです。ブン屋根性というか、人間も戦争も唯一客観的に見ていたような気もします。そのため人の腹を探ったり、見通すようなタイプは苦手なのでしょう。だからジョゼフのようなニブそうな男性が好きなんだと思います。

作品に関しては、どこかで読んだ「ロングスカートにこだわった」という監督のコメントがピッタリだと思います。そういう、今までのガンダムにはない独特の雰囲気で、∀は女性でも観やすい作品になっているという気がするんです。ストーリーも比較的わかりやすいですし。監督には怒られるかもしれませんが、初めて一視聴者の立場として「終わって欲しくない」と思った作品です。

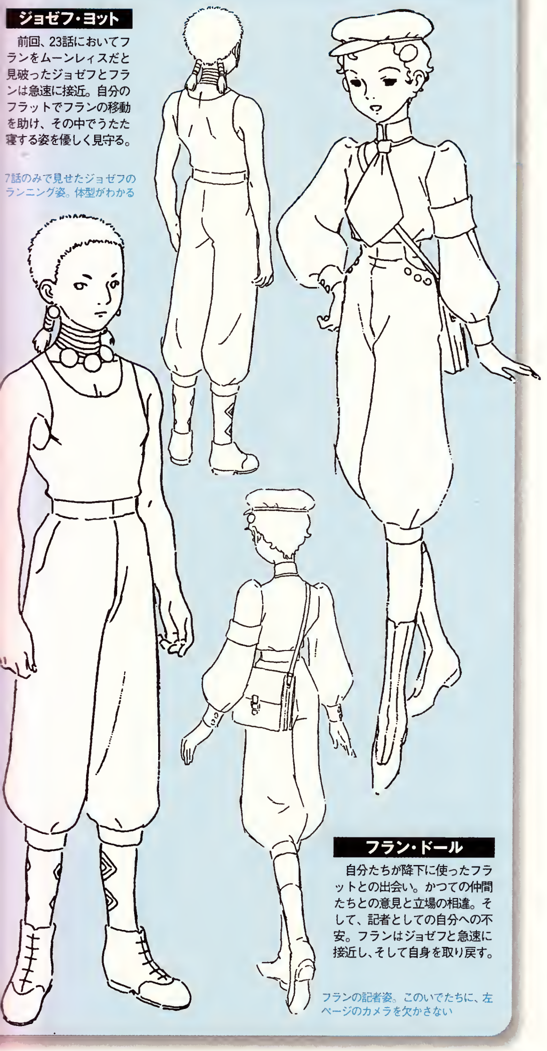
■スタッフの視点から

コレンのトラックは、あるいはパン工場あたりで盗んだ物かもしれないんですが、このあたりはもう本当に謎ですね。ディアナ様との出会いにも、どんないきさつがあったのか謎ですし。もっと前振りを入れるべきだったのかな？　まあ、ディアナ様にしたら、この方がコレンは幸せそうだから放っておこうというぐらいのものかもしれませんね。

フランの記事が新聞に載っていないというのは、彼女にショックを与えるために作られたネタなんですが、この前の建国宣言の時にグエンが「バカどもはなんにもしなかった」と言っているくらいだから、きっと領主たちは何もやってないんでしょうね。

ちなみに、最初はフランとジョゼフがくっつくというのは考えられてはいませんでした。

フランとジョゼフ



ジョゼフ・ヨット

前回、23話においてフランをムーンレィスだと見破ったジョゼフとフランは急速に接近。自分のフラットでフランの移動を助け、その中でうたた寝する姿を優しく見守る。

7話のみで見せたジョゼフのランニング姿。体型がわかる

フラン・ドール

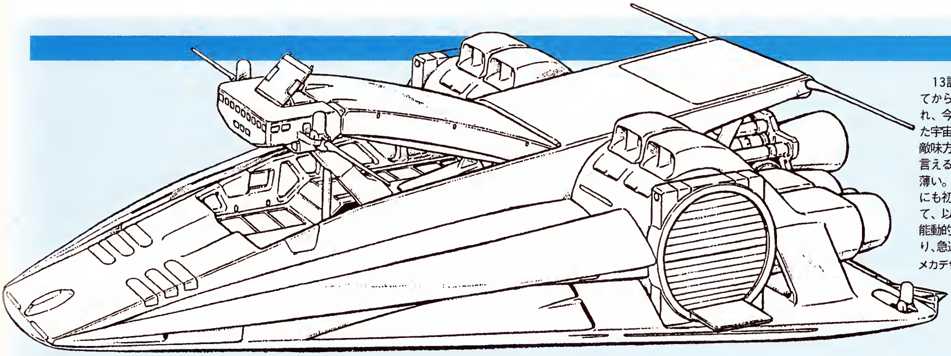
自分たちが降下に使ったフラットとの出会い。かつての仲間たちとの意見と立場の相違。そして、記者としての自分への不安。フランはジョゼフと急速に接近し、そして自身を取り戻す。

フランの記者姿。このいでたちに、左ページのカメラを欠かさない

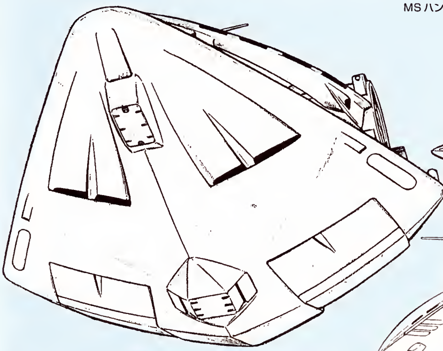
ウィルゲム

13話でその存在が知られてから、延々と発掘が続けられ、今回発進することとなった宇宙船。この10話あまり、敵味方の物語の焦点だったと言えるが、そのわりに印象は薄い。だが、今回まがりなりにも初飛行をしたことによって、以降物語はロランたちが能動的に動き回れるようになり、急速に進むこととなった。

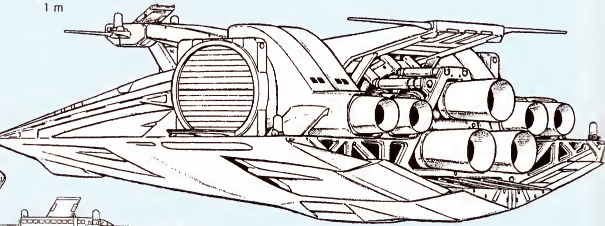
メカデザイン／石垣純哉

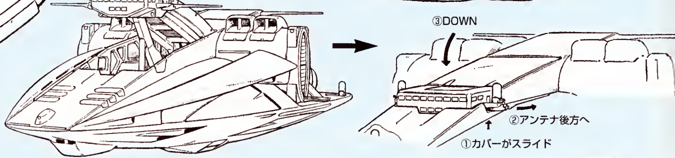


MS ハンガーの直径は 1ｍ



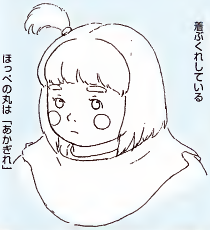
リフティングボディを思わす機体がよくわかる、なめらかな下からの姿

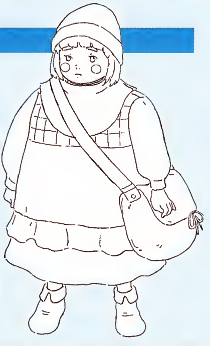



③DOWN
②アンテナ後方へ
①カバーがスライド

ルル

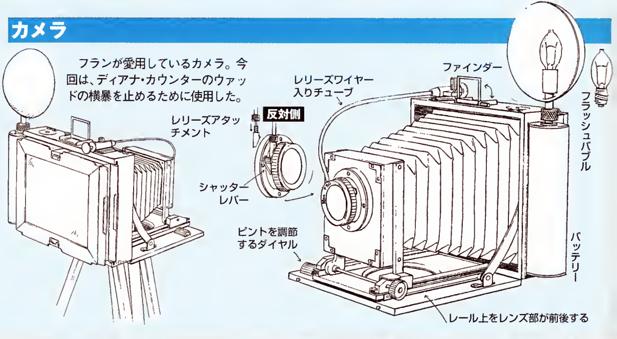
フランが助け、キースのもとへ連れてきた戦災孤児。食べ物がある所は襲われると怯えていた。


ほっぺの丸は「あかぎれ」



カメラ

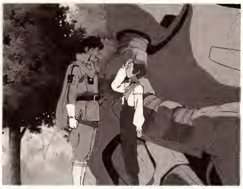
フランが愛用しているカメラ。今回は、ディアナ・カウンターのウァッドの横暴を止めるために使用した。

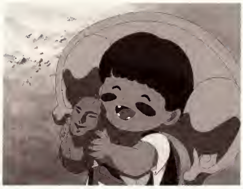

ファインダー
レリーズワイヤー入りチューブ
レリーズアタッチメント
反対側
シャッターレバー
ピントを調節するダイヤル
フラッシュバブル
バッテリー
レール上をレンズ部が前後する

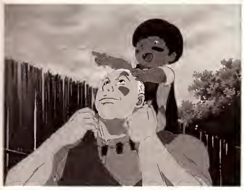
Episode #26

ウィルゲムは不時着
フィルたちの被害も
大きく追撃できない

ロランたちは収穫祭が開かれる町でディアナを見つける。そこで∀の山車を見たコレンは、襲いかかる。







第26話
悟りの戦い

■ストーリー解説

　この回でコレンは「天の階段、天の蓑虫」と唱えている。23話で「天の乙女は、始まりの樹の天の蓑虫にぶらさがり……」と、25話では「天の蓑虫、乙姫様、持ってまわる」とも語っている。この後の話の展開を見ても、「天の階段、天の蓑虫」は明らかに地球から月へ宇宙船を送る施設ザックトレーガーをさしている。そもそもザックトレーガーとは、ドイツ語で蓑虫という意味だ。ケーブルの両端にある樽部分を蓑虫に見立てて命名されているのだ。

　そこで気になるのは、コレンはなぜこの言葉を唱えているのかということだ。コレンが僧であることは間違いない。設定にも「諸国流浪の僧のような風体。布施に感謝する」とある。事実23話ではテテスがコレンに「どーぞ、お坊さん」とパンを差し出しているのだ。こうは考えられないだろうか？　これらの言葉はどれもその宗教の教典のようなものに掲載されていたのだ。「始まりの樹」という言葉も出てくるくらいだから、この宗教は明らかにマニューピチの世界樹伝説の影響を受けている。

　そしてこの宗教は、どうやらこの時代の人々の意識の奥底に存在しているらしい。そうでなければ布施で食いつなぐ流浪僧が存在できるはずがないからだ。また21話では瀕死の患者の側にいる看護婦が「天の階段に登ろうとしている人のそばでなんですか？」と言っている。死ぬことを「天の階段を登る」と言い換えていることは確かだろう。

　ちなみにザックトレーガーという言葉は、この回で初めて登場する。ディアナがロランに「月と地球を結ぶもう一つのルート」と教えているのだ。

■スタッフの視点から

　一言で言えば、コレンを片付けようという話ですね。再登場したのはいいけど、いつまでもいるとうっとうしいから(笑)。それで、ビルマの竪琴みたいな話を入れようという話だけだったんです。当初は。

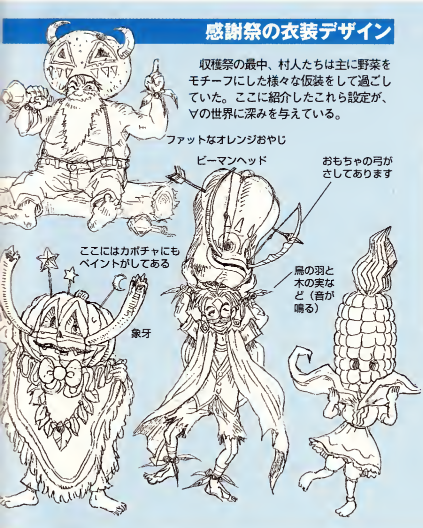
　それで、富野監督が「コレンとガンダムを戦わせよう」と言うんだけど、ストレートに戦わせても今までの話が無意味だから、やはり精神的に成仏させる話にしてやらなければいけない。コレンが何にこだわっているかは分からないけど、そのこだわりを解いてやらないといけないわけですよ。もしかしたら、富野監督もコレンに自分を映し見たのかもしれませんが（笑）。

　あと、30越えていてもガンプラにもえている人たちの姿も映されているのかも、という気がしますね(笑)。ようするにガンダムという呪いを解く話なんですよ、構造的に見て。そのせいか、コレンが去っていく姿が晴れ晴れしさというか、それなりにさわやかな気がするのが不思議ですね。シナリオだと「またこの世に〝ガンダム〟が現れるとき、オイラはかならず戻ってくる」って、シェーンみたいになっていましたしね（笑）。

　あと、この回の祭りのシーン。最初は山車をみんなで引っ張って行進するという物を考えていたんです。それで設定もすすめていたんだけど、絵コンテを描いている最中にアミノテツローさんが山車を川に流すという手を思いついて。おかげで、山車を引っ張る人たちのシーンを作画しなくてすんでずいぶんと作画枚数が助かったはずですよ。

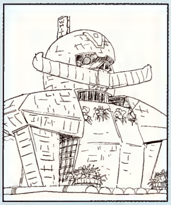
感謝祭の衣装デザイン

　収穫祭の最中、村人たちは主に野菜をモチーフにした様々な仮装をして過ごしていた。ここに紹介したこれら設定が、∀の世界に深みを与えている。

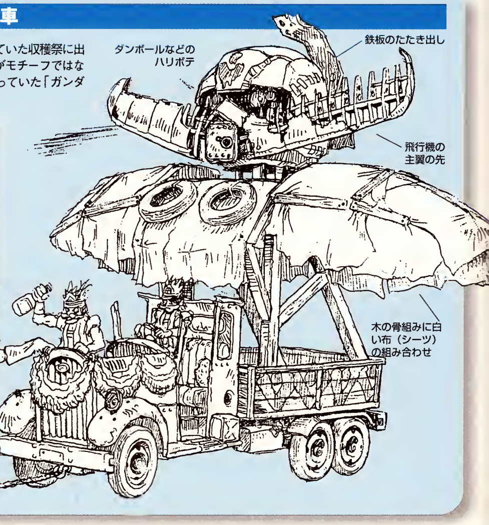

ファットなオレンジおやじ
ビーマンヘッド
おもちゃの弓が
さしてあります
ここにはカボチャにも
ペイントがしてある
鳥の羽と
木の実な
ど（音が
鳴る）
象牙

ホワイトドールの山車

　カラモートの町でおこなわれていた収穫祭に出てきた山車のひとつ。唯一野菜がモチーフではないこの山車を見たコレンは、眠っていた「ガンダム」への怒りを呼び覚ます。

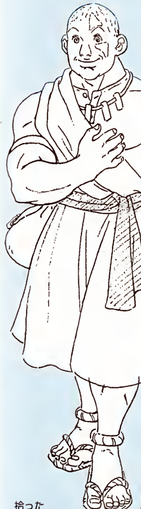
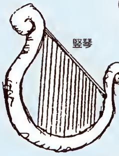


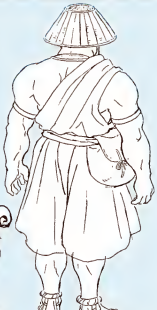
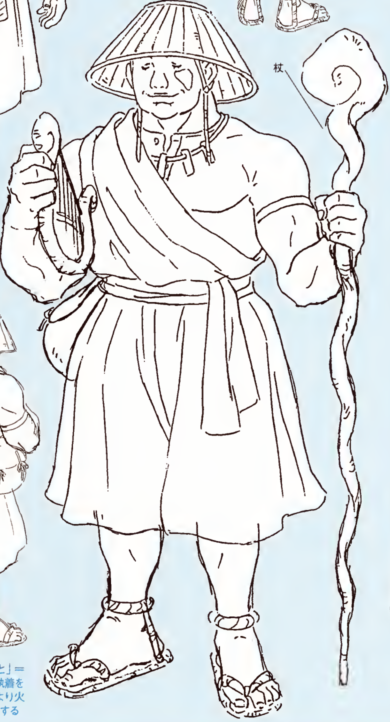
右の山車バージョンを屋形船バージョンにリデザインしたもの。竹と紙製という設定

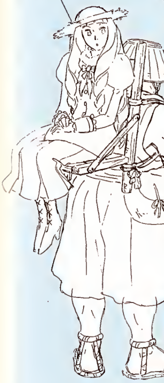

ダンボールなどの
ハリボテ
鉄板のたたき出し
飛行機の
主翼の先
木の骨組みに白
い布（シーツ）
の組み合わせ
廃車のトラックを
活用。エンジンは
下ろしてある
モビルリブに
引かれている

僧姿のコレン・ナンダー

なぜかソレイユに向かうディアナと行動をともにしているコレン。人が違ったように穏やかになっている。だが、ホワイトドールの山車を見たことで、眠っていた怒りに火がつき打倒に立ち上がる。それは憑き物を落とす行為だった？

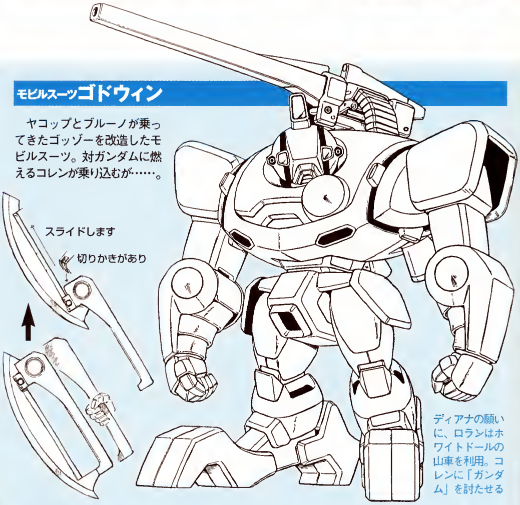





「今ここでしかできないこと」＝木彫りの人形を掘ることに執着を見せたり、目的地に向かうより火事や祭の見学を優先させたりする

モビルスーツゴドウィン

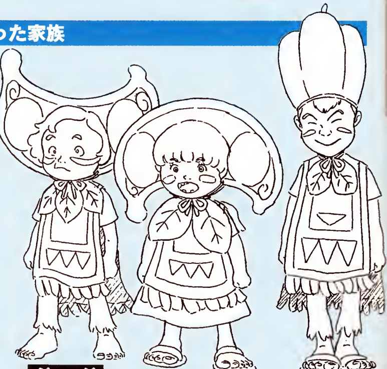
ヤコップとブルーノが乗ってきたゴッゾーを改造したモビルスーツ。対ガンダムに燃えるコレンが乗り込むが……。

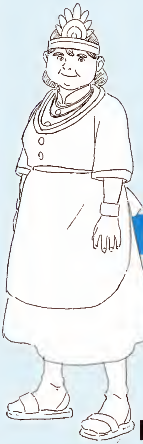

スライドします
切りかきがあり

ディアナの願いに、ロランはホワイトドールの山車を利用。コレンに「ガンダム」を討たせる

感謝祭で出会った家族

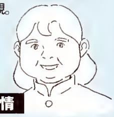
カラモートの村を訪れたコレンとディアナが世話になったのがこのカキトたちの家族。ここでディアナは当たり前の生活という物を実感する。

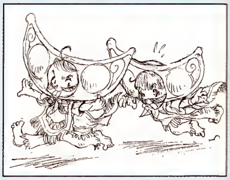

ジョージ
カキト
トニーニョ



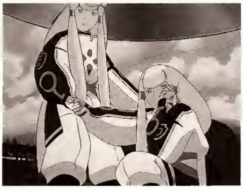
カキトの母
エストロリータ

コレンとディアナを祭りの見物客と思い込み、歓待してくれた心優しく面倒見のよい母親。





「ビーンズブラザーズ」と但し書きがされている衣装案からカキトたちのデザインが誕生した



#27 Episode

ディアナはソレイユへ戻りギャバン死す

ゼノア隊はモビルスーツとともに核爆弾を発掘してしまう。そこへレット隊とギャバンたちが来た。

第27話 夜中の夜明け

■ストーリー解説

冒頭で画面一杯に広がる麦畑は、ディアナが「ムーンレィスの故郷」と言っているようにサンベルト地帯だ。ムーンレィスの父祖の地であり、そのために建国しようとした場所だ。地球側も無意識にそれを察していたのか、この地の人工密度は低いらしい。だがこれだけ広大な土地をナノマシンの粉で改良し、農作業も機械を使用せず農具のみで行っているとしたら、人手がかなり必要なような気もする。ちなみにナノマシンの粉は火薬に似ているらしい。20話では火薬を見てギャバンが「山師が使う土地を良くする粉みたいだな」といっている。

山師がロスト・マウンテンに近付かないのは、危険物や猛毒の廃棄物が埋葬されたマウンテン・サイクルだからだ。その場所へディアナ・カウンターのゼノア隊が行ったのはまだしも、なぜスエサイド隊が行ったのか？　ルジャーナ・ミリシャにはシドのような協力する山師がいないのか、いてもシドほど有能ではないのかもしれない。山師がいないなら、どうしてボルジャーノンが発掘できたのか？　単なる偶然なのかもしれない。

核爆弾は、ムーンレィスでは作ることも使うこともタブーとされてきたらしい。核爆弾の存在を知ったときのレット隊の反応はスエサイド隊と五十歩百歩で、彼らが核の恐怖を知っていたようには見えない。どうやら先祖の知識の全てが伝授されてきたわけではなさそうだ。

爆発の閃光を見ての感想は少ない。脚本段階でリリは「美しい光ですわ。まるで湖面に映る月、いえ冬の空に輝く太陽のよう……」と語っていたが、本編ではさすがに削られている。

■スタッフの視点から

この話は富野監督が奥さんに怒られたんですよ。「展開がきりきりしていて、普通の人には分からないわよ」と。

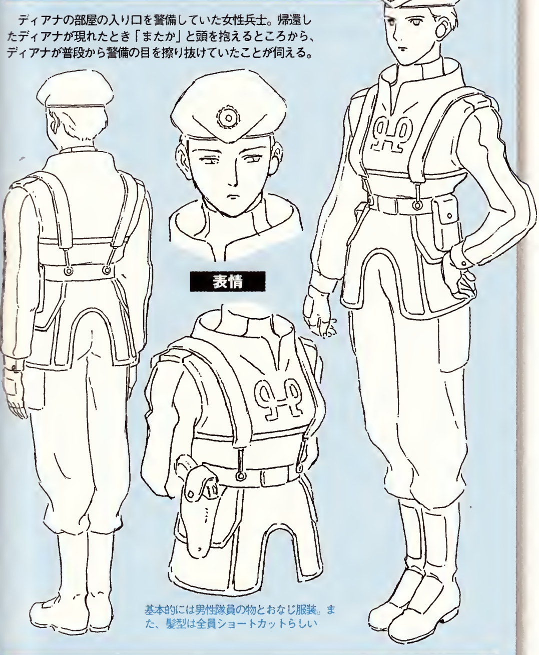
この話、最初は別の人にコンテを頼もうという話もあったんですけど、少し難しいと。色々詰め込んだり、核爆発から逃げ出すところだけで少し時間を使いたいとか、構想が膨らんだらしくて。それで、自分が描くよとゼロから絵コンテを描き始めたんです。けど、やはり富野監督だから電波の出るような展開をしているんですよね。おかげで後になって奥さんに怒られたらしいです。まあ、電波が出るとまずいんだろうけど、『機動戦士ガンダム逆襲のシャア』とか、あれに通じるものがあって。普通の人には早くて難しい。それで、奥さんに「つめ込みすぎちゃダメ」と怒られたらしいんですね（笑）。

まあ、富野監督のフィルムを見慣れている人にはいいんでしょうけど。今回の狙いは、逆に普通の人に見てもらいたい、と言いながら普通の人に分からないフィルムを富野監督自ら作ってしまったというわけですね（笑）。

富野監督、核爆弾はやりたかったみたいで。打ち合わせの時も、ウィルゲムが月に行く前にやっとかなきゃいけないかなあ、と言っていたら監督が「ザックトレーガーにたどり着く前に核爆弾が爆発するのはどう？」と言い出して。その結果、この後の話でロランが核爆弾を宇宙に捨てることを思いつく、という形でモチベーションが持てた。ですから、この爆発はスプリングボードなんですよね。一気にソシエもまじめになれるし。

女性親衛隊コスチューム

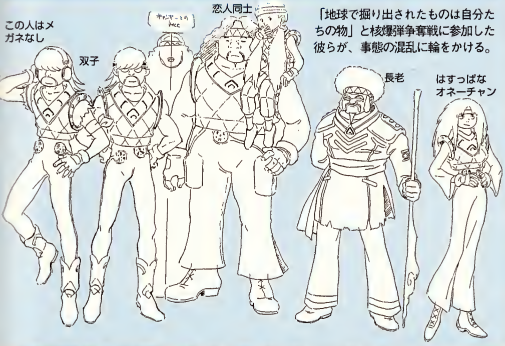
ディアナの部屋の入り口を警備していた女性兵士。帰還したディアナが現れたとき「またか」と頭を抱えるところから、ディアナが普段から警備の目を擦り抜けていたことが伺える。



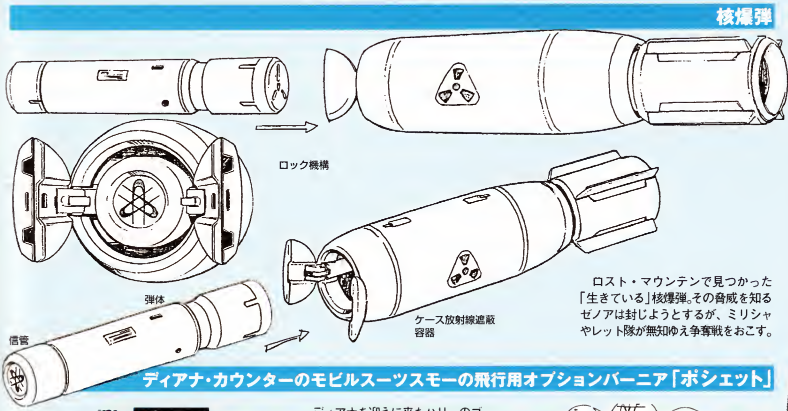
基本的には男性隊員の物とおなじ服装。また、髪型は全員ショートカットらしい

レット隊のメンバー

「地球で掘り出されたものは自分たちの物」と核爆弾争奪戦に参加した彼らが、事態の混乱に輪をかける。

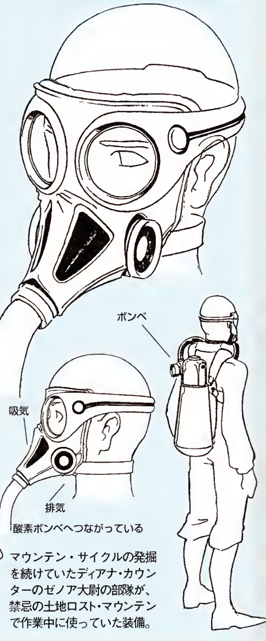

この人はメガネなし
双子
恋人同士
長老
はすっぱなオネーチャン

核爆弾


ロック機構
弾体
信管
ケース放射線遮蔽
容器

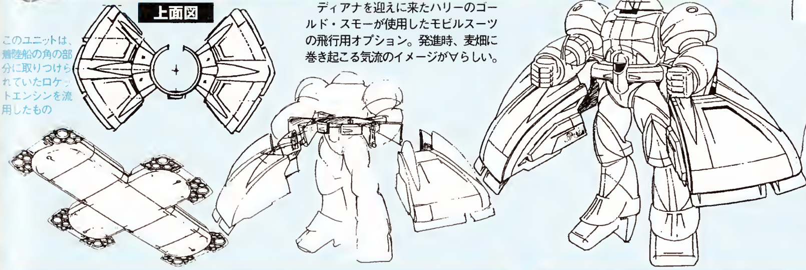
ロスト・マウンテンで見つかった「生きている」核爆弾。その脅威を知るゼノアは封じようとするが、ミリシャやレット隊が無知ゆえ争奪戦をおこす。

防毒マスク


ボンベ
吸気
排気
酸素ボンベへつながっている

マウンテン・サイクルの発掘を続けていたディアナ・カウンターのゼノア大尉の部隊が、禁忌の土地ロスト・マウンテンで作業中に使っていた装備。

ディアナ・カウンターのモビルスーツスモーの飛行用オプションバーニア「ポシェット」

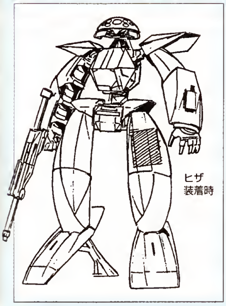


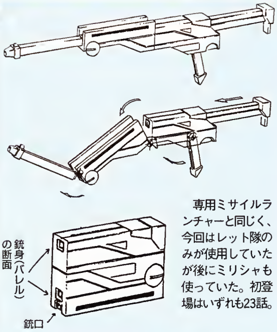
このユニットは、着陸船の角の部分に取りつけられていたロケットエンジンを流用したもの

ディアナを迎えに来たハリーのゴールド・スモーが使用したモビルスーツの飛行用オプション。発進時、麦畑に巻き起こる気流のイメージが∀らしい。

モビルスーツ　フラット用ライフル

フラットとの対比

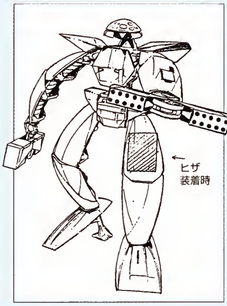



銃身(バレル)の断面
銃口

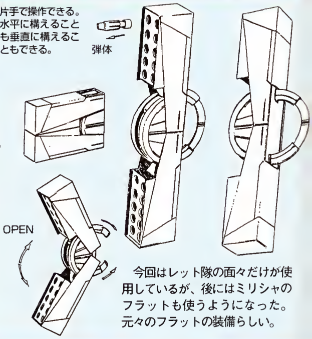
専用ミサイルランチャーと同じく、今回はレット隊のみが使用していたが後にミリシャも使っていた。初登場はいずれも23話。

モビルスーツ　フラット用ミサイルランチャー

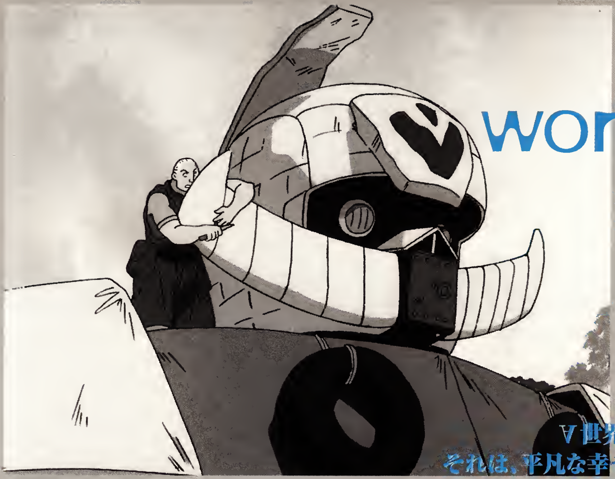
フラットとの対比



片手で操作できる。水平に構えることも垂直に構えることもできる。



今回はレット隊の面々だけが使用しているが、後にはミリシャのフラットも使うようになった。元々のフラットの装備らしい。



turnA world for Episod

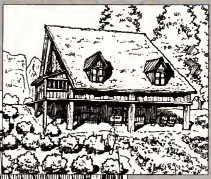
#19-2

∀の世

∀世界に住む人々の思いが、日常が語られはじめる。
それは、平凡な幸せ、生きるための現実、大地に足をつけた生活。
月と地球の人々も一様ではないという、当たり前のこと。

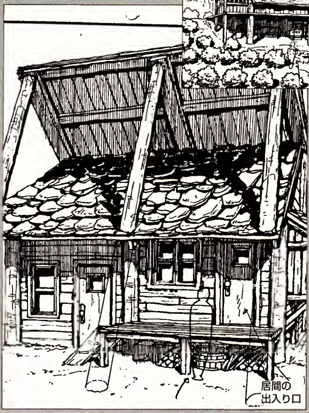
アニスの家

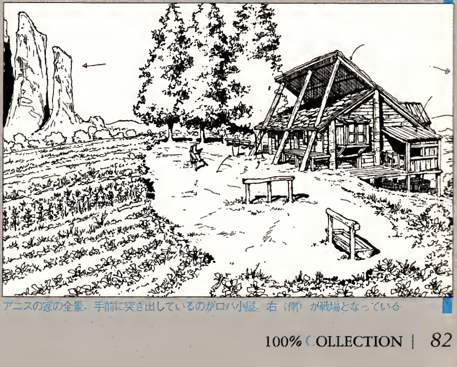
戦いに巻き込まれた庶民、農家の声を伝えてくれたアニスばあさんの家。地に足を着けて生きることを体現していた。



小高い丘の上に建てられているアニスの家。やはり、南側の屋根には太陽電池芝パネルが用意されている。その南側は下り斜面で、その先に広大な小麦畑が拡がっている。また、北側の緩やかな下り斜面側も畑となっている

洋風
お茶畑
ハーブ

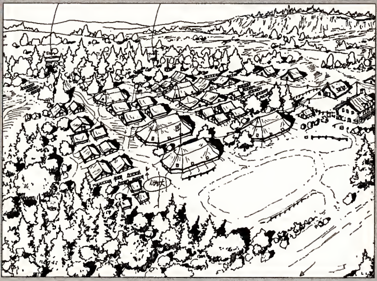




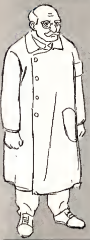
アニスの家の全景。手前に突き出しているのがロバ小屋。右（南）が戦場となっている

野戦病院

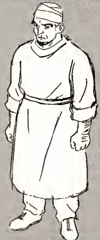
人と人が戦う以上、傷つく人が出る。そして、それでも人は生き続けるから、世話をする人もいる。当たり前のことこそが、人に異常な事態を気付かせるのだ。



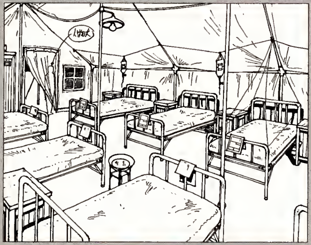
テント村的な様相から、急激に怪我人が増えた様子が推し量れる。右奥がキングスレー



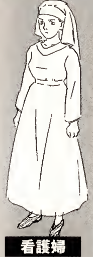
白衣の医師



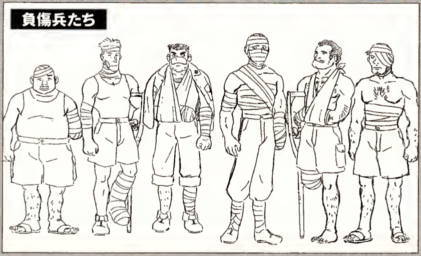
手術着の医師

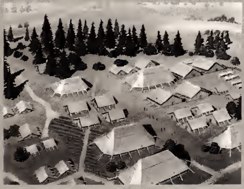


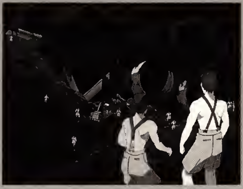
２０世紀でも、∀世界でも普通なら些細に思われるケガで手足の切断がおこなわれ、人が死んでいく。悲劇が日常として描かれる

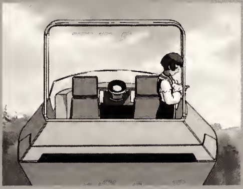


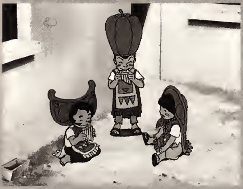
看護婦





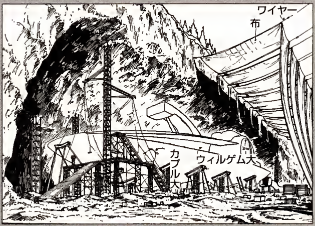




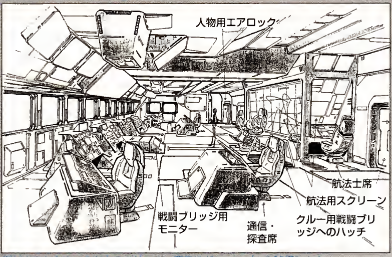


ウィルゲム発掘現場

ついに掘り出された宇宙船はウィルゲムと名付けられ、月と地球の各々の思惑をよそに新たな火種へとなっていく。


ワイヤー
布
ウィルゲム大
カプル大

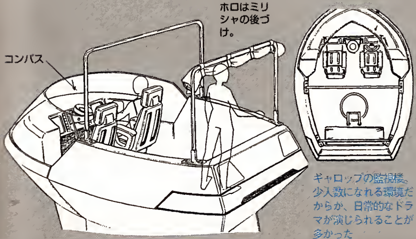
ほぼ掘り出されたウィルゲム。重機をふんだんに使えるディアナ・カウンターと異なり、ミリシャにとっては一大作業だったのだろう


人物用エアロック
航法士席
航法用スクリーン
クルー用戦闘ブリッジへのハッチ
通信・探査席
戦闘ブリッジ用モニター

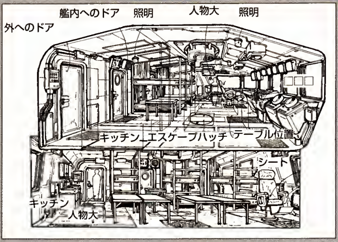
掘り出されたウィルゲムのブリッジ。要員はギャロップから移行した？

ギャロップ

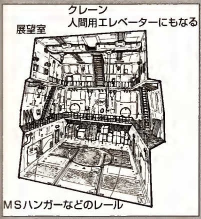
ロランに与えられたホバーカー。∀の基地として、実に平和的な使われ方をする。だが、その性能は核戦争さえ想定されているものであった。


ホロはミリシャの後づけ。
コンパス

ギャロップの監視楼。少人数になれる環境だからか、日常的なドラマが演じられることが多かった


照明
人物大
照明
艦内へのドア
外へのドア
テーブル位置
エスケープハッチ
キッチン
シート
キッチン
人物大

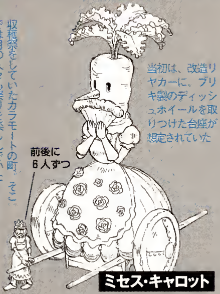
ギャロップのブリッジはだいたいこんな雰囲気になっている


クレーン
人間用エレベーターにもなる
展望室
MSハンガーなどのレール

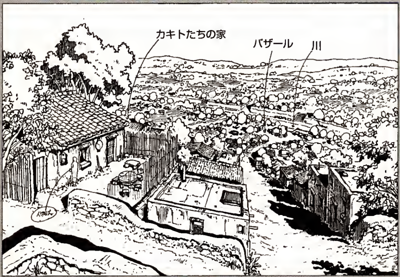
格納庫を扉方向から見た図。内部でMSの整備もおこなえる

カラモートの町

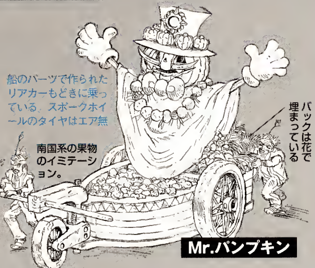
ディアナとコレン、そしてロランたちが立ち寄ったカラモートの町では収穫祭がおこなわれていた。この祭りに登場する山車は、ホワイトドールの山車を除いていずれも擬人化された野菜がモチーフとなっている。これは、ある意味この世界には20世紀のような強固な一神教が存在していないことを示唆している？


前後に
6人ずつ
ミセス・キャロット

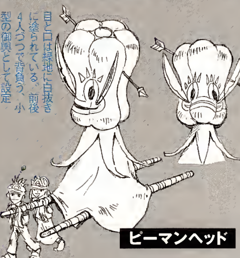
当初は、改造リヤカーに、ブリキ製のディッシュホイールを取りつけた台座が想定されていた


カキトたちの家
バザール
川

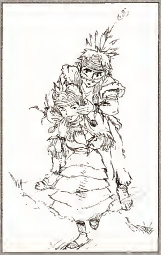
収穫祭をしていたカラモートの町。そこでは月の人々も祭りを楽しんでいた


バックは花で埋まっている
南国系の果物のイミテーション。
Mr.パンプキン

船のパーツで作られたリアカーもどきに乗っている。スポークホイールのタイヤはエア無



目と口は緑地に白抜きに塗られている。前後4人づつで背負う、小型の御輿として設定



「日本では顔にスミの塗り合いをするお祭り（魔よけ？）がありますが∀ガンダムの世界では貝をくだいた顔料を顔に塗り合うお祭りがあってもよいのではないでしょうか？」との書き込みがある祭りのイメージ画。宮尾佳和によるもので、ほかにも多くのアイデアが出されている

∀クロニクル CHRONICLE

8月14日、大雨による増水で玄倉川中州でキャンプしていた15人が死亡。17日にはトルコ西部でマグニチュード6.8の地震で4万余りの被害者を出す。23日にはキルギスで日本人が武装勢力の人質にされる。30日には東ティモールで総選挙がおこなわれるが、9月4日の開票以降無政府状態となり混乱がつづくことになる。13日にはソニーがプレイステーション2を初めて正式に発表。また、21日には台湾でもマグニチュード7.1の大地震が起き、30日には東海村で臨界事故が発生。関東地方では10月1日放映予定の25話『悟りの戦い』の放映が8日に延期されることとなった。そして、核爆弾が登場する26話『夜中の夜明け』は15日に放映された。

turnA
world apendix fo
smallarms

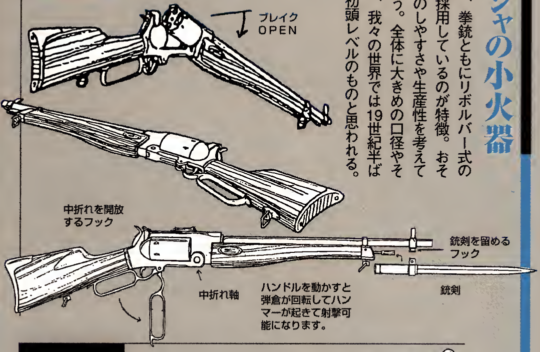
ディアナ・カウンターとミリシャ。
双方が持つ装備小火器を比較することで
そこに透けてくる∀世界を覗いてみよう

ミリシャの小火器

ライフル、拳銃ともにリボルバー式の回転弾倉を採用しているのが特徴。おそらく、装填のしやすさや生産性を考えてのことだろう。全体に大きめの口径やその構造から、我々の世界では19世紀半ばから20世紀初頭レベルのものと思われる。

ライフル

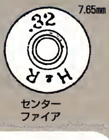
ミリシャで一般に使われている対空射撃も可能な狙撃銃タイプのライフル。8mmライフル弾使用の6連発で、中折れ式リボルバー。


ブレイク
OPEN
中折れを開放するフック
銃剣を留めるフック
中折れ軸
銃剣

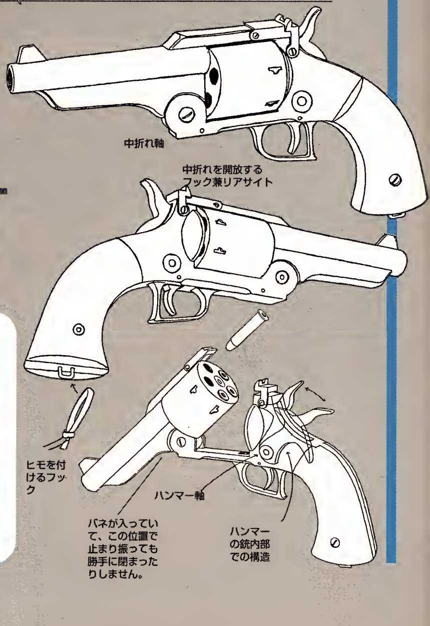
ハンドルを動かすと弾倉が回転してハンマーが起きて射撃可能になります。

リボルバー

ミリシャの軍用として作られた、5連発リボルバー。中折れ式のシングルアクションで、口径は7.65㎜。



センターファイア


中折れ軸
中折れを開放するフック兼リアサイト
ヒモを付けるフック
ハンマー軸
ハンマーの銃内部での構造

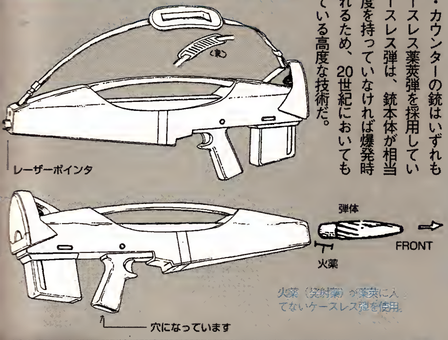
バネが入っていて、この位置で止まり振っても勝手に閉まったりしません。

ディアナ・カウンターの小火器

ディアナ・カウンターの銃はいずれも小口径のケースレス薬莢弾を採用している。特にケースレス弾は、銃本体が相当高い工作精度を持っていなければ爆発時のガスが漏れるため、20世紀においても困難とされている高度な技術だ。

ライフル

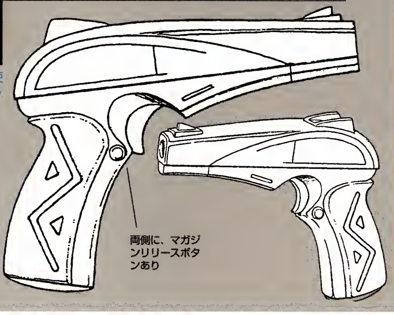
全長70㎝ほどのケースレスブルパップ銃。ブルパップとは通常だとトリガーより前にある機関部が肩当てにあるもの。口径は5.56㎜


レーザーポインタ
弾体
FRONT
火薬
穴になっています

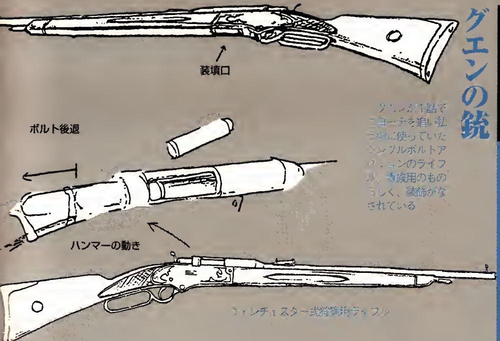
火薬（発射薬）が薬莢に入ってないケースレス弾を使用。

ピストル

ケースレス弾使用のオートマチック。


両側に、マガジンリリースボタンあり

グエンの銃


装填口
ボルト後退
ハンマーの動き

グエンが1話でローラを追い払う際に使っていたシングルボルトアクションのライフル。貴族用のものらしく、装飾がなされている

ウィンチェスター式狩猟用ライフル

小火器総論

両者の小火器を比較して、まず言えることは技術力の隔たりだろう。それは必ずしもディアナ・カウンターの銃の方が威力があることを示さない。なぜなら、ディアナ・カウンター側の銃は弾丸を小型化し、連射することを前提にしているからだ。弾丸の小型化は携行弾数を増やすことにも通じるが、殺傷能力は落ちる。相手を狙って撃つような使い方には不向きとなり、弾丸一発あたりの命中率はかなり低くなることが知られている。一方、ミリシャの銃は連発性には劣るものの、命中率や射程の長さでは勝っている可能性がある。つまり狭い空間で弾丸をばらまくような戦いならディアナ・カウンターの、動く相手を確実に仕留めるにはミリシャの方が有効である。

INSPECTION OF ∀ GUNDAM

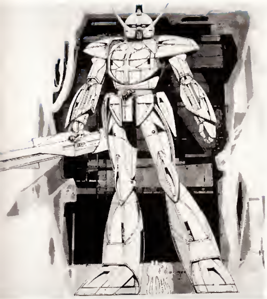
インスペクション
オブ
∀ガンダム

タイトルの「INSPECTUION」には「注意深く調べる」「検分する」といった意味がある。ここではバンダイビジュアルがセッティング、ビデオ撮影したシド・ミード&大河原邦男の未公開対談を完全誌上再録。さらに各メカデザイナーへのインタビューなどを行い、大きな話題となった「∀ガンダム」のメカデザインがどのようにして完成していったかを検分してみよう。

大河原邦男

シド・ミードが来日した際、大河原邦男のオフィスにて行われた。

機械文明にはロボット・ファンタジーがつきものです（ミード）


ILLUSTRATED BY SYD MEAD

——ミードさんとガンダムシリーズとの出会いはいつ？

ミード　1983年頃にガンダムのキャラや世界観のグラフィカルな表現をポスターとして描いたことがありますが、そのときに初めてガンダムに出会いました。その際にモビルスーツのストーリー・シリーズの小冊子をもらったので、それで勉強しました。

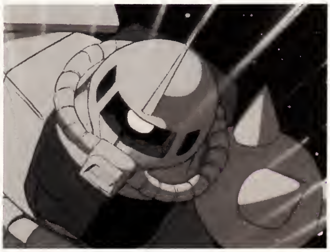
——モビルスーツの印象は？

ミード　機械文明には全てロボット・ファンタジーというものがつきものです。人が時計を作り始めた何百年も前から、そうしたオートマトン（自動機械）のファンタジーは我々のマシン・カルチャーの一部なのです。しかし私はそうしたロボットが日本のマンガやアニメーション、ゲームでこんなに大きなマーケットをつくっているとはまったく思っていませんでした。

大河原　日本のロボットは機械というよりは人物のキャラクターと並行した存在という感じで、ただの機械とはちょっと違いますね。

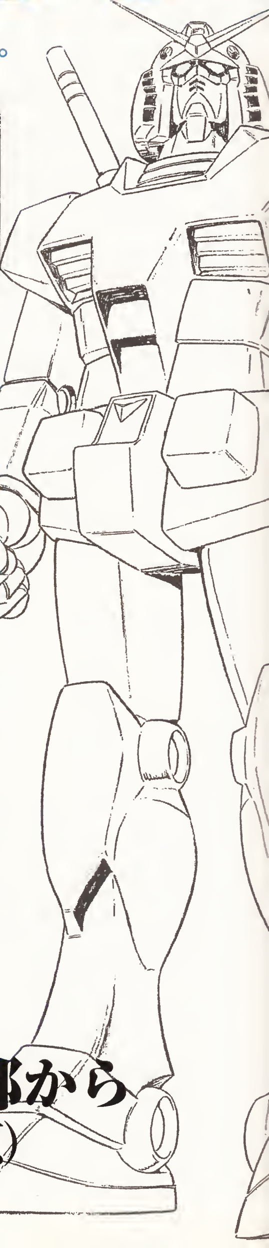
——キャラと主役ロボットが同一化していたのを、ファーストガンダムがうち破ったわけですね。

大河原　富野監督もそれまでたまっていた鬱憤をはらしたいというのがあったみたいで（笑）、ファーストのときは「大人も楽しめる本格的なものをつくろう」というのがありました。ただスポンサーが玩具メーカーでしたから玩具が売れないと困るんですよ。玩具売場に置いたときにある程度目を引くような色ということで、ガンダ


シャア専用ザクの赤はサンライズ側が決めたものだが、量産型ザクの緑は大河原が提示したものであるとのこと。

KUNIO・OKAWARA

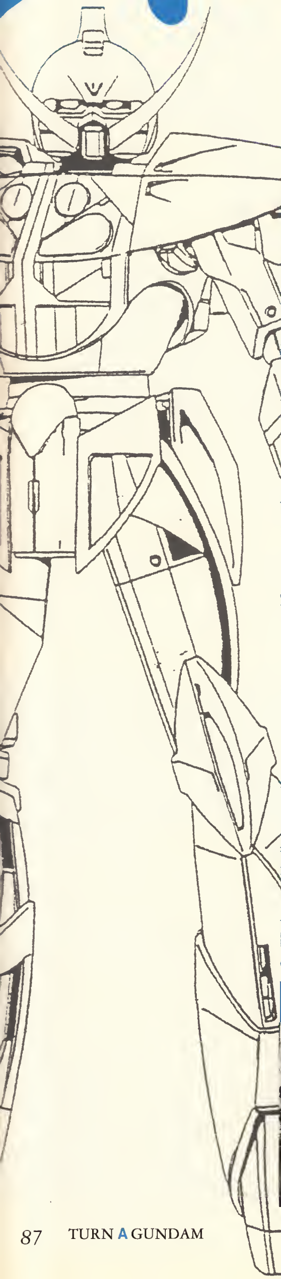
1947年生まれ。東京都出身。1972年にタツノコプロに入社。「科学忍者隊ガッチャマン」（1972）で日本初のメカデザイナーというクレジットを得る。初のロボットのデザインは「ゴワッパー5　ゴーダム」（1976）に登場した基地ロボットのゴーダム。その後、タツノコプロを退社して中村光毅とともにスタジオメカマンを設立。1978年にはフリーランスとなり、サンライズ初のオリジナル作品となるはずだった「無敵鋼人ダイターン3」（1978）に参加（スポンサーの事情で「無敵超人ザンボット3」がサンライズの第1作となる）。そして「ダイターン」の後番組「機動戦士ガンダム」（1979）のメカデザインを担当、その後のリアルロボット路線の火付け役となる。「装甲騎兵ボトムズ」（1983）などでリアルロボットの極限を追求する一方、「勇者エクスカイザー」（1990）のようなヒーロー系、「怪盗きらめきマン」（2000）のようなギャグ系と幅広くこなす。日本でアニメのメカデザインを専門で手がけるのは大河原邦男ただひとりといえる。



ミードさんのデザインは機械の内部から組み立てていく感じがする（大河原）

シド・ミード×

日米の巨匠が「ガンダム」デザイン論を語り合うこの対談



好きなモビルスーツはスモーですね（大河原）

ムはトリコロールカラーになった。もし「玩具は出さない」ということだったら、カラーリングもまるっきり違ったものになったと思います。

ミード　しかし三原色はガンダムの基調ですね。それがなくなったら、また別のものになったと思います。ブランドとして認知させるためには三原色を維持するわけで、そうでなければ、新たに考え直すことになりますね。私にとってガンダムの中で色の点で面白かったのは（ザクの）暗い色、ダークレッド、ダークグリーンという色使いですね。

大河原　あの頃はメインメカ以外は商品化しない時代でしたからザクのデザインも、ガンダムに対抗する象徴的なものということで勝手にイメージできました。スポンサーの意見は入っていないし、監督もほぼ第一稿でOKでした。

ミード　それは「∀ガンダム」もそうです。ガンダムは主役ですから、やりすぎはできない。でも敵役は面白くやれます。カソリックの法王をいじれないのと同じですね。

――大河原さんの、∀ガンダムの第一印象は？

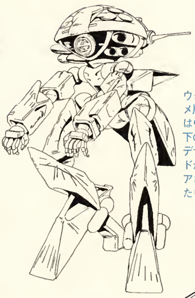
大河原　やはり工業デザイン、あるいはイラストを職業としているデザイナーが描いたモビルスーツだなと思いました。日本のアニメのロボットは人間に近いキャラクターとして考えているので理屈を考えないで、外見上ヒーロー的に見えればいいというのを重視しているんですよ。ミードさんのデザインは機械の内部から組み立てていく感じがします。

ミード　そうありたいんです。絶対的に機械としての考えです。ただ、新しい機械としての外観をもっているが、内側のスピリットはファーストガンダムと同じということです。これが重要ですね。

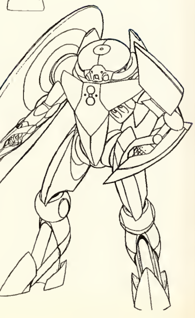
大河原　僕がミードさんのデザインで好きなのは、スモーです。これが好きなタイプのシルエットなんですが、今は流行があって、あまりマッチョなデザインだと視聴者からクレームが付くので努力してスリムにしています（笑）。

ミード　私はディアナ・カウンターのウォドムが好きですね。大きな頭でいちばん風変わりです。

大河原　僕はスモーが主役メカでも良かったかなという感じがしてますけど（笑）。



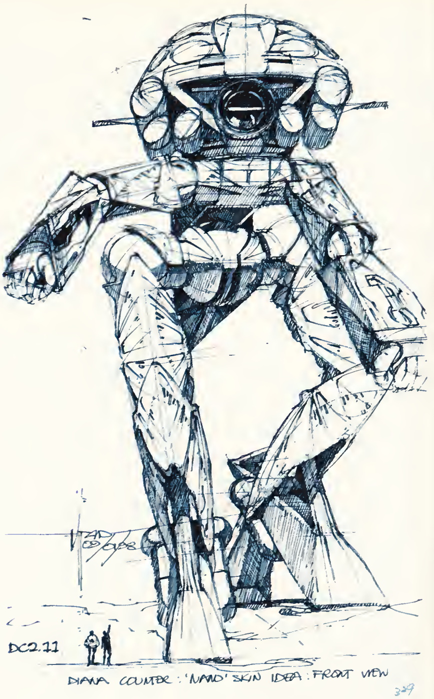
ウォドムのアニメ版設定。じつはウォドムは、下のマヒローのデザインにミードがインスパイアされて描かれたものだ。



マヒローのデザインコンセプトはザク（P92参照）。つまりザク＝マヒロー＝ウォドムであり、3者は球形の頭部、モノアイ（的なデザイン）という共通項を持つ。

1933年7月19日、ミネソタ州に生まれる。1959年に最優等の成績でアートセンターを卒業後、米国の自動車メーカーであるフォード・モーター社のデザイン・スタッフとして二輪車や未来カーのデザインプロジェクトに参加。1962年に同センターを退職、カーデザインコンセプトをモチーフとしたPR紙の制作などに携わり、1970年にデトロイトでシド・ミード社を設立。フィリップス、レイモンド・ローウィー・アソシエイツ、アメリカンモータース社、ボルボ社などにデザインの提供などを行う。ミードの画集「センチネル」を見た映画監督リドリー・スコットが映画「ブレードランナー」（1982）のスピナーという乗り物のデザインを依頼、それが縁で同作の世界設定全般を手がけ一躍世界に名を知られる。映画参加は「スタートレック」（1979）のほか、「トロン」（1982）、「2010年」（1984）、「エイリアン2」（1986）、「ショート・サーキット」（1986）、「クライシス2050」（1990）、「タイムコップ」（1994）、「JM」（1994）など多数。これらの映画作品の多くにはビジュアル・フューチャリスト（視覚未来作家）という肩書きで参加している。ガンダム関連の仕事としては製作中止となった「ライブ版機動戦士ガンダム」（1984年頃）のイメージボード制作、「機動戦士Zガンダム」（1985年）の番組宣伝ポスターがある。

SYD MEAD


DC2.11
DIANA COUNTER : 'NANO' SKIN IDEA : FRONT VIEW
329

ILLUSTRATED BY SYD MEAD

一番の楽しみはアイデアを統合していくときだ（ミード）

ミード　これ（スモー）はガンダムのキャラクターを決めようという最初の頃のデザインですね。どこまでやっていいのかわからなくて、とりあえずガッチリしているほうがいいだろうと描いたら「これは行き過ぎだ」と言われました。デザイナーの私にとっていちばん楽しいのは、人間のように四肢があり胴体があるというロボットに、メカニカルなアイデアを合わせてひとつに統合していくときです。普通の工業デザインは中身の構造があってから外見をつくるのですが。

大河原　僕も中身は考えるんだけど、どうあっても思考が玩具から始まってしまうんですよ。もともとサンライズさんも玩具のロボットアニメから始まっている会社ですし、玩具の安全性とか強度とか制約がありますので、中身というよりは外見ですね。

ミード　大河原さんのようにアニメのキャラクターのデザインをされる方は、自分のアイデアがアートディレクション、セル・インキング、ペインティング、撮影、編集、音響などアニメづくりの巨大なプロセスを経ていくのが思い浮かぶでしょうから、画面で動いているのを見て楽しんだと思いますね。

——でも大河原さんにしてみれば、あたりまえのことですよね。

大河原　そうですね、長くやりすぎている（笑）。

ミード　でも、こんなセンセーションを20年間も体験しているんですよ（笑）。

——大河原さんからミードさんに何か一言ありますか？

大河原　先生と思っています、いろいろとアイデアを盗んでいます（笑）。キャリアがなかった頃、日本には先輩がいなかったので、外国の方のイラスト集とかそういうところからヒントを得ていましたから。僕はメカデザインを偶然やることになっただけなので、仕事をこなすためにも、そういうものに頼らないとやっていけなかったというのがあります。一度目にしていれば、何らかの形で出てくるので、できるだけ見るようにしていますね。ミードさんはもともと車のデザインをなさっていたということで僕も車は好きだし、なんとなくひかれる部分は多かったです。

ミード　サンキュー！　私のプロとしての幸運は車のデザイナーとしては2年だけしかおらず、そこから飛び出す決断をして、いろいろな分野の仕事ができたことで、それが私の人生を豊かにしてくれたと思います。

——大河原さんはミードさんのように分野の違うデザインをしてみたいという欲求はあります？

大河原　僕の場合は食べるためにしょうがなく入ったんですよ。やりたいというか、来る仕事はお金になるのでやってみたい、というちょっと不純な（笑）。

ミード　私だって貧しかった。私が若い頃、アートセンターを出てフォードに入り、次にシカゴの会社で働き、そしてフリーランスとして自分の会社でスタートしたとき、フリーとして面白い経験をいくつかしました。自分がフリーだと、その弱みにつけ込んで利用する人もいます。しかし今はもっと恵まれていますし、プロとしても個人としても人生を楽しんでいます。

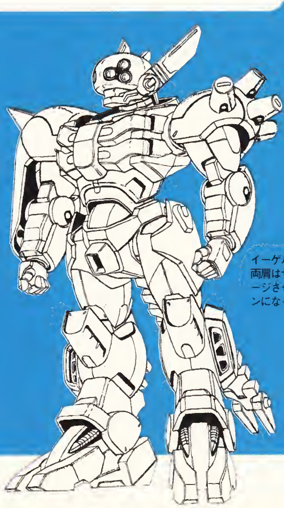
視聴者の頭に残るデザインは小手先じゃできない（大河原）

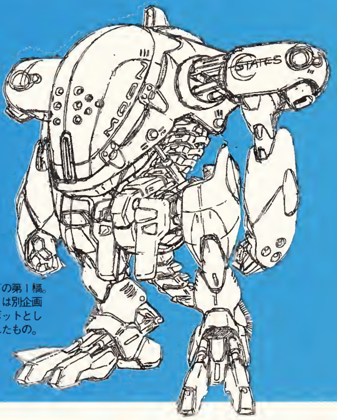
大河原　今の若いアニメのデザイナーは起用になりすぎる部分があるかな、と思います。モビルスーツひとつとっても、モビルスーツらしいデザインはできるんですけど、視聴者の頭に長く残るデザインというのは、小手先だけじゃできないですから。

ミード　それはエンターテインメント

「背骨」が特徴的なMSラフデザイン集

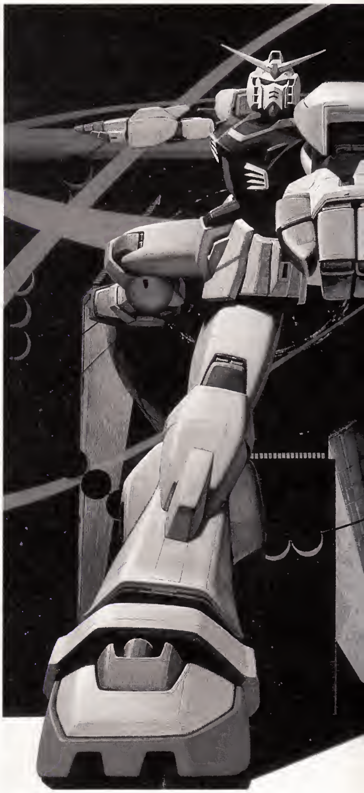
ここに掲載したのは大河原邦男の手による「∀」モビルスーツのラフデザインの一部。過去のガンダムシリーズはもちろん、30年近くに及ぶロボットアニメの中でも珍しい「背骨」をコンセプトにして新たなモビルスーツが創造されている。


イーゲルの第1稿。両肩はザクをイメージさせるデザインになっている。



ウァッドの第1稿。もともとは別企画用のロボットとして描かれたもの。

アイデア自体の質とアイデアが生まれた理由、背景にどう合致しているか。それが始まりであり重要なこと（ミード）

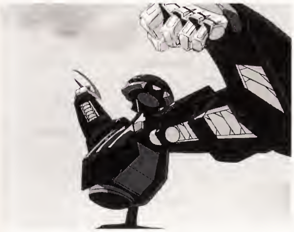


ILLUSTRATED BY SYD MEAD

描く世界に沿ったロボットの使い方を（大河原）

につきものの問題ですね。仕事を評価してくれる究極の審判は観客ですから。観客に認められなければ、仕事場にこもってひとりで描いている趣味人と同じです。死後に作品が面白がられるということはあるかもしれませんが、プロならば商業の点でも創造の点でも成功しなければ。ですからプロセスの最後の、非情に大切なものが観客なんですね。マス・マーケットで勝負が決まるわけです。

大河原　作品によって描く世界が違うのなら、ロボットの形も使い方も違っていなければならない。ところがどういうシチュエーションでもモビルスーツが出てきちゃって、そこがちょっと安易かなという気はします。極端な例を言うと、ガンダムとボトムズのように、ロボットといっても幅はものすごくある。それを作品世界ごとにじっくり考えて今度のロボットはこうしようというアイデアはものすごく大事だと思います。今は、そこがなんとなくおざなりになっている気がしますね。



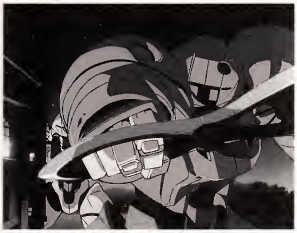
可変MSフラット（デザイン　シド・ミード）

――大河原さんは今回、尊敬するミードさんと一緒に仕事ができて、いかがでした？

大河原　想像していなかったですね、これもガンダムのおかげかな。ミードさんは本物のデザイナー、僕は偽のデザイナー（笑）。日本とアメリカのデザインの差というか、玩具のデザイナーと車のデザイナーというか。

ミード　でも、すべてはアイデア（着想）からはじまるのですから！　私は画家でありアーティストでもあるからですが、スタートの時点で（工業デザイン、アニメのデザイン、あるいはイラストなのか）の成り行きは関係なく、問題はそのアイデア自体の質とアイデアが生まれた理由、背景にどう合致しているかです。それがまず始めであり、重要なことです。

大河原　ミードさんのデザインを見ると、これは自分にはできないなという感じがしました。僕は絵が好きではないので、なるべく描かないで仕事を終わりたいんですが、（設定画の束を見て）これはやはりバイタリティが違うんだなと思いました。



ディアナ親衛隊専用MS　スモー（デザイン　シド・ミード）

ミード　私がチャレンジしたのは、エキスパートである大河原さんの20年のデザインの流れに追いつこうということでした。そのために自分自身を奮い立たせてアイデアを出し、物語の流れの速度に乗っていこうとしました。

大河原　これが前例になると次にガンダムをデザインする人は大変だと思います、また次もミードさんにやってもらわないと（笑）。

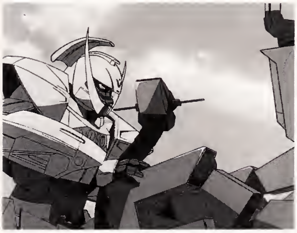
ミード　ノー（笑）、他の人がやるのでしょう。つねに若くて新しい世界を持った人がうしろから来ていることはいいことです。だからこそ私もガンダム、モビルスーツ、∀のストーリーのような仕事を楽しめるわけです。そうした仕事を通じて新しい人々、新しい分野に精通した、賢くて、私より若い人に出会えるのですから。

――大河原さんとしては、年上のデザイナーと仕事をすることはこれまでなかったのでは？

大河原　珍しいことですね。今までのガンダムのデザインコンセプトを、大先輩がガラッ変えてくれたのでありがたいと思います。ミードさんならしょうがないですね。あ、しょうがないは失礼かな（笑）。

ミード　それはたいへんなお褒めの言葉ですね。サンキュー、ベリー・マッチ！

〈主催・協力　バンダイビジュアル〉



建設作業用MS　モビル・リブ（デザイン　シド・ミード）

SPECIAL ESSAY

GUNDAMING for ∀

市川氏は、シド・ミード氏の代理人であり、もっとも近くにいる人物だ。彼女の視点から見た「∀ガンダム」の思い出を特別に記していただいた。

シド・ミード代理人 **市川実英子** （いちかわ・みえこ）

PROFILE

1955年生まれ。東京出身。日本でのＯＬ生活を経て独立、アーチィストリエゾン社を設立する。海外のイラストレーターやデザイナーなどの代理人としてマネージメント業に従事。当人の言葉を借りれば「ミードの代理人としての役目は大きくふたつにわけると、ひとつはミード氏のビジネス面（お金や契約など）、もうひとつはミードのデザイン作業の進行」とのこと。ちなみに市川氏はハリー・オードの大ファンでもある。ロサンゼルス在住。

ミードのインスピレーションが湧き続けるとガンダミングが始まる

断るつもりだったデザインの依頼

98年3月に今回の仕事依頼があった時は、ミードと私にとって「一大事件発生」という感じで仕事を引き受けるか否か、とても迷いました。考えれば考えるほど複雑な心境になっていき、ふたりで「ミスター・トミノの気持ちは嬉しいが、今回は断ろう」とまで相談しておりました。というのも、長い伝統のあるガンダムシリーズには熱狂的なファンがたくさんいて、外国にいる私たちにとってもガンダムとは日本のアニメ文化の象徴であったのです。そこにいきなりミードのようなアニメの経験がない工業デザイナー（ましてミードは外人！）がやってきて、機能からルックスからすべてをバサリと変えてしまうことは、〝日本アニメのアイコンであるガンダムの顔にメスを入れる〟というおそれ多い作業に取りかかることで、そこからくるメンタルな部分での責任や覚悟を要するのです。当時、ミードはよく言っていました。「ミエコ、この仕事はかなりコワイぞ！ トム・クルーズやブラッド・ピットの顔を抜本的に変えてしまう整形外科医みたいな役割だ。それも分野の違うよそ者がやるんだぞ！ どう変えてもバッシングはあるだろうし、もう日本へは行けなくなるかもしれないなあ」と。私もまったく同感でした。

「∀」スタッフはプロ中のプロ

その後、仕事を引き受けるとミードと決めたときに最初に私がサンライズ側にお願いしたことは、窓口となる担当者をしっかりと決めていただくことでした。担当者とのコミュニケーション次第で仕事の成果は大きく違ってきます。それがしっかりやれないようではお互いに仕事以前の問題に翻弄され、信頼関係どころか安心して仕事することもできませんし、結果、仕事への情熱も薄れてしまうものなのです。ミードがデザイナー先生としてあがめ奉られることなしに、プロジェクトチームの一員として日本側と一丸となってやっていかない限り、絶対に良い結果は得られません。過去に「ミードさんにおまかせ！」というクライアントも多かったのですが、私はそれは無責任だと思ってます。「おまかせ」でうまくいかなかったプロジェクトはたくさんありましたから。ところが、日本側はこちらの懸念を見事に（！）掻き消してくれました。仕事がはじまった途端、ミードはめちゃくちゃコキ使われましたから（笑）。これはプロジェクトのスタッフをひっぱっていく富野監督の力量と優れた指導力によるところが大だと思います。富野監督とサンライズはやはりプロ、それも相当手強いプロでした。

責任とプレッシャーを克服するために

今回のこの∀ガンダムの仕事はすさまじかったの一言につきます。今もまだその余韻は残ってます（笑）。責任やプレッシャーを克服するためには、とにかくミードも私も全力で仕事をするしかありませんでした。私なんかは白髪が吹き出し、途中からはもうずっと帽子を被っていました。ミードはそれを薄々わかっていたのか、帽子姿の私を見るたびに苦笑してましたけど（笑）。ミードが仕上げてくるデザインの量もすさまじく、ビジネス面でのやりとりの書類やサンライズからの設定資料、ミードのデザインスケッチなどをまとめたら私の背丈（1メートル50センチ）は軽くあるでしょう。

作業中のミードは午後3時頃になるとデザインスケッチとスケッチに対する解説文を私にファックスしてきました。私はそのデザインを見ながら解説文を2～3時間かけて和訳し、ミードに「和訳完了！ これをサンライズにファックスするので、ミードも10分後にデザインと英語版解説文をサンライズへファックスしてください」とやるわけです。これがこちら（ロサンゼルス）の夕方6時頃なので、日本でサンライズのスタッフが出社する頃にはミードと私の両方からのファックスが一緒に届いているという段取りでした。ミードのインスピレーションがわき続けるとガンダミング（ミードのお気に入りの言葉。ミードが∀ガンダムの仕事に邁進しているときにはガンダムに現在進行形のＩＮＧを付ける）がはじまり、ミードからのファックスと電話が鳴り続けるのです。

「∀」クリエイトが生んだ感動的な時間

このプロジェクトのためにミードと一緒に何度か東京へも行きました。ミードは飛行機に乗って座った瞬間に仕事をはじめるという習性があり、考えが浮かぶと、手元にあるペーパーナプキンとかにいきなりスケッチをはじめるのです。今回のメカキャラクターのいくつかは飛行機に乗っている間に考えついたものだと私は記憶しています。

また、東京での作業も毎回緊張の連続でした。中でも一番プレッシャーのかかったのは98年12月に東京を訪れたときのことです。これはメインであるガンダムのスタイルと機能を完成させるための出張でしたから、一週間ホテルに缶詰状態で作業をしました（スタジオぬえの森田繁さんとバンダイの川口克己さんにもこの間、連日ホテルに来ていただきご指導をいただきました、多謝）。午後1時になるとサンライズのスタッフと3～4時間のデザインミーティングをして、スタッフが戻ったあとミードはホテルの中で夕食を取り、その後すぐ部屋に戻ってその日の「宿題」と「予習」に取りかかり、再び翌日の午後1時になると、サンライズのスタッフがミードの「宿題」を取りに来られ、そこからまたその日のデザインミーティングが始まるという繰り返しでした。ミーティング中に仕上げたデザインスケッチもたくさんあります。ミードの「宿題」画稿を管理してくださった高橋哲子さんのお話では、あの一週間で98点のデザインが仕上がっていたとのことでした。サンライズのスタッフの仕事に対する真摯な姿勢と熱意には心打たれるものがあり、こちらも大いに刺激されたものです。また、ミードもそれに精一杯応えた、と私は思っております。いいスタッフと一緒になってひとつのものを作り上げていくという感動的な時間を体験することは、私たちにとってもなかなかないことですから、あれは忘れられない出張です。

最後に富野監督とサンライズさんにお礼だけさせて下さい。「長い間、暖かいご指導をいただき本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。このプロジェクトで学んだことを忘れずに、これからも邁進してまいります」

石垣純哉

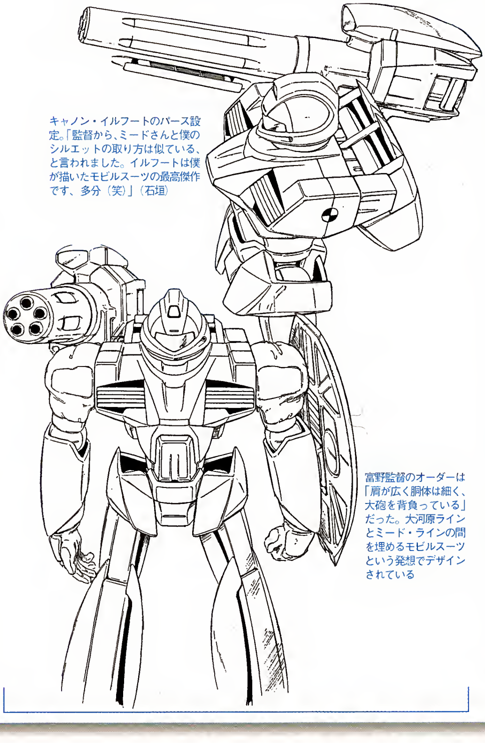
junya ishigaki

いしがき・じゅんや　デザイナー。スタジオ　トラピゾイド所属。ガンダムシリーズはTV「機動戦士Vガンダム」、ゲームでは「SDガンダム　Gジェネレーション・ゼロ」などに参加。

イルフートのベースはガンキャノンだった

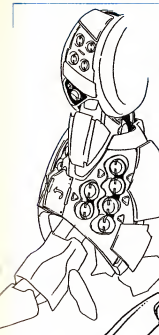
ウィルゲムは大気圏内を飛ぶ宇宙船ということでデザインしました。「主人公たちが宇宙に行くための船」って聞いていたんで「ベタだけど色はホワイトベースと同じ白で、横の丸い部分が黄色だったりするとニヤリかなー」って思ってデザインしたんだけど「ニュータイプ」を見たら焼きオニギリみたいな茶色になっててガーン（笑）。で、次にデザインしたのがキャノン・イルフートですが、これは要するにガンダムに対するガンキャノン、つまり∀キャノンだったわけです。富野監督のデザインのラフに「シールドをつけて十字マークを入れる、名前はキャノン・イルフート」と書いてあって「ゲームで出たイフリートの間違いでは？」って聞いたら「あ、でもこれで行こう」って（笑）。このイルフートはミードさんのデザイン要素を取り入れて描いたんですよ。

デザイン全般で言うと、僕としてはミード・デザインがあるので「じゃあオレのはこうだ」とやろうとしたんだけど富野監督から「色気を出すな、余計なことはせず普通にやれ」と言われて。それでデザイナーとしての奇抜な部分を無くしてオーダーを上手にまとめたという感じですね。一度ミードさんに「クライアントの要望と自分の欲求と、どの時点で消化させればいいのか？」と聞いたら「20%のロマンティックだ」と言われて、わかるようなわかんないような（笑）。

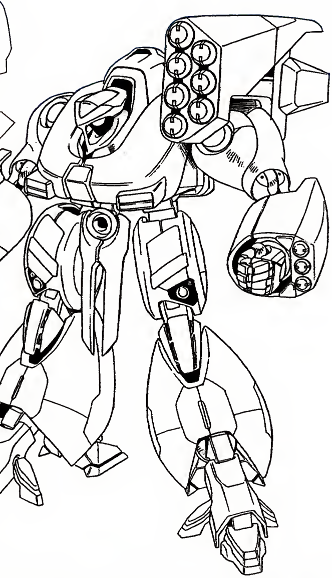


キャノン・イルフートのパース設定。「監督から、ミードさんと僕のシルエットの取り方は似ている、と言われました。イルフートは僕が描いたモビルスーツの最高傑作です、多分（笑）」（石垣）

富野監督のオーダーは「肩が広く胴体は細く、大砲を背負っている」だった。大河原ラインとミード・ラインの間を埋めるモビルスーツという発想でデザインされている



高倉がデザインしたズサン。「ZZ」でのズサはブースターを装着して大気圏も飛行可能という機体脚部のミサイルハッチのオープン法も異なる



ズサンは「ガンダムZZ」に登場したモビルスーツのズサがデザインのベース。「∀ガンダム」では発掘モビルスーツのほか、過去の機体をリニューアルするという路線もとられた

高倉武史

takeshi takakura

たかくら・たけし　フリーのデザイナー&イラストレーター。サンライズ作品ではTV「勇者王ガオガイガー」に参加。そのほかTV「地球防衛企業ダイ・ガード」などに関わる。

デザインの「翻訳」が僕の仕事です

僕はスタッフからは「翻訳家」といわれていました。ミードさんの画稿が何十枚もあって情報量が多すぎたり途中から追加されたアイデアがあったりして、それらをまとめると、どうしても辻褄が合わなかったり難解な部分が出てしまったりするんです。そういった部分の構造を解析してアニメ用とプラモデル用にわかりやすい設定を描き起こす、だから「翻訳する」という作業ですね。簡単に言うと、何枚もある兵器の写真から1枚の図面を起こしていくようなものです。

いちばん難解だったのは左右非対称だったターンXですね。ミードさんの画稿を見ると「左足なのに右足ぽい情報も入っている」ということがあったりして、情報が混乱してくるんです。それで「この情報は活かすがこちらは無視」ということを決めて解析をしました。胴とか腰は割と簡単でしたが、足は1日半、両腕は左右の形が違うんで3日かかりました。特に大変だったのは右腕ですね、分割線が複雑で「シャイニング・フィンガーはどう入っているのか」がわかるまで相当時間がかかりました。背中のバックパックも驚きましたね、この存在感は今までのアニメにはないものだと思います。

ミードさんのすごいところは、もともとのデザインセンスが高い位置にあるのはもちろん、それをどういったテクニックで人に伝えるか、見せるかが魅力的にできるところだと思います。

沙倉拓実

takumi sakura

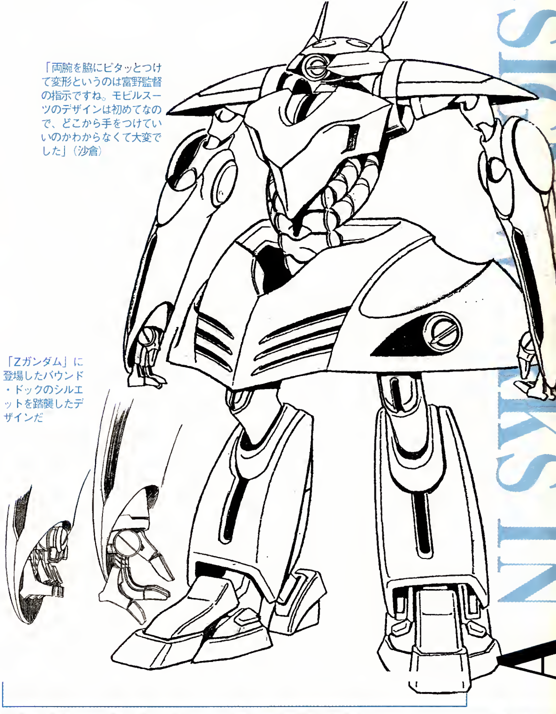
さくら・たくみ　フリー・デザイナー。富野作品はTV「ブレンパワード」に引き続いての参加となった。TV「機動戦艦ナデシコ」でアニメのメカデザインをはじめて手がける。

説得力があったミード・デザイン

「∀ガンダム」をやらないか、と言われたのは98年の10月頃です。そのときの説明は「地球は複葉機くらいの技術しかない」という程度で、ミードさんのデザイン画を見せてもらっただけでしたから、どんな内容なのか見当もつきませんでした。ミードさんのデザインはすべてのパーツが非常に整合性がとれていて説得力があるんです。ヒゲの部分も最初は驚きましたけど、見慣れると格好いいですね。あと、フラットも格好よくて、横から見るとすごく薄いんだけど普通のデザイナーじゃ描かないでしょうね。感動してプラモデルつくっちゃいました。

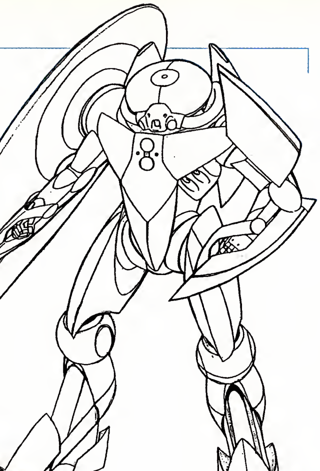
モビルスーツで僕がデザインしたのはムットゥーですが、大河原さんやミードさんのテイストも取り入れようというコンセプトがあったんで、例えば目はウォドムが入っていたりしますね。

僕はサブメカを描くことが多かったので、どこに華を持たせるかがまだよくわからないんですよ。ロボットのオーラのようなものがもっと出ていないとダメだな、と今は思います。そのほかのデザインだと自動車や複葉機の類をやったんですが、とにかく資料がなくて大変でした。実物のカラー写真はあっても動き方がわからなくて、博物館に行ったり古い自動車が載っている洋書や外国のプラモを買ったりして結構手間がかかりました。ほかにはムーンレィスの個人住宅とか消化器のような小道具も僕が担当しました。

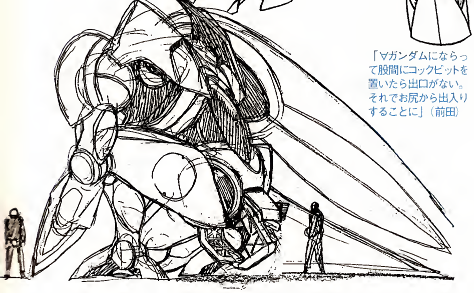


「両腕を脇にピタッとつけて変形というのは富野監督の指示ですね。モビルスーツのデザインは初めてなので、どこから手をつけていいのかわからなくて大変でした」（沙倉）

「Zガンダム」に登場したバウンド・ドックのシルエットを踏襲したデザインだ



「人体の筋肉組織を意識しました。当初はもっと肥大化した筋肉でしたが監督から、モビルスーツは人体の延長なので怪物的にはしないでほしい、という指示があり今の形に」（前田）



「∀ガンダムにならって股間にコックピットを置いたら出口がない。それでお尻から出入りすることに」（前田）

前田真宏

mahiro maeda

クリエイター集団「GONZO」のメンバー。平成版の映画「ガメラ」シリーズではモンスター・デザイン、新作TV「ヴァンドレッド」では絵コンテとメカデザインを担当。

ザクを意識してデザインしたマヒロー

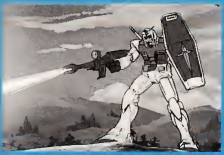
僕が参加したのはミードさんが入る前で「富野監督が20周年として新しいガンダムをつくる」ということしか決まっていなくて、監督自身も覚え書き程度のメモしかない頃でしたね。ミードさんのデザインを見たときは従来のガンダムのキャラクターと違っていたので「いいのかな？」と少し感じましたが、個人的には格好いいと思いました。ヒゲは兜のクワガタを感じたし、頭から胸にかけてのラインは立体にしたらきれいだろうなあって思ったし、正面はプレーンだけどうしろ姿は人間の筋肉組織のデフォルメがあったりして、いいですね。久々にガンプラ買ったし、チタン製の∀ガンダムも買わなきゃって思いましたもん（笑）。ただ「格好いいけど、このデザインなら実写かCG。アニメだと大変」とは思いました。ミードさんとしてはアニメを意識してフォルムを単純化し、その組み合わせでやっていると思うんですけど、それでも難易度は高いんですよね。

僕がデザインしたマヒローはザクのテイストを感じさせるように意識して、口周りにパイプをつけたり、頭部の巨大なレドームが遠目だとひとつ目に見えるようにしたりしました。名前は監督がつけるってことでお任せしたら僕の名前をもじってマヒローになっちゃって。知り合いに「ガンダムの歴史に名を残せる」って言われたけど「本当にいいのかなあ、何かの罰じゃないかなあ」って思いました（笑）。

「黒歴史」の中のモビルスーツ

約20種ものMSが登場した「∀」

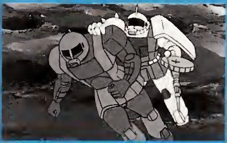
「∀ガンダム」に登場したモビルスーツはかなりの数がありカプル、強化型ウォドムなども含めると約20種にも及ぶ。ミードがデザインを担当したモビルスーツは合計7体登場しているが、実はもう1体デザインされていながら未登場のモビルスーツが存在している。これは4本の四肢が折り畳み式になっていて、移動時や待機中はボディの中央に手足が集まるという可変モビルスーツで、「翻訳家」の高倉武史によって構造解析作業も完了していたが、結果的に本編での使用は見送られることになった。ミードは日本側のデザイナーが出したモビルスーツのアイデアにも強く影響を受けており、例えばフラットやモビルリブなどは大河原邦男が出した「背骨のあるモビルスーツ」のコンセプトをふまえたものだ。


放送開始当初は「Gガンダムやファーストも出るらしい」という噂が業界内でながれたことも。

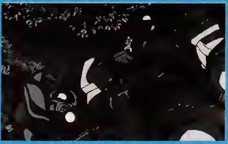
ウォドムはマヒローのラフ画からインスパイアされてデザインされたもので、頭部などに形状の類似点が見られる。

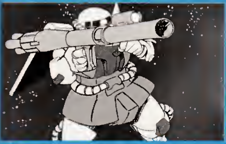
「∀ガンダム」では、当初は過去のガンダムシリーズに登場したモビルスーツを発掘するという設定だったが、ミードデザインや他モビルスーツとのイメージの整合性などを考慮して途中からは、過去のモビルスーツをリファインして登場させるという路線もとり入れられた。具体的には、ムットゥー（「機動戦士Zガンダム」のバウンド・ドッグ）、ズサン（機動戦士ガンダムZZ」のズサ）がリファインされ、最終的にこれらは「リファイン前のモビルスーツとは関係のない機体」として扱われることになった。カプルに関しては「ZZ」当時のカプールの設定資料に若干の修正を加えたものが「∀ガンダム」の設定資料として使用されている。ちなみに「∀ガンダム」での登場を検討されながら見送られたものにはZガンダムもあったようだ。しかし「Zはマニアの視点を集めすぎる」といった理由から登場しないことに。またロランたちが宇宙に行くためにホワイトベースが発掘されるといった案もあったが、あまりにもベタすぎるといった理由から見送られ、ウィルゲムが新規にデザインされている。

新旧モビルスーツ比較

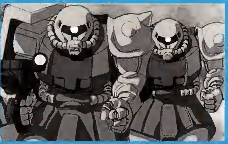

旧ザク

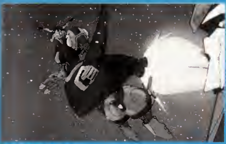
ボルジャーノンでは腹部の形状が変更となった。また、後頭部の飾りが削除される一方で腹部に動力パイプカバー（？）が追加


ギャバン専用ボルジャーノン

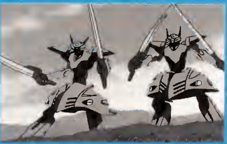

ザク

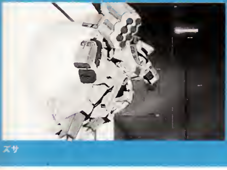
コクピットへの出入りはザクが左胸のハッチからという設定だったが、ボルジャーノンは胸カバー全体が跳ね上がる方式に変更


ボルジャーノン

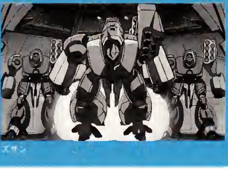

バウンド・ドック

シルエットこそ似ているが、モビルアーマーへの変形方法は足と胴体を腰部分に収納するというシンプルなコンセプトに変更された


ムットゥー


ズサ

全身が武器庫というコンセプトをはじめ、手足のフォルムや各パーツも原型のズサを思わせる部分が多いデザインとなっている


ズサン

宮尾佳和

yoshikazu miyao

みやお・よしかず　フリー・デザイナー　OVA「マクロス　ダイナマイト7」のOP演出などを手がける　バンダイの新プラモ「聖戦士ダンバイン」のデザインにも協力

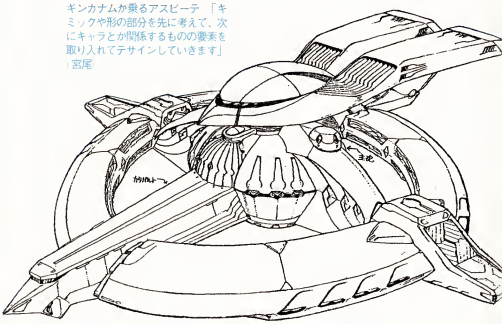
富野監督は思っていた以上にすごい人

僕は以前、2年ほどGONZOでゲームデザインとかアートディレクションをやってて、その頃は「ニュータイプ」のテレビCMでロゴがクルクル回って出るやつもつくってるんです。

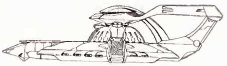
僕は広く浅くなんでも描いてみたいという欲があって、それが今回のサンライズさんの要望と合致して参加することになりました。最初にデザインしたのはクラシック自動車、そのあとトラックや船とか、あとはマニューピチのアデスカの村。あ、これはメカじゃなく思いっきり美術ですね（笑）。

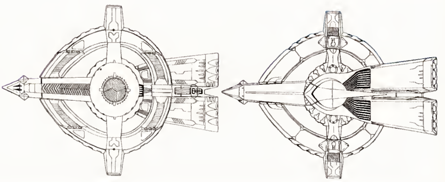
作品の狙いは「クラシカルな車が走る背景でミードさんのモビルスーツが暴れまくる絵をつくりたい」というものだと思うんですが、放映を見るとうまく演出されていた気がします。アニメの場合すべては演出に集約されると思ってまして、デザイナーとしての僕は演出のための大切な道具を描くわけですから自己主張しないで、今回はデザイナーの枠から演出に歩み寄った実験ぽい仕事をさせてもらいました。富野監督以下スタッフの皆さんには本当に感謝しています。富野監督ってラフの絵もすごくうまいんですよ、技術的なことではなく監督が伝えたいイメージが明快なんです。僕が思っていた以上にすごい人でプロデューサー的発想があり作家気質もあり、そしてすごいプランナーでもあり、アニメ以外でも大きな企画を立ち上げるだけのパワーと思想をもった人だと思いますね。

ギンカナムが乗るアスピーテ「ギミックや形の部分を先に考えて、次にキャラとか関係するものの要素を取り入れてデザインしていきます」（宮尾）



前田真宏が描いたデザインをベースにして、宮尾がデザインした「自分が好きなのはスリットの線の集合とか、シンメトリー的なものとか、ヨーロッパ的なもの、あとミリタリーチックにもならない、例えば戦艦でも結果として様式美が入っているのが好きなんです」（宮尾）





第9話

コレン､ガンダムと叫ぶ

1999年6月4日

脚本
星山博之

絵コンテ
西森　章

演出
西森　章

作画監督
佐久間信一

原画
津野田勝敏
森　悦史
吉田　徹
山本勝久
津熊健徳
新号　靖

木下勇喜
東海林康和

スタジオ　ダブ

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
長尾朱美

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
岸田　文

第10話

墓参り

1999年6月11日

脚本
高山治郎

絵コンテ
菱田正和
斧谷　稔

演出
山口美浩

作画監督
しんぼたくろう
中田栄治

原画
中村プロダクション
板倉和弘
高橋真一
松永　晃
森　寛之
友岡新平
橋本誠一
富永剛央
宮下雄次
橋本裕之
小松崎純子

動画チェック
福田　嗣

色指定
菊地和子

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
小倉博文

第11話

ノックス崩壊

1999年6月18日

脚本
千葉克彦

絵コンテ
川瀬敏文

演出
池端隆史

作画監督
佐久間信一

原画
森　利夫
中谷誠一
後藤雅巳
金剛寺弾
川原智弘
竹上貴夫

スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
酒井違太
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
小形尚弘

第12話

地下回廊

1999年6月25日

脚本
星山博之

絵コンテ
横田　和

演出
杉谷光一

作画監督
うのまこと

原画
張　允根
坂崎　忠
加藤初重
松田剛吏
桑名郁郎
前田明寿
高見昭男
高橋香織
中島利洋
堀たえ子
大槻敦史
浅岡重弘
伊藤陽子
うのまこと

スタジオ　ダブ
石川哲也
小野和寛
田澤　智
ソウル　ダブ

動画チェック
塚本あゆみ

動画
ジーベック
スタジオ　ダブ

色指定
長尾朱美

背景
京都アニメーション

制作進行
鈴木由美子

制作協力
ジーベック

第13話

年上のひと

1999年7月2日

脚本
浅川美也

絵コンテ
横山彰利
斧谷　稔

演出
岩崎良明

作画監督
菱沼義仁
戸部敦夫

原画
横山彰利
吉田　徹
森　悦史
山本勝久
津野田勝敏
津熊健徳
後藤雅巳
東海林康和
池原百合子
木下勇喜

スタジオ　ダブ

動画チェック
平出差知予

動画
冨永和代
渡辺妙子
竹之内節子
森　文代
アニメ　アール
すたじおガッシュ
スタジオたくらんけ
プロダクションIG

スタジオ　ダブ

色指定
菊地和子

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
河野智明

AFFLIST

第23話

テテスの遺言

1999年9月10日

脚本
大河内一楼

絵コンテ
工堂紘軌
斧谷　稔

演出
山口美浩

作画監督
佐久間信一

原画
スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

森　利夫
中谷誠一
森　悦史
吉田　徹
津野田勝敏

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
菊地和子

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
若鍋竜太

第24話

ローラの遠吠え

1999年9月17日

脚本
高橋哲子

絵コンテ
金剛寺弾
斧谷　稔

演出
南　康宏

作画監督
しんぼたくろう
中田栄治

原画
中村プロダクション
板倉和弘
米山浩平
高橋真一
森　寛之
橋本誠一
富永剛央
宮下雄次
鈴木健史
橋本裕之
渡辺誠一

動画チェック
福田　嗣
平出差知予

動画
中村プロダクション

冨永和代
竹之内節子
スタジオ　ポギー
アニメ　アール
スタジオたくらんけ
スタジオ　ムー

スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
岸田　文

第25話

ウィルゲム離陸

1999年9月24日

脚本
太田　愛

絵コンテ
鳥羽　聡
斧谷　稔

演出
北川正人

作画監督
杉光　登

原画
白井伸明
工藤昌史
小沢尚子
小林冬志生
野館誠一
相坂直紀
ながた正美
荒尾英幸
伊藤香織
小関　雅
小久保千愛
山田　桂

森利夫

スタジオ　ダブ

動画チェック
小久保千愛

動画
スタジオ　ダブ

アートランド
FAIインターナショナル

色指定
長尾朱美

背景
京都アニメーション

制作進行
太古　満

制作協力
アートランド

第26話

悟りの戦い

1999年10月8日

脚本
高山治郎

絵コンテ
アミノテツロー

演出
渡邊哲哉

作画監督
佐久間信一

原画
スタジオ　ダブ
榎本勝紀
石川哲也
田澤　智
小野和寛
李　炫周
ソウル　ダブ

津野田勝敏
重田敦司

動画チェック
斉藤玲子

動画スタジオダブ

色指定
菊地和子

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
小倉宏文

第27話

夜中の夜明け

1999年10月15日

脚本
高山治郎

絵コンテ
斧谷　稔

演出
森　邦宏
鳥羽　聡

作画監督
菱沼義仁
後藤雅巳

原画
中谷誠一
森　悦史
津熊健徳
前澤弘美
金剛寺弾
竹上貴夫
山本勝久
吉田　徹
新号　靖

後藤雅巳
戸部敦夫

スタジオ　ディーボルト

動画チェック
平出差知予

動画
冨永和代
藤森まや
竹之内節子
渡辺妙子
京都アニメーション
スタジオたくらんけ
アニメ　アール
すたじおガッシュ

スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
小形尚弘

MAIN STAF

総監督
富野由悠季

企画
サンライズ

原作
矢立　肇
富野由悠季

キャラクター原案
安田　朗

キャラクター設定
菱沼義仁

メカニカルデザイン
大河原邦男
シド　ミード
重田敦司
沙倉拓実

美術監督
池田繁美

美術ボード
丸山由紀子

色彩設定
笠森美代子

色彩設定補佐
佐藤美由紀（エムアイ）

仕上
エムアイ

仕上処理
前林文恵

タイトル／リスワーク
マキ・プロ

特殊効果
長谷川敏生（マリックス）

デジタルエフェクト
サンライズ　デジタル映像開発部

撮影監督
大神洋一

撮影
旭プロダクション

編集
山森重之
秋保宣宏
ジェイ・フィルム

音楽
菅野よう子

音響監督
鶴岡陽太

サウンドデザイン
笠松広司

フォーリー
森川永子

録音調整
名倉　靖（アバコ　クリエイティブスタジオ）

音響制作
楽音舎
杉山好美

音楽制作
太田敏明（ボーダーライン）

現像
東京現像所

ビデオ編集
キューテック

メカニカルデザイン協力
岩城人志
宮尾佳和
石垣純哉
前田真宏
土器手司

設定考証
森田　繁（スタジオぬえ）

メインタイトルロゴデザイン
海野大輔

広報担当
為永佐知男（フジテレビ）
浅井　薫（サンライズ）

設定担当
堀口　滋
河口佳高

制作デスク
渡辺洋一

文芸
高橋哲子

設定制作
安川浩司

制作事務
山本道子

演出助手
菱田正和
鳥羽　聡

制作協力
ASATSU-DK
創通エージェンシー

プロデューサー
鈴木吉弘（フジテレビ）
富岡秀行（サンライズ）

制作
フジテレビ
サンライズ

ILLUSTRATON

表紙	イラスト原画／重田敦司
P1	イラスト原画／横山彰利
P2-3	イラスト原画／菱沼義仁　デザイン処理／海野大輔
P4-5	イラスト原画／金剛寺弾
P6-7	イラスト原画／菱沼義仁
P8-9	イラスト原画／重田敦司
P10-11	イラスト原画／菱沼義仁
P12-13	イラスト原画／重田敦司
P14-15	イラスト原画／[illegible]　CGエフェクト／古川貴之
P16	イラスト原画／[illegible]
P17	イラスト原画／[illegible]
P24	イラスト原画／菱沼義仁
P23-26	イラスト原画／重田敦司 （1 144スケールプラモデル　発売元：バンダイ）

第1話
月に吠える
1999年4月9日

脚本
星山博之

絵コンテ
斧谷　稔

演出
渡邊哲哉

作画監督
土器手司

作画協力
菱沼義仁

原画
中谷誠一
森　利夫
森　悦史
新号　靖
津熊健徳
山本勝久
津幡佳明
金剛寺弾
竹上貴夫
吉田　徹
坂本　力

動画
冨永和代
阿武恵子
竹之内節子
渡辺妙子
森　文代
富岡美穂
スタジオ　コクピット
中村プロダクション
スタジオ九魔

スタジオ　ダブ

色指定
佐藤美由紀

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
佐藤弘幸

第2話
成人式
1999年4月19日

脚本
千葉克彦

絵コンテ
斧谷　稔

演出
森　邦宏

作画監督
佐久間信一

原画
スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
酒井遣太
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

重田敦司
森　利夫
川原智弘

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
小川比呂美

第3話
祭りの後
1999年4月23日

脚本
浅川美也

絵コンテ
斧谷　稔

演出
南　康宏

作画監督
鈴木藤雄

原画
スタジオ　ディーボルト
石井久志
池田裕治
坂本修司
高橋英樹
田中智子
浜崎賢一
滝神良夫
片貝　稔
工原しげき
松尾　慎

浜田敬介
島田大助
田中誠輝

動画チェック
平出差知予

動画
冨永和代
阿武恵子
渡辺妙子
富岡美穂
アニメ　アール
ジーベック

スタジオ　ダブ

色指定
長尾朱美

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
若鍋竜太

第4話
ふるさとの軍人
1999年4月30日

脚本
高橋哲子

絵コンテ
西森　章

演出
西森　章

作画監督
佐久間信一

原画
スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
酒井遣太
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

森　利夫
津熊健徳

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
菊地和子

背景
京都アニメーション

制作進行
岸田　文

第5話
ディアナ降臨
1999年5月7日

脚本
星山博之

絵コンテ
菱田正和
斧谷　稔

演出
岩崎良明

作画監督
戸部敦夫

原画
中谷誠一
瀬尾康博
森　悦史
新号　靖
飯野利明
金剛寺弾
永島明子
池原百合子
中村和代
竹上貴夫
前澤弘美
山本勝久

動画チェック
大谷美樹

動画
冨永和代
竹之内節子
阿武恵子
渡辺妙子
森　文代
富岡美穂
アニメ　アール
すたじおガッシュ
スタジオ　ディーン
FAIインターナショナル

スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
小形尚弘

第6話
忘れられた過去
1999年5月14日

脚本
千葉克彦

絵コンテ
横山彰利

演出
池端隆史

作画監督
しんぼたくろう
中田栄治

原画
中村プロダクション
板倉和弘
米山浩平
松永　晃
高橋真一
森　寛之
富永剛央
橋本誠一
宮下雄次
中澤美尊
鈴木健史

動画チェック
福田　嗣

動画
中村プロダクション

スタジオ　ダブ
京都アニメーション
アニメ　アール
すたじおガッシュ
冨永和代
山本みどり

色指定
長尾朱美

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
河野智明

第7話
貴婦人修行
1999年5月21日

脚本
浅川美也

絵コンテ
森　邦宏

演出
森　邦宏

作画監督
佐久間信一

原画
スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
酒井遣太
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

森　利夫
金剛寺弾

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
菊地和子

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
佐藤弘幸

第8話
ローラの牛
1999年5月28日

脚本
高橋哲子

絵コンテ
横田　和

演出
渡邊哲哉

作画監督
鈴木藤雄

原画
スタジオディーボルト
石井久志
池田裕治
坂本修司
高橋英樹
田中智子
浜崎賢一
滝神良夫
片貝　稔
松尾　慎

浜田敬介
金子利恵

動画チェック
平出差知予

動画
冨永和代
阿武恵子
竹之内節子
渡辺妙子

スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
京都アニメーション

制作進行
若鍋竜太

∀ GUNDAM ST

第14話
別離、再び
1999年7月9日

脚本
高山治郎

絵コンテ
西森　章

演出
西森　章

作画監督
しんぼたくろう
中田栄治

原画
中村プロダクション
板倉和弘
米山浩平
松永　晃
高橋真一
森　寛之
橋本誠一
富永剛央
宮下雄次
中澤美尊
鈴木健史

動画チェック
福田　嗣

動画
中村プロダクション

冨永和代
森　文代

スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
佐藤弘幸

第15話
思い出は消えて
1999年7月16日

脚本
高橋哲子

絵コンテ
斧谷　稔

演出
渡邊哲哉

作画監督
佐久間信一

原画
森　利夫
後藤雅巳
金剛寺弾
森　悦史
川原智弘
竹上貴夫

スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
酒井遣太
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
長尾朱美

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
若鍋竜太

第16話
∀のすべて
1999年7月23日

第17話
建国のダストブロー
1999年7月30日

脚本
浅川美也

絵コンテ
森　邦宏

演出
森　邦宏

作画監督
鈴木藤雄

原画
スタジオ　ディーボルト
佐村義一
高橋英樹
池田裕治
坂本修司
石井久志
田中智子
片貝　稔
吉田隆彦
米本　亨
松尾　慎

山田　誠
木崎文智
室井ふみえ

中谷誠一
横山彰利
阿部伸司
草刈大介
石川雅一
スタジオ　ダブ

動画チェック
平出差知予

動画
富岡美穂
冨永和代
京都アニメーション
スタジオ　コクピット

スタジオ　ダブ

色指定
菊地和子

背景
京都アニメーション

制作進行
岸田　文

第18話
キエルとディアナ
1999年8月6日

脚本
高山治郎

絵コンテ
菱田正和
斧谷　稔

演出
山口美浩

作画監督
佐久間信一

原画
森　利夫
吉田　徹
津野田勝敏
津熊健徳
山本勝久

後藤雅巳

スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
小倉宏文

第19話
ソシエの戦争
1999年8月13日

脚本
星山博之

絵コンテ
川瀬敏文
斧谷　稔

演出
北川正人

作画監督
杉光　登

原画
白井伸明
日向正樹
工藤昌史
小沢尚子
加藤義貴
川口栄夫
小林冬志生
相坂直紀
川添政和
ながた正美

中谷誠一
森　悦史
新号　靖

スタジオ　ダブ

動画チェック
小久保千愛

動画
スタジオ　ダブ

アートランド
FAIインターナショナル

色指定
長尾朱美

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
太古　満

制作協力
アートランド

第20話
アニス・パワー
1999年8月20日

脚本
高橋哲子

絵コンテ
西森　章

演出
西森　章

作画監督
しんぼたくろう
中田栄治

原画
中村プロダクション
板倉和弘
米山浩平
松永　晃
高橋真一
森　寛之
橋本誠一
富永剛央
宮下雄次
橋本裕之
小松崎純子

動画チェック
福田　嗣
冨永和代

動画
中村プロダクション
渡辺妙子
堤　章江
京都アニメーション
スタジオたくらんけ
スタジオ　ムー
アニメ　アール

色指定
菊地和子

背景
アトリエ　ムサ

制作進行
小形尚弘

第21話
ディアナ奮戦
1999年8月27日

脚本
星山博之

絵コンテ
横田　和

演出
渡邊哲哉

作画監督
佐久間信一

原画
スタジオ　ダブ
榎本勝紀
高橋　晃
石川哲也
小野和寛
田澤　智
李　炫周
ソウル　ダブ

森　利夫
後藤雅巳

動画チェック
大谷美樹

動画
スタジオ　ダブ

色指定
中尾総子

背景
京都アニメーション

制作進行
河野智明

第22話
ハリーの災難
1999年9月3日

脚本
高山治郎

絵コンテ
森　邦宏

演出
森　邦宏

作画監督
戸部敦夫

原画
瀬尾康博
山田起生
前澤弘美
中村和代
津熊健徳
山本勝久

山口　晋
横山彰利
浅谷美保
金剛寺弾
竹上貴夫
川原智弘

菱沼義仁

動画チェック
平出差知予

動画
渡辺妙子
冨永和代
スタジオたくらんけ
スタジオ　ムー

スタジオ　ダブ

FAIインターナショナル

色指定
長尾朱美

背景
ほわいとまっぷ

制作進行
佐藤弘幸
樋口達人

Contents

P04 ILLUSTRATIONS OF "∀"
P16 CHARACTERS
P24 MOBILE SUIT
P31 GOODS
P33 ∀ GUNDAM EPISODE GUIDE
P84 INSPECTION OF ∀ GUNDAM
P94 STAFF LIST

NEWTYPE 100% COLLECTION 38
∀ GUNDAM Vol.1

ニュータイプ100%コレクション 38
∀ガンダム
2000年6月30日初版発行

発行人　青木誠一郎
発行所　株式会社角川書店

〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
営業　03(3238)8530
編集　03(3238)8533
振替　00130-9-195208
印刷　大日本印刷株式会社
製本　本間製本株式会社

落丁・乱丁本はご面倒でも小社営業部受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。

Ⓒ創通エージェンシー・サンライズ・フジテレビ

Printed in JAPAN
禁無断転載・複製
ISBN4-04-853153-0　C0076

9784048531535
1920076018008

ISBN4-04-853153-0
C0076 ¥1800E

定価：本体1800円（税別）　**角川書店**

好評発売中

NEWTYPE FILM BOOK EX

∀ガンダム①～⑤(全5巻)
ニュータイプ編　A5判／96P

∀ガンダム 1 初動
∀GUNDAM
著 佐藤茂
原作 矢立肇
富野由悠季

角川スニーカー文庫

∀ガンダム①～⑤(全5巻)
著／佐藤茂　原作／矢立肇・富野由悠季
イラスト／萩尾望都　A6判

VIDEO&DVD&LD

∀ガンダム①～⑬(全13巻)
発売：バンダイビジュアル

CD

『∀ガンダム
ORIGINAL SOUND TRACKS Ⅰ～Ⅲ』
『∀ガンダムwith
菅野よう子コンサートライブ』
発売：キングレコード

プラモデル

1/100スケールプラモデル
∀ガンダム
モビルスモー
1/144スケールプラモデル
∀ガンダム
モビルフラット
モビルスモー
モビルカプル
モビルターンX
発売：バンダイ

ニューマテリアルモデル

∀ガンダム
発売：バンダイ